



Junior Chamber International Japan
Annual Report 2023

Drive our dreams

公益社団法人 日本青年会議所

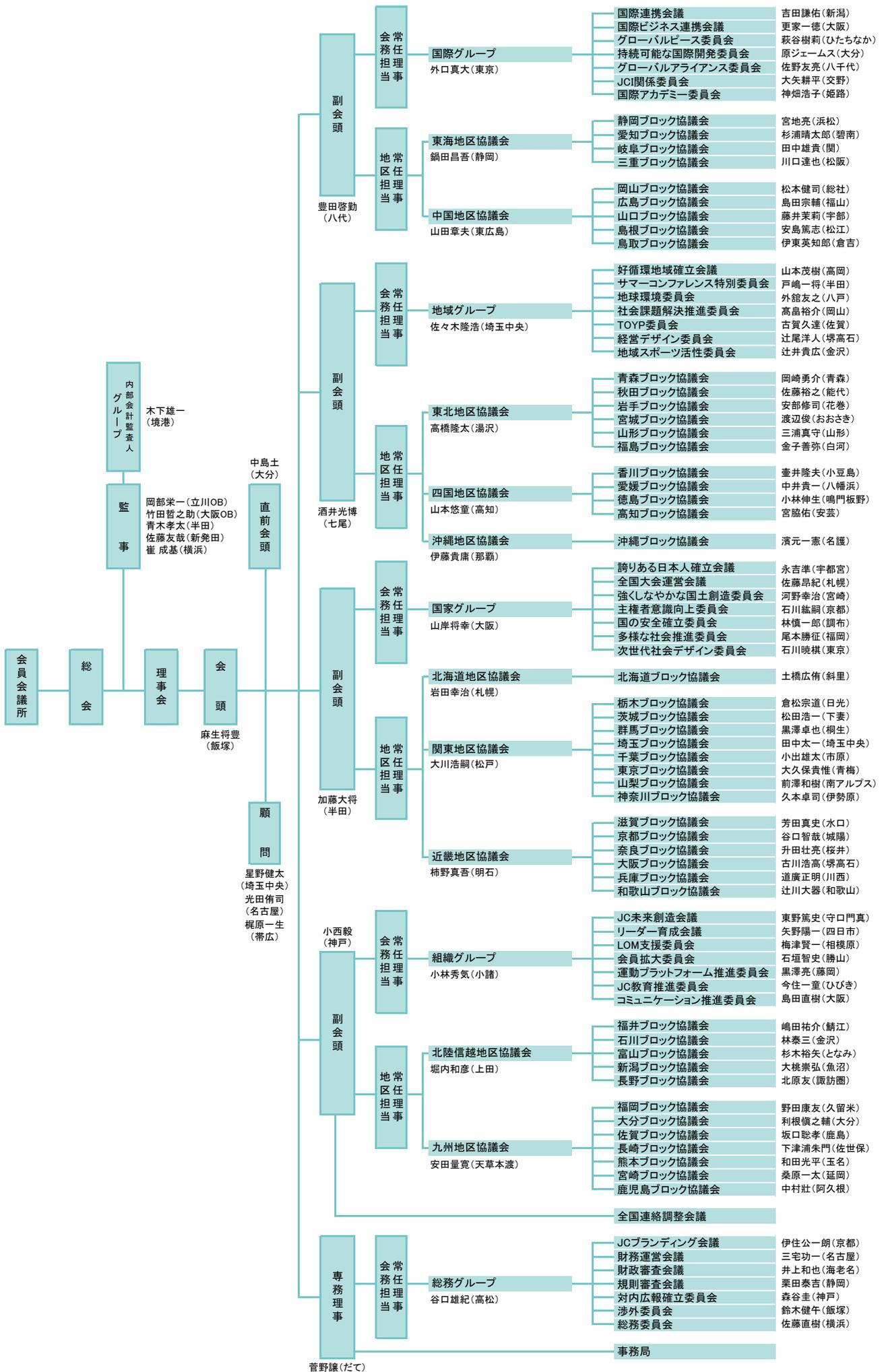
2023年度 事業報告書

**Junior Chamber International Japan
Annual Report 2023**



Junior Chamber International Japan
公益社団法人 日本青年会議所

公益社団法人 日本青年会議所 2023年度 組織図



公益社団法人 日本青年会議所 2023年度 年間公式スケジュール

2023年10月12日現在

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
正副会頭会議 (月初)	6日 (金) (JC会館)	1日 (木) (名古屋) 21日 (火) (東京)	30日 (木) (沖縄)	28日 (金) (七尾)	30日 (火) (桑名)	30日 (金) (JC会館)			3日 (日) (JC会館) 21日 (木) (高松)	19日 (木) (JC会館)	30日 (木) (神戸)		
正副会頭会議 (月中/WEB)	13日 (金) (WEB)	9日 (木) (大阪)	2日 (木) (WEB)	14日 (金) (WEB)	9日 (火) (ジャカルタ)	14日 (水) (WEB)	6日 (木) (WEB)		7日 (木) (JC会館) 28日 (木) (WEB)		2日 (木) (WEB)	7日 (木) (WEB)	
常任理事会	14日 (土) (JC会館)	17日 (金) (JC会館)	9日 (木) (JC会館)	21日 (金) (JC会館)	19日 (金) (JC会館)	23日 (金) (JC会館)	20日 (木) (JC会館)		15日 (金) (JC会館)	4日 (水) (JC会館)	24日 (金) (JC会館)	15日 (金) (JC会館)	
理事会	20日 (金) (京都)	18日 (土) (JC会館)	10日 (金) (JC会館)	22日 (土) (JC会館)	20日 (土) (JC会館)	24日 (土) (JC会館)	21日 (金) (横浜)		16日 (土) (JC会館)	5日 (木) (東京)	25日 (土) (JC会館)	16日 (土) (JC会館)	
総会	21日 (土) (京都)		25日 (土) (東京)							6日 (金) (東京)			
JCI 諸会議	JCI常任理事会/ 理事会 (JCI, JEM, JBM) 9日 (月) ~12日 (木)				アメリカ 地域会議 3日 (水) ~6日 (土) アジア・太平洋 地域会議 10日 (水) ~13日 (土) アフリカ・中東 地域会議 17日 (水) ~20日 (土) ヨーロッパ 地域会議 24日 (水) ~27日 (土)		JCI中間常任理事会 (JCI MYE) 20日 (木)					JCI世界会議 14日 (火) ~18日 (土)	
NOM主要事業	京都会議 (京都) 19日 (木) ~22日 (日)						国際アカデミー (静岡) 10日 (月) ~15日 (土) サマーコンファレンス (横浜) 22日 (土) ~23日 (日)			全国大会 (東京) 6日 (金) ~8日 (日)			
財政審査会議	9日 (月) 10日 (火)	11日 (土) 12日 (日)	4日 (土) 5日 (日)	15日 (土) 16日 (日)	6日 (土) 7日 (日)	17日 (土) 18日 (日)	8日 (土) 9日 (日)		9日 (土) 10日 (日) 30日 (土)	1日 (日)	4日 (土) 5日 (日)	9日 (土) 10日 (日)	
公益審査会議	9日 (月)	11日 (土)	4日 (土)	15日 (土)	6日 (土)	17日 (土)	8日 (土)		9日 (土) 30日 (土)		4日 (土)	9日 (土)	
コンプライアンス 審査会議	9日 (月)	11日 (土)	4日 (土)	15日 (土)	6日 (土)	17日 (土)	8日 (土)		9日 (土) 30日 (土)		4日 (土)	9日 (土)	
その他	JCI諸会議・大会 開催地 【JCI常任理事会/理事会】マレーシア(クアラルンプール) 【中間常任理事会】アメリカ(セントルイス) 【アメリカ地域会議】コロンビア(サンタ・マルタ) 【アフリカ・中東地域会議】ジンバブエ(ハラレ) 【ヨーロッパ地域会議】ルーマニア(ブカレスト) 【アジア・太平洋地域会議】インドネシア(ジャカルタ) 【世界会議】スイス(チューリッヒ)												

目次

■基本計画・事業計画	3
■役員報告	6
会頭 麻生 将豊	7
副会頭 酒井 光博・小西 毅	8
副会頭 豊田 啓勤・加藤 大将	9
専務理事 菅野 譲	10
顧問 星野 健太・光田 侑司・梶原一生	11
■内部報告	12
監事 岡部 栄一・竹田 哲之助・青木 孝太	13
監事 佐藤 友哉・崔 成基	14
■グループ・会議・委員会	15
国際グループ	16
地域グループ	24
国家グループ	32
組織グループ	40
総務グループ	48
内部会計監査人グループ	56
■地区協議会・ブロック協議会	57
北海道地区協議会	58
東北地区協議会	59
関東地区協議会	60
東海地区協議会	61
北陸信越地区協議会	62
近畿地区協議会	63
中国地区協議会	64
四国地区協議会	65
九州地区協議会	66
沖縄地区協議会	67
北海道ブロック協議会	68
青森ブロック協議会	69
秋田ブロック協議会	70
岩手ブロック協議会	71
宮城ブロック協議会	72
山形ブロック協議会	73
福島ブロック協議会	74
栃木ブロック協議会	75
茨城ブロック協議会	76
群馬ブロック協議会	77

埼玉ブロック協議会	78
千葉ブロック協議会	79
東京ブロック協議会	80
山梨ブロック協議会	81
神奈川ブロック協議会	82
静岡ブロック協議会	83
愛知ブロック協議会	84
岐阜ブロック協議会	85
三重ブロック協議会	86
福井ブロック協議会	87
石川ブロック協議会	88
富山ブロック協議会	89
新潟ブロック協議会	90
長野ブロック協議会	91
滋賀ブロック協議会	92
京都ブロック協議会	93
奈良ブロック協議会	94
大阪ブロック協議会	95
兵庫ブロック協議会	96
和歌山ブロック協議会	97
岡山ブロック協議会	98
広島ブロック協議会	99
山口ブロック協議会	100
島根ブロック協議会	101
鳥取ブロック協議会	102
香川ブロック協議会	103
愛媛ブロック協議会	104
高知ブロック協議会	105
徳島ブロック協議会	106
福岡ブロック協議会	107
大分ブロック協議会	108
佐賀ブロック協議会	109
長崎ブロック協議会	110
熊本ブロック協議会	111
宮崎ブロック協議会	112
鹿児島ブロック協議会	113
沖縄ブロック協議会	114
■付録	115
■2023年度諸会議報告	123

基本計画・事業計画

基本理念

夢溢れる未来を描き
世界に冠たる日本を取り戻す

基本方針

1. 国際連携の強化により魅せる日本の底力
2. 全ての好循環が生み出す魅力ある地域の実現
3. 日本の矜持を呼び覚まし次代に託せる国家の確立
4. 夢を描ける人財育成による組織体制の強化
5. 組織ブランディングの向上と夢を実現する組織運営

事業計画

1

日本青年会議所が主催し、各地会員会議所またはJCIと共に連携して行う運動・事業

1. 地域の魅力あるコンテンツを発掘する事業
2. 全ての人が身近な環境負荷を軽減させる運動

2

日本青年会議所が主催し、各地会員会議所またはJCIや各国青年会議所に対して、参加や参画など協力を依頼して行う事業

1. 京都会議 【1月】
2. サマーコンファレンス 【7月】
3. 全国大会東京大会 【10月】
4. 国際アカデミー
5. 青年経済人アカデミー
6. TOYP大賞
7. 褒賞
8. 各種視察団・使節団の派遣
9. 国際協力

3

JCIが主催し、日本青年会議所が連携して行う運動・事業

1. JCI ASPAC (インドネシア/ジャカルタ) 【6月】
2. JCI 世界会議 (スイス/チューリッヒ) 【11月】
3. JCI AWARDSへの申請 【5月・10月】
4. JCI TOYPへの申請 【5月】

4

会頭所信に基づき、地区協議会と連携する事業

1. 地域の魅力ある観光資源・文化・伝統等のコンテンツを発掘・発信する事業の企画・実施
2. 世界に発信できる地域ビジネスを発掘・発信する事業の企画・実施
3. 地区・ブロック協議会との連携による地域の魅力発信の企画・実施
4. JCカップU-11少年少女サッカー予選大会の企画・実施
5. 有事に備えた災害ネットワークの強化に関する事業の企画・実施
6. LOMが躍動するための新たな支援モデルの構築

5

会頭所信に基づき、ブロック協議会と連携する事業

1. LOMが躍動するための新たな支援モデルの構築
2. ブロックアカデミーの支援・推進
3. 各ブロック協議会が2023年度の運動の中で1つ以上選択し実践する事業

役員報告



会頭 麻生 将豊 (飯塚)

日本はまだまだ世界で勝負できる。
青年だからこそ描くことのできる大きな夢に向かって
我武者羅にチャレンジしていこう。

「夢あふれる未来を描き 世界に冠たる日本を取り戻す」の基本理念の下、自分たちの力を信じ、日本全国の価値を世界中に発信する運動を展開しました。

1月に開催された京都会議は3年ぶりの完全現地開催となり、新年式典では5700名以上のメンバーの皆様への参加をいただき、夢への一歩を踏み出すことができました。また5月にジャカルタにて開催されたASPACでは、会頭招待ランチョンにて各国の会頭やJCI役員を招待し、日本の名産品の紹介、文化体験も織り交ぜた盛大なパーティを開催。ジャパンナイトでは3200名もの参加者が集まり、日本の魅力を世界に発信する大きな一助となったと確信しています。また19ヶ国の会頭を招き、日本JC主催で世界平和について議論するグローバルピースサミットを開催。世界平和に向けた宣言書を締結しました。各国の事情を踏まえ、改めて平和について語り合うこの事業は、私たちJayceeが活動する目的の一つである恒久的な世界平和の実現に向け、JCIを巻き込む運動へと昇華しました。

サマーコンファレンス2023では、メンバーの皆様のみならず一般市民にも多くご参加いただき、60,000人を超える参加者を実現しました。GROWTH PARKや多くのフォーラム、セミナー等のコンテンツを通して、2023年度の運動を広く発信することができました。またカーボンニュートラルを実現するために、学校や子どもたちと一緒に廃食油を集める活動を通じて、持続可能な航空燃料をつくり出す事業を展開しました。身近な「MOTTAINAI」とどこか遠く感じるカーボンニュートラルが歩み寄るだけでなく、子どもたちが一緒になり夢を一緒に現実に変えていく運動となりました。

若者の政治への参画を促すために開催した全国高校生政策甲子園においては、国会議事堂を舞台とし、日本の未来を切り拓く、夢あふれる高校生のその熱い想いは壮年期に入る我々にとっても大きな刺激をいただきました。育児とテクノロジーを掛け合わせたベビーテックを活用する企業と連携し、働きながらも子どもを育てやすい社会をより身近にすることで、2021年から始まったベビーファースト運動。本年は新たに行政を巻き込むなど、さらに一歩進めることができました。第72回

全国大会東京大会では、青年会議所のはじまりでもある東京において、東京だからこそ実現できる新たな全国大会の形を模索し、持続可能な全国大会となるよう構築しました。

また、対外への発信、事業展開のみならず、組織、対内の面でも様々な挑戦をしてみました。本来、日本JCの役割である全国連絡調整機関としての機能を見直すべく、全国連絡調整会議を設置し、各地区、ブロック協議会の皆様との意見交換、ディスカッションを通して、日本JCの事業に対して本気のご意見をいただき、各地LOMに必要とされる日本JCを目指してまいりました。それらを基に2020年代地区協議会・ブロック協議会モデル答申書のアップデート宣言を行い、次年度より地区とブロックの改革の一助となる形を残せたと確信しています。また、青年会議所会館建替につきましては、総会決議をいただきよいよ新たな青年会議所会館へ向けて具体的に動き出しました。

そして、機関誌であるWeBelieveはイメージを大きく変え、家族や会社の社員の皆様にも読んでもらえるように、内容の充実を図りました。著名人や有識者との対談から始まり、ビジネスの潮流や全国の地域の魅力の発信までコンテンツを拡充し、読んでいただく皆様が面白さを通して、多角的な知見を得られるように内容をとことん追求しました。

この1年を通して感じたことはJCの可能性はまだまだあるということです。各ブロックを訪問させていただいたことで、多くのメンバーが地域を、国を想い、本気で取り組んでいる姿を拝見しました。それは国外も同様です。日本全国、世界各国でJAYCEEを名乗っている若者が大きな夢に向かって全力で邁進し続けることこそが、世界を変えていく原動力になるのだと改めて感じ、その力の大きさに感動し、今後もこの力を信じ我々は進んでいかなくてはならないと改めて感じた次第です。

最後に、1年間ともに必死になって取り組んできたメンバーの皆様、そして日本JCに対し、深いご理解とご協力を賜りましたすべての皆様に心からの御礼を申し上げます。我々だけでは物事は進みません。皆様のご協力があってこそ、本年も素晴らしい結果が出せたこと、心より感謝申し上げます。

Drive our dreams 日本の魅力で世界を席卷しよう



副会頭
酒井 光博（七尾）

本年度は副会頭として地域グループ、東北地区、四国地区、沖縄地区を担当させていただきました。地域グループでは「全ての好循環が生まれる魅力ある地域の実現」を基本方針に掲げ、地域に眠る魅力あるコンテンツによって世界に誇れる日本を発信すべく活動いたしました。JCIのアジア太平洋会議においては国際グループと協働し、地域課題について協議することで次年度以降は他国の青年会議所と協働して運動を実施することとなりました。また、東北地区、四国地区、沖縄地区では会員との交流を通じて、日本の地域に存在する魅力と可能性を感じることができました。その他にも7月に開催したサマーコンファレンスでは多くの皆様のご協力のおかげで、多くの一般市民に参加をいただき、過去最大級の参加者を動員することができました。2023年度に関わっていただいた全ての皆さまのおかげをもちまして業務が遂行できたことを心より感謝申し上げます。



副会頭
小西 毅（神戸）

本年度は北陸信越地区、九州地区、組織グループを担当させていただきました。

各地区におきましてはブロック訪問を2度させていただき、各地会員会議所の皆様には、本会の運動の方向性を説明させていただくとともに、理事長の皆様からの本会へのご提案を含め、様々な議論をし、交流をさせていただきました。また、麻生会頭が掲げる総合連絡調整機関としての日本青年会議所を取り戻すべく、各地青年会議所の抱える課題を教えていただき、各地ブロックとの情報共有により支援体制を強固なものとして参りました。

組織グループにおきましては、時代の流れの中で実態にそぐわなくなった協議会モデルを各ブロックに合う形で修正するという新たな試みをいたしました。また、運動プラットフォームの充実、理念共感プロモーターやJC公式トレーナーの育成にも注力し、その数を増やすことができました。さらに、組織グループの議長委員長が一体となってLOM支援を行うことにより、会員拡大において、予測値ではありますが純増の可能性が出ております。

結びとなりますが、2023年に関わっていただいた全ての皆様に感謝申し上げますとともに、今後も青年会議所と一緒に盛り立てていただけていただけますことを心よりお願い申し上げます。



副会頭
豊田 啓勤（八代）

2023年度国際グループ、東海地区及び中国地区を担当致しました。

本年は感染症による規制も緩和され、東海地区と中国地区では各事業を実地開催し、国際的にも渡航制限緩和により、顔を合わせての交流が活発に行われました。国際グループでは、日本のプレゼンスを確立させるため、毎月3カ国以上との連絡会議の実施や、ビジネスマッチング、スマイルバイによる国際的な事業を実施致しました。そして、ASPACでは日本青年会議所が多くのファンクションを担当し、各国に対しての運動の発信を行うことができました。それは各国により良い影響を与え、我々の運動が海外で実施されるという広がりを見せました。GPSに関しては全世界の会頭を巻き込んだ事業へと昇華し、世界会議にてJCIと日本青年会議所が共同にて開催する事業となりました。

世界の中での日本のプレゼンスを高めた1年間となり、次年度以降も継続されるこの価値を創造してくれたメンバー全員に感謝致します。



副会頭
加藤 大将（半田）

北海道地区、関東地区、近畿地区、国家グループを担当させていただきました。

各地区におきましては、総合連絡調整機関として、ブロック訪問を行い、今年度の運動の方向性や現状の共有、理念の理解、会員の拡大や育成など様々なことを議論しました。常に最良の運営を共に模索し続け、全国各地のJC運動が更に飛躍できるように引き続き日本青年会議所としてサポートすることが重要です。

国家グループでは、「日本の矜持を呼び覚まし次代に託せる国家の確立」を基本方針に掲げ、全ての日本人が自国の誇りを取り戻し、互譲互助の精神に溢れ、誰もが未来へ夢を描ける日本の確立を目指し事業や運動を展開しました。そして、本年度で72回目を迎える全国大会では、JC運動がスタートした東京の地にて、Bridge over the dreamsのテーマを掲げ、12,300名以上のご登録をいただき、JC運動への意識を昂揚させると共に、1年間のJC運動で作上げた実績とネットワークを未来へ継承することを目的として開催しました。国家グループが推進する運動に対し市民の皆様が理解を深めると共にJCの魅力と可能性を認識していただき、様々なパートナーシップを構築させ、夢を描き続けられる社会の実現に貢献することができたと思います。

皆様の多大なるご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。



専務理事
菅野 譲（だて）

全国各地青年会議所と正会員の皆様のために存在する日本青年会議所として、全国連絡調整機関として「全国連絡調整会議」を新たに設置し、さらに「2020年代地区協議会・ブロック協議会モデル答申書」をアップデートさせていただきました。それ以外にも未来へつなぐ、JC会館の建替え関連議案を京都会議、全国大会の総会で決議できたことは、多くの皆様のご支援、ご協力があったからこそその成果だと思えます。また公正な財政、コンプライアンス等についても新たな取り組みを取り入れ、時代に即した組織基盤を構築できました。次年度以降も、常に時代に即した最良な組織運営を模索し、全国各地青年会議所の活動、運動がさらに飛躍されることをご祈念いたします。



顧問
星野 健太 (埼玉中央)

3年間に渡って続いた新型コロナウイルスも今年5月より5類に移行し、久しぶりに海外渡航も含めた従来のJC活動が再会されました。しかしながらコロナ禍で入会したメンバーも増えており、各種大会や事業における設営力・現場力の低下も感じた1年でもありました。

私は主に国際グループ、地域グループを担当させて頂き、各会議、委員会に対して会頭所信で掲げる「夢」の実現に向けて今までの経験を活かしたアドバイスをさせて頂きました。

近年ではChatGPTをはじめとする生成AIが世界中で注目され、ビジネスシーンだけでなく日常生活でも活用され始めています。このように先行きが見通しにくい時代だからこそ、JCが時代に先駆けて組織を進化させ、社会の課題を解決し続ける団体であることを願い1年間の総括とさせていただきます。



顧問
光田 侑司 (名古屋)

その運動がこの社会を、日本をより良くしていくことができるのか、という観点から様々なアドバイス、意見をさせて頂きました。また、新型コロナウイルスが5類に移行されリアルでの開催が中心となる中で、コロナ禍以前の役員経験者として、過年度の実施方法や注意点も共有させて頂きました。

そして、JC会館建替準備会議議長として、1月京都会議総会にて基本計画案の審議、10月全国大会総会にて基本計画修正案の審議、設計施工者選定、日本JC事務局移転、銀行折衝、見積金額の交渉等本当に多くのことを任せて頂きました。24年問題や物価、人件費、金利の上昇等の影響から大変困難な折衝が多くあり苦労を重ねましたが、全国の皆様のご協力のおかげで23年度内に実施すべきことを全て対応することができました。

日本青年会議所の運動を支える青年会議所会館の建替えが無事終わること、そして全国各地に青年会議所運動が広がっていくことを心から祈念します。



顧問
梶原 一生 (帯広)

2023年度、麻生将豊会頭のリーダーシップにより多くのチャレンジに向き合った年になったと思います。青年会議所の本質を改めて考えそして課題を抽出し行動に繋げる。言葉で書けば簡単ですが実際に行うにあたっては難題だったと思いますが見事に実績に繋がると感じています。特に協議会の在り方については重要な議論となりましたがまだまだ出発点でこれから時代に即して各地会員会議所とどの様に向き合い、どの様な活動や役割を果たしていくのか更に深く議論を進めることが会員数、会員会議所数の減少を食い止め青年会議所活動や運動による地域、国家の発展に寄与する青年を輩出し続ける責務を果たせると思います。

顧問としてより良い議論に繋がるようアドバイスやアイディアのぶつけ合いをする一年としましたが、より良い運動の展開に繋がっていれば幸いです。

内部評価



監事
岡部 栄一（立川OB）

新型コロナウイルス蔓延が収束し国際情勢が大変不安定な中、JC運動に向き合い社会情勢を鑑みながら、今何が必要なのかを熟慮し行動している現役の皆さんに敬意を表したい。

加速度的に社会常識が変わっていく中で、日本青年会議所もスピーディに組織に変化をもたらし、各地会員会議所の模範とならなければならない。今何が必要で何が不必要なのかを、歴史を紐解きながら精査し改善していく、決断力と実行力がより一層必要な局面を迎えている。ESGの概念にもあるように、引き続きコーポレートガバナンスの重要性は社会的にも非常に重要なファクターとなっている。

組織運営が今までのやり方で本当にこれからの時代に合っているのか、今まで以上に外部の視点を取り入れなくていいのかなど、時代に即した組織ガバナンスの仕組みを引き続き考えていく必要がある。

より良い変化をもたらす魅力ある組織に進化するには、創始の精神は受け継ぎながらも、先駆けて社会課題解決に取り組む日本青年会議所であり続けなければならない。



監事
竹田 哲之助（大阪OB）

2023年度は、5月に新型コロナウイルス感染症が5類へ移行し、2019年から数えると約4年ぶりにコロナの制限がほぼない状態となり、麻生将豊会頭と共に全国の青年会議所メンバーが描いた「夢」が、国内外へ日本の「価値」と「存在感」を見せつけ、「Drive our dreams 日本の魅力で世界を席卷しよう」を有言実行した1年になったと確信しております。

1980年に竣工した現在の青年会議所会館で、1年間を通してJC活動ができるのは本年度で最後となり、その集大成としてコロナ過の2020年に開催が決定した全国大会東京大会は、世界に冠たる日本を取り戻し、笑顔あふれる新しい未来への懸け橋となりました。

未完成な青年が一步を踏み出すことで、新たなLeaderが生まれます。たった一人の熱狂からすべてがはじまる、日本の青年会議所を次のステージへ。



監事
青木 孝太（半田）

2020年から始まった新型コロナウイルスによるパンデミックが終焉し、今年度は数年ぶりに全ての大会、事業、会議を完全にリアルで開催することができました。特に今まで完全にオンラインのみでの開催であったJCI ASPACとJCI世界会議がリアルにて開催されたことで、数年ぶりに海外メンバーとも交流ができ、国際グループを筆頭グループとして運動を展開したこともあり、多くのメンバーに国際の機会を提供することができた1年でありました。

今年度は内部会計監査人グループのメンバー数を増やしていただき、監査時のみならず通常時から監査的なフォローをすることができました。また、今まで理事会のみの出席であった代表を常任理事会から出席していただくことで、事業の協議段階から監査の視点を取り入れることができました。結果として監査における指摘や修正も良くなってきたように感じました。



監事
佐藤 友哉（新発田）

新型コロナウイルスの5類移行を機に、2023年度は青年会議所の様々な運動が制限なく行うことができるようになった年となりました。コロナ禍を経て、日本青年会議所が真に存在意義に向き合ったからこそ、私たちがやるべきこと、やらなければならないことが明確になったと感じています。元通りに戻ったのではなく、より目的志向が強まった組織へと変貌することができているはずです。

今年度の重要なキーワードは「夢」でした。私たち日本青年会議所が「夢」を描き、語り、実現することができたか、その結果はもしかしたらすぐに出ることはないかもしれませんが、関わるパートナーや全国のメンバーから共感を得ることができていたとすれば、近い将来に実を結ぶはずです。今後も様々な価値を創造し、多くの共感を得ながら社会変革を起こし、また全国のLOMやパートナーから必要とされる集団として躍動することを心から期待しています。



監事
崔 成基（横浜）

日本青年会議所は定款第1章第3条に記載がある目的を達成するために存在しています。目的を達成するために必要なのは、事業構築だけではなく、組織としてガバナンスが確立されている必要があります。ガバナンスはESGを掲げた国連においても環境、社会と同列に重要とされており、ガバナンスを欠いた組織の事業に価値はありません。監事講評を通して常に目的について触れてきたのは、目的の理解を深めるため、そしてガバナンスの強化による組織の持続性を担保するためです。

私たちは、これからも素敵な「夢」を抱き、夢と現実との差を埋めるべく事業を構築していくと思います。その中で、社会的インパクトの創出とガバナンスの強化を同時に達成することは難しいことかもしれません。ただ、私たちはその二つを同時に達成する調和された答えを考え続けることはできます。常に調和された答えを考え抜く組織として在り続けるべく、組織運営がなされることを祈念申し上げます。

グループ・会議・委員会

国際グループ

国際グループ総括



国際グループ担当常任理事 外口 真大 (東京)

2019年以來の完全現地開催であるASPACにおいては3フォーラムとランチョン、ジャパンナイトを開催。動員数も参加者の42%が日本JCからであり、ジャパンナイトでは3200名の参加者がありました。また世界会議スイス大会においても900名を超える参加者があり、全体の30%を日本JCが占めました。そしてASPACでは19カ国、世界会議では53カ国の会頭が集まりグローバルピースサミットを開催しました。またSmile by Waterではフィリピン・インドネシア、グローバルユースはカンボジア・ニューヨーク等、各NOMから大きな支援を受け連携し、基本方針にある「国際連携の強化により魅せる日本の底力」を体現できたと考えています。これはお金やメンバー数だけではなく、「運動で日本JCが世界をリードできる」ということを示せた大きな成果だと考えます。世界を巻き込んだ運動を展開できる日本JCとして世界に冠たる日本を実現できたのではないかと考えます。最後に1年を通して多くの皆さまに、ご理解とご協力を賜り活動が遂行できましたこと、心より感謝申し上げます。

会議・委員会名	役職名	担当者名
国際連携会議	議長	吉田 謙佑 (新潟)

基本方針

各NOMに対しての日本青年会議所の存在感を高めるため、JCI各国とのハブ機能を構築することで、日本青年会議所を中心としたハブを構築することです。



総括

日本が各NOMに対して存在感を高める運動の推進を行いました。日本青年会議所の存在感を高めるため、JCI各国とのハブ機能を構築し、日本を中心としたハブ機能を構築しました。また、そのハブ機能を利用し、日本の魅力を世界各地に発信し、日本のファンづくりを行いました。そして、日本から世界に挑戦する協議会の伴走支援を行い、国際に挑戦する協議会をお手伝いさせていただきました。今年度の運動により、日本が各国をリードして、世界の共通課題である温暖化についてカーボンニュートラルという解決手法を広げ、各国とともに課題解決に向けた協働が行われる状態になりました。日本が各国に対し、リードを行う状態を続けることが重要です。

事業区分	事業名	事業内容
他	世界共通課題の解決に向けたハブ機能の構築推進	日本青年会議所の存在感を高めるため、JCI各NOMとの連絡調整会議並びに、多国間のサークルミーティングを開催し、カーボンニュートラルといった世界課題の解決に向けた、他NOMとの連携を構築し、日本を中心としたハブ機能を構築しました。
他	人財交流によるコンテンツの発掘及び発信推進	タイ、ベトナム、フィリピン、インドネシア、台湾を対象に交流会、ビジネスマッチング、姉妹、友好JC締結を活用した国際事業など様々な事業を実施し、日本のインバウンド、アウトバウンドビジネスの活性化につながるコンテンツの発信を行いました。
公2	京都会議フォーラム「Stay Hungry, Stay Foolish～世界への挑戦～」	MISAKY.TOKYO三木アリッサ代表と(株)力の源ホールディングス(博多一風堂)河原成美社長を講師としてお招きし、日本のコンテンツや日本のもつ魅力が世界でも通用することを明らかにし、世界に挑戦することの重要性についてをテーマに対談を行いました。
公5	2023サマーコンファレンスオープニングフォーラム「Lead the World～世界を魅せよう～」	本田技研工業(株)倉石誠司取締役会長を講師としてお招きし、「夢への挑戦 変革に立ち向かうHonda」をテーマに夢を原動力に価値創造する考えを講演いただき、対談では夢とパートナーシップの重要性を強調し、国際的な成功への道を示しました。
公5	第72回全国大会東京大会フォーラム「Impact The Future～次世代への継承～」	アニメ監督としてアニメ「マクロス」シリーズ等の数多くの作品を手掛ける河森正治氏をお招きし、いかにして日本の魅力を世界へ発信し魅了できるのか、そして本年度国際グループの運動の成果や課題を共有し、河森氏の経験や事例を交え、次年度へ継承しました。



会議・委員会名	役職名	担当者名
国際ビジネス連携会議	議長	更家 一徳 (大阪)

基本方針

国際協力と持続的なビジネス連携による民間外交を行うことで、いかなる社会変化にも対応できる強固な民間外交の礎を築きます。



総括

民間外交の促進、地域振興を目的とし、日本に存在する様々な企業のコンテンツを取り纏め発信し、ビジネス連携への発展を目指した活動を行いました。

101国際連携会議との連携によって海外NOMメンバー企業を中心に展開し、マッチングを行った国際ビジネス連携事業、メンバー同士のコミュニケーションを確立し、草の根的な個店や飲食店の来訪などからつながるビジネス交流を行ったJCI GOアプリケーションの推進、企業情報や地域の資源を収集し、LOMや地域、国境を越えてメンバーに発信、ビジネスにつながるプラットフォームサイトを構築する地域資源国際発信計画を、年間を通じて推進することができました。

事業区分	事業名	事業内容
他	国際ビジネス連携推進事業	日本に存在する、海外展開に興味を持つ多くの企業のコンテンツを取り纏め、海外NOMメンバー企業を中心に展開し、具体的な商取引への発展を目指した活動を行い、10件を超える国際的なビジネスマッチングが生まれました。
他	FLY to the world with JCI GO推進計画	全国LOMメンバーへの周知拡大、海外NOMとの連携による海外大会での情報交換など、JCI GOアプリケーションの国内外への利用拡大、アプリケーション内コンテンツの拡充により、JCIメンバー同士のコミュニケーションから生まれるビジネスを推進いたしました。
公7	地域資源国際発信計画	持続的なビジネス連携を実現できる環境を創造することを目的に、日本全国の地域資源を持つ企業が自社の商品やサービスをPRし、国内、国外とつながるプラットフォームサイトを構築し、掲載企業の募集、サイトの周知活動を行いました。
公7	サマーコンファレンス2023「グローバル志向欠乏症を改善せよ!」	講師にPlug and Play Japan代表のフィリップ・誠慈・ヴァインセント氏をお招きし、参加者にこれまで世界に目を向けることのなかった海外への挑戦に一步踏み出すことを理解していただき、世界を牽引する人財となるための成長を促す講演を実施いたしました。
他	ASPAC 会頭招待レセプションにおける日本企業 ビジネスPRブースの出版	ASPAC 会頭招待レセプション内にて、日本企業の取り組み紹介や商品の魅力を知っていただくため、日本各地から10社を超える企業を取り纏め出展し、多数の問い合わせをいただきました。
他	各地での海外展開ミニセミナーや講演活動	京都會議での公開全体会議をはじめ、各ブロック大会や例会でのミニセミナーや講演を行い、海外展開の推進やその課題、支援ツールとしての日本青年会議所の取り組みについて周知を拡大いたしました。



会議・委員会名	役職名	担当者名
グローバルピース委員会	委員長	萩谷 樹莉 (ひたちなか)

基本方針

多様性と包摂性を取り入れ、夢溢れる未来を描き、世界平和につながる次世代が自ら率先して行動できる世界の実現を目指します。



総括

ひまわりリレーで世界をつなぐ「Peace Flower Project」では、ウクライナ・ロシアの国花である向日葵と共に世界平和へのメッセージをSNSで展開しました。グローバルユース国連大使育成事業では世界を牽引する未来のリーダーを育成するため、全国から20名の学生を選出し、カンボジア・アメリカにて同世代の学生たちと研修を行いました。サマコンクローシングフォーラムでは、来場者の平和への意識を高めることが出来ました。グローバルピースサミットにおいては、各国NOM会頭が一堂に集い、世界平和の実現にむけサミットを開催しました

事業区分	事業名	事業内容
他	グローバルピース推進事業	世界中の人を対象としてFacebook、Instagram等のSNSでウクライナとロシアの国花である向日葵の写真とともに、世界平和に向けたメッセージを投稿しました。
公7	JCI JAPANグローバルユース国連大使育成事業 Epoch making～新しい時代の主役に～	日本の中高生20名が恒久的な世界平和の実現のためにどのような行動をしていく必要があるか、海外の学生(カンボジア、アメリカ)とのグループワークを通して国内外の視点から学んでもらい、世界平和の実現に向けた啓発活動を行いました。
他	JCI JAPANグローバルピースサミット	アジア太平洋エリアNOM会頭に参加いただき、各国の情勢、方向性を共有し、恒久的な世界平和の実現を目指すためにJCIだからこそできることを考え、グローバルピース宣言書に各国NOM会頭に調印いただきました。
公7	サマーコンファレンス2023 クローシングフォーラム「僕の国は平和だから」と振り返りもしなかった	講師に永井陽右氏、瀬谷ルミ子氏を招き、紛争解決を志したきっかけや活動し続ける理由を語っていただき、失敗を恐れずに挑戦し続ける意識が必要とされる旨をお伝えしてもらうことで、来場者に夢への設計を促すことができました。
他	JCIインドネシアとの合同常任理事会	JCIインドネシアとピースフラワープロジェクト、JCI JAPANグローバルピースサミット2023、JCI ASPACジャカルタ大会等について協議した合同常任理事会を開催しました。
他	Global Peace Summit in Partnership with JCI Japan	世界各国からJCIメンバーが多く集まる世界会議期間中に世界各国のNOM会頭に参加いただき、NOMとして、JCIとして恒久的な世界平和の実現のために何が出来るかを考え、JCIに対して提言と宣言を行いました。



会議・委員会名	役職名	担当者名
持続可能な国際開発委員会	委員長	原 ジェームス (大分)

基本方針

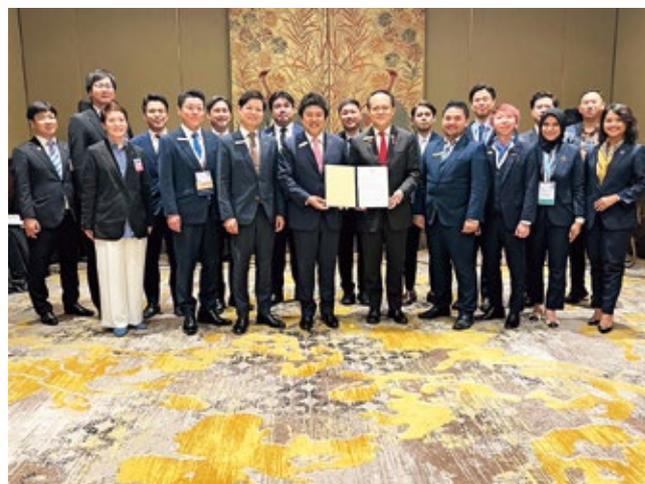
JCI のネットワークを使い世界のメンバーと持続可能な国際開発を行うことで「共通だが差異ある責任」を果たしてまいります。



総括

今年度は3つのプロジェクトを実施しました。まず初めに「SMILE by WATER in Philippines」では、フィリピンに5キロのパイプラインを敷設し、108世帯の人々に安全な飲料水へのアクセスを提供しました。次に、「SMILE by WATER in Indonesia」では、インドネシアの学生にプラスチックリサイクルの重要性を教育し、真水不足の地域に井戸の建設を始めました。最後に、「Smile by Action」では、これまでのSDGsゴール6に対する支援から、ゴール13、14、15への支援も含めるよう拡大しました。そして、新しい募金システムの導入により、より多くの寄付を募ることが可能となりました。これらのプロジェクトを通じて、私たちは持続可能な社会を目指して具体的なアクションを起こすことができました。

事業区分	事業名	事業内容
公3	Smile by Action豊かな水と自然を守る国際開発運動	Smile by Actionを推進するためJCIイーストジャワと連携し、ゴミ分別用のゴミ箱を設置しゴミの分別を進め水と衛生に関する問題解決に向けた継続的な支援と、LOM発送及び各地大会にて告知を行い自動販売機の新規設置のお願いを行いました。
公3	JCI JAPAN SMILE by WATER	フィリピン共和国、ボンガボン村では、JCIゴールデングレイン・カバナトゥアンの協力のもと Water Stationの設立を実現しました。また、インドネシアのプロボリンゴ県の河川の汚染問題に対応し、持続可能な水資源管理の実現を目指し井戸の設置を行いました。



会議・委員会名	役職名	担当者名
グローバルアライアンス構築委員会	委員長	佐野 友亮 (八千代)

基本方針

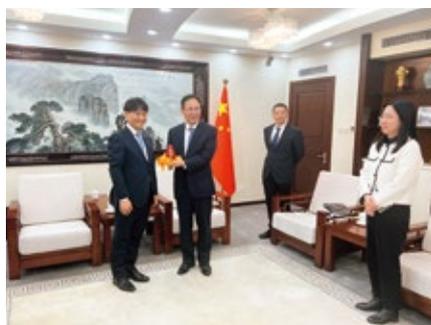
JCIの国際的なネットワークを利用して各国NOMとの関係構築と連携強化を実践し、どのような社会情勢となったとしても相互に協力できる体制の構築を目指します。



総括

アジア太平洋地域のNOMの各国会頭を京都会議と全国大会東京大会において渉外業務をさせていただき、来日した海外デリケイツの皆様は日本JCIの Protokol とおもてなしの気持ちを感じていただくことができました。また各国の新年会や会頭就任式典、周年式典、全国大会にも本会役員とともに参加させていただき、現地において貴重な国際の機会と良好な関係構築にむけて様々な交流を重ねることができました。そして日本国内において、国内に避難しているウクライナ避難民に対する就業支援を行い、参加したウクライナ避難民に対して就労企業の紹介をさせていただき、2件の就労を達成することができました。

事業区分	事業名	事業内容
他	京都会議における海外デリケイツの国内渉外業務(カンボジア、モンゴル、インドネシア、マカオ、台湾、ベトナム、フィリピン、香港)	京都会議に参加した海外デリケイツの国内渉外を担当させていただき、日本の Protokol やおもてなしの気持ちを行動で示す事ができました。
公7	日本国内へ避難しているウクライナ避難民に対する就業支援事業	国内に避難しているウクライナ避難民に対して、日本国内で安心して安定した生活が送れるように、就業候補となる企業を紹介し就業マッチングを進めるとともに、日本とウクライナの友好を目指したイベントを開催しました。
他	アスパック・ジャカルタ大会におけるカーボンニュートラル推進事業(地球環境委員会との協働)	JCI ASPACジャカルタ大会において、地球環境委員会が行ったカーボンニュートラル推進宣言のフォーラムの後方支援を行いました。
他	エリアBの新年会・会頭就任式典・各国周年・全国大会の国際渉外(モンゴル、台湾、インドネシア、韓国、フィリピン、香港)	エリアBの新年会・会頭就任式典・周年式典・全国大会に会頭や副会頭と共に参加し、各国の日本担当者との連絡調整やスケジュール管理などの国際渉外業務を担当させていただき、関係構築に寄与することができました。
他	APDCの後方支援(ベトナム、台湾、インドネシア、モンゴル、スイス)	22-23APDCメンバーのミーティング3から5までと、23-24APDCメンバーのミーティング1から3までの受付業務や会場設営、PC操作などの后方支援をおこないました。
他	日本JCI日中友好の会との連携	コロナ禍で途絶えていた中国との交流を再開させるために4月と12月に北京、8月に吉林省長春市を訪問し、関係諸団体との面会を行いました。



会議・委員会名	役職名	担当者名
JCI関係委員会	委員長	大矢 耕平 (交野)

基本方針

国際的な関係構築を次世代へつなげ、国際諸大会で日本JCの運動を通じた相互理解促進とJCIの発展にパイプ役として寄与いたします。



総括

ASPACジャカル大会において過去最大数の日本JC主催ファンクションの取りまとめをはじめ日本JCメンバーの大会参加対応、会頭招待ランチョン、約3,000人の来場となったジャパンナイトを開催して2019年以来となる海外開催のASPACで日本JCのプレゼンスを向上することに寄与することができました。また、京都会議、国際アカデミー、全国大会においてはJCI役員等の渉外アテンド活動を行うなかで、テーマをJAPAN PRIDE PROJECTとして開催して、友好関係の構築と相互理解の促進を図りました。本年度最終の世界会議チューリッヒ大会においては、JCI役員の世界JC輩出に伴うサポートや最大規模のジャパンナイトを開催して、次年度国際グループへ高い位置でバトンをつなぐ機会となりました。

事業区分	事業名	事業内容
公7	JCI ASPACジャカルタ大会の対応	日本JCメンバーに対する参加登録業務と現地における本部団運営を行いました。登録数は結果として1,987名となり、日本JC主催事業の機会を増やしたことでファンクションへの参加意欲向上につながり、国際の機会を多く創出して経験していただくことができました。
公7	JCI ASPACジャカルタ大会における日本JC会頭招待ランチョンの企画・運営	これまでの会頭招待事業の角度を運動発信軸に変えて、日本の魅力を発信する会頭招待ランチョンを開催しました。実演企画では花巻わんこそばを実際に海外招待者に体験していただき、魅力発信ブースを設置してビジネスマッチングなども実施いたしました。
公7	JCI ASPACジャカルタ大会におけるジャパンナイトの企画・運営	各地青年会議所はじめ50ブースを越える出展者の皆様に日本の魅力を発信していただき、海外メンバーと交流を深める機会を創出いたしました。また、ジャカルタ現地の日本姉妹アイドルグループJKT48に出演していただき、会場全体を盛り上げていただきました。
公7	JCI世界会議チューリッヒ大会における大会対応	ヨーロッパエリアの開催にも関わらず実質参加者が想定を上回り990名の登録数となり、日本JCメンバーにとって、次年度以降へ活かすための国際交流の機会になりました。また、日本JC輩出の常任副会頭及び副会頭の選出支援を行いました。
公7	JCI 世界会議チューリッヒ大会におけるジャパンナイトの企画・運営	今大会のジャパンナイトは、COCからも最大規模のナイトイベントと期待され、結果として来場数は期間中最大となり、各LOMやブロック及び地区協議会との連携が活かされて日本の魅力を最大限に発信することができました。
他	2023年度JAPAN PRIDE PROJECT	年間を通じて日本JC主要事業開催地の食文化と魅力を発信する企画のインターナショナルナイトを開催しました。特に、京都会議においてはJCI役員や海外デリゲイツに対して、一年間の国際連携を強固にしていくための歓迎の意に特化した企画といたしました。



会議・委員会名	役職名	担当者名
国際アカデミー委員会	委員長	神畑 浩子 (姫路)

基本方針

相互理解を深め日本の魅力を世界に伝え、世界で活躍することができる人材の育成と国際的な人的ネットワークを構築します。



総括

第36回国際アカデミーin静岡とそれに伴うプレアカデミーを開催させていただきました。夢や目標を旗として掲げ人びとを導き突き進むリーダーとなっていただきたくテーマを「Raise Your Flag」と掲げ、バスカル講師による講義と日本や静岡の魅力を感じていただける事業を行いました。プレアカデミーには180名の参加者とともに、本体事業では、国内参加者99名と海外参加者69名とともに、JCI最高峰のリーダーシップ研修を実施することができました。今年度誕生したグローバルネットワークワーカ―は各々の場所でリーダーとなり旗を掲げ、グローバルリーダーとして活躍することが期待されます。

事業区分	事業名	事業内容
他	第36回国際アカデミーに伴うプレ国際アカデミー	グローバルネットワークワーカ―によるディスカッションを行い、さらにバスカル講師によるモジュールを受けることで国際アカデミーへの魅力を知っていただき本体事業への参加意欲の向上を図りました。また、JCI静岡メンバーの国際アカデミー事業の理解を深めました。
公7	第36回国際アカデミーin静岡	「Raise Your Flag」というテーマを掲げ、バスカル講師によるリーダーシップ研修を通し相互理解と友情を育みグローバルネットワークワーカ―の誕生の機会としました。さらに、開催地であるJCI静岡と協力し日本と静岡の魅力の発信を行うことができました。



地域グループ

地域グループ総括



地域グループ担当常任理事 佐々木 隆浩 (埼玉中央)

地域グループでは「全ての好循環が生み出す魅力ある地域の実現」を基本方針とし、地域の魅力の発掘と発信、社会課題の解決をすべく運動を実施してまいりました。地域の魅力は文化や食、自然といった観光資源だけでなく、TOYP事業や価値デザインコンテストによって人財やビジネスも含めて広く発掘と発信をしてまいりました。また、社会課題の解決については経営課題、部活動の地域移行をはじめとした地域課題の解決に向け運動を実施してまいりました。その中でもSAF(持続可能な航空燃料)の利活用をテーマにJCIのアジア太平洋会議にて他国の青年会議所とディスカッションを実施し、その中でJCIベトナムと来年以降も協働することが決まりました。さらに、7月に開催したサマーコンファレンスでは一般の方を多く巻き込む施策として近隣施設を活用したGROWTH PARKを開催させていただき、のべ63,000名を動員することができました。最後に1年を通して多くの皆さまに、ご理解とご協力を賜り活動が遂行できましたこと、心より感謝申し上げます。

会議・委員会名	役職名	担当者名
好循環地域確立会議	議長	山本 茂樹 (高岡)

基本方針

地域がこれまで古い歴史を歩んできた中で、年月を積み重ねて地域に自然と溶け込んでいる隠れた魅力が多く存在します。これまでの日本における地域の枠を超えて、地域から日本を変えていくためのエネルギーを生み出すためにも、唯一無二で可能性溢れる隠れた魅力を発見する視野を得て、世界のトレンドを創出することができる地域を生み出していく運動を展開してきました。



総括

会議体として全国各地の魅力溢れる地域を訪問させていただきましたが、世界の中で唯一無二の可能性溢れた地域の価値は地域の人々や日本人の価値観をもって向き合うことでは発掘できません。会議体として、この地域の可能性を見出す視野を全国各地のメンバーにもっていただき、地域の中で青年会議所にしか発掘することができない日本の魅力の発掘を試みましたが、地域に住まうメンバー自身に対してもどういった魅力を発掘するかを考えた時、既に評価を得ているものや地域の代表的な発信コンテンツを選定してしまうことで積極的な変化を起こすことはできませんでした。世界の人々の価値観で地域を見つめたときに新たな地域の可能性を見出すことにつながります。

事業区分	事業名	事業内容
公5	地域の魅力発掘発信推進事業	日本の価値観ではなく、世界の価値観で日本の地域を見つめた時、歴史や伝統、文化に新たな価値を見出すことにつながり、唯一無二の地域コンテンツを創出することができます。世界を席卷するほどの地域コンテンツは地域の歴史、伝統、文化を経済価値に変える変化を生み出した先にあることを伝えるため、可能性ある地域資源や地域ビジネスを全国各地で発掘し、世界に発信する運動を展開してまいりました。
他	デジタル推進委員募集事業	地域の魅力発信はデジタルテクノロジーの活用によって世界中の人々に地域の価値を発信することができます。デジタル庁とタイアップして、デジタル推進委員の啓発、普及、登録の推奨をしました。
公2	2023年度京都会議メインフォーラム「Stay Hungry, Stay Foolish ~世界への挑戦~」	日本は、アジア圏において存在感が低迷しつつある一方で国内にはまだ発掘されていない魅力が数多くあります。地域資源に目を向け、その地域の魅力を世界に発信して、世界と国内各地との好循環を描くため、地域から世界への発信に成功しているビジネスパーソンから秘訣を学び、世界において日本のコンテンツがどのように評価されるかを知ることで参加者の学びとしました。
公5	サマーコンファレンス2023セミナー「魅せていこう!唯一無二が取り戻す冠たる地域の底力」	当会議体の運動に参画意思を表明いただいたLOMの中から、各LOMに運動参画の意思を伝播させやすいLOMを2LOM選定し、その取り組みを紹介することで地域の魅力の発掘と発信を推進しました。また、日本航空株式会社鳥井様にプロの目線から地域での好循環が生まれた実例を元に、全国のLOMへその仕組みを伝えました。



会議・委員会名	役職名	担当者名
サマーコンファレンス特別委員会	委員長	戸嶋 一将 (半田)

基本方針

「GROWTH EXPO」をテーマに、できなかったことができるようになるための具体的な手法をメンバーだけでなく一般参加者へ届けるサマーコンファレンス2023。



総括

サマーコンファレンス2023は、「GROWTH EXPO」をテーマとして「成長」を軸にフォーラム・セミナーを開催しました。また、屋外の臨港パークにて一般参加者向けの体験型事業である「GROWTH PARK」を同時開催し、メンバーだけでなく一般参加者やファミリー層へも成長の機会をお届けしました。延べ来場者は過去最多となる63,000名を超え、「学びと遊び」を通して、できなかったことができるようになる具体的な手法をお持ち帰りいただく場の提供をすることができました。そして、フォーラム・セミナー・GROWTH PARKを経て、皆様の夢がより具体化し、次のステージへ夢を加速されることができたと考えております。

事業区分	事業名	事業内容
公5	サマーコンファレンス2023	「GROWTH EXPO」をテーマにできなかったことができるようになる「成長」を軸として、フォーラム・セミナー・GROWTH PARK等のファンクションを完全現地開催にて実施しました。さらに事後発信として年末までのアーカイブ配信を実施しました。



会議・委員会名	役職名	担当者名
地球環境委員会	委員長	外館 友之(八戸)

基本方針

あらゆるモノを資源として活かす環境にやさしい持続可能な循環型社会を形成し、環境改善と経済発展の好循環を目指します。



総括

大量生産、大量消費、大量廃棄型の経済活動は、地球環境問題に大きく影響を与えています。これからはそれぞれの地域や企業がもつリソースを活用しながら健全な物質循環を促し、環境と経済が両立する社会が求められます。本年度は、あらゆるモノが資源として活用される持続可能な循環型社会を形成するために、2つの推進事業を行いました。身近な資源が循環するMOTTAINAI運動では、日揮HD、レボインターナショナルと協働で使用済みの天ぷら油を持続可能な航空燃料SAFへ転換し、カーボンニュートラルと循環型社会を形成する活動。そして、環境改善と経済発展の好循環をもたらすセミナーを全国各地で展開し中小企業の脱炭素経営の意識を醸成しました。

事業区分	事業名	事業内容
公3	身近な資源が循環するMOTTAINAI運動	子供たちの環境に対する意識を高める出前授業の実施と廃食用油で飛行機を飛ばそうと題し、日揮HD、レボインターナショナルとともに廃食用油を集める活動を通じて、日本全体の意識を変革し、国民運動として全国各地で展開しました。
他	環境改善と経済発展の好循環をもたらす環境配慮経営セミナーの開催	地域経済の成長を担う中小企業が、コスト負担増などのリスクの側面を意識しつつも、カーボンニュートラルへの挑戦を成長の機会と捉えて、生産性の向上や新事業の創出など、自社の発展、強化につなげるためのセミナーを実施いたしました。
他	JCI ASPAC日本主催フォーラム「第3回グローバルソリューションサミット」	地球温暖化や気候変動問題の主な原因となるCO2の排出削減に向けて多くの国々と連携、協働し対策を講じるためアジア太平洋エリア20NOMとカーボンニュートラル宣言をし、香港、インドネシア、ベトナム、日本で協働に向けたディスカッションを実施しました。
公1	MOTTAINAIキッズフリーマーケット(サマコン、全国大会で実施)	モノの売り買いを通して、お金の扱いはもちろん、子どもだけの環境の中で、経済の実践的な体験や学びを得ました。自分にとって不要なモノが他の誰かにとっては価値があることを学び経済のこと・接客のこと・収支計算シートを使って「利益」まで学びました。



① 水の問題

- ・海面が上昇する
過去約100年で世界の平均海面は16センチ上昇しており、東アジアの海抜では洪水が頻発、沿岸部の内陸へ入り込んでいます。進によっては、国土全体が海に沈んでしまう危険も拡大しています。東洋も大部分が海抜下に沈む恐れがあります。
- ・暮らしのための水がなくなる
たくさんの方が、生活するための水を争い合います。特に、乾燥した地域に住む人々や、水質や衛生問題を抱えている人々は、その被害を受けやすくなります。
- ・洪水が起きる
山崩れでは、水害が起きることでお困りですが、それが決壊することで、大規模な水害が起ります。
- ・災害が増える
嵐や火災などの異常気象が増えるため、種々の洪水や内水洪水、沿岸洪水、地盤下、大気汚染、半ばつぎ水不足が、人々や、産業、経済、および生態的なりすくをもたらすでしょう。



会議・委員会名	役職名	担当者名
社会課題解決推進委員会	委員長	高島 裕介(岡山)

基本方針

新たな資本主義政策のもと、民間企業のビジネスこそ課題解決に取り組み、好循環社会の一翼を担わなければなりません。



総括

全国各地の企業に向けて持続的な企業経営を行うための情報として、企業交流支援プラットフォームでは、補助金・助成金情報をはじめ、世の中の不満や不安、不足や不安定などを解消するための情報を発信してまいりました。また全国の先進的なビジネスとの交流の場である、アイデアバンクや支援の虎を通じて全国各地のビジネスを前進させる取り組みを行ってきました。そして第7回価値デザインコンテストでは多くの社会課題解決を実装している企業プレゼンテーションや表彰から、ソーシャルビジネスの実践型や今後の目指すべき社会などの多くの情報を発信することで、全国各地の企業家にとって踏み出すきっかけを生み出してまいりました。

事業区分	事業名	事業内容
公2	価値デザインコンテスト募集事業	社会課題解決と収益を両立するソーシャルビジネスを創造するためのセミナーを開催いたしました。また全国各地から社会課題解決型ビジネスを募集し、社会起業家や投資家の方々と共に、優れた企業と事業の選定を行いました。
公2	価値デザインコンテスト実施事業	募集事業にて選定しました6社の企業がサマーコンレンスの価値デザインコンテストにてプレゼンテーションを行っていただきました。内閣総理大臣、経済産業大臣、環境大臣、デジタル大臣など全6賞をお渡しすることで社会企業の発信を行ってまいりました。
公6	企業交流支援プラットフォーム構築事業	先進的な社会課題解決型企業や日々感じている不満からビジネス着想を学ぶ「アイデアバンク」「不回収センター」や、起業家との交流を行う「支援の虎」、補助金や助成金から実際に行う事業のサポートを行い、全国の企業家の成長を促してまいりました。



会議・委員会名	役職名	担当者名
TOYP委員会	委員長	古賀 久達 (佐賀)

基本方針

魅力ある若い人財を発掘し、日本や世界を良く変えていける人財へ導き、活力ある地域と国づくりへとつなげることを目的とします。



総括

今年度は、日本国内および国外からTOYPへの参加を増やすために、積極的な取り組みを行ってまいりました。エントリー段階から国際的な連携を強化し、各地域のNOMにアプローチし、エントリーの促進を図りました。その結果、JCIインドネシアからご紹介いただいた方が、準グランプリに輝きました。また、選考会では、外部選考員として著名な方々を起用し、最終WEB選考会を実施しました。選考会を経て、7月には松坂大輔氏、松本薫氏、木佐彩子氏をお招きして、サマーコンファレンスにて授賞式典を開催しました。今年は多くの著名人が関与し、褒賞を通じて受賞者にとってより良い機会を提供することができた1年となりました。

事業区分	事業名	事業内容
公2	JCI JAPAN TOYP2023 エントリー募集	TOYP2023として日本のあらゆる分野において、社会に持続的なインパクトを与えることができる可能性を秘めた「傑出した若者(=すごい若者)」を発掘し、日本のみならず世界に向けて発信すべく、本年度は286名の方にエントリーしていただきました。また、新たな取り組みとして、世界で活躍する若者の発掘にも力を入れ、海外から3名のエントリーを獲得しました。
公2	JCI JAPAN TOYP2023 各種選考会	全国各地から集まった傑出した若者の中からJCI JAPAN TOYP2023グランプリ等に相応しい方を公平に選定するため、第一次選考会(書類選考)、第二次選考会(WEB投票)、最終選考会(最終選考委員による)を実施して各受賞者を選考いたしました。
公2	JCI JAPAN TOYP2023 授賞式典	最終選考会にて選出された受賞者を対象に、日本JC最大の運動の発信の場であるサマーコンファレンス内において、授賞式典を行いました。また魅力ある講師(松坂大輔氏、松本薫氏)をお呼びし、実体験に基づく、夢や目標達成に対するトークセッションを行いました。



会議・委員会名	役職名	担当者名
経営デザイン委員会	委員長	辻尾 洋人 (堺高石)

基本方針

健全な企業経営を推進し、生産性向上の実現と、企業の経営基盤を強化します。



総括

「ウェルビーイング経営」そして「人的資本経営」を取り入れない企業は衰退する時代に突入しております。ブラック企業が多いとされている我が国の中小企業の多くが淘汰されてからでは日本経済の損失は取り戻せなくなります。まだ多数の経営者が「残業をなくす」「煙草を吸わないようにすればいい」などの間違っただ健康経営の認識を、「導入することで自社に利益が出る」ところまで理解して企業経営を行っていくことが重要です。力不足から今年度だけでは日本全体の変化は成されませんでした。しかし、日本経済のためにも今後もJCが先陣を切って推進していく必要があると考えます。

事業区分	事業名	事業内容
公5	ウェルビーイングシティ計画	地域企業がウェルビーイング経営など健全な経営手法を学ぶべく各地で説明会を行い、そこで出た意見を各地方自治体へ伝え、企業へ推進してもらうウェルビーイングシティ宣言を推進し、各金融機関へは取り組む企業への融資の優遇を提案しました。
公5	人的資本経営の推進	各ブロック協議会を通じて各地地域企業へ人的資本経営の説明会を行いました。そこで出た中小企業が人的資本経営を導入するにあたってのハードルなど、生の声をQ&Aにまとめ、経済産業省へ提言を行いました。
他	2023京都会議「地域活性化のための企業経営について」	JCメンバーにウェルビーイング経営、人的資本経営の導入の必要性を認識してもらい、各地域で広めてもらうために、講師としてウェルビーイング経営コンサルタント山川泰介氏と経済産業省西村萌氏をお招きし、説明会を行いました。
公2	サマーコンファレンス2023セミナー「社内炎上→業績好調。これ、ウェルビーイング案件です。」	ウェルビーイングシティ計画、人的資本経営の推進事例を発表するとともに、先駆けて導入した志摩市橋爪市長、楽天ウェルビーイングチーフオフィサー小林正忠氏、東京大学特任教授古井祐司氏をお招きし、重要性と具体例を伝えるセミナーを開催いたしました。



ウェルビーイング 実践経過を共有
 茅ヶ崎JC 6月例会で
 『ウェルビーイング経営報告会』を開催した。

茅ヶ崎青年会議所 (=JC / 木村光太郎理事長) が6月15日、市勤労市民会館で例会『ウェルビーイング経営報告会』を開催した。

ウェルビーイングとは、身体的・精神的・社会的に良好



会議・委員会名	役職名	担当者名
地域スポーツ活性委員会	委員長	辻井 貴広 (金沢)

基本方針

人々のつながりが世界のコミュニティへと活動範囲を広げ、すべての人が共に活躍することで地域が活性化する社会の実現。



総括

新型コロナウイルス感染症による社会活動の低下は、地域住民の活動（運動）量を低下させ、地域のスポーツの活動も極めて低調になっており、結果としてスポーツを通じた地域コミュニティの減衰等、地域社会の絆や経済にも大きな影を落としています。また、社会情勢や世界との価値観とのずれが生じているため、次世代のスポーツ環境を整える必要があります。スポーツを通じて地域コミュニティの交流を深め、新たなスポーツ文化を作る事を目的とし、地域住民が主体的にスポーツを取り組む環境として安心安全なスポーツの機会を提供する大会を開催しました。そして、地域活動の基盤を強化することで、協賛企業様をはじめ、多くのパートナーと連携し地域の活性化に繋げることができました。

事業区分	事業名	事業内容
公2	サマーコンファレンス 2023 「esports ∞ possibility」事業	esportsの認知度向上を図るため、プロのesports選手をお呼びしてエキシビション大会を行いました。また、各LOMのesportsにおける取組について、四日市青年会議所野呂理事長とさぬき青年会議所入江理事長にesportsの魅力や地域貢献についてお話しいただきました。
公2	esportsを活用した経済効果による地域活性化の推進	全国各地におけるesportsへの興味・関心を高めていくために、一般参加者にアンケートをとりesportsの認知度を調査しまとめました。また、メンバーや次年度理事長にもアンケートをとり、今後のesportsのさらなる発信につながりました。
公1	JCカップ U-11少年少女サッカー 全国大会予選大会	9月の全国大会に向け、4月～8月の間で、各ブロック・各地区において予選大会を実施しました。九州地区は天候の問題より中止せざるを得ませんでしたが、その他のブロックや地区では大きなトラブルもなく、滞りなく大会を終えることができました。
公1	第9回 MJS presents JCカップ U-11少年少女サッカー 全国大会	予選大会で勝ち上がった各地区の代表チーム総当たりの試合が、福島県のJヴィレッジにおいて開催されました。また、グッドルーサーの精神の醸成を目的としたアフターマッチミーティングやベンチにスタッフを入れないなど新しい試みも試した大会となりました。
公1	JCカップ U-11少年少女サッカー アジアパシフィック大会	今年初めての試みとなるアジアパシフィック大会を名古屋青年会議所と名古屋市市の鶴舞公園にて共同開催することとなりました。7ヶ国10チームにおける総当たりの試合となり、日本からも全国大会で優勝したヴィッセル神戸が出場しました。
公1	部活を地域で支えるシステムの構築推進計画	全国各地の自治体へヒアリングを行い、部活動の地域移行化の推進についての実態調査を行いました。また、次年度の担当委員会にもつなぐために、メンバーや指導員にアンケートを取り、まとめた資料を文部科学省へ提言とする形で提出しました。



国家グループ

国家グループ総括



国家グループ担当常任理事 **山岸 将幸** (大阪)

日本人のもつ互譲互助の精神で誰もが夢を描き活躍できる国家の実現の向け、防災インフラの整備、総合安全保障の確立、ベビーテックの推進やベビーファースト運動の昇華、また、無意識バイアスとセクシャルマイノリティの理解増進に向けた活動。そして、国民の政治参画意識向上のために、第一回全国高校生政策甲子園を開催し、国会議事堂では初めての高校生による政策演説会を実施し、インターネット投票を活用した決勝大会では、4,193名から投票をいただき、メディアにも沢山取り上げていただくことができました。また、今年の全国大会の登録者数は12,390名、登録率は45.6%と非常に高い数字となりました。7つの会議委員会が一丸となり、国家グループの基本方針である、日本人の矜持を呼び覚まし次代に託せる国家の確立が実現できたと確信しております。最後に1年を通して多くの皆さまに、ご理解とご協力を賜り活動が遂行できましたこと、心より感謝申し上げます。

会議・委員会名	役職名	担当者名
誇りある日本人確立会議	議長	永吉 準 (宇都宮)

基本方針

未来に誇れる日本人の確立をする事業の推進・展開



総括

推進事業では全国でセミナーを行い、参加者から互譲互助について理解を深められたとの回答を得ることができ、京都会議では野村氏のオリンピックの経験等を交え、JCメンバーに向け国家グループが考えるメッセージを理解していただくための発信を行い、サマーコンファレンスでは栗山監督から、これからの世界に必要とされる日本人の姿を描き、一人ひとりと向き合うコミュニティを構築する気概を高めていただき、推進運動の成果を発信することができました。全国大会では麻生太郎氏からの力強いJCメンバーへのエールと共に、日本人の底力について講演をいただいたことで、互譲互助の国家観、未来に誇れる日本人の確立ができたと確信しております。

事業区分	事業名	事業内容
公2	互譲互助の国家観を確立させるプログラムの推進	日本人の誇るべき国民性である互譲互助の精神性を、ゆとり教育世代であるいわゆるZ世代に向けて、数ある事実に基づいてセミナーを構築し、日本全国で開催いたしました。互譲互助の精神性を広く伝播できた事業になりました。
公6	2023年度京都会議メインフォーラム「あなたに託す、日本の未来と矜持」	「夢」と私たちが掲げるテーマである「互譲互助」「日本の矜持」「あなたに託す未来」について野村氏のオリンピックの経験や経営者としての考えを交え全国のJCメンバーに向け国家グループが考えるメッセージを理解していただくための発信を行いました。
他	JCI ASPAC日本主催フォーラム「AMAZING JAPAN」	全グループの力を結集し各担当がそれぞれのテーマや役割をこなし、日本の文化や伝統や精神性を海外のメンバーに発信することができました。また、ジャパン ナイトへの参画を促すべくフォーラム内でJAPANブースの魅力について発信し、ジャパン ナイトへとつなぎました。
公2	サマーコンファレンス2023国家フォーラム「呼び覚ませ!!世界に誇るべき国民性」	あるべき理想の日本人についてその重要性を栗山氏に講演いただき、これからの世界に必要とされる日本人の姿を描き、一人ひとりと向き合うコミュニティを構築する気概を対談にて高めていただき、推進している運動活動の成果を発信しました。
他	第72回全国大会東京大会国家フォーラム「日本人の底力」	第72回全国大会東京大会内にて国家フォーラムを実施しました。講師に自由民主党 副総裁 衆議院議員 麻生 太郎 氏をお招きし、45分の基調講演を行いました。また、国家グループとしての総括も行うことで国家グループとしての1年の活動報告も行いました。



会議・委員会名	役職名	担当者名
全国大会運営会議	議長	佐藤 昂紀 (札幌)

基本方針

全国大会を開催することにより、開催地域の魅力と可能性を再認識し、有形無形の様々なパートナーシップを構築し、夢を描き続けられる社会の実現に貢献することを目指します。



総括

第72回全国大会東京大会は「Bridge over the dreams」をテーマとして、全国各地で夢を描き展開されてきた運動を総括し、未来につなげるJCの想いを承継することができました。また、全国各地で新たに夢が生まれ、そこに向けてLOMの力が結集され、全国のJAYCEEたちが、2024年度以降も、JCの存在意義を感じながら運動を展開する意欲を醸成できました。そして、本年度は完全リアル開催としたことで、新型コロナウイルス感染症によるパンデミックによって失われていた対面の機会を取り戻すことができ、新たな全国大会の在り方を示したことで、近年減少していた主管立候補に対してのLOMの機運を高めることができたと考えます。

事業区分	事業名	事業内容
公5	第72回全国大会東京大会	開催地域の魅力と可能性を再認識し、有形無形の様々なパートナーシップを構築するとともに、1年間のJC運動で作り上げた実績とネットワークを継承し、次年度の方針を共有することでJCメンバーのJC運動への意識を昂揚させる機会となりました。



会議・委員会名	役職名	担当者名
強くしなやかな国土創造委員会	委員長	河野 幸治 (宮崎)

基本方針

次世代を担う子供たちが、安心して日本で住み暮らすことができるように、防災に対し平時から官民が連携するしくみの構築を行う。



総括

近年の災害は、全国各地で発災しており、安心できる地域は無い現状にあります。その中で、未来ある子供たちに安心安全な国土を託すためには、官民が一体となって防災意識を高めなければならないと一年間、運動を展開してまいりました。インフラ整備促進に関しては、企業版ふるさと納税を活用し民間資金を基に地方インフラ整備促進の可能性を高め、レジリエンス向上事業では、BCP策定の普及啓発セミナーを開催し発災時に協力体制が構築できる内容を盛り込むBCP策定を推進してまいりました。今回の運動を通し、官民連携の足掛かりになったと確信しております。

事業区分	事業名	事業内容
他	インフラを推進する事業の企画・実施	災害は甚大化している現状にあります。防災力強化のため国費に頼るインフラ整備では加速化に限界があり、官民連携によるインフラ整備のスキームを確立する必要があります。本事業は企業版ふるさと納税を活用してインフラ整備促進に寄与する事業になります。
公6	地域の実情に即したレジリエンス向上事業の推進	レジリエンス認証(BCP)は、自助、公助が盛り込まれた有効なBCP策定認証制度です。レジリエンス認証が世の中に波及し官民が一体となり防災に取り組む構図を確立するために民間企業にインセンティブアンケートを実施し国へ提言する事業になります。
他	有事に備えた災害ネットワークの強化に関する事業の企画・実施 災害が起きた場合の迅速な支援の展開	青年会議所は、単年度制がゆえに引継ぎが上手くいかない場合があります。本年は、防災会議を設立し地区協議会、ブロック協議会の防災担当者で連携し災害時のマニュアル確認や過去の災害事例共有、有事の際の支援方法などを年4回集まり情報共有を図りました。
公6	サマーコンファレンス2023 GROWTH PARK(家族で防災体験)	サマーコンファレンス2023 GROWTH PARK内で、横浜市民に対して遊びで学ぶ防災体験を実施しました。コンテンツの内容は地震体験(起震車)、防災スリッパ作り、防災リュック間違い探しなど親子で楽しめるように計画し防災意識向上のきっかけづくりを行いました。



会議・委員会名	役職名	担当者名
主権者意識向上委員会	委員長	石川 紘嗣 (京都)

基本方針

政治的有効性感覚の向上と誰も取り残さない投票環境の向上を基本方針とし、主権者教育の創出と選挙のデジタル化を推進します。



総括

国民の政治への関心は、投票率をみてもわかる通り年々減少している傾向にあり、また特に若者の政治への関心の低さは顕著です。自分自身の行動が社会を変えることが出来るという感覚を指標化した政治的有効性感覚が、16歳から20歳にかけて急速に落ちることを課題として捉え、本年度は高校生を対象にした新たな主権者教育の創出と誰も取り残さない投票方法の実現の2点を目的に運動を推進してまいりました。第一回全国高校生政策甲子園では、大会を通して各省庁をはじめ全国各地の政治関係者、学校関係者、そして多くの高校生とともに大会を構築し、高校生の新たな主権者教育の場に社会に提供することが出来たと確信しております。

事業区分	事業名	事業内容
公2	第一回全国高校生政策甲子園	高校生の政治的有効性感覚の向上を目的とし、選挙のデジタル化のテーマのもと政策を高校生から募集し、国会議事堂で高校生が演説する第一回全国高校生政策甲子園を開催しました。決勝大会では、ネット投票を用い、国民からの投票により最も優秀な政策を決定しました。
公2	サマーコンファレンス2023セミナー「新・選挙DX進化論!!」	遅々として進まない選挙領域のデジタル化の推進のために、デジタル大臣河野太郎氏をお招きし、デジタル社会で地方がどう変わるか、選挙のデジタル化とは何か、青年会議所が出来ることを対談し、選挙のデジタル化の機運を醸成いたしました。



会議・委員会名	役職名	担当者名
国の安全確立委員会	委員長	林 慎一郎 (調布)

基本方針

すべての人が、国防や経済などあらゆる側面から、安全で安心と思える社会を実現することを目指しました。



総括

国の安全確立委員会では①社会教育士の認知・推進②国民が国防の在り方を議論する事業を中心に、総合安全保障について取り組みを行いました。社会教育士の事業では、社会教育士が活躍できる仕組みの構築に向け、埼玉県をモデルケースに社会教育人材プラットフォームの構築を行いました。また、国防の在り方を議論する事業では、全国学生国防サミットin沖縄と題し、全国各地から大学生を募り、事前勉強会・石垣・那覇の自衛隊基地見学・国防セミナー、防衛省見学を通し、これからの日本を担う若者の考える国防と沖縄という題名で、防衛省への提言を行いました。

事業区分	事業名	事業内容
公4	令和5年 北方領土返還要求全国大会	2月7日「北方領土の日」に、国立劇場にて北方領土返還要求全国大会に参加いたしました。岸田内閣総理大臣をはじめ、各代表が登場し返還に向けた力強いアピールを行いました。
公4	「竹島の日」記念式典 竹島・北方領土返還要求運動県民大会	2月22日「竹島の日」大会式典並びに返還要求大会に参加しました。竹島は日本固有の領土であり、日本青年会議所を代表し、加藤副会頭が力強くアピールをおこない、竹島問題の一日でも早い解決を要求しました。
公4	日本を守るのはキミだ!~2023 全国学生国防サミットin沖縄~	全国から33名の大学生に参加いただき、石垣駐屯地、那覇自衛隊基地の見学や防衛省見学ツアーを通し、実際に体験し、自らが考える機会を創出しました。大学生が考える防衛と沖縄と題し、防衛省へ提言書を提出しました。
公4	サマーコンファレンス2023みんなで考えよう国の安全謎解きPARK ~地球防衛隊 ザ・ミッション~	サマーコンファレンスにおいて、防衛省協力のもと、幅広い年代に身近に国防を感じてもらえるように、謎解きPARKを開催しました。屋外会場を使い、楽しみながら国防について学ぶとともに、当委員会の一年の運動総括を行いました。
他	埼玉県社会教育人材プラットフォーム キックオフ交流会	社会教育士の認知・推進の為、埼玉県をモデルケースに社会教育人材プラットフォームをつくりました。県内の社会教育士・社会教育主事を中心に、文部科学省からも参加者をお招きし、総勢50名を超える参加者のもと自走できる仕組みの創出を行いました。
公4	第54次北方領土返還要求現地視察大会	9月23日に北海道根室市納紗布岬において第54次北方領土返還要求現地視察大会が行われました。



会議・委員会名	役職名	担当者名
多様な社会推進委員会	委員長	尾本 勝征 (福岡)

基本方針

すべての中小企業が多様な人財が日本の未来を支える原動力であると理解し、能力を最大限発揮しやすくなる環境づくりに向けて運動を推進しました。



総括

多様な人財が活躍しやすくなる社会を実現するため、企業内に存在する無意識バイアスの解消とセクシャルマイノリティの理解増進に向けたセミナーを開催しました。また、企業が社内においてLGBTQ+の理解と取り組みを可視化するためにLGBTQ+フレンドリー企業となってもらい、その宣言した内容をWEB上で広く発信しました。本年、理解増進法が立法され、これから基本計画等を作成するタイミングであり、日本国内で事例やデータが少ない中、最終的にこの取り組みを政府へ提言することはダイバーシティ推進を後押しする好機となることができたと確信しております。

事業区分	事業名	事業内容
公2	すべての人が個性と多様性を尊重され活躍しやすくなる社会づくりの推進	職場環境改善のためにセクシャルマイノリティに関する知識と無意識バイアスに気付いてもらうセミナーを企業の人事担当者、経営層に向けて実施しました。また、LGBTQ+フレンドリー宣言を企業に行ってもらい、その取り組みをWEB上で広く発信しました。この運動を推進したことで企業の理解増進と企業の取り組みを可視化することにつながりました。
公2	サマーコンファレンス2023セミナー「This is me～すべての色が輝く未来～」	本年度の運動の成果やダイバーシティ推進企業の事例を用いてセミナーを開催いたしました。多様な人財が活躍しやすくなる社会をつくるために、企業が当事者意識をもち社会的包摂の実装に取り組みきっかけとなることの重要性について理解していただきました。



会議・委員会名	役職名	担当者名
次世代社会デザイン委員会	委員長	石川 暁棋 (東京)

基本方針

企業が子育てを応援する仕組みを構築し、誰もが子供を産み育てやすい社会をつくることを目指しました。



総括

次世代社会デザイン委員会では、①ベビーテック推進、②結婚パスポート推進、③ベビーファースト運動と年間を通して3つの取り組みを行いました。ベビーテックでは、ベビーテック企業11社と協力して、全国の子育て家庭に対してベビーテック製品をモニタリングとして使用してもらいました。また、岡山県井原市において結婚パスポートの導入ができ、実際に7月よりセレクトカード発行を始めています。ベビーファースト運動では、490件を超える企業や自治体からの賛同をいただき、岡山県高梁市ではベビーファースト運動に参画した企業に対する減免制度や福島県郡山市ではベビーファースト給付金制度ができました。

事業区分	事業名	事業内容
公5	子育てを応援する仕組みの構築推進	企業が子育てを応援する仕組みを構築し、誰もが子供を産み育てやすい社会をつくることを目指し、ベビーテック推進、結婚パスポート推進、ベビーファースト運動を全国に広げました。



(19) 地 域 東 2023年(令和5年)4月4日(火曜日) 中 国

新婚さんに割引パス 井原市とJC6月開始

井原市と井原青年会議所(JC)、日本青年会議所は6月、結婚を後押しする「結婚パスポート事業」を連携して始める。新婚の夫婦にカード型の証明書を発行し、飲食や買い物で割引引くなどの特典を設け、結婚の機運を高めるとともに経済の活性化を目指す。

市などによると、少子化対策としては全国的にも珍しい取り組みで、他の市町村への波及効果も狙う。市などは今後、市内や近隣自治体で協賛企業を募り、広げていきたいという。

市と井原JCは結婚パスポート事業を第1弾と位置付ける経済活性化などの包括連携協定を結んだ。市役所であった締結式で大舌敷市長は「若い人と一緒に結婚の機運を盛り上げたい」と期待を込めた。井原JCの竹本大雅理事長も「井原のために活動したい」と意気込んでいた。

同市の婚姻届数は2019年が122件、20年が119件、21年が95件と年々減っている。(西均)

協定書を手にする大舌敷市長と竹本理事長



組織グループ

組織グループ総括



組織グループ担当常任理事 小林 秀気 (小諸)

組織グループでは「夢を描ける人財育成による組織体制の強化」をグループの基本方針として、総合連絡調整機関として原点回帰し、LOMの利益増進を協議会と協議をおこなう、全国連絡調整会議を設置し各ブロック会長からLOMの声や現状を届けていただき、そのLOMの適切な支援策を議論するなど双方向の情報を共有致しました。また、2020年代協議会モデル答申書のアップデートを進め各協議会の答申書をアップデートし、次年度協議会役員に引継ぐことで課題を明確となる仕組みが構築できました。そして、理念共感拡大ランドデザイン3年目の理念に忠実な運動の展開を組織グループ全体で推し進めると共に、地域経済の発展と成長を今後担う若いリーダーの輩出につなげることができました。最後に1年を通して多くの皆さまに、ご理解とご協力を賜り活動が遂行できましたこと、心より感謝申し上げます。

会議・委員会名	役職名	担当者名
JC未来創造会議	議長	東野 篤史 (守口門真)

基本方針

組織の歪な関係解消に向け、理念共感による組織体制の強化で総合連絡調整調整機関としてのプレゼンスを高めます。



総括

2023年度日本JCが軸として力を入れた総合連絡調整の組織体制の強化にあたり、運動を展開してまいりました。組織グループ全体として、LOMの声を直接聞くことのできる相談会の指揮を取り京都会議、サマーコンファレンスにて新たな組織体制を構築しました。そして、全国連絡調整会議の事務局として、年間を通じブロック会長とともに意見交換や勉強会を実施し、初年度としては課題と改善を見出すきっかけを作ることになりました。また、2020年代協議会モデルアップデートに基づき、総会での宣言を皮切りに年間を通じ地区協議会、ブロック協議会のアップデートを図る運動を実施し、サマーコンファレンスでのフォーラムを機に協議会がアップデートする仕組みが構築されました。

事業区分	事業名	事業内容
他	全ての組織が躍動するDoタンク推進	理念共感拡大グランドデザインの推進による理念浸透率の調査と浸透率改善のため、セミナーや各会議委員会のアクションによって運動を行いました。そして、LOM支援を活動ではなく、運動にするべく協議会とのミーティングを繰り返し行いました。
他	全力サポート!LOM支援なんでも相談会	組織グループが一体となって、LOM支援に取り組むべく相談会を実施し、LOMの抱える悩みや課題を直接聞くことができ、具体的に支援を行うきっかけを創出するとともに、組織グループ全体としても各会議委員会の職務の知識を深め体制を強化することができました。
他	時代に合わせた組織づくりの指針になる仕組みづくり	時代に即した協議会のアップデートを実践するべく、総会にて宣言を皮切りに、それぞれの協議会が抱える課題を改善するためにレポートの作成と、サマーコンファレンスでのフォーラムを行い、アップデートを行う仕組みを構築しました。
他	サマーコンファレンス2023組織フォーラム「会頭緊急会見～協議会って本当に必要!?～」	年間通じ協議会アップデートを推進してきた内容を発信するとともに、協議会がさらにLOMにとって有益な組織体系となるべく、センシティブな切り口でのフォーラムを行うことで、LOMの声を吸い上げ、協議会が大きく動く起点となるフォーラム実施しました。
他	サマーコンファレンス2023全力サポート!LOM支援なんでも相談会	京都会議から、さらに相談会をアップデートさせ、相談会のみではなく年間の支援報告や実例を交えたミニセミナーを一日通じて行い、LOM支援のラストスパートとなる相談会を実施し、京都会議での動員を上回るメンバーにご参加いただきました。



会議・委員会名	役職名	担当者名
リーダー育成会議	議長	矢野 陽一（四日市）

基本方針

夢を語り、周囲の方を巻き込みながらリーダー自身がワクワクし、目を輝かせ実現に向けて行動しているという会議体の夢の実現。



総括

リーダー育成会議では本年度、夢を語り、周囲の方を巻き込みながらリーダー自身がワクワクし、目を輝かせ実現に向けて行動していることを会議体の夢として、京都会議、3月総会、サマーコンファレンス2023においてフォーラムを開催し、また、年間を通して、全国の対内メンバーに向けてリーダー育成を目指し、各47ブロック協議会のアカデミー生に向けた事業をサポートするブロックアカデミー連携事業の推進、青年経済人アカデミー、理念共感プロモーター育成プログラムを実施して参りました。この1年間において、確実に夢を語り周囲を巻き込みながら行動するリーダーの育成が全国に誕生する機会の創出と提供をすることができたと確信しております。

事業区分	事業名	事業内容
他	ブロック連携によるリーダー育成アカデミー推進計画並びに組織を牽引できるリーダーの育成推進計画の進捗報告について	ブロック連携によるリーダー育成アカデミー推進計画として、ブロックアカデミーの支援とJAYCEE育成カリキュラムの推進をいたしました。JC活動をする上で必要な基礎知識と、何のためにJCをやっているのか、自身の理念を発掘していただきました。
公2	青年経済人アカデミー	夢を語り、周囲を巻き込み地域の課題解決に向け行動する人財の育成と創出を目的としアカデミーを開催いたしました。地域で活躍するリーダーに、必要となる資質や知識を身につける講義と、地域の課題解決方法を学ぶ実践型グループワークを実施いたしました。
公2	2023年度京都会議メインフォーラム「夢を語り、実践するリーダーの必要性」	2023年度京都会議のテーマである「Remember Your Dream」を具現化するため、夢を語り、実践するリーダーの必要性を理解していただくために坪内知佳氏をお招きし、夢を夢で終わらすことなく周囲を巻き込みながら実行に移していくリーダー像についてご講演いただきました。
他	理念共感プロモーター育成プログラム	2021年に策定した理念共感拡大グランドデザインの達成に向け、昨年度のプロモーターを引き継ぎ、2023年度のフェーズである、理念に忠実な運動の展開を実践しながら、次年度のフェーズである理念共感による会員拡大に挑戦できる人財の育成と支援を実施しました。
他	2023年度3月総会 組織フォーラム「夢に向かい躍動する組織へ」	2023年度3月総会組織フォーラムのテーマである「Act With Dream」を具現化するため、自身が描いている夢の達成に向け、組織としてその歩みを加速させることを目的とした講演及び鼎談を青山学院大学陸上競技部監督の原晋氏をお招きし、実施いたしました。
公2	サマーコンファレンス2023組織フォーラム「Action for Growth!! ~変化する時代に生きる輝くリーダーの覚悟~」	谷本有香氏、山口絵里子氏、齋藤潤一氏をパネリストに迎え、自身の描く夢に向かって実践しているリーダーのストーリーを聴くことで参加者の方々が自分に置き換えて疑似体験をし、今後、夢実現の実行に移すことの重要性を理解していただきました。
他	理念共感プロモーター育成プログラムガイドライン	2021年に策定した理念共感拡大グランドデザインの達成に向け2023年度のフェーズである、理念に忠実な運動の展開から、2024年度のフェーズである理念共感による会員拡大に挑戦できる人財育成のガイドラインを策定し支援を実施しました。



会議・委員会名	役職名	担当者名
LOM支援委員会	委員長	梅津 賢一（相模原）

基本方針

それぞれのLOMが課題に気づいて即座に対応できる体制をつくり、一人ひとりがいきいきと活躍できる組織の構築をする。



総括

LOM支援委員会では、会員数の減少や経験のあるメンバーの卒業により、自分たちだけでは事業構築を行うことが難しいLOMに対してリモートメンバー制度を導入しながらサポートしてまいりました。また、リモートメンバー募集サイト「まちツク」を通して生徒数約24,000名を有する角川ドワンゴ学園と連携し、N高等学校の生徒や大学生を事業へ参画させるプラットフォームを構築し支援につなげました。そして、多様な人財が活躍できる組織を目指し育LOMの推進を行ってまいりました。事業ができずに悩んでいたLOMが、支援を通じて事業を開催し運動を発信できたことは、JC活動に誇りをもっていただくきっかけになりました。

事業区分	事業名	事業内容
他	LOMの実情に合わせた支援	支援が必要なLOMに対して地区、ブロックと連携して関係構築を図って支援内容を決定し、リモートメンバー制度の活用しながら事業構築をしました。また、京都会議での公開委員会や、LOMの要望に合わせて組織変革に関するセミナーなども実施しました。
他	LOM新設及び発展のための情報収集・支援	LOM新設に向けて47ブロックのLOM空白地を調査し、地域の潜在的可能性を探りました。その中で新設実現性の高い空白地の設立支援を協働できるパートナーや既存団体の調査及びヒアリングを実施しました。
他	リモートメンバー制度の調査分析	支援を要するLOMに対し、委員会メンバー、他LOMメンバー、角川ドワンゴ学園N高等学校をはじめとする学生を遠隔地から派遣するリモートメンバー制度の構築を行いました。また、募集サイトの「まちツク」でプラットフォームを構築しました。
他	多様な人財が力を発揮できるLOM環境の整備	各LOMの育LOM取得に向けて、各地でのPR活動や組織改革に関するセミナーを実施しました。また、多様な人財が力を発揮できる組織の環境整備として、学生会員など様々な人財が活躍する事例の紹介を実施して支援をしてまいりました。
他	サマーコンファレンス2023セミナー「あのLOMはもう始める組織変革～夢を描けるLOM運営へ～」	全国各地のLOMで実際に取り入れられているリモートメンバー制度や学生会員など様々な組織変革の事例を紹介し、LOMメンバーの一人ひとりが活躍できる環境整備を実施していただくためのセミナーを実施しました。



会議・委員会名	役職名	担当者名
会員拡大委員会	委員長	石垣 智史(勝山)

基本方針

会員全ての会員拡大に対する意識の底上げする事で持続的な組織の構築をする。



総括

会員拡大委員会では、在籍年数の少ないメンバーが増える一方、歴はあるがコロナ禍の影響で会員拡大をした事のないLOMに対して、交流会の実施や、現地とオンラインでミーティングや講演を実施し、クロージングのサポートまでさせて頂きました。その中でもLOMだけでミーティングや交流会を行うのではなく、ブロック協議会を巻き込んで人脈的なスケールメリットを出すなど工夫を凝らした交流会を行うことにより、ブロック協議会としてもLOMの課題を共有する事でサポート体制の構築に繋がりました。会員拡大をした事のないLOMがサポートを通じて会員拡大の意義や目的を理解することで持続可能な組織づくりのきっかけになりました。

事業区分	事業名	事業内容
他	LOMの会員拡大の支援・連携体制の構築	全国の地区、ブロック、LOMに会員拡大に対する情報の提供と毎月2回の拡大ミーティングを行いました。また、各所LOMやブロックを訪問して会員拡大の交流会の実施、クロージングまでサポートしました。ブロックを巻き込むことで持続的拡大支援を行いました。
他	2023年度京都会議「会員拡大連携協定締結式」	京都会議にて会員拡大連携協定を47LOMと締結しました。締結LOMの代表として赤穂青年会議所の理事長、兵庫ブロック協議会会長、日本青年会議所麻生会頭にご登壇いただき、締結後に決意表明いただきました。麻生会頭からは全国のメンバーへエールをいただきました。
他	2023年度京都会議「公開委員会」	京都会議にて2022年度日本青年会議所会員発掘会議、議長の鈴木一成先輩を招いて公開委員会を行いました。全国のLOMの状況について話して頂き、クロストークでは理念共感やJCの意義や目的について話して頂きました。
他	会員拡大に質する支援スキームの情報提供	2022年度の会員拡大アワード獲得LOMにヒアリングを行い、各ブロックやLOMに情報提供を行いました。今までの拡大手法だけでなく理念共感での拡大手法やコミュニケーションの大切さなども伝えさせて頂きました。
他	日本JCシニア・クラブとの連絡調整	日本JCシニア・クラブとは年当初から密に連絡を取り、各所LOMにも講演に行って頂きました。全国大会では共同して二会場使い会員拡大講演を行って頂きました。



会議・委員会名	役職名	担当者名
運動プラットフォーム推進委員会	委員長	黒澤 亮 (藤岡)

基本方針

良質な運動構築を学び、人財育成の均質化を図り、他者からの評価である褒賞の獲得でより良い未来の運動につなげます。



総括

当委員会は良質な情報共有に特化したLOM支援、メンバー支援ツールを提供する委員会です。運動プラットフォームをいつでも誰でもどこでも使えるJAYCEEのためのツールとして昇華させたことにより、その利用価値が高まり、大幅な利用者増につながられました。この運動プラットフォームを起点に、褒賞事業への関心を高め、受賞事業をロールモデルとして普及させ、さらに高みを目指したJCI AWARDSの申請支援を行うというサイクルから、各地でより良い未来の運動を生み出すことにつながったのではないかと考えます。そのためこの運動は一年一年の積み重ねにより、LOMやメンバーをさらに高い領域に導いていける素晴らしい運動であると確信しています。

事業区分	事業名	事業内容
他	運動プラットフォームの活用推進・支援	運動プラットフォームの活用推進を行いました。動画広報による認知度向上とリニューアルによる利用価値向上を図りました。動画コンテンツの追加、Gian Pocketやアワードライブラリーなどを運動プラットフォームに集約することで利用者増につなげました。
他	Gian Pocket の進化・発信・活用促進・相談窓口	Gian Pocketの活用推進を行いました。今年度は見てもらうことはもちろん、議案をアップロードしていただくことに力を入れ、ブロック協議会との連携や、AWARDS JAPANへのエントリーを同時に行えるようにしたことで、LOMからのアップロード数を増やせました。
他	褒賞事業の募集・選考会実施: 「AWARDS JAPAN 2023」	AWARDS JAPAN 2023のエントリー事業の募集と審査を行いました。例年よりカテゴリー数を減らし、エントリー内容を簡素化したことにより、新型コロナウイルス感染症拡大後では最大のエントリーLOM、エントリー事業数を達成できました。
他	褒賞事業の企画・運営・実施: 京都会議2023「AWARDS JAPAN 2022」	3年振りのフル開催となった、京都会議にてAWARDS JAPAN 2022を開催し、会場の定員を超えるメンバーの皆様にご参加賜りました。優れた事業やJC運動の功労者に各LOMの発展へつなげ、優れた政策立案を学ぶ契機から運動の発展へ導き、次代へ継承しました。
他	褒賞受賞事業のロールモデルの確立・普及	褒賞受賞LOMやノミネートLOMのエントリー内容をデジタル冊子で配信、褒賞受賞LOMの取材内容の配信、褒賞受賞事業の議案のGian Pocketへのアップロードを行い、持続的にロールモデルとなる事業を学べる環境をつくりました。
他	JCI AWARDS 獲得に向けた戦略の構築	JCI AWARDSの受賞NOM・LOMの分析を行い、JCI AWARDS獲得に向けた戦略の構築を行いました。
他	JCI AWARDS の発信・申請支援	JCI AWARDSの申請に関する情報発信や、申請の支援を行いました。ASPACでは呉JCと金沢JCの受賞につなげることができました。



会議・委員会名	役職名	担当者名
JC教育推進委員会	委員長	今住 一童 (ひびき)

基本方針

LOMが抱える問題点を調査し、ニーズに合わせたプログラムの提供、開催方法の提案を行うことで、メンバーがJCに対する理解を深めることができるように、さらなる成長と発展の機会を提供し、メンバーの成長につなげます。



総括

JC教育推進委員会はJCプログラムの推進を行いLOMの課題解決や個人の成長に寄与する委員会です。1年間を通して全国のLOMでスムーズにプログラム開催が行えるように開催LOMとの打ち合わせを重ね500件弱の開催を行いました。JCプログラム以外で毎年毎年に500回も開催されるセミナーは他にはありません。それだけ全国のLOMからJCプログラムが求められている証拠だと確信しています。また、HT不足の中、新規HT目標数値を達成する事はできていませんが、トトレレを年間30回行い、これから新たにトレーナーを目指すATの方も増え必ず今後のJCプログラムの発展につながる1年になったのではないかと感じています。

事業区分	事業名	事業内容
他	JCIコース及びJCI日本公認プログラムの導入推進・実施	JCIコース及びJCI日本公認プログラムの推進を行い、年間で500件弱の開催件数となりました。LOMからの問い合わせには迅速に対応しLOMの課題や現状のヒアリングを行いプログラム内容とHTを選定してきました。
他	公式コース・JCI日本公認プログラムトレーナー育成	JCプログラムのトレーナー育成を行いました。HTを生み出すために、年間で30回のトトレレを開催しました。また、ATとHTがより良い関係性を築くためにトレーナー懇親会を京都会議・サマコン・全国大会で開催しました
他	各種大会でのJCプログラムの実施	京都会議・サマコンでJCプログラムの開催を行いました。京都会議ではJCゲームを開催し、サマコンでは4つのプログラム開催を行い全てにおいて定員を超える参加者が集まりました。



会議・委員会名	役職名	担当者名
コミュニケーション推進委員会	委員長	島田 直樹 (大阪)

基本方針

組織理念を軸に円滑な会員同士の相互理解を促進し、個々が健全な状態を維持し持続的な活動を続ける支援を目的とします。



総括

昨今、直接的な交流の機会が大きく制限され、人と人とのつながりが希薄化し、理念共有や意思疎通が不足することで組織の力が弱まることを課題としました。リクルートワークス研究所職場における集まる意味の調査によると、コロナ禍前からのコミュニケーション量の変化は40%近くが減ったと感じ、目的以外の雑談等は45%減少したとのデータがあります。個々の強みや経験を最大限組織に活かし、組織力を最大化していくために、コミュニケーションの必要性や具体的な手法を推進する必要があると考え、LOMへのサポートを推進いたしました。対話を軸とした1on1ミーティングを推進し、相互理解が高まり組織内の活性化につなげることができました。

事業区分	事業名	事業内容
他	多様な考え方を促進し組織改善推進計画	人と人とのつながりが希薄化しLOMの発展にも影響がある中で、個々の強みや経験を最大限組織に活かし組織の力を最大化していく必要があると考え、コミュニケーションを円滑に図るため心理的安全の作り方を主軸として1on1ミーティングを推進いたしました。
公2	サマーコンファレンス2023セミナー「そのコミュニケーション古くない?いつ変えるの?今でしょ!組織力を高めるワザ教えます!」	LOMや社業に取り入れ実践していただくため、本セミナーを実施いたしました。第1部では伊藤羊一氏より、急速に社会が変化する中でのコミュニケーションの取り方や、対話の重要性、具体的な取り組みについてご講演いただきました。第2部では委員長との対談を行い、場内からの質問を伊藤氏に解説していただきながら委員会の実施事例を紹介しました。



総務グループ

総務グループ総括



総務グループ担当常任理事 谷口 雄紀 (高松)

総務グループでは「組織ブランディングの向上と夢を実現する組織運営」を基本方針とし、日本JCの組織基盤を盤石なものとするために運営を行ってまいりました。より多くの人々に青年会議所の魅力ある運動や存在意義の認知を促進するために、1年を通して各マスメディアへの訪問を行い、密に連絡を取り合う中で時流に合わせたトピックの調査や社会が求めるテーマの発信を行いました。そして、対内広報では情報がより目に入りやすくするために、デザインや発信方法を既存のルールにとらわれることなく、大きく刷新しました。さらに、コロナ禍を通して失われた、現地で開催する諸会議や事業を取り戻すために、時流に合わせた柔軟な運営方法を検討・実施し、現地開催でしか得ることのできない成長の機会を最大化しました。また、青年会議所会館の建替えに関しては資金計画や建築計画を構築し、第174回総会にて審議を得ることができ、大きく計画を進展することができました。最後に1年を通して多くの皆さまに、ご理解とご協力を賜り活動が遂行できましたこと、心より感謝申し上げます。

会議・委員会名	役職名	担当者名
JCブランディング会議	議長	伊住 公一朗 (京都)

基本方針

日本JCの運動や活動が多くの人に知られ、その魅力が自然と市民の中で伝播し、JCが日本にあって良かったと思われる存在となる。



総括

2023年度JCブランディング会議では、社会的認知度の向上を背景とし、対外により多くの理解者や協力者を増やすべく活動して参りました。主に対外向けにJCとしてのブランディングを確立するため、各マスコミ・メディアとの継続的な関係構築やSNSを利用した対外発信を実施して参りました。また、ブランディングにおいて最も重要である画一的な広報発信の品質を担保するため、各会議や委員会の皆様もご協力をいただき、情報管理・統制に努め、矛盾のない情報発信を実施いたしました。機関誌であるWe Believeにおいてもメンバーだけでなく、その周囲の人々も気になって読んでしまう誌面構築に努め、毎月発刊いたしました。

事業区分	事業名	事業内容
他	魅力ある JC の活動が人々に届くブランディング戦略の策定・実施	ホームページや各諸大会の特設ページをよりわかりやすく構築することに努めました。また、各種SNSに関しても情報管理を徹底し、魅力あふれる発信を実施いたしました。さらに広報マニュアルやルールの精査を実施し、品質の担保に努めました。
収3	組織への関心が高まる機関紙 We Believe の作成・発刊・管理	家族や社員、友人にとっても見てもらいやすい機関誌を目指し、毎月作成・発刊いたしました。また、各地域の魅力を発信することで世界に通用する日本のコンテンツをメンバーや周囲の人々に共有できるように作成いたしました。
他	外部メディアや広報の専門家との関係構築・連携	各諸大会の情報発信や日々の広報活動を通して、多くのマスコミ・メディアとの連携を図りました。京都会議では、清水寺で記者会見を実施し、多くのメディアに報道いただきました。また、外部アドバイザーに協力いただき、広報に関する課題抽出に努めました。
他	各会議・委員会の広報活動の支援	広報に関するセミナーを実施し、各会議・委員会の情報発信精度を高める機会を創出いたしました。また、他の会議・委員会が公開する動画の支援のため、ショート動画を作成し、元動画への導線を構築いたしました。
他	マスコミ・メディアが求めるトピックやテーマの調査・分析・発信	マスコミ・メディアとの意見交換会を実施し、最新のトピックや求められるテーマなどに関する情報を相互に交換いたしました。
他	JCブランディング会議による情報発信の管理統一	定期的な広報審査会議を通して、日本青年会議所としての画一的な情報発信ができるように努めました。また、各会議や委員会、地区等からの情報発信も集約し、情報の一人歩きを防止するとともに、情報管理にも注力いたしました。



会議・委員会名	役職名	担当者名
財務運営会議	議長	三宅 功一（名古屋）

基本方針

外部資金の調達と新規外部資金調達の拡大を通じ、より深い賛助企業との連携と安定的な財政計画でJC運動を最大化します。



総括

本年度は、基本計画に掲げた目標の達成に向け、賛助企業との連携、クラウドファンディングの推進、附帯収益の管理、青年会議所会館建替会議の運営を重点に取り組みました。クラウドファンディングでは、CAMPFIREと提携し、30件のプロジェクトから800万円以上の寄付を獲得しました。また、附帯収益の管理では商品ラインアップを拡充し、会員数が限られるLOM向けにアジェンダシステムを構築しました。さらに、青年会議所会館建替においては、設計施工者の選定と基本計画の見直しを行いました。

事業区分	事業名	事業内容
収2	JCI日本の財源の確立及び新規賛助企業の拡大	新規賛助企業の確立も目指し、1社の新規賛助企業を獲得しました。
他	賛助企業の諸大会・事業におけるブースの設営・対応	京都會議、サマーコンファレンス、全国大会開催時に賛助企業と相互のメリットを検討し、ブース出展していただき、各賛助企業の周知を行いました。
収1	青年会議所会館の管理・運用	建て替えが検討されている青年会議所会館において、必要な修繕を取捨選別し、持続的な使用を担保するために運用を行いました。
他	青年会議所会館建て替えに向けた建設計画の実行	青年会議所会館準備会議を設置し、青年会議所会館建て替えに関する設計施工者を選定しました。また、設計施工者からの提案内容を踏まえ、基本計画の修正を行いました。
他	災害時における資金管理マニュアルの更新	災害時における資金管理マニュアルのブラッシュアップを行いました。
他	各LOMの財政基盤強化のための賛助企業の紹介、協賛金の獲得支援窓口	各LOMからの協賛企業獲得に向けた問い合わせや手法に関しての質問などに対応させていただきました。
他	助成金に関する調査・支援	CAMPFIREとの連携(手数料の優遇)を実施し、2023年度は30件のプロジェクトが登録され800万円を超える額の寄付をいただきました。
収2	必携品の活用方法の改善	株式会社和光と連携し、必携品の改善に努め町田。BIBLE OF JAYCEEやNEW JAYCEEの電子化やプレゼンテーションリソースの見直しを行いました。
他	相互メリットのある企業や団体とのマッチング・連携	日本JCとして、相互メリットのある企業や団体を検討し、連携を構築しました。



会議・委員会名	役職名	担当者名
財政審査会議	議長	井上 和也 (海老名)

基本方針

公益社団法人であり、会員からの信託に基づく会費を取り扱う日本JCの会計処理について、適法だけでなく、適正かつ透明性の高い状態を維持する。



総括

財政審査会議は、主として事業費が適正であるか、公益性が担保されているか等について審査する立場ですが、会議委員会に積極的な指導をすることで、各委員会について各会議委員会が実現したい夢を後押しできるように進めてまいりました。加えて、前年度からの引継ぎ事項である、協議会口座の難化に対する対応策や、今年度開始したインボイス制度への対応等、時代の変化にどう対応していくかについて、JCにあった形での法令順守ができるよう、内部会計監査人グループと協働しながら年度途中での対応を進め、次年度以降にも混乱が生じないようにいたしました。

事業区分	事業名	事業内容
他	予算書及び決算書の精査	JCI日本が公益法人であり続ける(公益比率が50%以上)ために、各会議・委員会と予算折衝を行い、各事業における予算書、決算書を確認し、財政面の健全化、事業の公益性を保ちました。
他	諸事業の予算及び決算の審査	諸会議の運動が最大限の効果を発揮するために、各会議・委員会の予算及び決算審査、事業の費用対効果について月1回の審査会議を行い、会計の透明化を図るとともに、事業の実施が確実に遂行されるようにいたしました。
他	各会議・委員会の会計指導・支援	各会議・委員会が出向者から集める会議・委員会会計について適切に運用できるよう、会計幹事へ指導・支援し、各会議・委員会の運営の適正化を図りました。
他	各協議会事業の予算・決算審査及び月次決算の指導・支援	地区・協議会の運動が最大限効果を発揮するため、予算・決算の確認、財務局担当者の支援・指導を行うこと、及び予算決算業務の一助となる動画を作成・配信することで、運営の適正化及び透明化を図りました。
他	監事及び内部会計監査人グループと連携・支援	JCI日本の財務面での健全化と事業の公益性、費用対効果を担保するために、監事や内部会計監査人グループとの連携を強めることで、監査結果の精度を高めました。
他	諸事業の公益目的の管理	JCI日本が公益社団法人格を保つために、公益目的に沿った諸事業が開催されているかを確認する公益審査会議を行いました。
他	各協議会事業の公益目的に関する指導・支援	JCI日本が公益社団法人格を維持するために、各協議会が公益目的に沿った事業を開催できるよう相談・指導及び支援を行いました。
他	各協議会会計に関する相談窓口の開設	各協議会の会計を適正に保つために、実地及びSNSを駆使して相談を行うことで、各地区・協議会の会計問題をスムーズに解決するよういたしました。
他	各LOM会計に関する相談窓口の開設	各LOMの会計の健全化を図るため、財政審査会議メンバーが各LOMの相談に応じて必要な助言指導を行うとともに、財政審査に関する動画を配信することで、会計問題や公益比率問題の課題解決に寄与し、適正かつ透明な組織となるよういたしました。
他	組織運営の向上に向けた業務の効率化とDXの実践	JCIにおける会計業務の効率化を図るため、DXを利用して組織内での情報共有・確認・承認等の作業の効率化を実践することで、組織体質の機動化を図りました。
他	議案や事業における会計処理を効率化し誰でもチェック機能が果たせるシステムの調査・策定	様式やマニュアルの改訂作業を繰り返すことで、入会年数の短い会員でも、予算管理のミスを少なくリソースを適切に活用した事業構築ができるシステムを構築し、審査業務の効率化を図りました。



会議・委員会名	役職名	担当者名
規則審査会議	議長	栗田 泰吉 (静岡)

基本方針

突然のリスクにも柔軟に対応し、コンプライアンス管理体制において揺るぎない信頼を獲得する、あらゆる法人の模範となる組織。



総括

規則審査会議は、日本JCに所属する35議委員会、57地区ブロック協議会、それらが構築する事業や事務対応等が膨大にある中であらゆる法人の模範となるコンプライアンス管理体制を構築するため「仕組み作り」と「実践」を日々行いました。具体的には、①ルールに則った組織運営、②事前のチェック、③青年会議所メンバーに対する意識啓発、④青年会議所メンバーのための相談窓口設置という観点で「仕組み作り」と「実践」を行いました。コンプライアンス管理体制を構築することが組織の信頼を高められることを実感した1年でした。膨大かつ迅速な確認が常に求められる中、コンプライアンス管理にご協力いただいた全ての方々に感謝を申し上げます。

事業区分	事業名	事業内容
他	公益社団法人としての定款並びに規則の管理	明確なルールに則って運動を最大化するため、国際大会誘致を希望する推薦会議所を選定する細則策定、複数LOMが全国大会を主管するための細則改正、倉庫内の紙資料を削減してデータ化する細則改正策定、JC会館建て替えのため必要な規則の改正作成を行いました。
他	コンプライアンス審査会議	日本JC本会上に上程される全ての議案に対して、毎月コンプライアンス審査会議を行いました。また、審査会議の基準となるコンプライアンスマニュアル、コンプライアンス様式について、より適切なものとするためのブラッシュアップを行いました。
他	コンプライアンスに関する相談窓口	全国の青年会議所会員に向けてセミナーを計6回実施したほか、グループLINE等を通じて、すべての地区協議会、ブロック協議会、会議委員会、LOMの相談窓口となり、危機管理マニュアルを作成して、社会の信頼を応えられるよう助言支援を行いました。
他	LOMの法人格に関する業務	公益社団法人として、遊休財産保有制限規定を守りながら、単年度を越えた公益事業の計画に備えるための規程作成を行いました。また、公益から一般に法人格を移行するための支援や提言、青年会議所の解散や名称変更等に関する相談を受けて、支援を行いました。
他	対外関係者に関する文書の管理に関する業務	対外関係者と関係する契約書や対外配信資料の事前確認を行いました。会頭公式文書については、組織の意思決定を円滑に行うためグループウェアによる運用を構築し、体裁を含めて確認をしました。2023年度の報告となるアニュアルレポートの確認と作成をしました。



会議・委員会名	役職名	担当者名
対内広報確立委員会	委員長	森谷 圭 (神戸)

基本方針

すべてのJCメンバーが組織の展開する活動や運動に誇りを持ち、JCの魅力の本気で語ることでできるメンバーが全国に溢れること。



総括

撮影・記録業務においては、写真データのクオリティに注力しました。多くの理事会構成メンバーが共有した写真データを利用し、それぞれ個人や各協議会のSNSアカウントに投稿していただいたことで、日本JC公式SNSからの発信だけではなく、広域な広報発信が確立され、メンバーのJC活動への理解の促進と魅力を語れるファンを生み出すことにつながりました。また、「留まる広報」をテーマにメルマガやLOM発送のリデザインを実施することで、開封率の向上にも寄与しました。JCアプリ内に全国の魅力ある事業を発信する新たなコンテンツである「ODORIBA」制作し、各協議会・各LOMの皆さまに協力をお願いすることで、多くの事業を発掘し、発信することができました。

事業区分	事業名	事業内容
他	組織の連携強化に向けた活動情報の記録・共有・発信	写真データのクオリティにこだわり、公式SNSの配信において見栄えのよい投稿の一助となることはもちろんのこと、共有された理事会構成メンバーがそれぞれ自身のSNSアカウントで使用する、発信したくなるようなものにするという想いで撮影業務を遂行しました。
他	組織の運動の普及に向けたJCアプリのコンテンツの作成・発信・推進	JCアプリ内に全国の魅力ある事業を閲覧できる新たなコンテンツ「ODORIBA」を制作しました。47ブロックの会頭訪問全てに帯同することで、全ブロック協議会より最低1件以上の記事を投稿することができ、当初目標としていた100件の投稿も達成することができました。
他	JC運動を最大化させるためのメンバー同士の連携及びJCブランディング会議への参加	今年度は新たな広報外部アドバイザーを迎え、JCブランディング会議(501)と連携することで、運動を最大化するための広報発信を行いました。1年間協働する中で明らかとなった課題や今後のアクションプランを引継ぎ資料として次年度へと継承しました。
他	JCCSを活用した対内意識調査及び検証	JCCSのメルマガ機能を活用し、Googleアンケートにて回答を得るスキームを確立させました。今年度のメルマガは昨年までのテキストメールではなく、htmlメールへとアップデートさせたことで開封率が上昇し、意識調査のアンケートについても回答率は大きく向上しました。
他	各協議会・各LOMとの情報受信による情報交換促進	2023年度、全国の47ブロック協議会で開催されました「会頭訪問」に委員会として全てに参加しました。ただの撮影業務で終わることのないよう、直接の交流をテーマに各地の魅力ある事業の発掘を併せて実施しました。



会議・委員会名	役職名	担当者名
渉外委員会	委員長	鈴木 健午（飯塚）

基本方針

日本青年会議所の運動が円滑に遂行されるために各会議・委員会・協議会と連携調整及び連携強化を目的として活動致します。



総括

コロナウィルスの猛威が過ぎ去り、対面での交流や人の流れに制限がなくなった年となりました。これを機に、コロナ以前と以後のスタイルを融合させた新しい形での渉外業務に挑戦して参りました。諸大会では、役員やブロック会長、議長委員長などの連絡調整に携わりました。また、理事長や各地の会員会議所メンバーと直接交流し、関係を築くために47ブロック会頭公式訪問を実施しました。2023年度は、LOMの抱える課題や情報の把握を目指し、総合的な連絡調整機関として、意見交換会形式での会頭公式訪問を行いました。渉外委員会の業務の中で、役員だけでなく全国各地の様々なメンバーと交流した経験、そしてそこから得られた知見は、渉外委員会メンバーにとって貴重なものとなっています。

事業区分	事業名	事業内容
他	各会議・委員会・協議会との連絡調整	各会議・委員会・協議会と連携を密に取り連絡調整を行うことで日本青年会議所の運動を円滑に推進することができました。
他	会頭並びに役員の国際会議並びに諸大会参加の支援	会頭並びに役員の皆様が万全の体制で国際会議・諸大会に臨むことができるように関係各所や会議・委員会と連携を取り参加への支援を行いました。
他	会頭並びに役員の各地訪問における運動発信の支援	会頭並びに役員の皆様が国内各地を訪問する際にJCI日本の運動が円滑に発信できるようにするため関係各所と連絡調整を行いました。
他	JCI日本役員LOM訪問及び講師派遣の対応	JCI日本の役員の皆様がLOMに訪問する際や講師派遣の依頼を受けた際に円滑に進むための支援を行いました。
他	47ブロック会頭公式訪問の支援	総合連絡調整機関の代表として会頭が全てのブロックを訪問し、各地のメンバーとの関係構築を行うことでLOMが感じていた日本青年会議所との壁を取り除くことで連携の円滑化をはかるとともに、LOMの抱える課題や情報把握を行えるよう意見交換会形式での会頭公式訪問を行いました。



会議・委員会名	役職名	担当者名
総務委員会	委員長	佐藤 直樹 (横浜)

基本方針

日本JCの実施する形式的ではなく本質的な議論により集中できる環境や書式、会議に係るルールの整備が、世界中の企業や団体の会議のスタンダードとなる。



総括

総務委員会では、すべての会議・委員会の夢を実現するため、日々の職務を遂行しました。まずは生産性の高い会議を開催すべく、ルールやフォーマットの作成等を実施しました。事業としてはスタートアップセッションから始まり、京都会議では全国各地の理事長のみなさまとともに作り上げる演出を施しました。また昨年度に続き、総会における議決権行使書を電子化し、今年度は配付資料も電子化いたしました。一方、視認性等を考慮すると紙媒体の良さもあり、会議や資料によって使い分けする必要があります。青年会議所の会議があらゆる会議のスタンダードとなるべく、今後も会議のあり方から運営方法まで積極的にチャレンジをしていく必要があります。

事業区分	事業名	事業内容
他	日本JCの総会及び諸会議の設営	定時総会を1回、臨時総会を2回開催し、昨年に続き、議決権行使書の電子化を推進いたしました。また、諸会議においては、上程スケジュールの徹底やマクロを活用した議案精査を行い、効率的かつ議案の質の向上を図りました。
他	各会議・委員会の議案上程期限の徹底と内容の精査	グループごとに担当副委員長を配置し、連絡系統や上程管理、議案精査を一貫して行いました。また、チェック機能を有したマクロを各会議委員会に配布することでさらなる精度向上を図りました。
他	日本JCの議案上程システムの普及	議案上程システムの導入を希望された各地会員会議所に対し、個別に対応いたしました。財務運営会議と連携して、新たな議案上程システムの検討にも参画いたしました。
他	統一基本運営マニュアルの内容精査と改訂	各会議委員会及び各協議会が適切な運営を遂行するために、会計、コンプライアンス、広報、上程等のルールについて精査、更新を行い、製本配布いたしました。配布して終わるだけでなく、随時アップデートし、オンライン上で更新いたしました。
他	理事長・専務理事予定セミナー（スタートアップセッション）の開催	麻生会頭のご挨拶から始まり、各会務担当常任理事、地区担当常任理事がそれぞれの領域に関してプレゼンテーションする形とすることで各地青年会議所へ日本JCの運動の方向性を印象付けることができました。
公5	京都会議の開催	テーマを「Remember Your Dream」とし、会頭所信やフォーラム、様々な企画を通して、諦めていた夢をJCの仲間となら実現することができるということを各地青年会議所のみなさまに発信することができました。



会議・委員会名	役職名	担当者名
内部会計監査人グループ	代表	木下 雄一（境港）

基本方針

公益社団法人日本青年会議所の会計監査の適正化を図るため、監事を補助します。



総括

2023年度は、コロナ期に導入してきたスタイルを取り入れつつも対面が主流に戻っていく1年でした。会計面では事業口座の新ルールが開始され、インボイス制度が始まり、監査の重要性が高まる状況下でありました。単年度制の中でこの状況にどのように対応していくか。内部会計監査人グループとしては、京都会議から協議会の監査担当に説明会を実施し、協議会に対しては中間監査を2回に増やし、各監査の際にはオンラインで事前説明会を実施してまいりました。中間監査では協議会はオンライン参加として利便性を向上しつつ、各地の自主監査や決算直前監査は参集いただいで細かく助言し、質の高い監査を行うことができました。本年度も公益社団法人日本青年会議所の会計監査の適正化を図るために、監査を補助するという目的を達成できたと確信しています。

事業区分	事業名	事業内容
他	中間監査の実施	上半期の議案書、財務諸表、計算書類の内容が適正か監査しました。
他	決算直前監査の実施	下半期の議案書、財務諸表、計算書類の内容が適正か監査しました。
他	決算監査の実施	1年間の議案書、財務諸表、計算書類の内容が適正か監査しました。



地区協議会・ブロック協議会

地区協議会名	役職名	担当者名
北海道地区協議会	会長	岩田 幸治 (札幌)

基本方針

広域分散、積雪寒冷、人口減少、少子高齢化といった課題先進地域と言われる北海道において、各地域がもつ独自資源を生かして弱みを強みに変える。



総括

本年は協議会アップデート初年度として、現在の1地区1ブロック4エリアという組織体制について見直し、今後の協議会のありかたについて継続的な議論を進めていく土台を構築してまいりました。北海道の課題解決においては、地域が抱える独自の魅力を発掘し、まちづくりにつなげるための意識喚起や行動変容、そして広大な大地だからこそ可能性を秘める防災、医療、交通の未来の姿や持続可能なまちづくりのためのネットワークづくりを推し進めました。これらを北海道JCフェスティバルとしてフォーラム、TV、WEBの3方向から道民に発信し、北海道地区大会登別室蘭大会にて総括しました。世界に輝く北海道の実現のため、未来につなげてまいります。

事業区分	事業名	事業内容
公5	北海道JCコンファレンス2023「地域資源を活用した地域ブランディング～ローカルからユニバーサル～」	地域資源を有効活用した観光産業の有用性に対する学びを深めることで改めて自らの住まう地域の魅力に目を向け、地域ブランディングの重要性を学び、そこから生まれる好循環サイクルへの理解を深め推進するフォーラム事業を実施しました。
公7	2023年度 JCI アジア 太平洋 エリア 会議 (ASPAC) ジャカルタ大会 ブース 出展	JCI ASPAC ジャカルタ大会 ジャパンナートにて、酪農王国である北海道の牛乳とローカルフードを掛け合わせた牛乳を使用したお菓子を提供するとともに、アジア太平洋エリアを中心としたメンバーとの交流を図り、海外に向けて北海道ブランドをPRしました。
公5	サマーコンファレンス2023 ブース 出展「成長し続ける価値と魅力」	サマーコンファレンス2023にて、北海道の文化といえるアイスの民芸品の展示やムックリ演奏体験、北海道のエリアごとの紹介や祭りや地域資源を活用した特産品を紹介したパネルを掲載し、北海道の魅力をPRしました。
公5	第72回北海道地区大会登別室蘭大会「北海道を輝かせる地域ブランド」	地域課題の解決策として地域ブランディングによるまちづくりがあり、観光資源、食、文化にスポット、特色を活かした各自自治体の取り組み事例をもとに、地域ブランディングへの重要性を理解いただくフォーラム及びブース出展を実施しました。
公1	JC ウィンタースポーツフェスタ	北海道の魅力溢れる地域資源を活用したウィンタースポーツの可能性を多くの人々へ広げ、冬季オリンピック誘致の機運を高め、世界に冠たる独自性を確立し、北海道の地域経済の発展となる事業を実施しました。
公5	北海道JCコンファレンス2023 e-sports 推進 事業	フォーラムや体験会を開催することで、e-sportsに触れて親しみ、各地域においてもe-sportsの可能性を見出し活用したまちづくりやコミュニティの活性化を推進し、普及するきっかけとなりました。実践を通じて楽しさや新たなテクノロジーの進化を知っていただきました。
公5	第72回北海道地区大会登別室蘭大会「e-sports×バラスポーツのもつ可能性」	技術革新によってアクセシビリティが容易になっており、バラスポーツにおいても同様に、障がいのある人々が参加しやすく、環境を整備され補完し合う未来を目指し北海道各地でe-sports普及推進協定式を行った内容を発信いたしました。
公1	第9回JCカップ北海道地区予選大会	本大会を開催することにより、一番の目的であるグッドルゼー精神の醸成と、北海道内の地域間による交流を促進することを目的とし、アフターコロナにおける地域スポーツの活性化を図りました。
公5	JCフェスティバル2023	北海道民に地域社会の課題問題を提起し、次世代につながる持続可能な地域の創造につなげるために、新たなモデルケースとして対象者に一番伝わる発信手段(現地、テレビ、YouTube)を用いてテーマ毎に発信し多くの北海道民の意識醸成を促しました。
他	メタバース調査研究	近年注目されているメタバースが、青年会議所の活動や、仕事や地域コミュニティ等にも寄与する可能性について調査研究を行いました。様々な事業の中でメタバースに会員に触れていただく機会を創出し、その声から研究レポートを作成し報告しました。
公3	北海道JCコンファレンス2023「再エネ推進フォーラム～1人の百歩より、100人の一歩～」	ゼロカーボンの達成という未来が北海道の各地域を持続可能かつ明るい未来に導くことができるとを示し、そのために再生可能エネルギーの普及を各地域で推進していくことが重要であることを理解していただく機会となりました。
公3	ウチらでアゲるゼロカーボン×まちづくり	これまでの価値観、固定観念、硬直化している課題を解決し、ベンチャー企業から大手企業、自治体の新事業やチームビルディングに貢献した実績をもつギヤル式プラットフォームを用い、また企業との協力関係や連携創出、誘致を行うための企業マッチングを行い、地域の脱炭素から始まるまちづくりを推進する事業を開催しました。
公5	第72回北海道地区大会登別室蘭大会 私たちがつくる持続可能な未来	8月に開催した上記12の事業の成果発表と今後の展望についてフォーラムでお伝えしました。また、当事者意識を持ちにくいゼロカーボンの推進を行っていく上で、身近なものからCO2の削減やサーキュラーエコノミーを体験していただくことで、環境問題への関心を高めるブースを出展しました。
公6	有事に備えた災害ネットワーク強化	有事に対して実行可能なネットワーク構築を行うために行政や団体と情報共有を行いました。また、北海道JC災害支援ネットワークについても役員が役割を認識していただくため調印式を実施し運用の機運を高めました。
公6	北海道JCコンファレンス2023今すぐ行動しよう!新たな北海道へ	成田氏を講師に迎え北海道全体としてできるMaaSのカタチを考え、高齢化や人口減少の中でも安心安全で快適に暮らし続けられる、地域に寄り添った移動手段へ取り組むきっかけとなるフォーラムを開催しました。また、ブースでは最新の防災グッズに触れていただき防災への意識を高めることができました。
公6	医療&防災フェスティバル2023in丘珠空港	最先端の防災グッズの展示・体験会を行い、防災に対する意識強化を図ることで、今後に必要な意識と知識を備えることを促しました。また、実際に発電機等を運転し、災害時訓練を兼ねることで、実際の災害に対する備えを身につける一助となりました。さらには、北海道ならではの医療課題についての動画を流すことで意識醸成しました。
公5	第72回北海道地区大会登別室蘭大会 新たなインフラからなる未来	ブースにて、これまで委員会で行ってきた運動をパネルにまとめたコーナーや防災グッズの展示を行い、防災や交通インフラ、医療課題に対する意識を高める一助となりました。
公6	北海道航空医療ネットワーク研究会による、北海道内の地域医療の現状と課題に関する講演を通じて、その解決に取り組む当事者意識を醸成しました。研究会が制作に携わり話題となったテレビドラマ「PICU」の撮影秘話も紹介し、興味をもって課題解決の道を探るよう促しました。さらには、本事業を通じて医療従事者との関わりをもつことで、今後の医療体制を充実、発展させるきっかけの場となりました。	



地区協議会名 東北地区協議会	役職名 会長	担当者名 高橋 隆太 (湯沢)
---------------------------------	-------------------------	----------------------------------

基本方針

ブロック協議会とより親密な関係を図り固定概念にとらわれないネットワークを構築し、魅力的で誰もが憧れる東北を実現します。



総括

本年度の東北地区協議会では、「結いの精神でつながる魅力的で誰もが憧れる新東北の実現」を基本理念に掲げ、東北地区内全てのLOMを双方向でLINKさせ東北地区協議会だからこそできる運動、そして連絡調整機関としてLOM、ブロック協議会のサポートをはじめ、最高峰の調査研究機関を設置しての人財育成など、時代に即した組織へと改革を行ってまいりました。また、近年コロナウイルスにより対面でのコミュニケーションが行いにくい状況が続いておりましたが5類感染症への移行に伴い、対面での事業や運動が活発化し、LOMやブロック協議会を超えたネットワークを構築し、魅力的で誰もが憧れる東北への一歩を進めることができたことと確信しております。

事業区分	事業名	事業内容
他	2023年度東北青年フォーラム 主催主管締結式	2023年度東北青年フォーラム主催主管締結式を行いました。PRムービーの上映、主催主管契約書の調印、調印者挨拶、主管であるJCI北上による大会PR、会場全体でのジュブレヒコルを通じて、東北青年フォーラムの開催に向けての意識統一を図りました。
他	2023年度東北青年フォーラム 企業向け広報事業	大会の理念に共感をいただいた企業とともに東北青年フォーラムを作り上げるために、約60社を超える企業に協賛の依頼を行い、結果として21社の企業からの協賛をいただくことができました。
公5	2023年度東北青年フォーラム 対内対外広報活動	一人でも多くの方に東北青年フォーラムのことを知ってもらい、多くの方に来場いただくため、ポスターチラシの作成・配布、各ブロック大会でのPR、ラジオ出演、各種SNSでの情報発信等の広報手法を考え実施しました。
他	2023年度東北青年フォーラム オープニングセレモニー	東北青年フォーラムのオープニングセレモニーを行いました。開式の辞、オープニングアクト、会長挨拶、管理理事長挨拶、各ファンクションPRを行うことで、開催地の特色や想いを共有して参加者の思い一つにすること、参加意欲と期待感の向上を図りました。
公3	2023年度東北青年フォーラム 東北から水素で実現する新時代	移動式水素ステーションの展示を行い、水素エネルギーの活用の見学、事例紹介を踏まえ、実際の水素エネルギー活用のイメージを掘り込んでいただき、脱炭素社会に向けての取り組みを理解し、行動する意識を喚起しました。
他	2023年度東北青年フォーラム クロージングセレモニー	東北青年フォーラムのクロージングセレモニーを行いました。クロージングムービーの上映、表彰、各ファンクションの総括を経て、次年度会長候補者の発表と挨拶、次年度開催地のPR、大会の鍵の伝達を行い、次年度へのバトンを繋ぎました。
公5	2023年度東北青年フォーラム 大会運営	「Next Innovation~思いやりの心溢れる未来を目指して~」のスローガンの下、東北地域の持つ底力や魅力を再発見する機会を提供することを通じて、共に明るく豊かな東北の未来を目指して行動する当事者意識を呼び覚ます機会を提供する大会を行いました。
公2	2023年度東北青年フォーラム メインフォーラム「リーダーは夢を語れ!~新時代へのイノベーション~」	講師2名よりご講演を賜りました。第一部の小泉様からはどのような夢を持ってきたのか、幼少期の経験を含めたご講演。さらに、西野様からは夢を求め挑戦してきた経験から得たことを講演し、参加者へ夢を持つことの重要性を学んでいただきました。
他	2023年度東北青年フォーラム 東北ゼミナール特別委員会 ゼミナール成果発表並びに閉講式	ゼミ生が1年間学んできた講座や推進してきた運動を振り返りまとめた成果を発表しました。閉講式の中で修了証を渡し、ゼミ生のリーダーとしての自信と経験を養いました。さらに決意表明を行うことでリーダーとしての自覚と決意を確固たるものになりました。
他	2023年度東北青年フォーラム 褒賞事業「AWARDS TOHOKU 2023」	東北地区74LOMより優秀な事業、拡大事例を集約し、一次審査・二次審査を経て、東北青年フォーラムにて褒賞事業を行いました。本年度は、学びある褒賞事業というテーマを掲げ、プレゼンテーション枠を拡大し、外部審査員の方から講評をいただきました。
他	2023年度東北青年フォーラム 運動プラットフォームをフル活用してJC運動を最大化しよう!	各地青年会議所メンバーを対象に運動プラットフォームを知っていただく機会となりました。特に、Gian Pocketの利用促進を図りました。
公6	2023年度東北青年フォーラム いまこそぞろろ! いざというときの防災メシ	災害時、落ち着いて助け合い、自助共助が充実した東北の実現を夢に掲げ、有事に備えた知識を周知し、また防災意識の向上を目的としたブース出張事業を行いました。いざ、という時に活用できる防災メシの試食をはじめ五感を使い体感する事業となりました。
他	東北ゼミナール特別委員会 開講式	ゼミ生の目指すべきリーダー像の明確化と、1年間の活動のモチベーションアップのため、大嶋啓介氏を講師にお招きし「夢」をテーマに基調講演を行いました。また、各地青年会議所への運動の周知に向け、ゼミ生による事業計画発表を実施しました。
他	東北ゼミナール特別委員会 第1講座 魅力的な組織	誰もが活躍したくなる魅力的な組織の構築について、必要な力を身に付けるための講座を開催しました。ゼミが目指す支援型のリーダーシップ及びチームビルディングを、青森の自然の中という環境下で、料理などのアクティビティを通して学びました。
他	東北ゼミナール特別委員会 第2講座 絶対にCO2をオフセットする温泉宿1泊2日の旅(山由利本荘)	フィールドワーク、講座など様々な視点から、カーボンニュートラルの必要性を理解し、実現に向けた具体的な行動について学ぶ機会になりました。また、カーボンニュートラルをテーマに取り組むことで、それぞれの地域の課題解決に向け先導する力を養いました。
他	東北ゼミナール特別委員会 第3講座 「地域の魅力 丸くなるな、尖がれ!!」周囲を巻き込むオビニオンリーダーへの道」	地域に当たり前にあるものを魅力・地域資源として認識するために、酒田をフィールドワークし、多角的な視点で捉えることを学びました。また人や地域を巻き込むために、魅力やメリットを伝え共感を得る重要性を学んでいただきました。
他	東北ゼミナール特別委員会 第4講座 「ビジョンを探る旅~chatGPTには描けない所信~」	中島直前会頭の講演やワークを通じ、組織や地域の方向性を示すビジョンの描き方、所信への想いの乗せ方、人を本気にさせる伝え方について学びました。想いや熱意を伝播できるプレゼンテーション能力の向上を図りました。
公2	TOHOcraft in YOKOHAMA	新たな価値を生み出すきっかけを得ることで、未来に対してワクワクする夢を掲げ、より多くの人々と接点を持ち、東北地域から生まれた価値を認知してもらい、新たな価値を生み出すきっかけの提供を目的として東北魅力発信ブース出張を開催しました。
公1	第9回MJS presents JCカップU-11少年少女サッカー全国大会東北地区予選大会	東北に住まう市民が互助の精神で故郷を愛し、全員が東北に住み続けたいと思える地域の実現を夢に掲げ、将来の豊かな人間性へ向けて子どもたちに自信や誇りを深めてもらうことを目的としたJCカップサッカー大会東北地区予選を開催しました。
公6	ディフェンス・ワークブース in TOHOKU	影響力ある東北から防災・減災への想いを発信し、共有した子どもたちが地域住民の皆様と共に助け合いの精神を育み、災害に強い日本の実現を目指す夢を掲げ、来場者の防災・減災への当事者意識が向上することを目的としてブース出張事業を行いました。
公7	JCI ASPACジャパンナイトブース出張	ジャカルタにて行われたJCIASPACジャカルタ大会ジャパンナイトへ東北地区協議会と東北6ブロックとの共同で神社やお寺の御守のブース出張をしました。
公7	JCI世界会議チュールッピ大会ブース出張	チュールッピにて行われたJCI世界会議チュールッピ大会ジャパンナイトへ東北地区協議会と東北6ブロックとの共同で神社やお寺の御守のブース出張をしました。



地区協議会名	役職名	担当者名
関東地区協議会	会長	大川 浩嗣 (松戸)

基本方針

関係人口を創出する事業を展開し、首都圏の地域間格差を是正することで、誰もが笑って暮らせる関東地区を実現します。



総括

「かかわりとつながりが織り成す 無限の可能性に満ちた関東地区の創造」を基本理念とし、生産年齢人口や地域間格差の解消、防災減災など、持続可能な発展に向けた課題や、LOMのための協議会としてLOMが抱える課題も解決すべく、関東地区内の関係人口を創出しました。具体的には、副業増加と起業家支援による広域経済圏の確立、災害の危機可視化による新たな防災減災、和の心とおもてなしを備えた国際人の育成、強いつながりを有する関東地区の創造、そして、関係人口の創出につながる関東地区大会の開催という、地区協議会だからできる運動を展開し、首都圏の明るい未来を創るべく事業を実施しました。

事業区分	事業名	事業内容
公5	地域とつながるパラレルキャリア推進セミナー	副業についての魅力や可能性についてお話しいただくだけでなく、乗り越えるべき課題を明確にするために、副業者を送り出す企業、副業者を受け入れる企業、副業を始めようとする就労者がそれぞれ抱えている問題点とその解消法についてお話しいただきました。
公5	ここからつながるパラレルキャリアマッチングカフェ	地方副業につなげることで、関係人口を創出すべく、関東地区内から副業者の受け入れを希望する企業を誘致し、副業希望者とのマッチングのための交流会を開催いたしました。
公2	ここからつながる 地域につながる 起業家×地域企業マッチングセミナー	地域企業と起業家がマッチングし、関係人口としての起業家がビジネスを通じてかかわることは、地域経済活性化に寄与できるということを参加者に感じていただくとともに、新たにマッチングを希望する参加者を生み出す機会を提供しました。
他	君たちはどう動くか-二次的被害を防ぐために出来ること-	有事の際にどのような行動が求められるのかを防災教材カードゲームを使い体感し、二次的被害を防ぐためにLOM、ブロック協議会、地区協議会がどのように連携して動くべきか、現状の災害時の行動マニュアルを見ながら参加者とともにマニュアルを見直す話し合いを行いました。
公7	JCI ASPACジャカルタ大会 ジャパンナイトブース出展	関東地区の魅力のアジアに発信することを目的として、ASPACジャパンナイトブース出展において観光名所のお菓子と煎茶を提供し、関東地区が誇るお土産のお菓子を味わっていただき、訪日したことのない方々に、お菓子を通じて関東地区の魅力を感じていただきました。
他	関東地区ナイト～157LOMでつながってみませんか?～	関東地区内157LOMメンバー同士のつながりをより一層深めるとともに、第72回全国大会東京大会の魅力、重要性を直接体感し、各々のLOMに持ち帰ってもらうことで、全国大会東京大会の動員につながりました。
公5	第71回関東地区大会館山大会 副業ビジネスフォーラム「描け!未来のキャリアアプラン～地域とつながる新しい副業のカたち～」	パネリスト4名をお招きして、副業やリモートワーク等の多様な働き方を示すとともに、地方での副業の魅力や将来の移住の可能性までを伝えました。
公5	第71回関東地区大会館山大会 防災フォーラム「描け!防災のミライ-地域のミライ」	災害に対して最先端技術でリスクを「見える化」し、危機に強い社会、持続可能な社会を実現するため、最新の防災減災について講演いただきました。AIで可視化出来る防災減災を実際に見ることで、多くのメンバーや市民にAI防災に触れる機会を提供しました。
公5	第71回関東地区大会館山大会 起業家×地域企業ビジネスフォーラム「描け!起業家と地域企業が創る地域の未来～ちよこっと失礼します。マッチングしてみませんか?」	起業家と地域企業が開発中の新商品の発表を行い、ビジネスマッチングをすることで、自社にどのような変化が起きているかを伝えていただくとともに、各地でさらなるマッチングが進み、新たな価値の創造ができるよう講師の方にお話をいただきました。
公5	第71回関東地区大会館山大会 メインフォーラム「描け!あなたのBUSINESS PLAN～その夢わたしが、売ります!買います!叶えます!」	新事業サービスの発見を体感し、またメンバーからの事業案を発表することで、従来の概念に対する改革を取り入れた新しい事業のカたちをアップデートし、地域課題を解決できる糸口となる関係人口の拡大につながるフォーラムを行いました。
他	第71回関東地区大会館山大会 大会式典	大会に携わる関係者の皆様にJC運動を伝えることで、活動への関心をより高めました。対内に向けては、関東地区協議会が発信する運動を共有し、かかわりとつながりを提供する機会を創出することで、メンバーの運動意欲向上へとつながりました。
公5	発見!八都県の魅力!	地域内ではよく知られているが、地域外には未だ浸透していない地域の魅力を発信しました。関係人口を生み出すきっかけとなった事例を紹介し、さらに多くの関係人口を生む好循環の事例を取り上げました。
公2	硫黄島渡島事業	「硫黄島の戦い」について学ぶだけではなく、実際に硫黄島に渡島をすることで、自国の歴史への理解を深めます。また、「硫黄島からの絵手紙」の公表を通じて、平和への想いと先人への感謝の念をより多くの、より広い世代につなげました。
公1	JCカップ U-11 少年少女サッカー関東大会	次代を担う少年少女達にスポーツを通じて協調性や連帯感を育み、多様性の相互理解の意識の育成と勝ち負け以上に大切なグッドルーザー精神の育成を目的として開催いたしました。
他	最強の国!スイスの凄い競争力に学ぼう!	国際競争力上位のスイスのビジネスモデルを学び、比較して日本国内の魅力を再確認することで、地域での就業への関心を高めることを目的に開催しました。また、JCI副会頭の北村麻里衣君に国際の機会でもある世界会議の魅力を発信していただきました。



地区協議会名	役職名	担当者名
東海地区協議会	会長	鍋田 昌吾 (静岡)

基本方針

基本理念「世界に目を向け、夢を語ろう。力漲る東海の創造」

基本方針 【1】地域を愛し、世界へ羽ばたく人財の育成 【2】世界へ伝える、地域の魅力の発掘と発信 【3】夢を語り合い、寄り添うLOM支援



総括

本年度の東海地区は、約半世紀にわたり継続されてきたJC青年の船「とうかい号」を完結させるためのセレモニーを開催し、そのとうかい号の魂を引き継ぐ国際事業「Jump Up TOKAI Youth」をインドネシアはバンドンで開催しました。継続事業を廃止し、時代に即した新しい事業を展開することは大変体力を要することでしたが、新しい東海地区の構築のために全出向者からご尽力をいただき、その息吹を次年度へつなげることができました。この他にも地区内の防災協定の効果をさらに高める事業や、開催地を巻き込み、未来志向を提案した東海フォーラムを開催し、地区協議会としての役割を果たしてまいりました。

事業区分	事業名	事業内容
公7	ASPACジャパンナイトにおけるブースの出店	東海地区内の4県を代表する缶詰(静岡県のおさば缶、愛知県のおでん缶、岐阜県の飛騨野菜カレー缶、三重県の志ぐれ麦飯あさり缶)を配布し、東海地区の魅力を海外のデリゲイツの皆様へお伝えしました。
他	有事に備えた災害ネットワークの強化事業	既に東海地区内では、LOMと社会福祉協議会との防災協定の締結が進んでいますが、協定を締結しただけで、有事の際の用意が進んでいるという状況ではないことに鑑み、有事の際にはどのような連携をするのか、それまでにどんな準備が必要なのかをレクチャーする事業を行いました。
公5	東海フォーラム2023	本年度の東海フォーラムは「for the future ミライのために～世界に目を向け、世界から愛される東海へ～」をテーマとし、未来を感じて夢を描いていける人材の育成を目的に開催しました。1,190名の現役会員の登録と、2,329名の地域住民にご参加いただきました。
他	JC青年の船「とうかい号」フィナーレ式典	第47船まで続いたJC青年の船「とうかい号」を締めくくるために、歴代の先輩方をお呼びし、とうかい号の歴史を振り返りながら、その役目を終え次の時代の事業に引き継ぐ式典を開催しました。
公7	国際アカデミーブース出店	第36回国際アカデミーが東海地区内で開催されたため、この機会に海外デリゲイツに東海地区の魅力を発信すべくブースの出店を行い、東海地区内4県の食材を使った寿司を提供しました。
公7	青少年国際育成事業「Jump Up TOKAI Youth」	東海地区が実施する、新しい形の国際事業としてインドネシアのJCIバンドンと協力をし、16歳から23歳までの参加者10名と現地の大学生の交流事業を実施し、Think Globally, Act Locallyの心を育ててまいりました。
公1	第9回MJSプレゼンツ JCカップ U-11少年少女サッカー大会地区予選	第9回MJS presents JCカップ U-11少年少女サッカー大会の地区予選を開催し、東海地区内4県からのそれぞれの代表チームに対してグッドルーザーの精神を育みながら、地区代表チームを選出しました。ゲストプレーヤーとして中澤佑二元選手をお招きしました。
他	東海地区内及び各地域間での防災協定締結等の推進	地区内のLOMと社会福祉協議会の防災協定の締結1件、LOM間の防災協定の締結1件をサポートし、地区内の防災体制の更なる構築に尽力しました。



公益社団法人 日本青年会議所 東海地区協議会 東海フォーラム2023
JC青年の船「とうかい号」フィナーレ式典 日：厚岸港 2023.7.8



地区協議会名	役職名	担当者名
北陸信越地区協議会	会長	堀内 和彦(上田)

基本方針

北陸信越地域にあるコンテンツを地区内メンバーにて発掘し、各地の夢の一助とする。



総括

本年は夢をテーマに多くの事業を開催させていただきました。経済圏や文化が大きく違う北陸信越にて統一して行える大変素晴らしいテーマでありました。北陸信越地区は他地区と比べて日本JC運動推進や登録においては、大変スムーズにLOMから地域まで届けていただける地域であります。逆を返せば親会としての認識ではなく、同志として参考になる事業、思考と捉え各地会員会議所理事長の皆様が伝えていただいているからだこの役職をして強く感じました。少しでも自分の住み暮らす地域をより良くする為に日本JCを参考1にし、同じ明るい豊かな社会の創造に向け邁進できる素晴らしい地区であります。1年と半年北陸信越地区内、ブロック会長皆様はじめ理事長の皆様大変お世話になりました。本当にありがとうございました。

事業区分	事業名	事業内容
公5	北陸信越魅力発掘会議の開催	北陸信越5県共通の特産品となっている「そば」を流しそばで提供することで見た目のインパクトやユニークさから「楽しさ」をアピールすることができました。また、当日は30度を超える天気の中、冷たい流しそばを提供できたことで来訪者の満足度が高まったと考えます。
他	プロトタイプ提供推進事業の実施	本会LOM支援策について打ち合わせを行い、LOM規模ごとの支援策を見つけました。重点支援LOMに対し、課題の聞き取りを行うだけでなく、その課題の本質を探るため、支援LOMの会議等に参加することで、課題解決に向けた本質を調査研究し、本会の提供するプロトタイプの提供を進め、そのプロトタイプが課題解決の糸口となるよう支援LOMに対しフォローを行いました。
他	2023北陸信越地区アカデミー事業 in Itoigawa	JCI日本公認プログラムPurposeの実施。川端寛寛トレーナーをお招きして開催しました。その後、4つのグループに分かれ、各地のブロック会長から、JCIに対する想いや、ブロック会長となったきっかけなどを共有していただきました。最後には糸魚川の大自然を見渡せるキャンプ場で参加者の皆様とテントサウナに入り熱い想いを共有いたしました。
他	北陸信越AWARDS 2023	地区内でのアワードは初の試みでした。これまでアワードに申請したことのないLOMでもエントリーできるように事業報告議案をGian Pocketに登録しエントリーフォームより申し込みをしてもらいました。Gian Pocketの登録も推進しながら地区内でのアワード受賞もあるためメンバーのモチベーションアップに繋がりました。
公5	第65回地区フォーラムin勝山	地区フォーラムでは当委員会担当事業であるメインフォーラム、各ブロック協議会より1種類以上のお土産の物販を行った地域コンテンツブース、コンテンツアワード発掘委員会担当事業であるご当地アイドルフェスティバル2023及び北陸信越AWARD2023を開催し、北陸信越地区内、一般参加者合わせて1404名にご参加いただきました。各LOMの課題解決、各地域の夢を叶えるための行動を起こすメンバーや各LOMのビジョン達成への寄与、各地域の夢を叶え、夢される北陸信越地区の未来の実現に向けた機会とすることができたと考えております。
公5	第65回地区フォーラムin勝山 メインフォーラム実施	視点を変えたら価値が変わる～当たり前からはじまる新たな魅力発掘～というテーマを基に皆様から回答いただいた事前アンケートでフォーラムの内容が変わる、参加型のメインフォーラムを開催。冒頭は「まちの魅力というあやしくて創造的な何か」というテーマで若新雄純氏による15分間の講演、次に進行を堀内会長、若新雄純氏、パネリストとして、ご当地アイドルフェスティバルでご活躍された5組のアイドルの代表者で50分間のパネルディスカッションを実施しました。
公5	北陸信越魅力発信	地域の魅力あるコンテンツを発掘・発信するという職務分掌で昨年度のFacebookで実施された広報リレーに続き、より情報量があり伝わりやすい「動画」を作成することで興味を持ってもらえました。発信方法として青年会議所と同じ志を持ち地元を盛り上げるご当地アイドルにレポーターとX(Twitter)で協力してもらったことさらに多くの方に届けることができました。
公7	JCI ASPAC ジャカルタ大会ジャパンナイトブース出展	北陸信越5県共通の特産品となっている「そば」を流しそばで提供することで見た目のインパクトやユニークさから「楽しさ」をアピールすることができました。また当日30度を超える気温の中で冷たい流しそばを提供できたことで来訪者の満足度が高まったと考えます。
他	環境改善と経済発展の好循環をもたらす環境配慮経営セミナー開催推進	経営者が脱炭素を理解し、経済と環境のバランスが取れたこれからの経営手法を学ぶことで企業の発展、環境に配慮した経営を行うことを目的とした公益社団法人日本青年会議所地球環境委員会が開催するセミナーに参加推進し北陸信越地区内から25社の参加がありました。
他	防災につながる災害ネットワークの強化	北陸信越地区内4ブロック(長野・新潟・富山・福井)は各県社会福祉協議会との災害協定締結書を期日までに取り交わしていただいたものを、防災会議時に日本本会へ報告しました。石川ブロック協議会も締結書取り交わしに向け進行中です。また、災害対策初動マニュアルを交付し北陸信越地区内の連携を強化する一助となりました。
公1	JCカップ U-11少年少女サッカー全国大会 北陸信越地区予選大会	北陸信越地区内各ブロック大会から勝ち上がった上位2チームに出場いただき、北陸信越地区大会を開催しました。また試合後のアフターマッチミーティングにおいて、グッドルーザーの精神を理解できたとの回答を選手から多数得られたことで目的達成の一助となりました。



地区協議会名 近畿地区協議会	役職名 会長	担当者名 柿野 真吾 (明石)
---------------------------------	-------------------------	----------------------------------

基本方針

世界のハブとなり全ての人が活躍し躍動する幸せな近畿



総括

「Live in the present」歴史に学び 未来に挑む」を掲げ、歴史を検証し新たな一歩を踏み出す挑戦をしました。近畿地区内の連携と協働に重点を置き、顔の見える協議会の運動を柱として、出向者が近畿地区内を駆け巡りました。現在では近畿地区のみ開催している、グローバルトレーニングスクールはアフターコロナ初の海外開催を行い、サマーコンファレンスでは2025年大阪・関西万博をテーマにフォーラムを開催しました。近畿地区大会姫路大会では姫路青年会議所と協働し、主管益を始め、多くの益を生み出すことが出来たと考えます。チャレンジする中で成果を生み出すと共に課題が浮き彫りになった1年であり、より有益な協議会へさらに磨きをかけてまいります。

事業区分	事業名	事業内容
公7	GTS(グローバルトレーニングスクール)の実施	2023年度GTS事業においては近畿地区内の青年会議所メンバーに、自国の文化や歴史を重んじながらも他国の影響を受け入れたベトナム(ホーチミン)をJCIベトナムメンバーと共に視察し、地域と世界をつなぐ力(グローバルデザイン力)を強化しました。
他	GTS開催日並びに渡航先計画	各ブロック協議会にGTS開催告知を参加者募集に伺いました。事業の意図を理解していただくとともに、地区協議会副会長であるブロック会長と、共に開催告知を行うことによりブロック協議会並びに各LOMへ情報を伝達することで周知につなげられました。
公7	ASPACブース出展計画	ASPACブース出展においてコンセプトを「祭り」と設定し、日本文化の発信ができました。衣装の法被や浴衣などが好評で海外メンバーから写真撮影依頼が多くありました。また流しうめんの機材を大きく設置したことで参加者の興味を引くことができました。
公7	JCI世界会議チュリッピ大会における日本JCI主催「ジャパンナイト近畿地区ブース出展」の事業計画	世界会議のジャパンナイトにおいて、2025年大阪関西万博のピンバッジを配布しLPRを実施しました。公益社団法人2025年日本国際博覧会協会の担当部署である機運醸成局 海外コミュニケーション課 海外広報・プロモーション課にご協力いただきました。
公5	近畿地区大会姫路大会における国際フォーラム「Re:igion to Global-地域から世界を目指す必然性」の実施計画	テーマを「Re:igion to Global-地域から世界を目指す必然性」と設定し、自身の成長や自社の成長として、国際の視点を得て今後のメンバー企業の成長につなげることを狙いとし、NewsPicksとの協働にてフォーラムを開催しました。
他	国際ビジネスマッチング推進計画	ASPAC、GTS、地区大会フォーラムを通じ、海外への進出の意欲を高め、海外ビジネスの興味につなげました。委員会が、国際ビジネス連携会議と共に海外進出に興味をもっている企業と海外企業を、国際ビジネスマッチングにつなげるサポートを行いました。
公5	サマーコンファレンス2023近畿地区フォーラム「新たなテクノロジーが紡ぐ未来へ、大阪・関西万博2025!」実施計画	本フォーラムは、全国各地 LOMメンバーの万博への機運を高めました。登壇者の耕耕氏には開催決定秘話や青山氏に未来のテクノロジーに関し話をしていたが、万博が地域への波及効果もたらすのかについてトークセッションを通じお伝えしていただきました。
公5	地域資源発掘発信創出計画～新時代を切り開くZ世代～事業計画	TikTokを使い、新時代にふさわしい地域の魅力発信手法のモデルケースとして仮説を立てました。滋賀県守山市にて実証を行い、高校生に発信を担ってもらい、近畿地区内へ拡散しました。同様の手法が近畿地区内のLOMに採用していただける予定です。
公2	ウェルビーイング経営推進計画	心身の健康を維持、満足感(幸福)を感じる環境を整えるために、働き方改革や健康経営への取組を推進し、ウェルビーイング経営の視点を養うべく、健康経営優良法人の取得や事業継続力強化計画の取得を推進するため各地域において講演セミナーを開催しました。
他	有事に備えた防災ネットワークの構築及び強化の推進実施計画	有事に備えて防災ネットワークの構築及び強化の推進に対し、青年友好団体や行政、社会福祉協議会、各種ボランティア団体との連携を推進し、有事の際に迅速な支援を可能とする各地域に応じた地域独自のネットワークの構築及び強化、防災体制構築しました。
公5	近畿地区大会姫路大会における防災フェスタの実施事業計画	官民一体となった防災フェスタを実施しました。どの防災対策から始めたらいいのかを再確認し、身近に多様な防災を学ぶ機会をもたせたいという想いで、談話だけの展示ブースではなく、官民一体となった緊急時における防災体制の取り組みを再確認しました。
公1	JCカップU-11少年少女サッカー近畿地区予選大会赤穂大会実施計画	近畿地区内、6つのブロック協議会において、予選を勝ち上がった代表6チームによるU-11少年少女サッカー近畿地区予選大会を、「Link to your dream for ASIA」をテーマとして5つのコンセプトを取り入れ開催を行いました。
公5	近畿地区大会姫路大会全体予算並びに実施計画	地元の課題解決に向けた運動や魅力を体験する近畿地区大会姫路大会は、延べ人数43,786名の一般参加者や3,530名の近畿地区内各地のLOMメンバーが参加され、様々なつながりを絶やすことなく、近畿地区内における課題解決の一助になりました。
他	近畿地区大会姫路大会「開催日程、テーマスローガン」の決定及び対内参加推進実施計画	近畿地区大会姫路大会の対内推進活動として、開催日、開催場所、テーマスローガンについて近畿地区内各ブロック各LOMに赴き、本大会の開催意義をお伝えすることで、近畿地区協議会各委員会及び主管LOMと連絡調整を密に行い参加への契機となりました。
他	近畿地区大会姫路大会主管締結式実施計画	京都会議期間中の2023年度第1回会員協議所会議にて、近畿地区内各委員会協議所理事長の皆様が見守る中、近畿地区大会姫路大会主管契約締結式を開催し、主催者代表、主管LOM代表、4名の立会人の計6名に、主管契約締結書に捺印を行っていただきました。
他	近畿地区大会姫路大会における開催概要及び登録依頼・広報計画・宿泊計画	主管LOMのJCI姫路とチラシやポスターを有効活用してPRを行いました。ロゴポスターのデザインを工夫し、案内文においては近隣推奨ホテルの案内を行う工夫もしました。プレスリリースやSNSと多岐に渡った広報活動で登録者の目標達成ができました。
他	近畿地区大会姫路大会資金計画	近畿地区大会姫路大会実施にあたり、登録料や出展料だけでなく、JCI姫路協力のもと地元企業より、近畿地区協議会が主となり、協賛金、クラウドファンディングにて資金募集を実施しました。今後の大会運営の一助となり、大会の広報の側面も果たしました。
公5	近畿地区大会姫路大会におけるフェスタ実施計画	フェスタテーマを「Catch your dreams」と掲げ、参加者がワクワクする夢のある大会を構築しました。「2府4県の要素を取り入れたブース」などの多様なブースを展開しメンバーや来場者の新しい体験や学びを生み出すフェスタを開催しました。
他	近畿地区大会の在り方を考える会の実施計画	近畿地区内各ブロックに参加者を公募し2025年以降の近畿地区大会の開催方法や在り方を議論しました。また、アンケートを実施し各LOMの意見を収集し、第2回会員協議所会議内にて、当会議で議論した内容を発表した後、提言書として報告しました。
他	近畿地区大会の在り方を考える会 提言書発表計画	近畿地区大会期間中の第2回会員協議所会議にて報告事項において2023年度近畿地区大会の在り方を考える会について提言書の発表を行いました。各LOMに提言書、地区大会の手引き、参考資料をデータで配信し、会務担当副会長より発言しました。
公5	近畿地区大会姫路大会における視座を高める研修フォーラムの実施事業計画	第1部にハロルド・ジョージメイ 氏の講演として課題に対するアプローチの方法に関して講演いただきました。第2部では「リーダーに欠かせない要素」をテーマに対談していただき、地域を牽引する次世代のリーダー像を認識していただく機会を提供しました。
他	理念共感による会員拡大の推進事業計画	理念共感においてブロック協議会と協力しながら事業構築を行い、セミナー実施することで、LOMとブロックと地区の垣根を越えることで交流ができました。他の拡大手法やメンバーの個性に触れることで、積極的にJC運動に取り組める人材が増えたと言えます。
他	LOMが躍動するための新たな支援モデルの構築計画	各ブロック協議会内LOM支援委員会と協議し、各ブロック協議会のLOM支援状況やLOM運営を調査する会議を行い、各ブロック協議会にLOM支援モデルの提供や各ブロック協議会へのフォローの提案を行いました。課題別にLOM支援モデルを構築しました。
他	近畿地区大会姫路大会「大会式典」実施計画	近畿地区大会姫路大会式典において、主催の2023年度近畿地区協議会が今まで以上に力動的で、これまで実施した地域・LOMのためとなる運動を発信し、また、次年度会長の発表、大会一円伝達を行い、さらに必要とされる協議会に昇華するべく開催しました。
公7	国際アカデミーナイトセッションブース出展計画	第36回国際アカデミーナイトセッションにて、京の鮎司、明石、紀州梅屋布備家のセットを提供し飲み物の提供や呼び込みを行いました。ASPACブース出展に使用した法被を着用し、海外デリゲイツの皆様とも積極的にコミュニケーションを図りました。
他	ブランディングの仕組み構築及び発信の推進計画	近畿地区協議会広報として、JCブランディングを昇華させる施策として、会長対談の動画配信や、地域の魅力の動画配信等の各種情報を発信したことでJCの認知度を高め各地域の諸団体とのハブとなる存在である近畿地区協議会というブランドを明確にしました。
他	第1回会員協議所会議の設営及び運営事業計画	国立京都国際会館にて、京都会議期間中に第1回会員協議所会議を開催し、近畿地区内各地委員会協議所理事長の皆様に2023年度地区方針プレゼンを始めとした各議事を確認・採択いただき2023年度近畿地区協議会の発信する政策に対し確認をいただきました。
他	第2回会員協議所会議の設営及び事業計画	アリエドにて、第2回会員協議所会議を開催し、近畿地区内各地LOMの理事長の皆様に2023年度近畿地区協議会が発信する政策と現状につきご確認をいただきました。2024年度の会長の選出に関する報告や近畿地区大会の在り方の発言を行いました。
他	第3回会員協議所会議の設営及び事業計画	2023年度以降の運動を円滑に遂行するために、各地委員会協議所の理事長に出席いただき2023年度近畿地区協議会が発信した政策が生み出した価値を確認し、各地委員会協議所に向けた報告と2023年度の予算の執行状況を承認していただく機会となりました。
他	次年度への引継ぎ式開催及び事業計画	近畿地区協議会の引継ぎの重要性の概要説明を行い、続いて各会務担当副会長と委員長両名で2023年の委員会としてどのような活動を行ったか、概略報告をしていただきました。2024年度役員予定者に直接引継ぎをもらう機会を提供し情報を共有できました。
他	組織を最適化するDXの推進計画	前年の2022年度意見調査結果を基に、課題解決の為に最適なICTツール(Garoon)を提案し、会議の効率化やメンバー間の情報共有の迅速化や負担軽減を図りました。ブロック、LOMを対象にもすることで、近畿地区全域DX化の意欲を高めました。
他	財務規律と財源を確保させるための指導、推進、支援計画	JCI規則、財務ルールを通じたコンプライアンス、各種資金調達手段の発表、社における財務規則の情報発信について学んでいただく機会を創出しました。コンプライアンスの観点から、今後の社と青年会議所活動に活かしていただく一助になったと考えます。



地区協議会名	役職名	担当者名
中国地区協議会	会長	山田 章夫 (東広島)

基本方針

ブロック協議会の連携による好循環化、防災意識の向上、中国5県の魅力発信により、誰もが夢を描ける未来の創造。



総括

外的要因による会員減少に苦しむ中、地区協議会、ブロック協議会への出向者を輩出できないブロックが多く、具体的な解決策を打ち出せない協議会が多くありました。しかし、各ブロック協議会はそれぞれの特色を活かし、交流事業の開催、アカデミー等の人材育成、新たな視点の会員拡大、日本JCと連携したLOM支援と全国規模の運動展開等、出来る施策を積極的に行い、将来へ向けた地道な種を撒いてまいりました。中国地区協議会としても本会与ブロック協議会の連絡調整を密に行い、LOMの運動が最大化できる支援体制の構築と実施策について次年度へ引き継ぎ、今後の中国地区内53LOMの発展に向け、総合調整という役割を全ういたしました。

事業区分	事業名	事業内容
公1	JCカップU-11少年少女サッカー大会予選大会の実施	チームや個人がそれぞれ自分の定めた目標に対して勝負にこだわり、本気で目標を達成しようとするのが重要であると考え、「勝負にこだわる中国地区」として取り組み、本気で取り組む過程で、仲間や挑戦者を全員でたたく大会を実施しました。
他	有事に備えた災害ネットワークの構築と強化	有事の際に連携がスムーズに行えるよう、各ブロック共通の災害ネットワーク、連絡名簿を構築しました。また、速やかに現状把握と支援準備が行えるよう、ブロックと地区で共通で利用できる災害救援シートを作成しました。
他	中国地区協議会内におけるMOTTAINAI運動の推進	フードロスに焦点を絞り、各LOMへフードロス事例を共有し、運動推進を行いました。
公7	JCI ASPACインドネシアジャカルタ大会ブース出展	緑日をテーマとし、中国地区の伝統工芸品を海外のメンバーに体験してもらいました。また、併せて中国地区内の日本酒を振舞い、国内外のメンバーに中国地区の魅力を発信しました。
公5	地域の魅力あるコンテンツの発信・発信	中国地区内53LOMの知る人ぞ知るマイナーな魅力を集め、パネル展示をし、地域の隠れた魅力を発信しました。また、来場者にアンケート調査を行い、魅力を感じて頂けた地域をMMグランプリ神7と選出しYouTubeでも配信をし、その地域を訪れる機会を創出しました。
他	世界に発信できるビジネスの発信・発信	地区コンファレンス内で相談ブースを設営し、海外への輸出したい中国地区内の企業を発掘し、日本JCの国際ビジネス連携会議へと繋げました。
公5	中国地区コンファレンス2023in尾道	地域とJCが二人三脚で町の未来を創り、誰もが未来を掴むことのできる新しい中国地方となることを描き、中国地区内でJC運動を推進し、中国地区コンファレンス内のすべての空間を活用し、LOMとLOM、LOMと地域の連携によるJC運動の可能性を表現しました。
他	中国地区コンファレンス2023in尾道(フォーラム)	ディスカッション形式で各テーマの趣旨について、解決してきた手法や運動を各地理事長にお話をして頂き、これからのJC運動や地域活性化運動の参考にし、これからのJC運動をより持続的且つ効果的に続けていく術を知って頂きました。
公6	中国地区コンファレンス2023in尾道(レジリエンス)	災害が起こった際に叫びに行動できる為に、社協や自衛隊等と連携を取り、体験しながら学んでいただく機会を創出しました。VR災害体験やライフライン維持の仕方、防災グッズの紹介、自衛隊の防災教室などを行い、自主防災についての理解を深めて頂きました。
公5	中国地区コンファレンス2023in尾道(たからいち)	開催地の魅力発信と市民協働のたからいちを開催し、各地域に市民協働による事業構築並びに魅力発信の手法を学んで頂き、各地域に好循環をつみ出す機会を創出しました。
他	中国地区コンファレンス2023in尾道(褒賞)	中国地区内各地で展開されている優れた事業を共有し、今後より良い事業構築の参考として頂きました。そして、地区外のメンバーにも共有するため、また、褒賞を通じて学びを得て頂くきっかけとするため、AWARDS JAPAN 2023への申請サポートも行いました。
公7	国際アカデミーin静岡ナイトセッションブース出展	国際アカデミーで開催されるナイトセッションにて日本酒と名産を楽しんでもらえるブースを出展し、国内外のメンバーに中国地区内の魅力を感じていただきました。



地区協議会名	役職名	担当者名
四国地区協議会	会長	山本 悠童 (高知)

基本方針

「夢溢れる未来を描けるリーダーを作り地域の魅力を発信できる四国」を地区の夢に掲げ、各ブロック協議会と各LOMと連携し運動を展開します。



総括

四国地区では、災害情報システム「災害支援Webみんなす」の必要性を再認識するため、昨年35%だった登録率を、今年は80%以上を達成しました。また、新幹線の誘致の機運を高めるため、まずは市民に浸透させる目的のもと、つなぐんというマスコットキャラクターを活用し、車にステッカーを貼り認知度を高めるとともに、四国中のお祭りやイベントに参加しました。そして、地区大会については、四国中を行脚したことで登録率90%を達成し、盛大で最高なものとなりました。最後にLOM支援として、委員会を設置し四国中に支援依頼を募り、地区協議会としてLOM支援に資する意義をLOMに理解していただき、次年度にも設置をお願いしております。

事業区分	事業名	事業内容
公1	JCカップU-11少年少女サッカー四国地区予選大会	四国内四県の小学生サッカーチームを対象に各県を勝ち抜いたチームに出場してもらいサッカー大会を実施しました。地域の未来を担う子どもたちの健全な育成のために、スポーツを通して勝者・敗者ともにグッドルーザー精神を学ぶ機会となりました。
他	災害時情報集約システム”みんなす”普及事業	2021年から四国地区協議会で稼働している災害時情報集約システム”みんなす”の登録率の目標を100% (期首35%)と定め約80%まで高めることができました。また実際に使用したことのないメンバーが大半だったので防災訓練を行いました。
公6	強靱なインフラ整備 四国新幹線の認知計画	四国は全国の中で唯一新幹線の空白地帯となっており、四国新幹線の議論が進められています。しかし一般の認知がまだまだ低いため、地域のお祭りなどに着ぐるみを着てPR活動を行い、YouTube広告でCMを流すなど、一般認知度の向上を行いました。
公7	2023 JCI ASPAC ジャカルタ大会 ジャパンナイト ブース出展事業	ASPACにて海外メンバーに四国の伝統的な祭り文化や、お遍路の魅力を多くの人に発信するとともに、お接待の心を感じていただき、四国の各地域を認識していただくことでインバウンドの更なる促進を行いました。
他	ドリームシートを活用した四国地区HPの更新事業	四国地区内全27LOMから情報提供していただいたドリームシートを活用し、四国地区の各ブロック協議会と共同し、四国地区協議会のホームページで発信することで、魅力ある観光資源・文化・伝統をあまねく発信することができました。
公5	四国地区大会新居浜大会記念事業Relation!~夢溢れる未来へ繋ぐ絆のバトン~	愛媛県新居浜市で四国地区大会記念事業を開催しました。2名の元プロ野球選手をお招きし、野球教室を開催しました。また地域で夢を叶えた飲食店によるキッチンカーや飲食ブース、地域の魅力を発信する観光ブースを行い、地域の魅力や人材が発掘される機会を提供しました。
他	意識を変えようMOTTAINAI運動の推進事業	四国地区大会新居浜大会内で身近にあるMOTTAINAIの取り組みを四国地区大会会場で情報を発信しました。
他	四国地区大会新居浜大会 記念式典事業	四国地区協議会内の各メンバーが県境を越えひとつになり、交流を深め、強固な連帯意識を持つ式典となるように、屋外会場での開催となりました。また次年度の会長及び開催地LOMの発表も行い、厳粛な式典を開催することができました。



地区協議会名	役職名	担当者名
九州地区協議会	会長	安田 量寛(天草本渡)

基本方針

独自の資源や魅力を国内外に力強く発信し、観光資源となる歴史的文化的な景観、食、各分野で世界に誇れる九州を創造する。



総括

4年間で3度の全国大会の開催や、2年続けての会頭輩出など注目されることが多い中、九州がひとつとなって前進するために各ブロック協議会と連携し活動を行うことができました。様々な問題に対して調査研究を経て九州コンファレンスや事業に取り組みましたが、まだまだ地域資源の発掘、発信をする余地があると感じているとともに、次年度の担いの中で活かしてもらえるよう引き継いでいきます。また、台風や大雨の影響で事業等が開催できないこともありましたが、対処法を通じて地域としての弱みを強みに変える工夫も協議していく必要があります。歴史・文化の素晴らしさ、資源の豊かさ、ひとの強さとあたたかさ、九州の魅力を全力で感じた1年でした。

事業区分	事業名	事業内容
他	九州コンファレンス2023in熊本 主管契約締結式	九州コンファレンス2023in熊本において主管のJCI熊本と主管契約締結書を交わすとともに、大会について対内・対外にアピールしました。各地からオブザーブを招き、九州地区協議会YouTubeチャンネルにて締結式の様子を配信しました。
公7	JCI ASPAC ジャパンナイト ブース出展	九州の魅力を伝えるガイドブックの配布や動画の上映、縁日の射的を模したアトラクションで来場者の興味を引き、九州各地の銘菓を配布するなど様々な趣向を凝らし魅力発信事業を実施しました。2時間のうちに300名を超える方々に参加いただきました。
公1	第8回JCカップU-11少年少女 サッカー大会九州地区予選大会	7月1日に実施予定であったが、当日は警報級の荒天となり開催を断念しました。後日、公平な抽選を経て「千代サッカー少年団」が全国大会の出場権を獲得することとなりました。
公5	九州コンファレンス2023in熊本	九州地区協議会における地区大会にあたる事業です。HOPE&DREAM 描け九州新時代～世界に誇れる九州の創造～のスローガンを掲げ、8月19日から2日間、主管であるJCI熊本の協力のもと熊本城ホールにて、以下6枠に記す事業を実施しました。
他	九州コンファレンス2023in熊本 オープニングセレモニー・クロー ジングセレモニー	大会の開始時、終了時にセレモニーを実施し大会の開始から最終最後までメンバーの参加を促しました。議長委員長による大会概要説明のほか、クロージングでは熊本地震から今までの復興とこれからの復興をテーマにクロージングフォーラムを実施しました。
公5	DX教育フォーラム～これからの 九州と宇宙に必要なもの～	DX黎明期に必要な人材の理解や、宇宙ビジネスにおけるDX人材の育成方法を知ってもらうことを目的とし、株式会社Fusic納富真嘉氏を招いた講演会を実施し、約200名の来場者にお越しいただきDX人材の必要性を発信しました。
公5	メインフォーラム～発信せよ、世 界に誇れる九州の魅力～	九州内に眠る観光資源を発掘・発信する方法について学びを得る機会の創出を目的とし、堀江貴文氏をはじめ複数のパネリストの方々をお招きしたディスカッションを実施し、約1000名の来場者に対し九州の魅力発信に関する話を展開していただきました。
公5	MOTTAINAIフォーラム～身 近なところから始められる MOTTAINAI運動～	環境問題への取り組み促進、もったいない精神の発信を目的とし、TomoshiBito株式会社 廣瀬智之氏、タレントのスザンヌ氏などを招いたディスカッションを実施し、250名の来場者に対し環境問題への取り組みの重要性と手法について発信しました。
他	AWARDS KYUSHU 2023	昨年度に九州地区内各LOMで実施された事業の中から特に優れた事業を表彰し、受賞LOMの功労や成果を称え、共有する事業です。多くのエントリーの中から、本年度はJCI宮崎がグランプリを受賞され、ゴールデンゴングが贈呈されました。
他	九州コンファレンス2023in熊本 大会式典	九州各地メンバーのほか多くのご来賓の方々にご臨席を賜りました。会長挨拶、次年度会長挨拶のほか、九州地区内各ブロック大会実行委員長による御礼スピーチを実施しました。また、大会主管LOMで引き継がれる友情の鍵がJCI霧島へと伝達されました。
公7	国際アカデミー ナイトセッシ ョンブース出展	第36回国際アカデミーin静岡の開催に合わせ、デリゲイツの皆様へ九州の魅力を知っていただくため、ナイトセッションにてブースを出展しました。九州各地のお酒とおつまみを振る舞い、国内外問わず幅広くデリゲイツの皆様にお楽しみいただきました。
公5	つながる命のネットワーク推進 事業	九州各地の社会福祉協議会とLOMとが連携し地域の防災力向上の運動を起こすことを推進する事業です。九州内各地域の災害事情に合わせた防災すごろくを作成して各LOMに配布。各地で社会福祉協議会とLOMが共同で事業を行えるようサポートしました。



地区協議会名	役職名	担当者名
沖縄地区協議会	会長	伊藤 貴庸 (那覇)

基本方針

「地域の魅力が集い、共に躍動する沖縄の実現」を基本理念に~Beyond the JC~というスローガンの通り、これまでのJCの慣例に捕われない事業に果敢に挑戦して参りました。



総括

本年度は沖縄地区協議会とブロック協議会が役割分担を明確にし、ブロックにLOM支援、会員育成を一任することで、地区協議会のプレゼンスを明確にし、地域の魅力発信と課題に特化した事業を展開して参りました。沖縄地区大会を23年ぶりに石垣島の地で開催し、子ども応援祭りと共催し1万人の市民を巻き込んだ地区大会を開催しました。またスポーツアイランド沖縄の振興策に関する事業、沖縄から世界に通用するスタートアップ企業、起業家の発掘を目的とした対外事業を開催し多くの反響を頂きました。沖縄が持つ地域の魅力を、地区協議会が集約し、形として発信することで、地域に良いインパクトを与えることができたことを確認しております。

事業区分	事業名	事業内容
公5	企業の手で地域スポーツを支える基調講演	「スポーツ×ビジネス」をどのように組み合わせ、どのようにシナジー効果を生み出すかを名古屋グランパスの小西社長を迎え基調講演を行い、第二部で小西社長に加え、地元スポーツ企業の代表者とJC代表として伊藤が登場しパネルディスカッションを実施しました。
公7	ASPAC出展及び沖縄の魅力動画作成	沖縄県内10LOMを回り、それぞれの地域が持つ魅力を動画に集約し、インドネシアASPACジャカルタ大会のジャバンプース内、沖縄地区大会のオープニングにて動画を上映し、多くのJCメンバーと一般市民に沖縄の魅力を発信を行いました。
公5	2023年度沖縄地区大会八重山大会事業	23年ぶりに八重山の地で沖縄地区大会を開催し、地元の子ども応援祭りと共催を行い多くの一般市民にJCの運動を知って頂く大会となった。子ども応援祭りではJCが行ったクラウドファンディングで目標額200万円を無事達成し、花火を打ち上げることができました。
公5	日本の課題を話し合う国防セミナー開催事業	日本JC国の安全確立会議と連携を図り、日本の安全上の重要課題である国防について、沖縄地区大会八重山大会で地元の尖閣諸島の国防への啓蒙と地域の安全策強化促進に寄与するセミナーを開催しました。
公5	地域課題を行政と話し合う離島サミット事業	沖縄県の離島ならではの子どもたちの部活の派遣遠征費問題について、未来ファンド沖縄の平良氏、また石垣中山市長や与那国町長を招いたパネルディスカッションを開催しました。
公2	創業計画スクール	沖縄県からアジアや世界で通用するスタートアップと起業家を発掘、育成すべく専門家や銀行の融資担当者を招いた創業計画スクールを開催しました。
公1	U11少年少女サッカー大会沖縄地区予選大会	子ども達にグッドルーザーの精神を育むことを目的に、MJSプレゼンツU11少年少女坂一大会沖縄地区予選大会を実施しました。
公6	親子で楽しみながら学ぶ!防災体験ワークショップ IN NA-GO!事業	一般市民に災害に対する危機感を高め、必要な知識を学び有事に備えることを目的として、多くの家族連れを招いた防災体験ワークショップを開催しました。
他	沖縄地区協議会・沖縄ブロック協議会総括発信・褒賞授与式並びに合同卒業式	1年の沖縄地区管内の10LOMが集い、それぞれのLOMの渾身の事業報告を行い、褒賞の発表を行いました。また次年度の沖縄地区大会の鍵の伝達式と合同卒業式を同日開催し、LOMの垣根を超えた交流と友情を育む事業を開催しました。



ブロック協議会名	役職名	担当者名
北海道ブロック協議会	会長	土橋 広侖(斜里)

基本方針

理念共感拡大ブランドデザイン推進のもと、会員拡大・組織改革・人財育成の点で、各LOMと情報交換し、総合的に支援する。



総括

会員の平均在籍年数が低下する中、アカデミー育成は急務であり、2月の各4エリアにおけるエリア事業を始めとし、本会と連携し必須4つのプログラムから実用的な教育の実施をすとともに、LOMの垣根を越えた出会いから会員間、LOM間の連携強化の向上に取り組みました。また、道内の理念共感プロモーターの人財育成を行い、各LOMへ出前講座を実施し、会員一人ひとりが「JCとは何か」自身の理念とともに意識向上に取り組みました。さらには、協議会が各LOMに必要とされるために、未来を見据えたアップデートを各LOMと議論を重ね一定の合意を得ることができました。次年度以降も40歳までという限られたJC活動期間での発展と成長の機会を最大限に活用してくれることを期待しています。

事業区分	事業名	事業内容
他	道南エリアウインターコンファレンス並びにアカデミー研修塾開校式	JCI組織の矜持と明確なビジョンを持つために、LOM連携会議から講師をお招きし、JCプロトコル、セレモニーのセミナーを行いました。また道南の横のつながりを育む設えを行い、多くの出会いから絆を育める土壌を構築するために、塾配属を行いました。
他	道南エリア交流事業並びに第二回アカデミー研修塾	ウインターコンファレンスで得た知識を実用できる様、セレモニーの暗記から、趣旨説明、まとめと、LOMへ持ち帰ってもすぐに生きてくる内容だったと考えます。さらにそれを大勢の前で発表することにより、アカデミー生の自信にもつながりました。
他	道南エリア大会並びにアカデミー研修塾開校式	各LOMで地域での活動やLOM内での活動を書面にて共有し新たな発見や学びの場を創出いたしました。また、地域の魅力が写った写真をフォトコンテスト形式で若手メンバーにプレゼンして頂き、道南エリアを盛り上げていく気概を持つ一助といたしました。
他	道央エリアウインターコンファレンス並びにアカデミー研修塾開校式	2023年度のJC運動の方向性を道央エリア15LOMのメンバーに共有するとともに会員拡大の意識醸成を図りました。また、アカデミー研修塾生を対象にオリエンテーションを実施し、1年間仲間とともに行動していく意識喚起を行いました。
他	道央エリア交流事業「つながり」	講師に鈴井貴之氏をお招きし、「つながり」をテーマに講演を行い、運動意識喚起を図りました。また、異業種交流会を開催し、エリア間交流と、各地域の拡大候補者へJCへの参加意識を醸成しました。
他	道央エリアアカデミー研修塾交流研修会	アカデミー研修塾生を対象に、8グループに分かれた各組の活動報告を行いました。また、グループ対抗での脱出ゲームを行い、切磋琢磨の意識醸成を図りました。
他	道央エリア大会結と絆並びにアカデミー研修塾開校式	各LOMの活動や運動を公募し、道央事業AWARD2023の表彰を行いました。また、アカデミー研修塾生が今年度行った活動を発表する場を設け、アカデミー研修塾生の成長を実感して頂きました。
他	道北エリア大雪会議並びにアカデミー研修塾開校式	2023年度のJC運動の方向性を道北エリア8LOMのメンバーに共有するとともにJCプロトコルを実施して理念の再認識を図りました。また、地域課題の深堀を行うグループワークを通じて各地の課題を認識し、「道北の心はひとつ」へと結びつく連携強化へと務めた。
他	道北エリア交流事業並びに第2回アカデミー研修塾	地域課題から新たな運動を展開した実例を聴き学び運動構築の重要性を学ぶと共に、その後のグループワークで講義内容の定着を図りました。また、第2回アカデミー研修塾にてアカデミー生自身が構築したファンクションを実施してメンバー間の交流を図りました。
他	道北エリア大会並びにアカデミー研修塾開校式	地域から生まれた運動を学び実際に実施しながらチームで汗をかき笑い合うことで、道北エリアの絆を育み次年度へと紡ぐ場となりました。また、アカデミー研修塾生には1年間の活動から生じた疑問を解決・理解できる事業を実施し、活力へと繋がったと考えます。
他	道東エリアウインターコンファレンス並びにアカデミー研修塾開校式in網走	会員一人ひとりの主体性を高める基本理念を浸透させ、北海道地区協議会の運動の方向性を指し示すことで、新たな出会いから道東エリアの価値の創出し、会員間の交流、結束を高め、アカデミー塾生を、地域を牽引するリーダーへと導くことを目的とし開催しました。
他	道東エリア交流事業in北見～天頂ゲーム～	道東8LOMメンバー同士が一年間を通して道東魂を熱く宿し、相互扶助の関係性を構築し、道東エリアに新たなLOMの垣根を超えたチームを結成いたしました。道東エリアの活性化へ向けてLOMの垣根を越えた協働を通して繋がりを目的として開催しました。
他	道東エリア大会並びにアカデミー研修塾交流研修会in十勝～そして、大団円～	LOMの垣根を超えた連携し、地域の課題解決に向けてJC運動に進捗しなければなりません。一年間のエリア事業を通じ、得た道東エリアの価値を継承し、道東8LOMが次年度に向けて運動や活動を推し進めるべく高い意欲や気概を持つことを目的として開催しました。
他	全道アカデミー「見えている世界を広げ仲間と共に航進しよう」	Purposeセミナーを実施し、組織に所属する矜持と明確なビジョンを持ち、社会におけるJCIの活動や運動の存在意義を認識するとともに、自身の存在意義や目標設定の重要性を理解して頂きました。



ブロック協議会名	役職名	担当者名
青森ブロック協議会	会長	岡崎 勇介 (青森)

基本方針

「過去の延長に未来を描き誇れる青森を実現する」未来は過去の延長線上に築かれる。輝ける未来に向けて誇れる青森を実現します。



総括

本年5月に新型コロナウイルスが5類に移行されるのを見越し、本年の青森ブロック協議会は原則参集型のリアル開催を前提として会議運営、事業ともに行ってまいりました。それが功を奏し、ブロック内の横のつながりというものに関してはコロナ禍以前の水準を取り戻せたと実感しております。この点は、ブロック内のLOMを調整し連携させるブロック協議会の一つの在り方として、ブロック内連携の軸となるということを体現するための一つの重要なポイントでした。結果として、全LOMの理解のもと、ブロック大会を従来通り2日間に開催することができました。市民向けの屋外ブースも設けたこともあり、多くのLOMメンバーと市民の皆様にも参加いただくことができました。

事業区分	事業名	事業内容
他	LOMの運営に対する意識向上セミナーの実施	組織グループJC未来創造会議議長東野篤史君より、組織運営の士気高揚のために講演をいただきました。
他	有事に備えた災害ネットワーク構築	青森県内で災害が発生した場合の対応や外部連携を念頭に、災害ネットワークを再構築しました。
他	対内に向けたLOMに関する広報活動の実施	メンバーの士気向上のため、青森ブロック協議会の事業内容や近隣LOMの事業紹介を展開いたしました。
他	対外に向けた青森ブロック協議会に関する広報活動の実施	運動拡散のため、SNSやHPを活用し外部に青森ブロック協議会の事業内容や活動紹介を展開いたしました。
他	ブロックアカデミー開校式	入会3年未満のメンバーを対象に、JC運動の機運と士気上昇を図るアカデミーを全4講座開催しました。
他	ブロックアカデミー第一講座	第1講座に関しては、ブロック連携事業となるPurpose、JCプロトコルを取り上げ、八戸の地にて開催いたしました。
他	ブロックアカデミー第二講座	第2講座に関しては、ブロック連携事業となる理念共感グランドデザイン、Discoverを取り上げ、弘前市と黒石市にて2日間にわたり開催いたしました。
公1	JCカップU-11少年少女サッカー大会青森予選会	県内各地より全8チームを招集し、青森サッカー協会のご協力のもと、五所川原の地にて青森予選会を開催いたしました。
公7	ASPACinジャカルタ東北地区ブース出展協力の実施	東北地区協議会のブース出展に協力する形で参加となりました。青森市にある沖館稲荷神社よりお守りを調達し、ジャカルタの地に配布いたしました。
公5	青森県知事選挙 公開討論会の実施	現職の青森市長と同じく現職のむつ市長の事実上一騎打ちとなった青森県知事選挙にて、公開討論会を三沢の地にて開催いたしました。
他	会員拡大に関する褒賞策定	会員拡大に関する褒賞を策定し、青森ブロック内のLOMに向けての動機づけのために実施いたしました。
他	ブロックアカデミー第三講座	アカデミー出向者が地域のリーダーになるために、責任感もち、最後までやりきる力を身につけることを目的として、むつ市にて開催しました。
他	アオモリサマーサミット内におけるLOMの運営カンファレンス実施	青森ブロック大会の事業として、8LOMの理事長をパネリストとして組織運営に関するディスカッションを行いました。ゲストにJC未来創造会議議長の東野篤史君にも参加いただきました。
他	第52回アオモリサマーサミットin五所川原8LOMの交流を図る事業	8LOMの横軸における連携強化のために、青森ブロック大会の事業として謎解きゲームの手法を用いて行いました。
公3	第52回アオモリサマーサミットin五所川原メインフォーラム	青森県内におけるMOTTAINAI運動推進のために、地球環境委員会委員長外館友之君をゲストに迎え、五所川原市内の学生とパネルディスカッションを行いました。
他	第52回アオモリサマーサミットin五所川原オープニングアクトの実施	青森ブロック大会の各ファンクションの紹介と、開催に向けての決意を表明するために、メンバー向けに映像と演技の手法を用いて実施いたしました。
他	第52回アオモリサマーサミットin五所川原クロージングセレモニーの実施	青森ブロック大会の締めくくりとして、会長挨拶、次年度ブロック会長発表、次年度ブロック大会開催地発表を、来賓を招いて実施いたしました。
他	第52回アオモリサマーサミットin五所川原戦略的広報活動の実施	青森ブロック大会に一人でも多く参加していただくため、SNS、ポスター等を駆使した広報活動を行うとともに、各LOMの例会に参加して直接参加を呼び掛けるなどのPR活動を行いました。
公5	第52回アオモリサマーサミットin五所川原大会概要の構築	青森ブロック大会の概要について、予算計上も含めて当該案にて整理し、開催に向けての概要を構築しました。
他	ブロックアカデミー第四講座	理事者の担いに積極的なアカデミー生が増え、創造力があり最後までやり切る力を身につけた地域のリーダーになることを目的として十和田湖を中心としたフィールドワークを行いました。



ブロック協議会名	役職名	担当者名
秋田ブロック協議会	会長	佐藤 裕之(能代)

基本方針

結の精神溢れる未来を描き人が育ち地域が活きる秋田を実現する。



総括

2023年、新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行し、感染拡大前の日常が少しずつ秋田県地域へ戻ってきました。それはJCも同じです。コロナ禍によってJCの会議や事業、各種大会がWEBでも参加できることが当たり前となってきました。たしかに効率化や生産性という側面において正しい選択であると思います。しかし、だからこそ「リアルで行うことの意義であり意味を取り戻したい」の思いのもと事業を実施してきました。また、LOMから必要とされる協議会となるべく組織のアップデートにも取り組んできました。これから先も、この秋田県地域にはブロック協議会が必要だとLOMのみなさんに思ってもらえる、そんな1年になったと私は思います。

事業区分	事業名	事業内容
公1	MJSプレゼンツJCカップU-11少年少女サッカー全国大会秋田県予選大会	スポーツは青少年の体力を向上させるとともに他者を尊重する精神と規律を尊ぶ態度を培います。県内各地から出場チームを募り、JCカップU-11少年少女サッカー全国大会秋田県予選大会を実施しました。
公1	わんぱく相撲全国大会出場サポート	自らの目標に向かって努力する気持ちと礼儀礼節の大切さ、他を慮る精神の養成の涵養を目的とし、JCI東京主催のわんぱく相撲全国大会に出場する小学4年生、5年生、6年生代表者への引率等の支援を行いました。
公5	ブロック大会メインフォーラム	魅力に溢れる秋田を実現するために、地域に根付く文化、伝統や観光資源などのコンテンツを再発掘しました。秋田美人と美容を掛け合わせた対談を行い、対談を元に参加者が持ち帰り実践できる化粧講座とお化粧に合う服装を紹介し秋田の魅力を発信しました。
公7	JCI ASPACジャカルタ大会ブース出展	世界各地から人々が集う魅力あるAKITAの実現に向けて、海外のメンバーが集う各種大会は秋田の魅力と文化を世界へ向けて広く発信する最大の好機です。ブースの出展を通じて秋田の素晴らしさを世界の人々に発信しました。
他	合同懇談会	運動方針への相互理解と共感醸成を図るには、各地LOMの考えを理解し良き関係性を築き上げることが重要です。各地LOM理事長と秋田ブロック協議会役員より、それぞれ2023年度体制における基本方針及び事業計画についてご説明をいただきました。
他	秋田ブロック大会	JC運動最大発信の好機を生み出すには県内に存在するJC同志が一同に集結し、共通の運動目的のもとに意識の共有を図ることが大切です。会長候補者とブロック大会開催予定地を発表し運動の引き継ぎを実現させるとともに、2023年度の運動内容を発信しました。
他	ブロック内褒賞事業	事業に関する総合的意見を収集できる機会の創出は成果とその後の運動効果を共有できる貴重な場となります。各地LOMより褒賞事業にエントリーをいただき、外部審査員ご選出のもと、各事業における審査をいただきブロック大会の場にて褒賞を実施しました。
他	秋田ブロック塾	近年、社会情勢において活動が制限されたこともあり入会歴の浅いメンバー同士が対面する機会が少なくなりました。ブロック塾を県内各地で実施することで主体的参加の促進を促し、各地LOMの理念と各地理事長の皆様の考えを学ぶ機会を創出しました。



ブロック協議会名	役職名	担当者名
岩手ブロック協議会	会長	安部修司(花巻)

基本方針

結いの精神でつながる多様な魅力が溢れる岩手の実現



総括

本年度、アカデミー事業では、JCの組織や理念を学ぶと共にブロック内でのメンバー間のつながりを創出し、卒業までのJCライブを全うできる基礎体力を養う事業を行いました。また、ブロック大会では、地域が勝ち(価値)残るための地域内経済循環に関するメインフォーラムを開催し、岩手各地の多様な魅力を活用した持続可能な地域の実現を発信したほか、パートナー企業を募集して協賛やブース出展の協力を得たことで、持続可能な大会構築へ寄与できたものと考えます。その他にも、岩手県知事選挙公開討論会、いわて高校生政策甲子園2023の実施など、岩手県内により良い変化をもたらす運動を推進できたと確信しております。

事業区分	事業名	事業内容
公5	Be the shineメインフォーラム～岩手の未来を明るく照らす、熱き岩手のリーダー達～	藻谷浩介氏の講演を通じて地域が勝ち(価値)残るための地域内経済循環について学ぶ機会となりました。阿部徹顧問と3名の理事長とのクロストークでは、地域内経済循環についての各LOMの具体的な事例を共有しました。
他	第40期いわてJAYCEEアカデミー(開校式、第1～第4講座、閉校式)	地域を牽引するリーダーとしての資質を備えたメンバーを育成するために、JCの組織や理念を学ぶと共にブロック協議会内でのメンバー間のつながりを創出し、卒業までのJCライブを全うできる基礎体力を身に着けたメンバーを増やしました。
公5	第52回岩手ブロック大会in花巻	岩手ブロック協議会最大の運動の発信の場を創出し、岩手の魅力を体感していただく大会を開催しました。持続可能な大会構築のための新たな試みとして、パートナー企業を募集して協賛とブース出展のご協力をいただきました。
公1	JCカップU-11少年少女サッカー予選大会	子供たちに相互扶助の心を醸成するために、いわてグルージャ盛岡の選手を招いたサッカー教室を通じてグッドルーザーの精神を学び、トーナメント方式でのサッカー大会を開催することで、広い視野をもった社会性を育みました。
他	理念共感拡大グランドデザイン特別講演	理念共感拡大グランドデザインの推進のため、アチーブメント株式会社の高木謙治氏に理念の浸透した組織をテーマに講演いただきました。拡大に成功している2LOMから拡大事例を共有しました。
公4	岩手県知事選挙公開討論会	若年層の投票率を向上させ当事者意識を育むために、岩手県知事選挙公開討論会を開催し、市民の政策判断に資すると共に若年層の声を県政に届けました。
公4	いわて高校生政策甲子園2023	次代を担う高校生が、自らが住み続けたい地域をテーマに地域課題に対して向き合うことで、地域と向き合い新しい発見や魅力の深掘りを行い、地域に対する愛着と政治への関心を高めました。
他	継続的にフォローしていく伴走型LOM支援の実施	予定者段階でのアンケートによりLOMが抱えている課題を確認し、各LOMの理事長にヒアリングを実施しました。本会のLOM支援委員会等と連携しながらLOMの課題解決の支援を行ってまいりました。



ブロック協議会名	役職名	担当者名
宮城ブロック協議会	会長	渡辺 俊 (おおさき)

基本方針

JCI理念を体現する人材育成、LOMが自立的に運動を推進する支援、地域に新たな価値を創造する旗手を輩出し、夢を実現する宮城の創造。



総括

本会と連携し「不可能」を「可能」に変えていくことを伝播する年としました。その結果ブロック大会では7名の主管LOMが開催を成功裏に終えメンバー数の大小ではない開催の可能性を示しました。また、ブロックアカデミーにおいては理事長経験者が塾長職を担うことで出席率向上に繋げ、LOM支援では理念共感プロモーターを半数以上のLOMに輩出する等、組織を担う人材育成に重きを置きました。県民に対する直接的な運動としてベビーファースト運動、U-11少年少女サッカー大会の開催を通し広く問題提起を行って参りました。各地のリーダー輩出に注力することで間接的に県民へ運動を広げていく、協議会のあるべき「LOM支援」を示すことが出来た一年でありました。

事業区分	事業名	事業内容
公1	MJS presents JCカップ U-11 少年少女サッカー大会	共同の力を育むために、グットルーザーの精神の下、スポーツに慣れ親しむ危機を創出し、他者を尊重する精神と規律を尊ぶ態度を培うことで、相手を讃え合う精神と相互扶助の心を育成しました。
公4	ベビーファースト運動年間推進計画	子育てしやすい社会を実現するために、育児負担軽減を促進する事業の推進をし、県、企業、団体と締結したベビーファースト運動の取り組みを11LOMと検証、改善を促すことで、子育て世代に対しての環境を整備しました。
公5	第53回宮城ブロック大会in白石・刈田	宮城県及び開催地の更なる発展のために、主管LOMの綿密な連携のもと開催地の特徴を最大限生かし、地域益、参加者益、主管益、主催者益へとつなげ、さらに少数LOMでの開催において新たなロールモデルを創出しました。
公5	みやぎJCアカデミー委員会 第53回宮城ブロック大会in白石・刈田「エクスカッション」事業	アカデミー生が多様な団体と協働し、地域の新たな質的価値を創造するために、JCI白石の活動エリア内の特産物を体感できる場所に赴き体験方式で地域の魅力を体感していただくエクスカッションを実施いたしました。
他	アカデミー開校式	塾生のアカデミー委員会への興味と参加意欲を高めるために、理念共感プログラム「Purpose」並びに会長と塾長によるパネルディスカッションを受講していただく学びある開校式を開催いたしました。
他	アカデミー委員会3月事業「JCI Discover～Active citizen travel～」	アカデミー生にリーダーに必要な要素について理解することと今後のJC活動における具体的な目標を見つけるために、組織の使命を理解し、JC活動を通して変化を起こし続けられるリーダーに必要な要素を学ぶことができるJCI Discoverを開催しました。
他	アカデミー委員会5月事業「Thinking Action Framework」	アカデミー生に地域課題の抽出から解決策の立案までのプロセスを会得することと、事業構築方法においてパートナーシップや地域住民が運動に参加することの重要性を認識し、考え方を会得するために「ONE IMPACT SEMINAR」を開催しました。
他	アカデミー委員会8月事業「STEP UP LEADERS ～地域の架け橋となれ～」	アカデミー生に事業構築・実施・検証のプロセスを会得することと、パートナーシップの重要性を理解していただくために、アカデミー生が事業計画、模擬理事会を通して、事業計画並びに、意見書の修正、実施のプロセスを学んでいただきました。
他	2023年度みやぎJCアカデミー委員会開校式	アカデミー生が課程修了後も各LOMで運動を展開していく意欲を高めるために、中島土直前会頭のご講演と、一年間の事業発表並びに決意表明、褒章を行う開校式を開催しました。
他	2023年度LOM支援委員会年間支援計画	各LOMへ①課題に応じた情報の提供やその他実例などの情報の共有、②プログラムの実施と開催に向けた支援、③会員拡大担当者間で拡大状況と取り組み事例の共有、④事業実施スケジュール調査と参加促進を年間を通して行いました。
他	理念共感拡大セミナー	JCIの理念へ理解を深め理念共感拡大の重要性を理解するために、「Purpose」を開催した後、次年度東北地区協議会と連携して理念共感プロモーター育成セミナーを開催し県内各地にプロモーターを輩出し、理念共感拡大の一助としました。



ブロック協議会名	役職名	担当者名
山形ブロック協議会	会長	三浦 真守 (山形)

基本方針

共存共栄 魅力の融合と創造～夢と笑顔溢れるやまがたの実現～ 魅力的で誰もが憧れる山形を実現します。



総括

2023年度山形ブロック協議会では「地域のために、各地会員会議所のために」をモットーに事業を展開してまいりました。ブロック協議会として、各地会員会議所が輝くことで地域の輝きを取り戻し、県内の魅力を融合した新たなブロック大会を開催したことで、県内における人の流れを構築し、地域内循環型の社会の構築を実現しました。また、地域を牽引できる人財を育てることで、今だけではなく将来にわたり地域を輝かせるための礎を構築しました。今この時が輝いているだけでは将来の展望はありません。人と人が長きに渡り紡ぎ磨かれ未来に向けて輝かしい山形を実現するための1つの歴史を残せたと感じています。

事業区分	事業名	事業内容
公5	山形ブロック大会 新庄大会	新庄・最上地域をエリアとする新庄の地にて、県内各地の祭りや山車を集めパレードを実施、県内の人流を構築しました。
公5	地域の魅力ある観光資源・文化・伝統等のコンテンツの発掘発信事業	山形の誇るラーメン文化を各種SNSを活用し、海外向けに発信を行いました。インバウンドをもって県内の活性化を狙った事業構築を行いました。
他	山形ブロック協議会 2023年度 アカデミー委員会	県内38名のアカデミー生に対し、地域の観光資源・文化・伝統等を持続可能なものにするというテーマの下、調査・研究・発表を行うスキームを学んで頂き、各チームに分かれ研究発表会を実施しました。
他	LOM支援活動	各地会員会議所を支援することで、地域の活性化を図るため、ブロック協議会にて各地会員会議所からの要請に応え人員の派遣を行いました。本来では実施困難な事業についても共に協力し実施することができ、地域活性化の一助になれたと感じています。



ブロック協議会名	役職名	担当者名
福島ブロック協議会	会長	金子 善弥 (白河)

基本方針

18LOMの人財育成と魅力発信、LOM支援を軸に、結の精神で繋がる魅力的で誰もが誇れる故郷を創造します。



総括

本年は「結いの精神でつながる魅力的で誰もが憧れる福島の実現」を基本理念に、人財育成と福島の魅力発信、そしてLOM支援を中心に運動を展開しました。コロナウイルス感染症が5類に分類され経済活動が活発化した本年だからこそできることを考え、各地委員会協議所から協議会へ輩出していただいたメンバーの成長と対内外への優良な機会の提供を目指し2023年度をスタートさせました。各委員会がその時に出来るベストを尽くし、協議会の目的を理解し全力で動いてくれたと考えております。また、9月に発災しました豪雨災害の被災地へ、的確な人的支援と義援金の提供、協議会のスケールメリットを生かした情報発信支援を行いました。年間を通し、各地委員会協議所へ効果的にLOM支援がどこまで出来たのかわからないところはございますが、本年の運動を検証し、2024年度に引継ぎ、これからも福島の明るい未来へ繋げてまいります。

事業区分	事業名	事業内容
公1	JCカップU-11少年少女サッカー全国大会福島県予選大会	本大会のメインテーマであるグッドルーパー精神を学ぶ機会を子供たちと共に保護者や指導者の方々にも提供することで、持続的に子供たちのより良い教育環境をつくっていくことが求められていると考え、事業を開催しました。
公5	JCカップ全国大会における福島の「地宝のMIRYOKU」発信・発掘事業	東京電力福島第一原発事故から12年が経過し、被災地の復興は着実に進んでいますが、福島県に対する風評被害はまだまだ根強く残っており、農産物や海産物の消費量の落ち込み、観光業の不振などの課題があると考え、全国大会で風評被害払拭のために事業を開催しました。
公3	ブロック大会メインフォーラム「今こそ復活!猪苗代の地域資源!地域資源サミットin猪苗代」	地域資源を見直し、環境改善を行いつつ地域経済が循環していくため気づきを生むことを目的に、フォーラムを聴講した人が自分たちの住まう地域の資源を再確認し、それを活用することで経済を循環させ、地方が自主自立することを夢に掲げ開催しました。
公6	防災減災でニコリ〜伝えて・遊んで・学ブース〜事業	防災減災意識の向上とかけがえのない命を守る大切さを知り、周囲の人々に対する思いやりや助け合いの精神を育むことで皆が笑顔になれることを夢に掲げ、来場された方が継続的な防災意識を保ち、新たな気付きや災害へ備える機会を創出することを目的に開催しました。
他	地域をヤバくする!!リジェネラティブで繋ぐ地域連携のいまこれから事業	JCの認知度が今よりも向上し、行われている事業の理念に共感し、誰もが入会したいと思える組織となることを夢に掲げ、各LOMで行われている事業紹介を行うことでリジェネラティブの概念を活用した成功事例の発信を行い、参加者の課題解決の一助となる事を目的に開催しました。
他	第53回福島ブロック大会in猪苗代 広報事業	ブロック協議会の運動の最大の発信の場であるブロック大会を開催するにあたり、趣旨や内容を多くの県民に発信し、ブロック大会への参加促進のために実施しました。
他	福島ブロック協議会アカデミー委員会(開校式、第1~4回委員会、第1~3回座談会、閉校式)	年間の運動を通じて仲間づくりの起点とし、本質の見極め方、能動的に運動する必要性の理解、自身の考えを他社に伝える事の重要性を学び、地域の課題解決へ向けて事業を通じて得た経験や仲間とのつながりを活かして、多様な人財と協力し率先して取り組む意識を高め合いました。
公7	福島の魅力発信事業(国際アカデミー、ASPAC、世界会議)	コロナ後に落ち込んだ観光需要を取り戻すべく福島の文化や風習を感じていただく場を国際的な機会の場で提供しました。
他	LOMをヤバくする!!会員拡大セミナー事業	県内18LOMのメンバーが、主体的かつ持続的に会員拡大を行う意識を醸成することで、組織拡大に取り組むきっかけを創る事を目的に、福島ブロックが会員拡大に成功し、次年度以降も各LOMが自ずと人が集まる組織になる事を夢に掲げ実施しました。
他	福島ブロック協議2023年度「事業報告会・卒業式」事業	2023年度の福島ブロック協議会の活動での自身の成長や意識向上の再確認をし、青年会議所の運動に尽力されてきた卒業生へ感謝し、想いを汲み取り、今後の運動・活動への意欲を高める事を目的に実施しました。



ブロック協議会名	役職名	担当者名
栃木ブロック協議会	会長	倉松 宗道 (日光)

基本方針

利他の心に満ち溢れた栃木の創造のために会員一人ひとりの成長に特化した事業を実施し、夢や希望を描けるリーダーを輩出します。



総括

本年度栃木ブロック協議会では、「人の成長」にテーマを掲げ、まずはメンバー一人ひとりが良い心の状態を生み出し、組織や社会を好循環に変えるために、ウェルビーイング経営や健康的な思考の推進を行いました。会員拡大事業では全LOM純増を目標としブロック事業を活用して入会につなげる実績を創りました。またデジタルブランディング強化のため、明日から活用できるSNSのスキルや知識を学び、各LOMのSNSフォロワー向上にもつながりました。さらにアカデミー育成事業では主体性をもつためには、志の向上が重要であることを学び、年間を通してメンバー一人ひとりが未来を創るために必要なスキル、知識、志を身に付けることができたと考えます。

事業区分	事業名	事業内容
他	第1回全体会議	新年度の栃木ブロック協議会の起点となる事業計画発表を始め、各委員会の第1回全体委員会を開催して出向者及びメンバーが新たな一年を迎える場としてメンバーの運動展開に対する機運向上を図る機会としました。
他	第2回全体会議	本年度の運動の成果の報告を始め、次年度の方針について説明する機会として、更なるアップデートした運動展開に対する機運を高める場としました。また、これまで活動を共にしてきた卒業を迎えるメンバーに対して、敬意を表する場としました。
他	理念共感拡大スペシャリスト育成事業～未来をつくるのは私たちだ～	各LOMの拡大担当者を対象に2部制の理念共感拡大セミナーを開催しました。榑田 啓先輩、曾根香奈子先輩の二人を講師として「理念共感拡大とは」をテーマに未来に繋がる拡大をお話いただき拡大への機運向上を図りました。
他	とちぎのリーダーが語る!!～あの日あの時のマイストーリー	JCの入会を考えている拡大候補者をお招きし、県内の歴代理事長のOBである先輩達から青年会議所を通してのJC論を伝えることで入会に繋げる事業を実施しました。
他	Purpose～それ全部JCでできます!!～	大阿久友伸ヘッドトレーナーをお招きし、JC公式プログラムであるPurposeを第一回全体会議の場で実施いたしました。バーパスについて学び改めてJCの存在意義やマイバーパスを見出す事を目的に実施いたしました。
他	栃プロボッチャ大会～チームの絆で勝利を掴め!!～	県内アカデミーメンバーを対象に、交流を目的としてバラスポーツであるボッチャ大会を開催いたしました。JCの魅力の一つである出会い、交流にフォーカスして本事業を行い、LOMの垣根を超えたメンバー間の交流の機会といたしました。
他	アカデミー研修事業～青年よ、夢を抱け!!～	講師として石倉大君(JC佐野)を招き、県内アカデミーメンバーを対象に研修事業を行いました。JCを通して自分が成長したいことや得たいことなどの「夢」を見出すための機会とし、また講師の方には今までのJC活動における経験などをお話しいただきました。
他	Fun to Revolution!!～おいおいおいSNSで未来がわかる!	株式会社リンクロヴァ長野 雅樹氏をお招きし、社業などで困難にぶつかった時、SNSを活用するという発想の転換を行い、違った角度から情報発信を行うことで、本業に繋げていくためのSNS活用戦略や、情報発信の可能性を学ぶ機会としました。
他	2023年度第1回全体会議フォーラム「Well-being sWell ～次代のうねり～」	ウェルビーイングをテーマに、日本ウェルビーイング計画推進特命委員会の上野通子特命委員長とウェルビーイング研究第一人者の石川善樹氏とのトークセッションを行い、参加者にはウェルビーイングの考えを取り入れてもらうことを目指しました。
他	目指せ!Instagramフォロワー数1万人!あやしい団体から逆転しよう。	焼津JC池谷 武大副理事長を講師としてInstagramフォロワー数増加の手法や発信力向上のメリットを学ぶ機会として、次年度以降も継続的に発信を行える機運を醸成する機会としました。
他	2023年度栃木ブロックアワード審査会及び表彰式	各地で実施された事業を評価し表彰することで、今後行われていくJC運動が社会の変化に対応しながら「明るく豊かな社会の実現」に向けて、各LOMメンバーが事業事例を共有する機会を作りました。
公1	JCカップ U-11 少年少女サッカー全国大会栃木ブロック予選大会	チームワークを通じ協調性や連帯感を育み、多様性の相互理解の意識を育成、次代を担う少年少女達に勝ち負け以上に大切なグッドルーザー精神の育成、また関わるすべての人々の社会への参画と相互尊重の意識の醸成する機会としました。
公2	大愚和尚の一言一答～Youtuber和尚が語る幸せの定義～	とちぎフォーラム2023の場において大愚和尚をお招きし、幸せな社会や自分の実現のために志と幸せをテーマにご講演いただきました。また、講演の後半では一言一答形式にてお話しいただき、悩みを解決する時間を設けました。
公5	ウェルビーイング経営セミナー「Well-being doWell ～だんだんよくなる～」	ウェルビーイング経営をテーマに元商工中金の山川泰介氏と衣川由希子氏、菊地歯車株式会社の田部井氏をお招きして、1部で山川氏による講演、2部でパネルディスカッションを行いました。
公5	幸せの形を生み出すとちぎフォーラム2023	とちぎフォーラム2023は、つながりをテーマに、参加者がとちぎフォーラムの中で様々な形のウェルビーイングを感じることで、自身の夢や希望、幸せについて考えてもらい、地域に好循環(ウェルビーイングな状態)を生み出すファンクションを展開しました。
公5	とちぎフォーラム2023事業「Well-being Lounge」	会場内で健康やウェルビーイングをテーマにカフェスペースを設置。テーブルなどにウェルビーイングの説明パネルの掲示し、また「睡眠とウェルビーイング」のセミナーを行いました。



ブロック協議会名	役職名	担当者名
茨城ブロック協議会	会長	松田 浩一（下妻）

基本方針

各地会員会議所の運動を最大化させるために、会員拡大と人財育成に力を入れていくことで、茨城ブロック内LOM全体の発展に寄与します。



総括

目的として各LOMの発展を掲げ、2023年度は会員拡大と人財育成にフォーカスして事業展開をしてきました。会員拡大では今までにない会員拡大専門の委員会を作り、各LOMの直接的な支援に当たりました。拡大のマインドがないLOMに対しては、セミナーなどを行い、マインドを育みました。また、各LOMで例会や交流会などを行い、クロージングまで共に行動した結果、例年より拡大で結果が残せました。そして、人財育成では、すべての事業でスピーチの機会を創出することが何よりの成長の機会と考え、様々な場所でスピーチをしてきました。また、出向者には成長の機会を与えることを重点的に考えて事業構築したことで人財育成に効果があったと考えます。

事業区分	事業名	事業内容
他	躍る拡大捜査1000 THE MOVEMENT1「会員拡大のスイッチをONにせよ」	会員拡大の技術を知ることで、参加者一人ひとりの会員拡大に対する意識を向上させ、本事業の参加者が積極的にJC活動や会員拡大に取り組むことで、各LOM内に会員拡大を積極的に行っていく空気感を醸成し、結果へとつなげていく事業です。
公6	千財一遇 補助金・助成金セミナー	補助金・助成金の取得の心理的ハードルを取り除き、補助金・助成金を身近に感じていただけるような事業です。
公6	IBARAKIグローバル塾～踏み出せ海外への第一歩～	海外展開の心理的ハードルを取り除き、グローバルビジネスを身近に感じていただけるような事業です。
他	ベビーファースト運動推進セミナー	日本青年会議所 国家グループ 次世代社会デザイン委員会委員長石川曉棋君をお迎えしベビーファースト運動への知識を深めて頂きより推進していくための事業です。
他	暁!アカデミー合宿「Academy Boot Camp」	アカデミーメンバーがJAYCEEとして、自身の成長をLOMで発揮するために、JCの基礎を学び理解を深める1泊2日の合宿事業を開催しました。
公1	市長を喰らせろ!白熱首長教室2023	つくば市長を事業実施会場に招き、つくば市内の中学生に身近なところで政治はどのように行われているのか、生活にはどのような影響があるのか、なぜつくば市長が政治家を志したのかなどを話してもらうことで、つくば市長からの生の声を聞く事業です。
公5	第52回茨城ブロック大会つくば大会記念事業「#つくばんばく2023」	研究学園都市つくばという地域性を生かした事業を構築します。つくば青年会議所、各地23LOM、つくば市、茨城県と連携し、先端技術と地域の魅力を体験して頂いた事業です。
公1	JCカップU-11少年少女サッカー全国大会県予選大会	第9回JCカップU-11少年少女サッカー全国県予選大会を開催し、チームスポーツ大会を通して対戦相手やチームの仲間、関係者など人と人の繋がりを深められた事業です。
他	ブランディングセミナー	広報に関する幅広い知識を学び、青年会議所の運動をより多く効果的に伝播するための研修事業を実施しました。
公1	第52回茨城ブロック大会つくば大会メインフォーラム	「ドラえもん」をつくるという夢に対して、どのようなプロセスを持って臨んでおられるのかを、ヒトとロボットをつなぐ技術であるHAI(ヒューマンエージェントインタラクション)について、HAIを活用することによるAIとヒトとロボットのよりよい関係について講演いただきました。
他	第52回茨城ブロック大会つくば大会躍る拡大捜査1000 THE FINAL「拡大は会議室で起きてるんじゃない、現場で起きてるんだ」	会員拡大にまつわる様々な情報を各班ごとに披露する場を設け、参加者に有益な会員拡大の情報を伝播することで、参加者の会員拡大に対する捉え方に変化を与えるとともに、本年度の残りの期間の会員拡大に対するモチベーションを向上させました。
他	第52回茨城ブロック大会つくば大会輝!覚悟を決めてVISIONをもて～魅力あふれるJAYCEEセミナー	アカデミー事業を通して感じたことや学んだこと、LOM活動に対しての変化を感じた点などを踏まえながらアカデミー事業の魅力を伝えていただいた事業です。
公4	第52回茨城ブロック大会つくば大会世界の未来が見えてくる～今こそ知りたい地政学～	国防、安全保障及び地政学を専門とする講師をお招きし、その基礎的な知識を学ぶ講演を実施しました。
公5	第52回茨城ブロック大会つくば大会ベビーファースト～始まりは出逢いから～	婚活パーティー、託児所兼お子様ワークショップ、ベビーファースト推進及び子育て支援ブース事業を行いました。
公7	JCI ASPACジャカルタ大会ブース出展	ASPACジャカルタ大会ジャパンナイトにおいてほしいも、さしま茶、煎餅の提供を通して茨城のとしてブース出展を行いました。
他	魁!アカデミー塾	アカデミーメンバーが自信とJC運動を起こす力を養うために、アドバイザーと伴走型で事業構築から開催、報告に至るまでのプロセスを学んで頂いた事業です。



ブロック協議会名	役職名	担当者名
群馬ブロック協議会	会長	黒澤 卓也 (桐生)

基本方針

新たな挑戦が未来を描く、幸せ溢れる群馬の創造



総括

本年、群馬ブロック協議会は「新たな挑戦が未来を描く、幸せ溢れる群馬の創造」を基本理念に、県内12会員会議所の皆様とともにJC運動を展開してまいりました。本年は、アカデミー事業を3回行いJC活動に邁進できる人財育成を行いながら、繋がりを作るための交流会を実施しアカデミー生の底上げを行いました。またLOMへのサポートをすべくLOM支援委員会を作り、拡大だけではなくLOMの課題を解決する為の委員会を作り支援体制を整える新たな取り組みを行いました。またブロック大会では、2,000名を超える来場があり、地域にとってインパクトを残し、JCの可能性を広める事業を行うことが出来ました。

事業区分	事業名	事業内容
他	第1回全体会議	県内12LOMのメンバーが一堂に会し、2023年度の群馬ブロック協議会の運動の方向性を共有しました。
他	第1回 アカデミー事業 ～なぜJCなのか～	VMVセミナーとグループディスカッションを通じて、JCが目指す未来、JCでやるべき事、そして組織の大切にする価値観について学び、考えてもらうことにより、JC運動を能動的に取り組む為の事業を行いました。
他	会頭公式訪問	12LOM理事長のJCI日本への親和性を高め、更なる連携意欲が高まる親密な関係性を構築する事業となりました。
公1	JCカップ U-11 少年少女サッカー全国大会 関東地区予選大会群馬県大会	JCカップを通じて、次世代の地域社会を担う子供たちに他人を思いやることができる心豊かな人材の育成をするとともに、参加者及び関係者に、県内各市町村で青年会議所が活動していることを周知し、会員拡大に繋げる為の事業を行いました。
公4	群馬県知事選挙公開討論会	候補者が参加を辞退してしまい中止としました。
他	第2回 アカデミー事業 ～積もう経験!君の力は地域に 笑顔を咲かせる!～	渋川市の地域課題や問題点を地元の方々にはリサーチを行い、地域社会を巻き込み、地域未来の幸せを抱けるような事業構築ができるメンバーを増やす為の事業を行いました。
公5	群馬ブロック協議会 2023年度 第53回群馬ブロック大会 SHIBUKAWA QUEST ～スカイランドパークを救え～	謎解きを攻略し、園内に現れたモンスターを討伐することで、渋川スカイランドパークをモンスターから救うストーリー性を持った事業のなかで参加者には、幸せの4つの因子を学んでいただきウェルビーイングの概念を知る為の事業を行いました。
他	第3回 アカデミー事業 ～夢を抱こう!JCの可能性～	麻生会頭をお招きし、一問一答形式でJCに思っていることや悩みを質問し、JC運動の可能性に共感し、各地のLOMメンバーがJC運動への意欲を向上させる為の事業を行いました。
他	LOM Support Committee Award表彰式	優れた会員拡大・出席率を達成したLOMの名誉をたたえ褒賞し、新たな気づきや学びを得る機会を提供するアワードを開催しました。
他	第2回全体会議開催計画	2023年度群馬ブロック協議会にご排出していただいた12LOMの皆様へ感謝を伝え、出向メンバーを労うとともに、2023年度の運動の報告を行い、卒業生に感謝を伝えることができました。



ブロック協議会名	役職名	担当者名
埼玉ブロック協議会	会長	田中 太一 (埼玉中央)

基本方針

今が未来を変えていく～彩が織りなす心躍る埼玉の創造～



総括

将来にわたって LOM が地域に夢を描き実現に向かって走っていくには、LOM 同士や埼玉ブロック協議会だけでなくあらゆる団体との連携は必須です。「彩(いろどり)=埼玉県 LOM の多彩なりソース」、「織りなす=連携して活かし合う」、「心躍る=将来に向かって楽しく夢を描くことができる」埼玉の創造を目指して運動しました。連携することで、多種多様な課題を多角的な視点で解決し、持続可能な社会を創ることができるという可能性を示しました。また、埼玉ブロック協議会の運動として、企業同士の協力体制を築くことでソーシャルビジネスを推進することや、交通諸問題についての提言を行政にすることで地域経済の活性化についても取り組みました。

事業区分	事業名	事業内容
他	スタートアップセミナー2023～今が未来を変えていく～	埼玉県内各地青年会議所メンバーが一堂に会し、2023年度の埼玉ブロック協議会の役員の紹介と各地青年会議所の理事長紹介を行いました。また埼玉ブロック協議会の本年度の活動について参加者と共有いたしました。
他	魅了発見ブース「IRODORI見本市」	埼玉県内各地青年会議所がエリアごとの近隣LOMと協力し、各LOMまたは各地の魅力を発信するブースを展開し、LOM間交流を通じて、相互理解を深めていくと同時にLOM連携の魅力とメリットを感じていただきました。
他	2023年度JCI日本会頭訪問事業「彩はに埼玉」	日本青年会議所・各地会員協議所は相利共生の関係です。その為、公益社団法人日本青年会議所 第72代会頭麻生将豊君と話す機会を創出し、日本本会との相互理解を深めました。
公1	第09回JICカップU-11少年少女サッカー大会埼玉県予選大会	今大会は過去最大の30チームの参加をいただき、トーナメント方式を採用し大会を行いました。予選敗退チームには、プロサッカーの試合も行われるメインスタジアムでフレンドリーマッチ、準決勝、決勝戦を開催しました。
他	会員拡大運動が織りなす未来予想図2023	埼玉県内のメンバー81名にご参加いただきました。会員拡大は手法ではなく、いかに対象者一人ひとりに寄り添い、入会後はJC内のメンバーとして公私の相談が乗れる関係性を構築することが必要であることを羽生青年会議所様・越谷青年会議所様を講師としお伝えしました。また、本年・来年の日本青年会議所との拡大連携も報告いたしました。
他	JAYCEE育成塾第一期「JC活動に参加することで得られる利点」	【JC活動をやりきった時、なりたい自分とは】をテーマにグループワークを実施し、その後塾長による同テーマでの講義・経験談をいただきました。それをもとに卒業までの目標を決め、どう行動するかをグループワークとして行いました。
他	2,3,4,5月全体委員会「日本本会カリキュラム」	2,3,4,5月間で行った全体委員会にて日本本会カリキュラム【Purpose】【JC プロトコル】【セレモニー】【理念共感拡大グランドデザイン】の4項目を行いました。各カリキュラムの後で1分間スピーチを10人ずつ行い、アウトプットの機会を捻出いたしました。
他	アカデミー委員会6月全体委員会	ブロック大会内にてスカイランタンのリリイベンを開催しました。各小委員会で役割決めし、事業の構築から実施、検証する流れをアカデミー生全員で取り組み事業実施までを実体験の提供を行いました。
他	JAYCEE育成塾第二期「JAYCEEが学ぶべき多様性について」	全体を通して多様性を活かすこと、取り入れることを学び、実践・体験を経て多様性を受容し、個々の力を最大限に活かして課題を解決していくスキルを身に着ける事業を行いました。
他	JAYCEE育成塾第三期「校外学習・ビジョンの実体験」	「ビジョンを描くこと」を念頭に3か月間でのグループワークを行いました。議案の基本要素である「背景」「目的」「手法」「夢(得られる効果)」を把握するため、課題に対し議案書作成と模擬理事会という形でアウトプットを行いました。
公5	第53回埼玉ブロック大会三郷大会【本体】	「未来を創れ!」～彩溢れる新たな埼玉の創造～の開催理念のもと、ブロック主催としては、オープニング、災害から未来を守れ!～ドローンのはらのスーパーヒーロー、産官学の連携で水辺が変わる?未来の陸地海床ロボット、TEENS ROCK 埼玉予選を開催しました。
他	第53回埼玉ブロック大会三郷大会【大会式典】	本年は、2部制として式典の部では来賓や関係団体、先輩諸氏をお呼びして、これまでの感謝を伝えると共にこれからの運動の意気高揚を図りました。大交流会の部では各LOM同士の更なる強固な関係構築を目指しクイズ大会を開催しました。
公5	第53回ブロック大会三郷大会【メインフォーラム】未来を変えるヒント!～最先端技術で変わるまちづくり～	講師としてBOLDLY株式会社代表取締役社長兼CEO佐治友基氏と埼玉県知事大野元裕氏、ファシリテーターとしてフリーキャスターの伊藤聡子氏をお呼びして埼玉県が抱える問題に対して今後どのように解決していくのかをパネルディスカッション形式で発信していただきました。
公5	第53回埼玉ブロック大会三郷大会【対外向け広報の推進】	三郷市内へのポスターチラシの配布、埼玉ブロック協議会SNSの活用、各種SNSの広告、TEENS ROCK IN SAITAMAでの広報活動、三郷市内での掲示板を活用、ららぽーと三郷とIKEAでのキャラバン実施などを行い、ブロック大会を広くPRしてまいりました。
他	さよならブロック2023	拡大褒章、10年間例会出席者表彰、埼玉ブロック協議会委員会事業報告、会長総括、引継ぎ式、2024年度役員紹介、卒業生スピーチを行い、卒業生から残されたメンバーに引き継ぎ機会を創出しました。
他	日本本会のビジネス推進事業との連携	健全な企業経営が浸透し、企業も従業員もwell-beingな状態にする夢の達成に向け、埼玉県内の企業に向けてウェルビーイング(幸福で肉体的、精神的、社会的すべてにおいて満たされた状態)経営を1年間推進していくために、ウェルビーイング経営説明会を開催し、参画企業を募集し調査を行いました。
公6	埼玉県の交通問題を解決～巡れSAITAMA-VR空港～	県内の多くの方が交通諸問題への意識、関心を向上してもらえよう第53回埼玉ブロック大会の場において、多くの一般者を対象に、交通諸問題と併せて今後未来の埼玉県の交通のあり方を描き、魅せることで、多くの人ひとりに私たちの住まう埼玉の交通諸問題の発信を行いました。
公4	埼玉県知事選挙に伴う立候補表明者討論会の実施	埼玉県知事選挙にあたり、立候補表明者をお招きして、告示前に討論会を開催しました。当日はより多くの若者世代に届けるため、Instagramでのライブ配信を行い、後日YouTubeで動画をアップし街頭調査などを行いました。
公6	ソーシャルビジネスマッチング～力を合わせて埼玉県の地域課題を解決しよう!～	本事業は、ソーシャルビジネス事業者とそれ以外の事業者をマッチングすることで、ソーシャルビジネスの発展を促進することを旨とするもので事業説明会とマッチング事業日として2日間行いました。
公6	埼玉県道路交通改善における提言書	埼玉県の交通問題に関する調査・研究を実施し、道路交通の安全性と効率向上に焦点を当て、更なる地域経済発展のため、提言書を埼玉県知事の田中元裕氏に提出しました。



ブロック協議会名	役職名	担当者名
千葉ブロック協議会	会長	小出 雄太 (市原)

基本方針

まちと他者への愛と、課題を自分事として捉え行動する情熱をもって、多様な価値観を認め合い、個性が光り輝く千葉を実現します。



総括

「愛と情熱に満ちた誰もが光り輝く千葉の創造」を基本理念とし、運動の2つの大きな軸として会員拡大とアカデミーを据えて各LOMへの支援を行いました。また、子育て世代へ向けた主権者意識醸成事業、子供の可能性を広げる千葉の確立を目指す事業や心理的安全性の高い組織の確立へ向けた取り組みも行い、各LOMの発展に寄与することができたと考えております。そして千葉県が将来にわたって活力ある持続可能なまちとして存在し続けるために、「第56回千葉ブロック大会・八日市場大会」を開催いたしました。数多くある資源を生かした魅力をさらに磨き上げ、まちに愛着をもつ人が増えたことで、持続可能な千葉の未来への一歩になったと確信しています。

事業区分	事業名	事業内容
他	千葉ブロック協議会2023年度賀詞交歓会	2023年度の基本方針、事業計画を発信することで、25LOMメンバーに理解と協力をいただき、千葉ブロック協議会の事業をスタートすることが出来ました。また、本年は県内25LOMのスローガンを各地理事長より発信していただき、県内25LOMの意思を共有することが出来ました。
他	会員拡大事業「理念共感拡大～共感の輪を広げ拡大しよう～」	講師として理念共感プロモーターである奥野君をお呼びし理念共感型の会員拡大について講演をいただきました。理念共感を体感していただくワークショップを行うとともに、グループ交流を主とした事業を自由に検討していただくグループワークを開催しました。
他	JCI日本会頭公式訪問「Drive our dreams～麻生会頭と共に夢溢れる未来を語ろう!～」	意見交換会において、会頭ご自身の経験談を発信していただくことで、今後各地域において夢を語り、周囲を巻き込みながら行動できるリーダーを増やすきっかけとなりました。
他	連携推進事業「すべては未来を生きる子供たちのために～子育て世代の主権者意識を上げるには～」	二部構成の講演を通じ、政治的有効性感覚の向上、公開討論会という2つの手段での子育て世代の主権者意識向上を目指すための方法を学びました。また、公開討論会開催に向けての課題等、具体的な手法等についても、学ぶことができました。
他	ブロックアカデミー事業「Purposeで見つけよう～JCの理念?それあなたの理念!～」	JC運動の理念の共感が十分に浸透していない関係で、モチベーションが下がっているメンバーに対して、JCの理念と自身の理念の共通点を見つけることにより、JC運動の理念を共感する機会としました。
公7	JCI ASPAC2023インドネシア/ジャカルタ大会ジャパンナイトブース出展	JCI ASPAC2023インドネシア/ジャカルタ大会にて千葉県の魅力を広く発信するためのブースを出展しました。千葉県の特産品であり産出額と生産量が全国1位である梨を使用した梨ジュースを提供し、他NOMメンバーに積極的に声がけを行い、千葉の魅力を発信しました。
他	ブロックアカデミー事業「これがJCの流儀!JCの基礎!JCの理念共感!～内から外からJCを学ぶ～」	LOM単位では、時間を取り学ぶ機会がなく、入会歴の浅いメンバーに対しても、JC運動の理念を理解してもらうため、十分に以下のJCプロトコル、JCセレモニー、理念共感拡大大デザインの説明を行いました。
公2	アカデミー事業「ジェンダーイコールが組織力向上の第一歩～性別に捉らわれず誰もが光り輝ける組織のために～」	ジェンダーイコールに関する講演を行いました。男性が多い青年会議所の団体の中で、今後の組織の在り方を考えました。当日から実践できることを重点的に話してもらい、ジェンダー平等について考えられる機会を創出しました。
他	LOM間交流事業「漁港まるごと船釣り大会～大漁必至?!五目釣り!～」	同じ志をもった人たちが地域の垣根を越えて1人1人がより深く交流をすることができ各地域の特色などを参考にし、各自の活動地域をより良くさせるための発想の転換の一助とすることができた。
公1	「第9回JCカップU-11少年少女サッカー全国大会千葉県予選大会」	千葉県内から17のチームにご参加いただきました。予選大会終了後の子供たちの様子を拝見していると、サッカーというスポーツが子供たちの心身の成長に大きく影響を与えていることを実感できる大会となりました。
公5	「匝瑳市子育て応援プロジェクト～ベビーファースト運動～」	千葉県全域の市町村でベビーファースト運動への参画が広がり、全ての子育て世代が質の高い子育て環境を享受できる社会を目指してフォーラムを行いました。開催地匝瑳市長には県内で初となる市町村単位でのベビーファースト宣言をしていただきました。
公5	第56回千葉ブロック大会・八日市場大会市民参加型事業「CHIBA★FESTIVAL in 八日市場」	千葉県各地と開催地の「文化」や「食」の魅力を発信するステージイベントやブース出展(出店)等の地域事業を開催しました。一般参加者だけでなく、メンバーも開催地の文化に共に触れていただくことで、八日市場や、千葉県の魅力を実感していただきました。
他	第56回千葉ブロック大会・八日市場大会式典	千葉県内25LOM、千葉ブロック協議会、関係団体と有機的なつながりを再確認することができました。持続可能な組織を構築することができ、次年度以降の更なる発展を促進することができました。また、千葉県内25LOMとブロック協議会の絆を更に深めることができました。



地区協議会名	役職名	担当者名
東京ブロック協議会	会長	大久保 貴惟 (青梅)

基本方針

笑顔が連鎖するまち東京の創造を目指し、社会や人に希望をもたらす人財の育成を使命として、ALL TOKYOの運動を展開します。



総括

全国大会の開催地ブロックとしてALL TOKYOを目指し、LOMの垣根を越えた新たなJC運動のかたちを模索した1年でした。はじめて交流活性委員会を立ち上げ、多くの交流を生み出し続けました。日が経つごとに、ALL TOKYOの機運は高まりを見せ、ブロックだけでなく、すべてのLOMが自LOMのこどだけを考えて運動するのではなく、東京全体としてどう運動をすべきか、自分たちがどう関われば互いに成長できるかと主体的に動いてくれるようになりました。結果、全国大会では24LOMすべてが例会として参加し、多くのメンバーで全国に機会の提供をすることができました。LOMの大小に関係ない、東京中1,500人での運動という新たなJCの価値を東京ブロック協議会は獲得しました。

事業区分	事業名	事業内容
他	Grand Design Conference 2023	東京ブロック協議会はLOM支援を中心とした広域的な運動体として、その役割を果たしていくために各LOMとの連携が欠かせず、本年度東京ブロック協議会がどのような方針、組織で運動を発信していくのかを各LOMに共有し、共感してもらう場を設けました。
他	ブランディング戦略策定及び実施	青年会議所のブランド価値や運動の魅力を通的に伝えるために、事業内容や情報を迅速かつ魅力的に発信し、都民へ伝達していくために大人の学校と題した公開委員会を行いました。
他	諸大会LOM支援ツアーの実施及び案内の作成	小LOM支援の一環として、京都会議、サマコンにおける諸大会への参加をパッケージとしたツアーを組み、ホテルや交通手段の手配の負担を軽減しました。
他	アカデミー第1回全体委員会「開校式」	アカデミー研修委員会を1年間共に切磋琢磨する多くの仲間と今後のアカデミー研修委員会の運動を理解し、主体的に行動する意識を高めました。
他	京都会議ブロックナイト	関東地区のスケールの大きさを感ぜてもらいながら、2023年度開催の全国大会東京大会に参加してもらうために、出向者及び各地会員会議所メンバーとの交流を図りました。
他	第1回交流活性事業 LOM対抗ボウリング大会	小LOMが増えている中、JCが活気ある組織としてより強く結束するために、LOM内の交流を活性化させ、垣根を超えた対面交流ができる機会を提供しました。
他	ビジネスマン全員集会!!	メンバー同士における信頼関係の土壌をつくり、ビジネス交流の可能性を広げ、ビジネスの機会を増幅することを目的とし、原体験ワークを行いました。
他	TBC野球大会	野球大会を通じた交流にて、東京ブロック協議会の仲間達との友情を育み楽しんでもらう機会を創出しました。
他	アカデミー第2回全体委員会「理念とは何か?JCの本質を学ぼう」	JCの本質を理解し、今後の全体委員会や懇話会に主体的な参加意識の醸成と東京ブロック大会あきる野大会アカデミー事業開催へ向けた事業を行いました。
他	JCI ASPACジャカルタ大会ジャパンナイトブース出展	アジアのメンバーに対して様々な日本並びに東京の文化や名産品の周知を目的とし、ジャパンナイトに出展しました。
公5	しあわせバトンパス in 稲城	地域の各団体が経済的に困っている家庭を支援する為のプラットフォームを構築する礎を築く事業を行いました。
公2	子育てママバリエータ～国立から子育ての未来を考える～	政策提言へ向けて、子育て者と行政、地域諸団体との交流を通じて、政策に繋がるアンケート回収を目的とした事業を行いました。
他	第2回交流活性事業 TBC運動会	スポーツ交流を通じて、競争で生まれる団結力や、勝敗で生まれる喜怒哀楽を本気で表現し合い、仲間と感動を共有しながら友情を育み楽しんでもらう事業を行いました。
公5	アカデミー第3回全体委員会 第52回東京ブロック大会あきる野大会「アカデミーふるさと大作戦」	アカデミー生が今後各LOMの事業に対し、主体的な人財に成長することを目的とするともに、あきる野市の魅力を市民に知っていただくための事業を行いました。
他	第52回東京ブロック大会 あきる野大会 広報	ブロック大会あきる野大会の参加誘導、青年会議所とブロック大会を認知してもらうことを目的に各種広報、HP作成を行いました。
公5	第52回東京ブロック大会 あきる野大会「学生ビジネスプランコンテスト～輝け未来のイノベーター～」	新ビジネス創出に向けたビジネス思考の向上や、学生や企業がビジネス発展の機会を創出することを目的とし、ビジネスコンテストを行いました。
公1	第52回東京ブロック大会あきる野大会 こどもみらい学校 ～あしたの学校が楽しみになる～	子供が学ぶための目標を持つきっかけをつくり、マネーリテラシーや自己覚知など子供たちにとって複雑なテーマを分かり易く学ぶ機会を提供しました。
公5	わくわく子育てスタジアム～歌って踊って声をあげよう～	子育て者と政治行政を繋ぎ、新たな政治参画の機会を創出することを目的とし、子育てマニフェスト発表会を行いました。
公5	第52回東京ブロック大会 あきる野大会 メイン事業	自治体の枠を超えた広域的な地域連携のきっかけとするため、FTを用いたブランディングをテーマに、セミナーを行いました。
他	第52回東京ブロック大会 あきる野大会 大会式典	地域関係諸団体や諸先輩方に感謝の念と東京ブロック協議会の未来へのビジョンを伝えるため、式典を執り行いました。
公1	JCカップ東京都大会	勝負の勝ち負け以上に相手を称えることができる心豊かな人財の育成を目的とし、事業を行いました。
公5	しあわせバトンパス in 福生	地域の各団体が経済的に困っている家庭を支援する為のプラットフォームを構築する礎を築く事業を行いました。
他	第3回交流活性事業 TBCバーベキュー大会	ブロック大会で出逢った仲間たちとの友情をより深めるため、ブロック大会開催地にてバーベキュー大会を行いました。
他	アカデミー第4回全体委員会 宿泊事業「神奈川ブロックとフュージョン!魅力と課題を抽出わくわくすぞ」	地域の垣根を超えた仲間と切磋琢磨することを目的とし、神奈川ブロック協議会と合同で宿泊研修を行いました。
他	第4回交流事業 TBC学園祭	通年で築いた仲間とLOMメンバーの紹介しJC運動を刺激し合える関係となること、才能豊かなLOMメンバーを探し、更なるLOM活性の一助となる機会を提供しました。
他	第72回全国大会東京大会 東京ブロック協議会内主管並びに副主管LOM合同開会式開催	全国大会期間中のALL TOKYOを体現すべく24LOM合同セレモニーを行いました。
他	アカデミー第5回全体委員会「わくわくアカデミー拡大甲子園」	アカデミー生が会員拡大への意識を醸成するために、拡大手法について各塾が発表を行いました。
他	アカデミー第6回全体委員会「開校式～最後の挑戦!仲間と共にLOMの未来のために～」	アカデミー生が即戦力JAYCEEとなり、主体的に行動していく覚悟をもつために表彰並びに閉校式を行いました。
他	TBCビジネス交流会	信頼関係を活かしたJCならではのビジネス促進の仕組みを東京ブロック協議会内に浸透させることを目的にディスカッションを行いました。
公5	まちづくり推進委員会政策提言	子供が直面している教育格差の是正に必要な環境の整備をすべく、稲城市、福生市に政策提言を行いました。
公5	子育て者と共に創る政策提言	産前・産後に伴う孤独な育児を減らすための環境整備を目的に、都に対し政策提言を行いました。
他	BLOC FINAL 2023の開催	青年会議所に対する参加意識を向上し、次年度以降も東京ブロック協議会や各LOM内における青年会議所運動により一層積極的に取り組んでもらうため、式典を行いました。
他	東京ブロック協議会行動宣言の改定	15年以上改訂の行われていない東京ブロック協議会指針と行動宣言改定を行いました。



ブロック協議会名	役職名	担当者名
山梨ブロック協議会	会長	前澤 和樹 (南アルプス)

基本方針

夢と情熱をもった人財で溢れる山梨の創造



総括

今年度山梨ブロック協議会では期首人数238人と過去一番少ない人数でのスタートとなりました。一番力を入れるのは各LOMの拡大支援、事業支援だと感じ、LOM支援委員会を設置いたしました。委員会設置のいかにもあり消滅危機LOMである富士五湖JCに5名入会者をもたらすことができました。またブロック大会が甲府の地で行われることもありブロック大会運営委員会の事業をリニア中央新幹線の早期開通を目指した事業展開を行ってまいりました。そして人材育成委員会を設置し、山梨ブロック初となるアカデミー塾を設立し4回の事業に多くの会員を動員し、次年度の要職者を輩出できるはこびとなりました。

事業区分	事業名	事業内容
他	賀詞交歓会	山梨ブロック協議会会長から公益社団法人日本青年会議所の運動方針及び山梨ブロック協議会2023年度の基本方針を挨拶の中で伝えて山梨ブロック協議会の各委員会の活動内容を発表し、2023年度の山梨ブロック協議会活動内容を理解していただく場としました。
他	夢を語り実践できるリーダー人財育成計画	㈱香取感動マネジメント設立代表取締役香取貴信氏を講師に招き「最幸のチームを創る、本気のリーダーシップ!」をテーマに講演いただきました。リーダーとしての振る舞いや考え方、部下への接し方などを学ぶ機会となりました。
公1	JCカップU11少年少女サッカー全国大会山梨予選大会	対戦相手や仲間、家族とのやり取りを通して選手達の人財育成を目的にアフターマッチミーティング及びグットルーザーの精神の講演会等を行いました。講演では羽中田昌氏に行っていたご夢についても熱く語っていただく講演会となりました。
公5	第52回山梨ブロック大会	山梨ブロック大会をJCI甲府主管のもと行いました。年当初に行ったリニア啓発事業に合わせて若者の団体の代表者達とリニアについて意見を交わす機会となりました。またアカデミー会員のみで大会の1事業を担当するといった試みも行いました。
他	拡大支援事業	参議院議員の今井絵理子氏をお呼びして「Wake Me Up! ~夢と情熱を持った人財で溢れる山梨の創造」をテーマにご講演いただきました。その場で異業種交流会を行い、青年会議所の魅力のPRや拡大候補者の発掘、クロージングを行いました。



ブロック協議会名	役職名	担当者名
神奈川ブロック協議会	会長	久本 卓司 (伊勢原)

基本方針

いつまでも明るく輝く地域を描き、未来への架け橋となる運動を起こす。



総括

本年はスローガンを「未来(あす)に架ける」、基本理念を「夢を結集させた挑戦が誰もが幸せな神奈川を創る」とし、240名の出向者と共に神奈川ブロック協議会の運動を推進してまいりました。日本青年会議所本会の運動を県内に広げるとともに、県内21LOMの発展に寄与することを念頭に運動を展開してまいりました。特に人財育成と会員拡大においては共通した喫緊の課題であることから、LOMの状況に寄り添った個別の支援を行うことで、幅広い層のメンバーに成長の機会を促し、270名を超える会員拡大を成果として挙げる事ができました。地域に1人でも多くのリーダーを輩出することを使命とし、「かながわはひとつ」の合言葉のもと、LOMのために行動を起こせるブロック協議会で在り続けてまいります。

事業区分	事業名	事業内容
他	神奈川県知事政策懇話会	2023年を走り出すにあたり、各地理事長予定者と神奈川県知事の意見交換の場を設けることで、目指すゴールを共有してより効果的な事業展開をしていく事が出来る為を実施致しました。
他	広報セミナー	各地会員会議所の広報活動の一助になるよう、講師をお招きし、SNSを含めた広報の成功例、課題例の理解を深める事を目的として、より広範囲に私たちの活動を波及できる手法を学び、広報活動に対するモチベーション向上を図る事業を開催致しました。
他	第1回志塾～地域愛から生まれる牽引力～	入会が浅くLOMの理事を務めるメンバーが増えているため、早期に中核人財の育成を目的として、歴代会頭である石田先輩を講師に迎え、地域愛から生まれたリーダーシップについての講演をしていただきました。
公4	神奈川県知事選挙公開討論会	神奈川県知事選挙を控えた本年、県のトップを決める選挙にどんな人が立候補してどんな想いを持っているのかを若者も含む多くの方に伝える為に県知事選挙の公開討論会を実施し、会場での実施だけでなくYouTubeでも内容を発信してまいりました。
他	かながわフレンドシップフェスタ2023「友達誘って、地引きあみ〜ゴ!!!」	神奈川県内の地域を越えた会員交流を目的とし、ブロック大会藤沢大会の開催地である藤沢市、片瀬西海岸にて地引網とBBQ懇親会を開催致しました。メンバー、家族、友人を巻き込んだ大人数の交流会で過去最高の427名の方に参加していただきました。
公7	JCI ASPACインドネシアジャカルタ大会ジャパンナイトブース出展	神奈川県の魅力の一つとして「家系ラーメン」と「ニュータンメン」と「サンマーメン」があります。ASPACにて実際に県外、海外の方にラーメンを試食して頂き、神奈川県の魅力を知っていただきました。尚、「ハラル」の方向へのラーメンも用意しました。
他	第2回志塾～人財の成長が組織の拡大～	中核人財に必要な要素の1つである拡大できるリーダーへの成長を目的として、アチーブメントの岩野様を講師に招き、理念共感型拡大のリーダーシップ開発の講演をしていただきました。
公1	JCカップU-11少年少女サッカー神奈川ブロック予選大会	グッドルザー精神のもと、未来を担う小学5年生以下のサッカープレイヤーたちが力を発揮して学びを得る事が出来る場を提供するため、関東大会へ繋がる神奈川県予選大会を実施しました。
公1	かながわハイスクール協議会2023	神奈川県全面協力のもと、神奈川県内の未来を担う高校生が、議場で知事に向けて意見と提言を行う経験を通して神奈川県の問題を自分の事として考え、社会参画意識の醸成と大きな学びを持ち帰っていただく機会としました。
公5	第51回神奈川ブロック大会藤沢大会プレ事業「こどもたちが育む、藤沢の魅力と地域愛」	神奈川ブロック大会開催に先立ち、藤沢市内、藤沢市外に分けアンケートを実施しました。子供達から藤沢に関する魅力的なワードを集め、オープンAIにより歌詞を生成し、藤沢のイメージングを制作しました。湘南工科大学付属高校ダンス部の協力により、振付けもブロック大会当日に披露いたしました。
他	第51回神奈川ブロック大会藤沢大会式典	本年は、メイン会場である江の島屋外特設会場にて大会式典を開催いたしました。ブロック大会当日、午前中から来場者を増やす取り組みとして、式典からブロック大会が開幕するスケジュールで実施させていただきました。
公5	第51回神奈川ブロック大会藤沢大会「神奈川魅力発見フォトコンテスト」	住み暮らすまちの魅力を発見するとともに、市民に対して青年会議所の存在を神奈川県に住み暮らす多くの方々に周知するため、「まちの魅力」をテーマに風景、イベント、文化など神奈川の魅力的なひとコマを集めたフォトコンテストを開催いたしました。
公5	第51回神奈川ブロック大会藤沢大会「ふじさわプロジェクト」	藤沢市民会館のリニューアルに際し、小中高大学生のメンバーに集まっていただき、自分たちの声を行政に届ける経験、それを発表する場を提供することで、声をあげれば社会を動かすことができるという経験をしてもらうという経験をしていただきました。
公5	第51回神奈川ブロック大会藤沢大会メインフォーラム「江の島から発信! We ♥ Fujisawa!!」	地域との連携に重点をおき、藤沢市の魅力を発信するべく実施いたしました。多摩大学ゼミ生よりプレ事業で集めたアンケートから検証と提言、湘南工科大学附属高校ダンス部よりプレ事業で制作した歌とダンスを披露し、藤沢の魅力を発信いたしました。
他	かながわアカデミー2023	入会2年未満のアカデミー生対象に「かながわアカデミー」を開催し、班ごとに分かれ年間を通した研修と交流を行い、そして3回の合同研修ではビジョンの重要性、必要性や描き方について講師をお招きして学びました。最後には成果発表会を開催いたしました。
他	第3回志塾～人を巻き込む実行力あるリーダー～	歴代会頭である中島先輩を講師に招き、志塾の最終段階として、「人を巻き込む力」そして「実行力あるリーダー」について講演とディスカッションをしていただき、リーダーシップ開発を行いました。
他	神奈川ブロック協議会全体会議	年初に第一回全体会議を開催し、2023年度の運動の方向性を共有するとともに、出向者が一致団結する機運を醸成しました。第二回全体会議では1年の運動の成果を報告するとともに、出向者を労い、県内の卒業するメンバーを祝福しました。
公2	みらいく2023	社会参画意識を醸成する為に、1人1人が社会の一員であること、声を上げることで何かを変える事が出来るかもしれないことを伝える為に、県内の中学、高校、大学を回り模擬投票を交えたプログラムを実施しました。
他	会員拡大褒賞	会員拡大に対する意識の醸成の為に県内各地会員会議所と個人を対象に5種類の褒賞を行いました。今年度は会員数純増だけでなく、女性会員の拡大や35歳以下の会員の拡大や入会からの累積会員拡大への褒賞も設けて行いました。
他	会員拡大支援	定期的な拡大支援会議を開催して、各地会員会議所の拡大担当者との意見交換やゲストをお呼びしての拡大セミナーを開催しました。また、会員会議所主催の例会や異業種交流会に参加して直接的な拡大支援も行うことで寄り添った支援を行った。
他	モットイナイ運動	ブロック連携事業としてモットイナイ運動を通年で推進しました。各神奈川ブロック協議会で開催される事業にて受付の横にもったいないBOXを設けた他に、フードロスの削減の呼びかけやペーパーロスの削減呼びかけを行いました。



会議・委員会名	役職名	担当者名
静岡ブロック協議会	会長	宮地 亮 (浜松)

基本方針

各LOMの声に耳を傾け、必要とされる情報提供と具体的な支援を施し、LOMの発展を実現するLOM支援を基本とします。



総括

すべての事業において、会員益の向上を目指し、出向者がLOMに還った時に地域に好循環を生み出す先駆者（リーダー）となることで、それぞれのLOMの発展と成長を実現するLOM支援を基本に事業を展開いたしました。特に、持続可能な地域環境に配慮した事業を行い、地域の課題解決のみならずJCの価値向上とブランディングを行い、会員拡大や理念浸透に繋がる「持続可能な組織」づくりに注力いたしました。また、JCで得られるビジネスの機会に重きを置き、新たなビジネスチャンスや知見を広げる事業、企業や組織のマネジメントを学ぶことでリーダー育成に繋がる事業を実施いたしました。

事業区分	事業名	事業内容
公3	SDGsでWin-Win-Win～今から始める活用術～	SDGsの活用を通じた企業価値の向上を実現するために、講師とのディスカッションや参加者との交流を行い、エネルギー問題や脱炭素の実現可能性についての見識を深め、さらなる取り組みへのモチベーションを高めました。
他	過去に忘れ去られた思想を学び日本人としての本物の志を呼び起こせ!!	社会課題の解決に必要なリーダーの資質について学ぶために、JCの三信条や理念を学ぶことで、運動を展開するにあたり、利他の精神や思いやりの心が前提であることを講師講演やグループワークで学びました。
公2	知的資産経営のツボ～見えざる資産が会社を変える・ウナギ屋の秘伝のタレに隠された知財～	自社のビジネスの発展のために、財務諸表では見えない自社や組織の人材・技術・技能・組織力・顧客とのネットワークなどの知的資産を活用することを学び、高い付加価値を生み出す契機としました。
公5	成功例から学ぶ!地域いきいき子育てビジョン	地域全体で子育てする意識を高めるために、講師による講演や、様々な立場から子育て支援をしている有識者とワークショップを行い、誰もが活躍できる地域創造の一助といたしました。
公3	カーボンニュートラルでwin-win-win～身近で始める脱炭素～	企業の社会的価値向上を実現するために、カーボンニュートラルの取り組み推進や事例の紹介を行い、その成功体験が様々な産業やライフスタイルの変化に大きく貢献することを学びました。
他	固い絆に思い寄せて、語りつくせぬ青春の日を体験せよ!!	理念に基づき、仲間とともに切磋琢磨して成長するリーダーを育成するために、理念共感プロモーターの講演や、JCプロトコルの実践、ピーチクリーンなどの奉仕体験を行いました。
公2	新時代コミュニティ“DAO”が変える地域×ビジネス	将来的に拡大する市場を学び、その活用方法を活かすために、「地域×DAO×ビジネス」をテーマに取り組み事例の紹介及びパネルディスカッションを行い、地方創生やコミュニティビジネスに対する知見を拡げました。
公5	第56回静岡ブロック大会	ブロック協議会の1年間の集大成を地域や、メンバーに発信し、JCのブランディングと会員拡大を実現するために、第56回静岡ブロック大会を実施いたしました。
他	第3回アカデミー事業チキチキ巨大ドミノ倒して体感せよ!素晴らしいブロックの世界!!	ブロック協議会内すべてのメンバーが地域のリーダーとなり、JCの魅力を対内外に発信するために、33,000個の巨大ドミノ倒しをつくり、それぞれのLOMの魅力を描きます。
公3	カーボンニュートラル体験～エコなエネルギーから生み出す脱炭素～	カーボンニュートラルをはじめとした持続可能な環境に対する理解を深めるために、企業ブースを設置して取り組み事例を紹介するとともに、プラスチックから軽油を精製する過程を実演いたしました。
公5	Happy Life, Happy Community～コミュニティを制するものは人生を制す～	地域に所属することで得られるコミュニティウェルビーイングを実現するために、地域やコミュニティの魅力、発足当時のストーリーや想い、今後の展望等、パネルディスカッションを通じて学ぶことで、各地域のコミュニティの存在や魅力を訴求いたしました。
他	今いる仲間で作る 最高のチームマネジメント	ファイナンシャルウェルビーイングを確立するために、有識者の講演を通じてESマネジメントに関するチームマネジメントの基礎や手法を学び、概要を理解いたしました。
他	国際の機会ブース出展	国際の機会を知り、ビジネスやJC運動に活かすために、国際ビジネスや姉妹LOM交流を行っているLOMの紹介パネルを展示するとともに、本会の委員長にお越しいただき相談会を実施いたしました。
他	拡大オンラインサロン(2回)	各LOM会員拡大に成功するために、ブロック協議会内で会員拡大に成功しているメンバーの成功体験や、価値観を共有する機会としてzoomを用いた拡大オンラインサロンを実施いたしました。



会議・委員会名	役職名	担当者名
愛知ブロック協議会	会長	杉浦 晴太郎 (碧南)

基本方針

地域の魅力と国際的視点で地域の充実、強化を行うと共に、人材確保と育成で組織を発展、価値を向上し、盤石な運営を実現する。



総括

65年目を迎える愛知ブロック協議会では「33の力強い連携による光輝く愛知の創造」をスローガンに掲げ、7つの委員会を設置しました。愛知の魅力を活かすことによる観光都市あいちの推進、国際に触れることで能動的な人材の育成をする国際都市あいちの推進、主権者意識を高めることによる強いあいちの確立、会員拡大を通じた各LOMとの連携、入会3年未満の会員に対する育成、青年会議所の認知度と価値を高める広報活動、公益性の高い愛知ブロック大会の開催、以上の7つの軸によって、様々な運動を展開いたしました。「愛知は一つ」という志を再認識し、33会員会議所との力強い連携を構築でき、光輝く愛知が創造できたと確信しております。

事業区分	事業名	事業内容
公1	JCカップU-11少年少女サッカー全国大会の予選大会実施	JCカップU-11少年少女サッカー全国大会を円滑に遂行するうえで、愛知県代表チームを選抜すると共に、本事業を通じて少年少女が、グッドルーザー精神を学び、分け隔てなく相手を称えあえる道徳心の醸成を目的として実施いたしました。
公4	主権者意識を高める事業	若年層に政治や選挙に対する興味・関心の向上の機会を提供することを目的として、選挙に対する興味・関心を高める楽曲をインフルエンサーに作成していただき、作成した楽曲を二次利用して動画を作成し、SNSで発信いたしました。
公5	県外から人を呼び呼び込む事業	観光産業の魅力に県民自身が気づき、愛知の魅力を発信することをより身近に捉えるために、愛知の観光をテーマにしたショート動画の作成、発信を行うワークショップを開催しました。当日は複数のチームで多くの動画を作成し、SNSなどを活用して発信しました。
公5	第56回愛知ブロック大会広報事業	県民に対して、第56回愛知ブロック大会西尾大会への積極的な参加意欲を促進することを目的として、音楽フェス、働く車ふれあい体験ブースなど様々なファンクションを設置し、大会の広報を行いました。
公5	第56回愛知ブロック大会開催	会員のみならず県内すべての方に対し、愛知ブロック協議会の集大成の場として、運動を伝えることで、社会課題や魅力を認知し、意識変革を促すことを目的として、西尾市総合体育館において、第56回愛知ブロック大会を開催いたしました。
公5	第56回愛知ブロック大会メインフォーラム	国際社会の課題に触れていただき自ら課題解決意識の醸成を図るとともに、個人や地域からでもできる課題解決意欲の向上を図ることを目的として、丸山ゴンザレス氏による講演とパネルディスカッションを行いました。
公5	2023年度名古屋会議メインフォーラム	愛知県が観光都市として発展していく必要性を県民が認識し、まちの魅力を再認識することにより、自らが愛知県の観光産業に携わる意欲を向上することを目的として、白井陽介氏による講演とパネルディスカッションを行いました。
公7	国外から人を呼び込む事業	【観光×SNSの仕組化】をテーマとし、大学と連携してSNSで愛知の観光について発信を行う新たなコミュニティ“GOあいちギルド”の創造とSNSで最初に発信するプロジェクト“ナイトタイム寺院4558”を実施する二軸で事業を行いました。
公7	グローバルリーダー育成事業	国際社会の課題解決に能動的に取り組むことのできる人材を育成することを目的として、県内の大学生を対象に、ロシア・ウクライナ紛争についてディスカッションやワークショップを行い、国際課題に向き合う機会といたしました。
公7	国際協力推進事業	将来のパンデミックへの国際的な備えとして、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジの社会慣習のアクセスを充実させることを目的として、ネパールにおいて、現地の医師と協力し、ネパールの方々に医療セミナーや診療を行いました。
公7	JCIアジア太平洋エリア会議(ASPAC)におけるブース出展	愛知の文化や魅力を知っていただくことを目的として、からくりから始まるユネスコ無形文化遺産に登録された祭り文化の「山・鉾・屋台行事」の魅力の世界へ発信し、からくりと祭り写真の展示・VR体験などを用いたブースを出展しました。
公7	JCI世界会議におけるブース出展	愛知の文化や魅力を知っていただくことを目的として、愛知県が全国の中で登録数1位を誇るユネスコ無形文化遺産の「山・鉾・屋台行事」からはじまる祭り文化の魅力を発信するため、祭りと併せて催される屋台をモチーフにしたブースを出展しました。



ブロック協議会名	役職名	担当者名
岐阜ブロック協議会	会長	田中 雄貴(関)

基本方針

地域で活躍できる人材を育成し、それぞれの地域が独自性のあるまちづくりを行うことで世界から注目される岐阜県を目指します。



総括

時勢の転機に合わせて、全ての事業をリアル開催することができました。対面で人と関わる大切さや得ることのできる経験の違いを改めて実感しています。一方で、全ての会議や委員会においてはコロナ禍の経験を活かし、ハイブリット開催を検討することで、出向いただいた多くの会員にブロック協議会の活動に参加しやすい環境を整備しました。また、小規模LOMの増加によって、入会前の候補者が青年会議所のスケールメリットを感じる機会が減少していることから、ブロック協議会の事業に候補者にも参加していただくという新たな手法にも挑戦することができました。課題もありますが、会員の成長につながる多くの機会を提供することができたと考えます。

事業区分	事業名	事業内容
他	選挙における各種討論会の実施・支援(組織連携推進会議)	政治を自分事と捉え、地域のリーダーとして、国政や地方政治に対する関心を高め、国やまちの未来を真剣に考える有権者を増やす環境づくりの支援として、県内3LOMの公開討論会開催の支援を行いました。
他	岐阜会議の開催(組織連携推進会議)	岐阜ブロック協議会が行う青年会議所運動展開において、より良い効果をもたらすために県内17LOMのメンバーに岐阜ブロック協議会の運動方針の理解を深めて頂くと共に、県内17LOMの連携を強固なものとするために岐阜会議を実施しました。
他	岐阜ブロック協議会関係諸団体との防災・疾病ネットワークの構築(組織連携推進会議)	有事の際、地域に対して率先して迅速な支援活動を行うために、関係諸団体との連携を強化し、防災・疾病ネットワークの構築として岐阜会議にて岐阜ブロック協議会と岐阜県内17LOM間で災害協定を締結しました。
他	身近なところから始められるMOTTAINAI運動の推進(組織連携推進会議)	MOTTAINAIの精神を会員が率先して取り組み、県民を巻き込み広げていくために、フードバンクに関する講演会を実施しました。また、岐阜ブロック大会内に実際にフードバンクを開催し、回収できた物資を社会福祉協議会に寄付を行いました。
公1	第9回JCカップ U-11少年少女サッカー岐阜ブロック大会(組織連携推進会議)	今後、夢をもった少年少女が魅力溢れる岐阜の創造ができる人財となっていくために、JCI日本、東海地区協議会と連携を図り、スポーツを中心とした地域活動を活性化させ、人々とのつながりを強固なものとするためにサッカー大会を実施しました。
他	会員拡大の推進及び支援(アカデミー委員会)	各LOMの会員拡大状況をクラウド上で共有しました。また、拡大共有ミーティングをWEB開催にて4回実施し、各LOMの拡大担当者が抱えている会員拡大の手法や悩みについて意見交流を行いました。
他	第1回会員拡大セミナー(アカデミー委員会)	アチーブメント株式会社の中川翔太氏を講師にお招きし、一般参加者(会員拡大対象者)とメンバーを対象として、どのような組織が多くの人に支持されるのかという組織論や組織と個人の在り方についてご講演をいただき、会員拡大の直接的な支援を行いました。
他	第2回会員拡大セミナー(アカデミー委員会)	AWARDS JAPAN 2022にて拡大褒章グランプリを含む5部門を受賞したJCI町田の直前理事長である市川展久君を講師としてお招きし、会員拡大の重要性と理事長当時に用いた手法や心掛けたことなどについてご講演をいただきました。
他	岐阜ブロックアカデミー2023(アカデミー委員会)	入会3年未満の会員を対象にアカデミー事業を開催しました。午前にはPurpose、セレモニー、プロトコル、理念共感拡大グランドデザインについて学び、午後はチーム毎に分かれて飛騨市内をウォークラリーにて散策し、アカデミー生同士の友情を育む機会としました。
他	地域のたからの発掘及び発信事業(岐阜ブロック大会2023実行委員会)	岐阜県内の郷土愛を高めるために、岐阜県民に岐阜県各地の魅力を知っていただくことを目的として、岐阜県各地の地域の魅力を発掘し動画と併せてSNSで発信しました。
他	活動方針の理解共有のための事業(岐阜ブロック大会2023実行委員会)	岐阜県の結束を高めるために岐阜ブロック協議会の活動方針を理解・共有することを目的として、岐阜会議内に会長から岐阜ブロック協議会の基本方針を説明し、理事長の皆様から各LOMの活動方針について説明いただきました。
公5	岐阜ブロック大会2023公益事業(岐阜ブロック大会2023実行委員会)	岐阜県民に自らが住み暮らすまちに興味をもっていただくために、岐阜県各地の魅力について認知いただくことを目的として、岐阜県にまつわる「手仕事」に焦点を当てることで実際に体験することができる魅力溢れる大会を開催しました。
他	岐阜ブロック大会2023共益事業(岐阜ブロック大会2023実行委員会)	岐阜ブロック協議会が今後もより良い運動を展開していくために歴史と伝統を引き継ぐことを目的として、本次年度の理事長及びブロック協議会役員紹介や岐阜ブロック協議会の事業報告と卒業式を行いました。
他	HP、SNSの管理・運営(事務局)	HP、Facebook、Instagramを活用して、岐阜ブロック協議会及び各LOMの活動内容や地域の魅力についての情報発信を行いました。
他	JCI日本、東海DCとの諸事業の連携・推進(事務局)	京都会議、東海フォーラム、サマーコンファレンス、全国大会、世界会議の事業において、岐阜ブロック協議会として推進を行いました。



ブロック協議会名	役職名	担当者名
三重ブロック協議会	会長	川口 達也 (松阪)

基本方針

つながり輝き合う地域となるために、志を高く持ち、歩み続けることで、希望溢れる三重を共創する。



総括

今あるつながりを強くすること、つながりを拡大すること、そして地域とつながり地域を活性化させ、地域の方々をつなげることを重点に事業を行いました。まずは会員の社業の発展に寄与するべく事業を行いました。会員の社業の発展は大きな魅力となり必然的に新たな同志のつながりを生み出しました。全会員のつながりを強くするために、全会員を対象としたブロックアカデミーは、会員同士のつながりを大きくしました。県内の魅力を集めたブロック大会では多くの方々に各地域の魅力に触れ興味を持っていただくことで、今後もその地域に足を運んでもらい様々な魅力に触れていただくきっかけを創出しました。そのつながりを作り出すことは各地域を活性化させます。つながりの重要性を伝播し創出していくことで希望溢れる三重の実現につながったと考えます

事業区分	事業名	事業内容
公1	JCカップU-11 少年少女サッカー三重県予選大会	JCカップU-11少年少女サッカー東海地区予選に向けて、県内から6チームから出場頂き、三重県代表チームを決定しました。子どもたちが思いやりの心と強靭な精神力をもって、グッドルーザーの精神を育むことを目的とした大会を開催しました。
公5	第53回三重ブロック大会 地域開発事業	県内各地の食・物産ブースを設営することで、各地域の地域資源に触れるとともに、県内の魅力を知り、地域への愛着を感じていただくことを目的とした事業を開催しました。
公5	中小企業へのウェルビーイング 経営の推進	働くことが人生を豊かにする手段という価値観である「ウェルビーイング経営」を三重県内各自治体の方々に周知していただくために、特定非営利活動法人健康経営研究会 理事長 岡田邦夫氏の講演を開催しました。
他	ブロックアカデミー事業	三重県内各地会員会議所の全会員を対象とし、入会歴の垣根を越えて仲間と共に学ぶとともに、JCの理念や思想を今一度全員が深く理解し、次代に即した活動を展開していく土台を育てていただくことを目的とした事業を開催しました。
他	第53回三重ブロック大会 式典・卒業式	三重ブロック協議会の運動と成果を共有し、賛同を得るとともに、JC活動の魅力や意義を再認識し、会員の想いを次世代に繋げていくことを目的とした事業を開催しました。



ブロック協議会名	役職名	担当者名
福井ブロック協議会	会長	嶋田 祐介 (鯖江)

基本方針

福井県内10LOMと福井ブロック協議会で、共に夢を描く。



総括

連絡総合調整機関として、LOMとブロックの距離を近づけることが必要であると考え、徹底したLOMの寄り添いを行いました。ブロック協議会内全会員を対象とした、第1回と第2回の全体会議は交流に重きを置き、新入会員を対象に1泊2日で行ったアカデミー事業は、夜の懇親会は全会員を対象に行いました。また、予定者の段階では4名スタートが予想されていたLOMを重点支援LOMとし、例会や理事会、事業にブロック役員が参画し支援を行い。期末は14名の会員を迎えました。また県内の青年友好4団体とも交流を図り、福井ブロック協議会が青年会議所の活動の枠を広げることで、協議会の必要性を示しました。

事業区分	事業名	事業内容
公5	高速交通体系に伴う事業～立ち上がり!!!福井がリードする新しい交通社会の実現に向けて～	福井県は嶺北と嶺南に分かれており、嶺南が先に開通します。そこで嶺北に新幹線が停まることによる、メリットを最大限に活用して頂く為にまずはチャンスと捉えて頂くことにより、まちの方々へ行動に移していく人が増えました。
公5	ベビーファースト運動～お父さん子育て、新しい社会へ～	日本一幸福な子育て県、子供を産み育てやすい「誰もがうらやむ『ふく育県』」を実現するため、子育てに對しさらに「得する」に焦点を合わせ、特に男性の育児休業制度についての落とし込みを行い、男性育休取得を示唆する人が増えました。
公7	「Global Vision,Local Action」～手を取り合って前に進もう～	現状の福井県民は100年に1度と言われているチャンスを目前に、迎い入れる外国人に對してのコミュニケーション能力への大きな課題があります。こうした中、この機を最大限に活かし、県民一丸となって取り組んで行交流事業を開催し、新たな発見を見つけ出していただきました。
他	第1回ブロック全体会議	各LOM メンバー一人ひとりに福井ブロック協議会の発信する事業の価値を感じて頂き、集める事業から集まる事業になるように、福井ブロック協議会と各LOM 全会員がより深く繋がりが福井ブロックの事業に参加しやすい環境の場を創出し、多くのメンバーに参加して頂きました。
他	福井ブロックアカデミー	活気と希望に満ちた人材が溢れることで、新時代に向けて夢を描く福井の実現を目指しました。年々会員数の減少や退会が問題視されている中、新入会員に對してアカデミーを行いJCに對しての意識向上に繋がりました。
他	福井ブロック大会	第1回全体会議で築いた繋がりをさらに強める為に、事業に関わる方々全ての益を創出するために、福井ブロック協議会の事業を来賓として10LOMのメンバーに共有していただき、JC活動への気運を高めると共にメンバーの繋がりを更に高めました。
他	第2回ブロック全体会議	今後も福井ブロック協議会と各LOMが一体となって運動や活動をしていく為に、第1回全体会議と福井ブロック大会で築いたLOMを超えた絆をさらに深めることで、各地域の課題解決への意欲を高めました。



ブロック協議会名	役職名	担当者名
石川ブロック協議会	ブロック会長	林 泰三（金沢）

基本方針

新時代への挑戦 新たな価値の創造拠点石川



総括

5月5日に珠洲市を中心とした能登地震が発災し、県内9LOM力をあわせ、震災後の復興支援に取り組みました。その際に、JCがあつてよかったとの声をいただき、JCの存在意義、価値というのは底力としてであると確信しました。その反面、メンバー数の減少は一途をたどっており能登半島を中心に減少が際立っております。アカデミー事業やLOMの垣根を超えた事業を展開することにより、JCの魅力がメンバーが再認識し、事業によって拡大活動の一役を担えるかと考え、運動を展開してきました。どのような成果として現れたかまでの検証はできていませんが地道に継続していく必要があることはブロック内で共有できたと考えてます。

事業区分	事業名	事業内容
公5	第53回いしかわコンファレンス in加賀	加賀百万石フェス:来場者に対し、石川県の食や伝統文化等の魅力を体感できるブースを用意し、石川県の魅力を再認識していただき、地域に対する誇りを持つきっかけとしました。
他	押忍!JC塾事業の企画・実施	起承転結と4つのパートに分けて、4塾をつくりLOM間のメンバーのつながりもつくりながら、アカデミー参加者が青年会議所の基礎を学び、各塾メンバーの絆を深める事により次年度以降のやりがい生まれ、新しいチャレンジに踏み出す糧に繋がりました。
公7	2023年度 JCI 世界会議チュールリッヒ大会におけるジャパンナイトブースの企画・実施	石川に土地勘のない海外からの訪問者に対しては石川県国際観光課からいただいたパンフレットを配布し、石川の位置や東京、大阪からのアクセスを知っていただくとともに、観光地としての石川の魅力を感じていただきました。
公1	第9回MJSプレゼンツJCカップ U-11少女サッカー全国大会石川予選大会	スポーツを通じて、その中でグッドルーザーの精神を育む体験を提供し、他人を思いやる気持ちやスポーツの本質的な楽しさを再認識する機会の提供を目的としました。また、LOMで独自事業を行えない地域で大会を開催することによりJCの魅力発信を行いました。
公5	新時代の働き方フォーラム～起業で発信、地元の魅力!!～	清水アステナミネルヴァ(株)代表取締役社長、國永(株)ABOBORA代表取締役社長、浦(株)ABOBORA取締役をパネリストに招いて石川の魅力に気づき、石川にもビジネスチャンスがある事を学び、石川での就職や起業という選択のきっかけづくりとしました。



会議・委員会名	役職名	担当者名
富山ブロック協議会	会長	杉木 裕矢 (となみ)

基本方針

夢あるTOYAMAを創造し共感を生み出し続ける



総括

地域の問題でもある人口減少に伴い、会員の減少が目立つ時代において爆発的に会員が増えることはないと考えました。富山ブロック協議会は402名のメンバーで構成されておりますが、どれだけ会員が少なくなったとしてもJCの存在意義と根本を理解していれば、この団体は県にまちに市民に求められる団体だということを確信しています。本年度は組織の強化と会員の理解のために、理念共感事業を開催しました。各LOMが「集める組織から集まる組織」になるように、内部を強化する一年となりました。また、富山県庁、県内プロスポーツとの連携、青年3団体との意見交換会、富山ブロック協議会が先導となり、連携、事業を開催することができました。

事業区分	事業名	事業内容
他	理念共感事業	県内メンバーを対象に、理念に対する認知、理解、共感をテーマとした全3回の講演会を行いました。 第1回:なぜJCなのか?: 講師:アチーブメント(株) 野地 優太氏 第2回:成長の機会講師:米田 大樹先輩 第3回:どうやってJCを活かすのか? 講師:橋本 淳先輩
他	LOMのための会員拡大支援	県内委員会議所の拡大担当をお招きし、各LOMの拡大状況を共有するとともに、拡大の必要性と手法について講演会を実施しました。 講師:アチーブメント(株) 野地 優太 氏
他	ブロックアカデミー	県内の入会年度3年以内のメンバーを対象に、出向の魅力テーマとした講演会・パネルディスカッションを実施しました。 講師:公益社団法人日本青年会議所- 監事 青木 孝太 君
公5	ウェルビーイング推進事業(ブロック大会)	県民を対象に、余暇の過ごし方の向上をテーマとした講演会、グループワーク、及びブース出展を行いました。 講師:中谷 幸葉氏 ほか
公1	JCカップU-11少年少女サッカー大会の地区予選大会	JCカップU-11少年少女サッカー大会の予選大会として、県内小学生8チームによるサッカー大会を実施しました。
公5	地域の魅力発信連携事業	県内の高校生・大学生を対象とした、地域で働くことの魅力をテーマとした講演会・グループワークを実施しました。 講師:能作 千春 氏(株式会社能作)、村上 侑紀 君(株式会社モザイクワークス)
公1	青少年育成事業	公益財団法人富山県ひとつづくり財団と連携し、県内小学生を対象とした、起業家精神の育成、及び働くことの魅力をテーマとしたワークショップを行いました。
公2	若手リーダーとの意見交換会	商工会議所青年部、商工会青年部、中小企業青年中央会、自民党富山県連青年局との意見交換会、及び交流会を実施しました。 講師:加藤 哲朗 氏
他	JC運動の対内外向けの情報発信	従来の広報に加え、本年度は特にブロック協議会LINEを用いた情報発信を充実させました。
他	行動化のための良質な情報の共有	Gian Pocketの普及を図るとともに、県内LOMの過去議案のアップロードを行いました。
他	プロスポーツチームとの連携事業	県内メンバーを対象に、県内プロスポーツチームであるカタレ富山様の試合を観戦・応援する「JCデー」を実施しました。
他	第1回ブロック全体会議	県内メンバーを対象に、本年度のブロック、及び県内LOMの活動方針を共有する全体会議を実施しました。
他	第2回ブロック全体会議	県内メンバーを対象に、本年度のブロック、及び県内LOMの活動成果を共有する全体会議を実施しました。



ブロック協議会名	役職名	担当者名
新潟ブロック協議会	会長	大桃 崇弘(魚沼)

基本方針

多様な人財の活躍を支援し、各LOMの地域課題解決に協力することで、信頼関係を築き、安心して生活できる新潟を実現します。



総括

本年、新潟ブロックは「共創」をテーマにLOMとの連携を強化し、多くの課題に取り組みました。メンバー数や在籍年数の減少が課題でしたが、ブロック役員をはじめ、出向していただいた皆様には次年度への成長の機会を作ることができたのではないかと考えております。JCの存在意義は、青年に成長と発展の機会を提供し、社会の課題解決を通じて持続可能な地域を創ることです。すべての活動が上手くいったわけではありませんが、この一年の私たちの活動が明るい豊かな新潟の未来を創造することに寄与できたと信じております。本年、共に運動に関わってくれたすべてのメンバーに心からの感謝を伝えます。本当にありがとうございました。

事業区分	事業名	事業内容
公1	U-11少年少女 サッカー大会の実施	本大会を開催することにより、チームワークを通じ協調性や連帯感を育み、地域間交流により、多様性の相互理解の意識の育成ならびに、勝ち負け以上に大切なグッドルーザー精神を理解することで、将来、夢と愛が溢れる新潟県に近づけることを目的としました。
公1	政治参画意識向上事業の実施・推進・支援	多くのメディアに取り上げられ、全国的にも政治参画教育の実績があるノーユースノージャパン能條桃子氏や県内政治家による講演を行うことで今回の事業が新潟県から日本全国へと繋がる教育改革への一助になればと思います今回の事業を開催いたしました。
公5	共創事業の実施	新潟県は観光や食などの地域資源を十分に発信できておりません。この課題解決のため、第4回わんぱく相撲女子全国大会の場で新潟県の食や観光資源を一堂に展示しました。これにより、県内外からの訪問者に新潟の魅力を直接体験していただき発信していただくことで新潟の魅力がPRできたと考えます。



ブロック協議会名	役職名	担当者名
長野ブロック協議会	会長	北原 友(諏訪圏)

基本方針

JAYCEE が覚悟を決め、未来に向かって確実な一歩を踏み出し、未来に向けたしあわせ信州を構築していきます。



総括

2023年度の長野ブロック協議会は、「JAYCEEの覚悟～未来のしあわせ信州をいまここから～」を基本理念に掲げ、3委員会2局、出向者数94名にて活動を行い、9月30日を以て計9事業を終了することが出来ました。制限されていた数年を払拭できるよう、覚悟を持ってそれぞれの運動を実行することで県内会員の皆さまに多くの学びと経験の機会を創出でき、また地域にも改めて青年会議所の存在を知っていただく事に繋がったと考えます。長野ブロック協議会が県内各地委員会会議所のハブとしての役割を全うする事で、広域的な連携と仲間意識の醸成に寄与したと確信します。

事業区分	事業名	事業内容
公5	第54回長野ブロック大会たから市「信州縄文サステナブルマルシェ」	信州に根付き、縄文文化とも関連性のある「発酵」「ジビエ」「エシカル雑貨」をテーマとした信州の魅力発見たから市を実施し、環境に配慮した暮らしに興味を持つきっかけとなりました。
公5	第54回長野ブロック大会in塩尻「信州・縄文サステナブルサミット」	これまで信州に根付く「縄文文化」「サステナブル」という切り口から、新たな信州ブランド構築の機会を提供し、魅力を発信することの重要性を改めて捉え直す一助となりました。
公5	県内同時開催!地域若手経営者×移住起業家Meet Up!	移住起業後または移住を検討する起業家・経営者と、青年会議所メンバーを中心とした若手地域経営者のMeetup(セミナー+交流会)を実施しました。講師とのトークセッションを4拠点同時にオンラインで発信した後、各拠点にてワークショップを行いました。
公1	ふるさとの未来をつくろう!こどもアイデアプレゼンコンテスト	小学生に居住市町村の魅力や課題について、調査や関連団体への訪問にて深掘りし、ふるさとの未来の発展に繋がるまちづくりアイデアをブロック大会内のコンテストにおいてプレゼンを行っていただきました。
公1	JCカップU-11少年少女サッカー予選大会の実施	次世代を担う子供達がスポーツを通じた交流により夢を描くことの大切さを学び、グッドルーザー・グッドウィナーの精神を学び体験することで、相手を称えることの大切さを学ぶ機会の創出に繋がりました。
他	LOM会員拡大の支援	県内17LOMが会員拡大についてそれぞれが持つ情報や手法または課題を共有し、会員拡大につながる相互連携の関係を築くことで、各LOMの会員拡大目標達成の一助となる事業を行いました。
他	2023長野ブロック協議会ブロックアカデミー事業	例会出席率低下、スリープ会員増加が懸念される長野県内の各LOMに向けて、入会3年以内のメンバーやLOMから推挙されたメンバーを対象として、参加意識の向上を促しアクティブ会員の増加につながるブロックアカデミーを実施しました。
公2	持続可能な地域づくりを学ぶ信州サステナブルディスカッション	講師をお招きし、持続可能な地域づくり、組織運営に取り組みについて「サステナブル」をテーマとしてパネルディスカッションを行っていただきました。
他	第54回長野ブロック大会(式典の部)	ブロック協議会の活動を締めくくる場として、17LOMが一丸となり次年度に向けて活発的な組織となるように意識を醸成しました。また卒業生から青年会議所に対する想いを受け継ぎ、今後の青年会議所活動へ積極的に取り組む意欲を高めました。



ブロック協議会名	役職名	担当者名
滋賀ブロック協議会	ブロック会長	芳田 真史 (水口)

基本方針

SHIGA⇄JAPAN

県外との交流から新たな顕在力を受け入れ、地域の特徴と潜在力を発信できる滋賀を創出する。



総括

古来より先進的な理念をもつ経済圏であるのにも関わらず、消極的で閉鎖的な県民性は、青年会議所内活動であっても同じであったと考えます。伝統という箱の中に多くをしまい込んでいました。本年度の方針で伝統は守ることも壊していくことも重要であると考え、理解したうえで可能な限り逆を走る選択を行うことで本年度の活動では終わらない次年度以降へのぎっかけを作り出すことに繋がったと考えております。その運動の姿には今まで冷めていたメンバーの意識変革や広域に情報を得ようとし、挑戦するメンバーを増加させたと実感しております。

事業区分	事業名	事業内容
他	JCプログラムセミナー実施推進事業	PURPOSEを県内プロモーター取得から実施し、全メンバーに青年会議所の理念を浸透させ、プロトコルを学び、共に浸透することで今後の新しいリーダーを育成しました。また県外の会員拡大に成功例を基に拡大対象者が議論し、視野を拡大しました。
他	2023年度滋賀ブロック協議会会長公式訪問事業	伝統的な公式訪問を改め、一箇所にお集まりいただく中、ブロック協議会としてのおもてなしを行い、特に事前公報からJCI日本の本年度の運動指針、滋賀ブロックの方向性の伝達に注力を置くことで、例年になく日本青年会議所に近く感じることに繋がりました。
公6	有事に備えた災害ネットワークの強化に関する事業報告	滋賀県の長所に隠れた弱い部分である地域コミュニティ低下を防災という切り口で意識付けを行うために、滋賀県全域11か所で同時多発的に啓発運動を行い、青年会議所の認知度向上と外部団体とのコミュニティの形成に繋がりました。
他	2023年度滋賀ブロック協議会褒賞事業	事業部門では外部審査員に参画していただき青年会議所外での評価を尊重し審査していただき生の評価を受けていただきメンバーの意識変革に繋がりがり、また審査員やSNS配信を通じて広域に運動を発信することに繋がりました。
他	ホームページの運用とSNSを利用した運動発信	各種広報ツールごとの発信方法を変化させ、多くの層に対して認知度を向上させた。また日本青年会議所の運動を県内版として発信し、ブロック協議会内のLOM事業についても協議会として広域に発信することで各LOM事業の参加動員や認知度向上に繋がりました。
他	対内に向けた広報活動の実施	対外にむけた広報と切り離し県内メンバー全員を一つのSNSの箱に集約し、ブロック役員団の紹介や各LOMメンバー、事業、活動方針などを紹介することで滋賀県内の垣根を超える関係性を築き上げることに繋がりました。
他	例会・事業情報 ~友の歩み~	他LOMがいつどこで何をしているかという一括した情報のプラットフォームがなくLOM間連携の壁になっていた部分に注目し、全LOMの事業・例会情報を集約展開した。結果、アテンダンスが生まれ、情報だけでなくLOM間の協体制の強化に繋がりました。
他	滋賀ブロック大会守山大会式典	関係行政や各種団体、先輩諸兄姉への日頃の感謝と、今後も滋賀県内10LOMが同じ理念を持ち、結束していく機会に繋がりました。
公5	第53回滋賀ブロック大会守山大会事業 For one purpose~滋賀、魅力あふれるんだってよ~	主管青年会議所のみでの事業構築を行うのではなく、ステージ・催し・飲食・魅力ブースすべてのコンテンツを滋賀県内10LOMが参画することで連携の強化を図り、一般来場者に対しても滋賀県全域の魅力を感じていただくことに繋がりました。
公5	新たな価値をデザインする企業を創出する事業 Re:Design ~滋賀の経済を牽引するのは我々だ!~	メンバーには若い世代の発想を基に新たな価値をデザインすることで滋賀県の経済発展に寄与していく意識の向上に繋がりがり、一般参加者には自らのアイデアの可能性を感じ、滋賀県をより良くしたいと想う意識を醸成して頂くことに繋がりました。
公5	近畿地区大会姫路大会ブース出展	滋賀県の隠れた潜在力(外来魚であるブラックバス)が食事として魅力になることを実感させ、魅力の発掘や発信における視座を高めていただきました。また来場者の皆様には意外性から地域への興味に誘導することに繋がりました。



ブロック協議会名	役職名	担当者名
京都ブロック協議会	会長	谷口 智哉 (城陽)

基本方針

笑ってこっぜ!!のスローガンのもと、青年会議所活動をがむしゃらに行い、未来に向かって笑顔溢れる京都を実現する。



総括

ブロック大会では開催地域では初めてとなる道路を封鎖してのフェスタを開催しました。また2019年以来となる国際ミッションの実施など、コロナ以前を思い起こす大きな事業を開催することが出来ました。対内に目を向けると、担当委員会メンバーが講師となってJCとは何かを説明するアカデミー事業を開催しましたが、資料やシナリオを各LOMと共有することで、将来的には各LOMにおいて自発的にメンバー指導が出来る体制に繋げることが出来ました。さらに理事会のオブザーブをはじめ各LOMの会議運営のあり方を共有することを通じて、連絡調整機関としての役割を果たすことが出来ました。

事業区分	事業名	事業内容
公5	第51回京都ブロック大会 フォーラム	子供や若者が夢を持ちその実現に向け突き進むことで、社会全体に精力的なエネルギーが生まれている希望に満ちた明るい社会を実現するという想いで、加藤勝信厚生労働大臣と京都府出身の元プロ野球選手である糸井嘉男氏を講師としたフォーラムを開催しました。
公5	第51回京都ブロック大会 フェスタ	開催エリアの船井地域では初めてとなる、シンボルロードを通行止めにしたフェスタを開催しました。吉本芸人によるお笑いライブで盛り上げたほか、36店舗の飲食店に出店いただきました。
公7	国際交流事業	ASPACに合わせた国際ミッションの事業を2019年以来開催しました。インドネシアにおいて、現地の方々との交流するミッションやビジネスのミッションを通じて、メンバーの海外へのハードルが下がりました。
公7	ASPAC ブース出展	京都を代表する「海の京都」「森の京都」「お茶の京都」「竹の里・乙訓」の代表特産品を用いて、京都の一端を感じ、堪能頂ける食品を提供するブースを出展いたしました。本事業をきっかけに京都への関心を高めて継続的な国際交流に繋がる一助としました。
公1	JCカップU-11少年少女サッカー全国大会京都予選大会	本大会は、京都府内各地より選ばれたサッカーチームを対象とした大会であり、全国大会に繋がる京都予選大会です。サッカーを通して互いに競い合いながらも、フェアプレーの精神のもと、勝っても負けても相手を尊重することで、人間性を高める一助としました。
公5	近畿地区大会姫路大会ブース出展	京都府内各地の文化や風土、食文化に触れることができる体験として提供するため、①海の京都より琴引きメロンを使用したかき氷、②山の京都より美山牛乳を使った生クリームといちごをトッピングしたかき氷、③お茶の京都より抹茶のかき氷、を出店しました。
他	第51回京都ブロック大会 式典	京都ブロック協議会の府内各LOMメンバーが地域に対して夢を描き、それに向かってがむしゃらの行動することの重要性を共有し、JCに所属していることに誇りをもつことで、各地域におけるまちづくり活動と運動への意欲が高まる式典を開催しました。
他	第51回京都ブロック大会 褒賞授与式	2022年度に各LOMが実施した事業を称え表彰しました。また新規に実施した事業については、事前に各メンバーに配信しメンバーによる投票制とすることで、他LOMの事業を参考にする機会を作りました。
他	京都ブロックアカデミー	各LOMにおいてメンバーの育成が課題となる中で、担当委員会メンバーが講師となってJCとは何かを伝えるセミナーを2度にわたり実施し、セミナーの資料やシナリオは各LOMに引き継げるものとなりました。
他	魅力溢れる人財育成事業	激動する社会の中で、自らが考え的確に判断し行動できる、自らが考え的確に判断し行動できる、新しい時代に適応できるリーダー像を学ぶ事業として、「佰食屋」を運営されている中村朱美様を講師としたセミナーを開催しました。
他	組織力向上JCIビルディング事業	陸上自衛隊福知山駐屯地の協力のもと、チームが一丸となって様々なミッションをクリアしていく事業を開催し、組織がより良い運営を行っていくための学びを得ることが出来ました。
他	本次年度合同会議・委員会報告会	第1部では2023年度の事業を完遂出来たことの御礼と次年度への伝達式を行いました。第2部では今年度の各委員会の取り組みを参加者に向けて報告し、出向の魅力を感じて頂くことが出来ました。
他	LOM支援の推進	担当委員会が各LOMの理事会オブザーブを実施しました。各LOMにおける運営の違いを一覧にまとめることにより、それぞれのLOMが他LOMの運営方法を参考に出来る形を作りました。



ブロック協議会名	役職名	担当者名
奈良ブロック協議会	会長	升田 壮亮 (桜井)

基本方針

奈良の架け橋となりそれぞれが運動を起こせるリーダーへ
地域の魅力発掘と幅広い人脈を構築し、地域愛と発展力をもった人財を生み出し、それぞれが地域を担い広い世界へ進出するリーダーへ成長できる環境を構築します。



総括

2023年度は、5類に変更になった特殊感染症への対応やそれを盛り込んだ事業構築を各地LOMへ力強く発信し、それぞれLOMごとに異なる部分を共有しあうことを念頭にスタートいたしました。そして、各地のLOMに寄り添った事業構築を目標に活動を行ってまいりました。各地LOMメンバーから出向いただいたアカデミー生の資質向上及びLOMの垣根を越えたエンゲージメントの確立を図り、奈良ブロック9LOMがそれぞれ地域のために、自LOMだけでなく、隣接LOMやブロック協議会と連携を試みたときスムーズに連携できるよう取り組んでまいりました。結果として、奈良ブロックと各地LOMがさらに身近な存在になったと感じています。

事業区分	事業名	事業内容
他	公益社団法人日本青年会議所近畿地区奈良ブロック協議会2023年度意見交換会	県内9LOMの委員長を各職務別でグループを作成し、LOMの現状と課題、事業実施に関する現状と課題等を意見交換しました。
他	第1回アカデミー事業	第1回アカデミー事業として、JCプログラム「Purpose」を実施しました。
他	第52回奈良ブロック大会記念式典	関係行政や各種団体、先輩諸兄姉の皆様への日頃の感謝と、今後も奈良県内9LOMが結束して、明るい豊かな社会の実現に向けて、JC運動に邁進していく事を発信しました。
公2	奈良ブロック大会葛城大会メインフォーラムの実施	株式会社Real Style 代表取締役 鍵谷健様による講演にて、常に柔軟に対応し、地域のリーダーとして活躍された事を具体的にお話いただき、県民の皆様と共に人を惹きつける人財となる機会を提供しました。
公5	第51回ブロック大会記念事業1 「輝け!奈良の可能性フェスティバル」 記念事業2 「馬見キッチンカーフェスティバル」 記念事業3 「リトルカツラギ」	記念事業1 奈良県に縁のある若手フォーマーの方々にパフォーマンスを実施していただきます。また、奈良県各地の魅力が詰まった体験型の子供向けブースを設置しました。 記念事業2 会場周辺に奈良県内のキッチンカーを出店いただき、ステージとその周辺を一体とした活用方法を提示することで、馬見丘陵公園の新たな可能性を示しました。 記念事業3 葛城地域の魅力を詰め込んだブースを設え、来場いただいた方々に「葛城地域」を感じていただきました。
公1	JCカップU-11少年少女サッカー大会奈良県代表チーム選出	奈良県内代表チームを選出し「JCカップ近畿地区大会」へ送迎し、試合会場へ引率しました。
他	第2回アカデミー事業 「話し方で人生が変わる!」	第2回アカデミー事業として、JCプログラム「スピーチセミナー」を実施させていただきました。
他	LOMが躍動するための新たな支援モデルの構築	常に県内9LOMと連携をとり、対外事業・青少年事業等で支援内容等を明確にして人員の支援含め様々な支援を実施させていただきました。
他	褒賞発表並びに審査会	県内9LOMより昨年度の事業を発表していただき、外部審査員のご協力のもと審査を行いました。今年度はブロック大会内で褒賞発表を実施しました。
他	JC運動共有システムの活用・推進	GianPocketの周知、説明を実施し、県内各LOMにアップロードいただくことと共に、閲覧、議案構築の参考にしていただく推進を1年間実施させていただきました。
他	中期ビジョン策定の支援推進	50周年を迎えられる3LOMに対して、まちの現状等をヒアリングし、策定させていただくことが出来ました。



ブロック協議会名	役職名	担当者名
大阪ブロック協議会	会長	古川 浩高 (堺高石)

基本方針

世界に存在感を発揮する大阪の発展を確立することで、将来も活気に満ち溢れ、誰もが夢をもち躍動できる幸せな大阪の実現。



総括

本年度大阪ブロック協議会ではDREAMS COME TRUE～誰もが夢を語り躍動し続ける幸せな大阪～のスローガンの基、当初より計画させて頂きました事業を全て滞りなく実施することができました。この成果は出向いただきました役員をはじめ、すべてのメンバーの力であり、出向者の成長の賜物だと確信しております。ブロック協議会は各LOMに心を寄せ、また心を寄せていただける協議会でなくてはなりません。これがLOM支援にも大きく影響し、信頼につながり、私たちが目指す社会に近づく一歩になります。今後も大阪府内28LOMと共に大阪の発展に寄与していけるよう邁進してまいります。

事業区分	事業名	事業内容
公1	第9回JC カップ U-11 少年少女サッカー大阪予選大会の開催	勝負に負けても、アフターマッチミーティングにおいて「グッドルーザーの精神」について学び、学校の友達や、他のサッカーチームの選手にこの学びを伝え、子供たちが多様性の中を先導できる人財へと成長し、共生社会の実現に寄与する機会となる事業でした。
公1	第27回わんぱく相撲大阪決勝大会	大阪府下各地で勝ち上がった選手たちの中から全国大会への出場者を決めるために本大会を実施しました。相撲を通じて礼節、敬愛、思いやりを学んでいただきました。またわんぱく相撲を一般の方へ今以上に周知したいと考え懸賞旗や升席を用意し大会を彩りました。
公2	君も府知事にならないか?~Dreams Come True Osaka~	大阪の大学生を参加対象とした政策コンテストを実施しました。7チームの学生が参加され、大阪の課題を解決し大阪をより良くするための政策をテーマに発表していただきました。JCメンバー、一般参加者も観覧し大阪の未来を考え行動を起こす一助となりました。
他	LOMが躍動するための新たな支援モデルの構築事業	今回大阪府下LOM人数が20名以下を対象に支援を行いました。各LOMへのヒアリングを通じてどんなことが課題なのか理解し対応しました。人的支援が多かったですが支援を行う中で委員会メンバーと支援先LOMとの交流が図れメンバーの学びに繋がりました。
公5	大阪ブロック大会豊中大会フォーラムの開催	「飛び立て世界都市へ!!~大阪の夢を語ろう~」と題し、基調講演では大阪市民に対して大阪が目指すべき姿を共有し、市民の意識が向上したと考えます。また、トークセッションでは大学生との意見交換をし、青年会議所として貴重な意見を得ることができました。
公5	2025大阪万博に向けた協力体制を構築するイノベーション創出事業	2025年に大阪万博開催を控え大阪ブロック協議会として、万博を活用するきっかけを作りたいと考え運動を展開して参りました。行政との面談を重ね、各事業にて万博の内容をパワーポイントにて作成し周知を図りました。さらに、ミヤクミヤクの着ぐるみを使用し運動を行いました。
公5	近畿地区大会姫路大会ブース出展	近畿地区大会姫路大会開催時にブース出展を行いました。大阪の魅力また、大阪ブロックの魅力を広めたく目的に盛んにブースを飾り大阪のローカル食材を提供しました。インスタ映えスポット作成やミヤクミヤクの着ぐるみを使用し当日は盛んに盛り上がりました。
公5	大阪ブロック大会豊中大会フェスタの開催	大阪が世界都市へと昇華するために、大阪府民が大阪の魅力を知る機会とし、また開催地である豊中市には交通アクセスの良さ、救命救急率の高さ等多くの魅力がある都市であるので、豊中市の魅力を多く取り入れたフェスタを開催しました。
公5	大阪ブロック大会豊中大会の広報	大阪府下各地の魅力を発信する大阪ブロック大会豊中大会ですが、単に開催するだけでは魅力の発信には繋がらず、参加していただくことで魅力を感じていただき、今後の大阪全体の魅力の発信に繋がっていただくため、チラシ配布・バス広告等積極的な広報を行いました。
公7	JCI ASPAQジャカルタ大会ブース出展	観光名所である道頓堀の街並みを再現し、大阪に来たような気分になるブースを出展しました。参加者には射的体験をしていただき、大阪の企業が製造しているグリコとビスコを配布しました。大阪観光に行きたいと思えるような魅力を発信することができました。
他	大阪ブロック大会豊中大会大会式典	品格と躍動感のある式典を開催し、大阪府下28LOMのメンバーとともに大阪ブロック大会の開催理念を共有することができました。十分なリハーサルを行ったことで、出席者氏名の読み間違いもなく、シナリオの精査が出来たことで、厳粛かつ円滑な進行が実現できました。
他	ブロックアカデミーの支援・推進【プロ連】	第1回ではpurposeの開催、第2回では理念共感拡大グランドデザイン・セレモニー・JCプロトコルの解説を行いました。第1回ではJC含め社会生活での自身の存在意義など、第2回ではJCの理念や運動の考え方をメンバーに学んでもらうことができました。
他	JCプログラム活用の推進及びトレーナー育成の推進	大阪府内4地域でJCプログラムの開催を行いました。各地域で開催することにより、身近にJCプログラムに触れてもらい、興味・関心を得ることができました。同時に、参加メンバーが次年度以降のトレーナー活動への一助となったと考えています。
他	合同出陣式の開催	年度初めに大阪ブロック内28LOM+韓国大阪青年会議所の多くのメンバーに参加していただき、今年のお大阪ブロック協議会の方向性などを共有することができ、大阪ブロック内各LOMが同じ方向を向いて活動できたと思います。
他	2023年度第1回会員会議所予定者会議・運営予定者会議	案内文の送付と事前の電話連絡により、すべての対象LOMから出席者を確保することができました。また、十分なリハーサルを行ったことで、出席者氏名の読み間違いもなく、シナリオの精査が出来たことで、厳粛かつ円滑な会議進行が実現できました。
他	2023年度第1回会員会議所会議・運営会議	案内文の送付と事前の電話連絡により、すべての対象LOMから出席者を確保することができました。また、十分なリハーサルを行ったことで、出席者氏名の読み間違いもなく、シナリオの精査が出来たことで、厳粛かつ円滑な会議進行が実現できました。
他	2023年度第2回会員会議所会議・運営会議	すべての対象LOMから出席者を確保することができました。また、出席者氏名の読み間違いもなく、シナリオの精査が出来たことで厳粛かつ円滑な会議進行が実現できました。さらに、アトラクションを交えた懇親会も行い、LOM同士の深い交流を行うことができました。
他	広報推進計画	Instagram、Facebookを中心とした大阪ブロック協議会の活動の広報を数多く行うことにより、より社会からの理解と共感を得て、大阪ブロック協議会の存在価値を高めることができました。
他	大阪ブロック内褒賞案内のエントリーセミナーの設置及び実施	大阪ブロック内褒賞案内のエントリーセミナー大阪ブロック内28LOMのうち27LOMにご参加いただき、残り1LOMについても事後のフォローアップをさせて頂いたことで、より褒賞エントリーへの意欲を高めていただきました。
他	大阪ブロック大会主管契約締結式	大阪府下全28LOMの理事長及び専務理事の方々が集結する前で、主催者である大阪ブロック協議会と主管LOMであるJCI豊中の主管契約締結を見届けていただき、大阪ブロック全体で大阪ブロック大会豊中大会に向けて協力体制を取る契機となりました。
他	大阪ブロック大会豊中大会テーマ及びスローガンの決定	大阪ブロック大会を企画・実施するにあたり、主催者である大阪ブロック協議会と主管LOMであるJCI豊中の足並みを揃えて協力する体制を構築する契機となり、大阪ブロック大会豊中大会のテーマを共有し、同じ方向性を持って事業を構築・実施することができました。



会議・委員会名	役職名	担当者名
兵庫ブロック協議会	会長	道廣 正明 (川西)

基本方針

多種多様な個性と現存する魅力ある資源とのコラボレーションで地域を活性化させ、人々が夢へと向かう地域へとさらに発展させます。



総括

本年度はスパイラルアップあらゆる個性が好循環となり夢溢れる兵庫の実現をスローガンとして掲げ、ブロック協議会並びに23会員会議所同志の更なる結束力を構築し、各地が発展へと繋がる運動を展開して参りました。ブロック対内としましては全LOMとの交流を図り、各地の有する様々な魅力を共有したのち、事業を実地することで強い絆が結ばれました。またその関係性を築いた上で兵庫ブロック大会を開催した結果、対外の多くの方々にも兵庫がもつ各地の魅力と青年会議所の存在意義を理解して頂け、地域の方々にも愛郷心をもって頂けたと感じております。この1年間の運動を通じ、今後しっかりと繋げるための多数の成果を残せた確信しております。

事業区分	事業名	事業内容
公1	第9回JCカップU-11少年少女サッカー全国大会兵庫予選大会	兵庫県下の各地域からチームを選出し、予選リーグ及び決勝トーナメントを実施しました。
他	LOM役員懇談会	ブロック役員団とLOMのメンバーが各LOMの夢を実現するために必要なものを、まんだらチャートや事業計画を用いて懇談しました。ブロックとLOMの役員同士が交流を深め、ブロックとしての連絡調整する機能を高めることができました。
他	LOMが躍動するための新たな支援モデルの構築	兵庫ブロック協議会のメンバーが、各地会員会議所のそれぞれの会議に参加し各LOMの夢を現実にするための支援を行いました。
他	各種研修プログラムの実施に関する事業	兵庫県下のメンバーの意識を高めるため、様々な研修プログラムを活用し、JCの理念の理解を進め、主体的に行動できるリーダーの育成を行いました。
他	第1回アカデミー事業 ～心を燃やせin HYOGO～	アカデミーハンター、ティラノサウルスレース、アカデミーレコードなどチームでチームで対抗するいくつもの種目を用意し、今後各地で活躍するアカデミーメンバー同士の絆を強固にし、メンバーが主体的にチームをサポートしていく力を育みました。
公5	JCI ASPAC ジャカルタ大会ジャパンナイトにおけるブース出展	兵庫県の魅力を発信するブースとして、兵庫県内で制作されている「手ぬぐい」を出展しました。参加者は県下各地の魅力を込めたスタンプを自身で押しオリジナルの手ぬぐいをつくりました。アジア各国の会員に兵庫県の地域の魅力を伝えることができました。
公5	第56回ブロック大会伊丹大会分科会「HYOGO business community summit 2023」	地域の課題解決とビジネスの関係性についてコミュニティーをどのように運用していくかを踏まえながらディスカッション形式で講師の方とともに話し合いました。
公5	地域の実情に即したレジリエンス向上事業	起震車を始め、防災に関わる体験コーナーをいくつか設け、地域社会に暮らす方々の災害に対する知識やその活用方法の啓蒙活動を行いました。また社会福祉協議会、商工会などの地域団体の代表が対談をし、災害時の連携について話し合いました。
公5	第56回ブロック大会伊丹大会（公益）事業	夢あふれる兵庫を実現するため「エンジョイチャレンジフェスタ 夢へのコンパス in 伊丹」を開催しました。兵庫各地の魅力あふれるブースを展開し、地域交流の促進や未来に夢を描く機会を創出しました。
他	第56回ブロック大会伊丹大会（共益）事業	知事や開催地市長、行政関係者、歴代ブロック会長及び開催地LOMのOBをお招きし、記念式典を開催しました。また、フィナーレとして卒業生の思いを現役メンバーに伝達する卒業式を執り行いました。
公5	選挙における各種討論会の実施に関する推進	若年層の政治参画意識を高めるため、三田市長選挙をモデルに公開討論会の在り方を考える契機としました。県下各地で若者の積極的な政治参画を促すことができるよう、公開討論会の実施マニュアルを策定することができました。
公1	第2回アカデミー事業 ～心を燃やせin HYOGO～	運動や表現することの楽しさを伝えることをテーマに300人の小学生を対象とした事業を行いました。運動に興味を持っていただき、事業後も主体的に運動に取り組む意識を高めることができました。
公5	近畿地区大会姫路大会におけるブース出展	兵庫県内の魅力あふれる食材を活かしたゼリーを配布するブースを出展しました。兵庫県内の魅力や名所を紹介し、参加者が兵庫県への関心を高めるきっかけとなりました。
他	兵庫県知事との懇談会の開催	大阪・関西万博に向けた兵庫県の取り組み「フィールドパビリオン」として協力できる各地の取り組みについて各地のLOMから提案を行い、県知事と意見交換を行いました。地域の多様性を活かして、兵庫県の活性化に連携できることを確認しました。
他	ブランディングに関するシンポジウム開催	青年会議所のブランディング向上に向けた講師セミナーを実施いたしました。参加者メンバーはディスカッションをおこない、それぞれが青年会議所の存在意義を高める意識を強くもち、対内、対外に向けた発信の重要性を学びました。



ブロック協議会名	役職名	担当者名
和歌山ブロック協議会	会長	辻川 大器(和歌山)

基本方針

郷土愛を取り戻し、自信をもって発信できる和歌山の創造



総括

本年度はブロック協議会内の各LOM相互の情報交換及び連絡調整を行い、又意見を総合調整し、JC運動を誰もが参加したいと思う風通しの良い環境作りに努めました。会議の運用やこれまでの習慣などを含めた運営方法を見直し、少ない人数でもメンバー一人ひとりが最大限の力を発揮できるように、運営の効率化を図り、組織全体の生産性が高まり効率の良い運動を行うことができました。また、活動歴の浅い会員を対象とした事業においても、独自のアカデミー制度がないLOMのアカデミー生がJCの組織や運動の本質を理解するために、JCの魅力や楽しさを体感できるファンクションを開催し、発展と成長につなげることができたと考えます。

事業区分	事業名	事業内容
公1	第9回JCカップU-11少年少女サッカー大会和歌山大会事業	勝敗に関わらず相手選手の長所を意識して観察し、他者への関心を深めることができました。これにより、他者との協調性や相互理解を深めることができ、グッドルーザー精神を持つ心豊かな人財を育成する機会を創出しました。
公5	第53回和歌山ブロック大会御坊大会記念事業	魅力ある和歌山を発信するために、食と自然との親和性が高いInstagramを地元インスタグラマーと共に発信しました。また、和歌山県内の道の駅を中心としてブース出展していただき、それぞれの和歌山のええもんをPRと共に商品を販売していただきました。
他	第53回和歌山ブロック大会御坊大会記念式典事業	和歌山ブロック内8LOMのメンバーや多くの来賓、先輩諸兄姉の皆様への日頃の感謝を伝え、お互いの知識や経験を共有して信頼関係が構築され、明るい豊かな社会の実現に向け、JC運動に邁進していくことを発信する機会となりました。
他	会員拡大支援事業	多くの入会候補者を発掘するために、各々の地域に合った拡大方法を各LOMと連携し、メンバーへと広く発信することで、会員拡大に対する当事者意識を醸成し、組織全体での会員拡大運動の意識が向上され多様な人財を受け止められる組織への構築につながりました。
他	ブロックアカデミーの支援・推進事業	テーブルワーク、フィールドワークを踏まえ、事業計画書を各チームで作成し、プレゼンテーションの練習を行い、アカデミー生が、議案書作成及び他LOMメンバーとの交流を通じて、JAYCEEとしての意識が芽生え、今後のLOMを担う人財となる機会となりました。
他	各地域のJCに関する魅力ある事業の情報の調査・共有	各LOMの青年会議所運動を広く発信することで、各地会員会議所の運動の一助となり、地域市民の方に、JC運動をより深く理解していただくとともに、2023年度の和歌山ブロック協議会及び各LOMの運動を和歌山県下全域へ発信し、気運が高まりました。
他	和歌山の魅力発信・調査の実施	地域の活性化につなげるために、各地域に足を運び特産品、イベント、グルメ、飲食店を調査・撮影し、和歌山ブロックSNS媒体、ホームページ、WEB新聞にて有益な情報を発信することで、和歌山県内の魅力を周知することができました。



ブロック協議会名	役職名	担当者名
岡山ブロック協議会	会長	松本 健司 (総社)

基本方針

近年、人口減少や少子高齢化の問題が進む中、今後の岡山を活気づけ誰もが住みよい、多くの人たちが夢を描くことのできるまち岡山を創造します。



総括

「岡山が輝き 夢溢れるまちの創造」を理念に、ブランディング強化と会員拡大・会員研修・夢溢れる人材育成・夢溢れるまちの創造の事業を行いました。県内LOMの会員拡大担当者と常に情報を共有し必要があれば各地へ赴き拡大への講演や新会員候補者との交流を行い会員拡大への一助となった。そして、新会員研修会やブロックアカデミーを通じてアカデミー生を対象に研修や講演などを行い、今後のJC運動・活動への意識向上につなげることができた。また、「夢を持ち続けることの大切さ」をテーマに吉田沙保里氏に講演を行っていただき、夢を持つことの大切さを学んでいただくことができた。さらに、近年問題となっている海ごみ問題に対して、人が多く集まる各地のまつりにてブース出展を行うことで、お越しいただいた一般市民の方々に啓発運動を行うことができた。

事業区分	事業名	事業内容
公7	JCI ASPAC インドネシアジャカルタ大会 ブース出展	ASPACという国際会議を通じ、参加したアジア各国のメンバーに岡山の魅力を周知していただくために、岡山県の代表的である和菓子の「きび団子」をジャパンナイトに来られた各国の青年会議所メンバーや一般参加者にお配りすることで、岡山の魅力に触れていただき、夢溢れる岡山につなげました。
公1	第59回岡山ブロック大会 メインフォーラム「夢を持ち続けることの大切さ」	夢や目標を持つことの素晴らしさ、諦めずに挑戦し続けることの大切さを、本事業を通じて学んでいただくために、吉田沙保里氏を講師としてお呼びし、「夢を持ち続けることの大切さ」を題目に講演を行いました。
公1	JCカップU-11 少年少女全国大会予選大会	地域社会の次代を担う少年少女に、他者との協調性や連帯感の大切さを教え、相互理解を深め、勝負の勝ち負け以上に相手を称えることができる心豊かな人材の育成を行うために、県内16チームでサッカー大会を開催しました。
公3	おかやまクリーン大作戦	近年問題となっている海ごみは街から出たごみが原因だということを市民が正しく理解し、他人事ではなく自分事として捉えられるよう、問題解決に向けて意識を醸成していただくために、各地のまつりにてブース出展しました。また、翌日実際の清掃活動を行いました。
他	新会員研修会	第一部 研修会は、日本JC公認プログラムPurposeセミナーを、新谷大輔先輩をヘッドトレーナーとしてお迎えし、JCの存在意義や目的、運動の理念を理解しJAYCEEとして不可欠な素養を身につけるセミナーを開催しました。第二部は、講師講演内容：日本青年会議所第58代会頭を務められた安里 繁信先輩をお招きし、題目を「青年経済人として、誇り高きJAYCEEとしての資質」として、これからの担うメンバーに向けて、青年会議所の魅力と夢を実現するための熱意と行動力についてご講演をいただきました。
他	第59回岡山ブロック大会	大会テーマを「GREAT～JCはオモシロイ～」とし、第59回岡山ブロック大会では、岡山ブロック協議会内会員会議所の皆様に58年というGREATな歴史の中で築きあげてきたLOM同士の友情を再確認して頂くと共に、新たな未来に向けて15LOMのオモシロイを育み、それぞれの場所で岡山が輝き 夢溢れるまちの創造につなげることができるよう努めました。
他	ブロックアカデミー	時代を担うアカデミー生に対して、JC運動及び活動の理念を学んでいただくセミナー（理念共感拡大研修）やグループワーク講師講演（JC青経塾）を受講していただき、形だけを受け継ぐのではなく、調査研究に基づいた自分自身の想いを形にする事業構築、理念の共感を広げていくことにつなげました。



ブロック協議会名	役職名	担当者名
広島ブロック協議会	会長	島田 宗輔 (福山)

基本方針

「出会い、つながる」をスローガンに、LOM間の交流と相互理解を通じて、地方創生のキーとなる地域資源の再発見と関係人口を巻き込むコミュニティ形成を実現します。



総括

県内LOMの一大交流事業である新春会議・交流会を皮切りにスタートした本年度事業ですが、メンバーに多様な学びと出会いの機会を提供してまいりました。ブロックアカデミーでは若手会員と役職経験者の立場を超えたチーム交流によりJC運動、活動への理解と意欲を高め、ASPACジャカルタ大会では岡山ブロック協議会との共催で地域PRを行うと同時に、現地参加メンバー同士の交流を図りました。ブロック大会では開催地である大竹の歴史とヒトの魅力を伝えるとともに、地方創生について深く考え行動に移すためのトークセッションを開催しました。ブロック協議会独自事業としての交流事業も開催し、各LOMのつながりの要としての役割を果たせたと考えています。

事業区分	事業名	事業内容
他	2023年度第53回広島ブロック大会in大竹PR事業	大会テーマ、スローガン、ロゴマークを策定し、周知することで、第53回広島ブロック大会の方向性を明確にしました。また、開催地を除く県内11LOMの例会に訪問させていただき、大会のPRを実施しました。
他	2023年度広島ブロックアカデミーin東広島事業	リーダー育成会議の矢野議長をはじめとするメンバーにてJCI日本公認プログラムであるPurpose、JCプロトコル、セレモニーを開催しました。午後はBaseball5というスポーツを通じて、チーム内で試合毎のメンバー構成や戦略等について話し合い、交流を深めました。
公1	JCカップU-11少女サッカー全国大会広島ブロック予選大会事業	JCカップの予選大会を通じて、グッドルーザーの精神を伝えるため、事前に各チームの代表者に本事業の目的を伝え、試合後に自チームの良かったところ、相手選手の良かったところを伝え合うプログラムを行いました。
公7	JCIASPACジャカルタ大会ジャパンナイト出展協力等の企画・実施事業	広島サミット県民会議事務局よりG7サミットの関係資料をいただき、来訪者へ配布しました。G7サミットや平和の尊さを感じることができるA1サイズのポスターやA3パネル等を用意し、それらを背景に写真撮影を行いました。
他	2023年度第53回広島ブロック大会in大竹(式典)事業	各地青年会議所メンバーを対象に、大会式典、卒業式、拡大褒章を実施しました。各地青年会議所会員の交流を図ることができたほか、各地域に戻って地域に根差して運動することの大切さを改めて感じることができました。
公5	2023年度第53回広島ブロック大会in大竹(フォーラム)事業	高松丸亀町商店街振興組理事長の古川康造氏を講師としてお招きし、高松丸亀町商店街の事例を参考に、まちづくりの手法や考え方についてお話いただきました。後半は島田ブロック会長との対談形式にて、幅広い論点で議論を深めていただきました。
公5	2023年度第53回広島ブロック大会in大竹(たからいち)事業	広島県内各地域の魅力を発信する14の飲食ブースを通じて、一般市民の皆さまに関心を持っていただきました。また、青年会議所の活動への理解を深め、地域とのつながりを強化することを目的としました。
他	2023年度第53回広島ブロック大会in大竹(拡大研修)事業	県内12LOMの拡大候補者向け紹介資料(PPT)をベースに、内容からデザインまで含め、魅力的にアップデートしていただきました。20代、女性会員、創業者等、いくつかの拡大候補者のターゲット別に内容を共有し、ロールプレイングを行いました。
他	2023年度県内LOMメンバー交流事業	チームビルディングをテーマに、フットサルやブラインドサッカー等の手法を活用し、県内メンバーの交流を深めることを目的としました。118名のメンバーが参加し、交流の和を広げていただきました。



ブロック協議会名	役職名	担当者名
山口ブロック協議会	会長	藤井 茉莉 (宇部)

基本方針

LOM との連携を図ることで、不足していると感じる部分を補い合い、山口の未来を夢溢れる状態へと導きます。



総括

地域やLOM、所属会員の個性こそが青年会議所活動の重要な資源であると考え、理念の共有などを行いつつも、均質化を目指すのではなく、良いところを伸ばしあえる関係性を目指して事業を行ってまいりました。ブロック大会の2LOMによる共同主管をはじめ、ブロック事業や各LOM事業へのお手伝いメンバーの派遣、事業以外での会員の交流の場を設けるなど、LOMやブロックという組織の枠組みを超えて交流を図れる環境を提供できました。事業経験が少ない歴の浅い会員への機会提供だけでなく、歴が長く青年会議所に慣れたと感じている会員に対しても新鮮さやもう一歩先を目指す突破口になる経験の提供ができました。

事業区分	事業名	事業内容
他	山口会議	山口ブロック協議会の活動方針とブロック会長の所信の発表を行い、公益社団法人日本青年会議所の運動への理解を県内の会員会議所メンバーに伝えました。各地会員会議所のPRも行い各LOMとも交流が図れ、ブロックと各LOMの連携を強化する事業となりました。
他	ブロックアカデミーの実施	近年入会者を対象とし、活動の意義・目的を明確にする機会となるアカデミーを実施しました。日本青年会議所や中国地区協議会との縦のつながりと山口ブロック協議会12LOMとの横のつながりを強めながら、LOMではできない人材育成のしくみを構築し、提供しました。
他	第59回山口ブロック球技大会の開催	私たちの運動をより良い形で行うにあたり、各LOM内の友情を育み結束をより強固にする場、そしてLOMの垣根を超えた仲間との交流の場の提供を、スポーツを通じて行いました。選手以外も楽しめる設営とし、ご家族の応援なども多数見受けられました。
公1	JCカップU-11 少年少女サッカー山口大会	サッカーの試合で交流するだけでなく、その後のミーティングで互いのチームや選手の良いところを讃える時間を設け、勝敗以外にも選手の目を向けられる大会といたしました。同時に一般市民向けスポーツ普及事業を行い、近隣市民の世代間交流が出来ました。
他	組織で活躍できる役員の研修	今後理事になる会員を対象とした、組織運営が事業構築に主眼を置いた研修を開催しました。運動のインパクトを最大化させ、組織としての価値を高めるため、本会・地区協議会との縦のつながりと県内LOMとの横のつながりがあることを再認識してもらった点も盛り込みました。
公5	地域の魅力発信に関する事業	県内の産業や暮らしなどの地域の魅力の再認識を目指し、パネルで行政の取り組みや魅力の発信を、ワークショップでは地域産業の一部を体験していただきました。さらに県内各地の特産品や食文化の発信の一環で、キッチンカーでの職の体験提供も行いました。
他	第60回山口大会式典	2LOMによる共同主管のほかに、各LOMから最低1名のメンバー出向を打診し、全LOMでブロック大会を運営するという意識づけと、式典開催経験の共有の場になりました。司会を会員同士のご夫婦2人で行うなど、本年度の個性を前面に打ち出すスタイルを表現できました。
他	褒賞事業の実施	事業に対する例年通りの褒賞に加え、入会3年未満の会員に対する褒賞審査を加え、今後の会議所の活動に関心と協力を得られる場としました。例年より多くのエントリーを頂いたため、次年度以降のエントリーに関心を持つLOMが増えました。
他	LOM支援事業	会員数の減少などでLOM事業の運営に支障が出そうなケースに対し、委員会から全LOMへの協力者と募り、メンバーを派遣する事業を実施しました。LOM制作の映画クレジットにブロック協議会として名前を連ねるなど、次年度以降も継続が要望される事業となっています。



ブロック協議会名	役職名	担当者名
島根ブロック協議会	会長	安島 篤志(松江)

基本方針

魅力を結び 夢実現できる島根の創造



総括

新型コロナウイルスによる行動制限もなくなったことで、島根ブロック協議会として思い描いた通りに事業を全て実施することができました。メンバー一人ひとりが主体性を持ち、夢へ向かって躍動し続ける未来を目指し様々な事業を開催しました。開催した各事業では、それぞれの事業目的に加えて交流の機会を数多くつくり、LOMを超えた関係性も構築出来たと考えております。新たな挑戦をした結果、課題もありましたが多くの成果を残すことができました。今後の原動力となる1年間になったと確信しております。

事業区分	事業名	事業内容
公4	笑える政治教育ショー	若者世代の選挙及び政治への関心向上、当事者意識の醸成を目的に、選挙及び政治に関して楽しく分かりやすく学ぶ機会を提供しました。
公1	第9回JCカップU-11少年少女予選大会	サッカーという競技を通じ、青少年の健全な育成に寄与するとともに、グッドルーザーの精神を学び、相手を思いやり認め合う精神を育む機会として、予選大会を運営しました。
他	会頭公式訪問会	地域社会へより貢献できる組織になるよう同じ思いをもって運動に繋げるため、ブロック内の全メンバーを対象とした会頭公式訪問会を実施し、考えの共有、交流の機会としました。
他	ブロックアカデミー	いきいきと活動するメンバーが増えることで、社会をより良く変化させる運動が加速することから、青年会議所の理念や自身の夢の実現に向けて行動に移す技術を学ぶ機会として、ブロックアカデミーを開催しました。
他	第49回島根ブロック大会(記念式典)	地域課題を認識し、明るい未来に向けて、思い描いた夢へと向かって運動の士気を高めていただくとともに、ブロック協議会の存在意義を見出せるよう記念式典を開催しました。
公5	第49回島根ブロック大会(記念事業)	「島根 de マルシェ」と題し、島根県内の魅力ある特産物等を集結させ、地域の魅力の発掘、再発見の機会とするとともに、新たな繋がりや可能性を見出せる機会を提供しました。



ブロック協議会名	役職名	担当者名
鳥取ブロック協議会	会長	伊東 英知郎 (倉吉)

基本方針

共感の輪を広げ 夢と希望溢れる鳥取の実現



総括

近年はコロナ渦の影響や入会年数の浅い会員の増加等の要因によりブロックに携わったことのある会員が減少していることを課題と捉え、2023年度の鳥取ブロック協議会は会員同士の交流を深めることに重点を置き運動を展開しました。会員交流事業として行ったボウリング大会やブロックジャガイモでは初めてブロックの事業に参加した会員も多く、また今後もブロックに関わっていきたいという声も頂き、これからのブロック協議会を担う新しい芽がでてきたのではないかと感じています。またその他に実施した鳥取県の魅力を発信する事業、ブロックアカデミー、JCカップ等の事業においても例年以上に多くの会員の方々に参加を頂き、ブロック内の結束そして絆を深めることができたと考えます。

事業区分	事業名	事業内容
他	鳥取ブロック協議会ボウリング大交流大会	ブロック内の会員同士の親睦を図ることを目的としてボウリング大交流大会を開催しました。県内の会員から協賛頂いた豪華景品により大変盛り上がるボウリング大会となりました。またボウリング後に懇親会を開催し、会員間の交流を深めることができました。
公1	JCカップU-11少年少女サッカー全国大会鳥取ブロック予選大会	他者との協調性や連帯感、相互理解を深め心豊かな青少年を育成することを目的としてJCカップを開催しました。試合後にはアフターマッチミーティングを行い、参加した少年少女にグッドルーザー精神を学んで頂きました。
公2	鳥取の魅力発信事業	鳥取県の潜在的な魅力を県外の多くの方に発信することを目的としてサマーコンファレンスにおいてブースを出店しました。来場者の方々に星空と三徳山をVR動画で視聴して頂き、鳥取砂丘以外の鳥取の新たな魅力を発信することに繋がりました。
他	僕らのブロックアカデミア～君もリーダーになれる	JCの理念に基づいたリーダーシップを発揮できる人財を育成することを目的としてブロックアカデミーを開催しました。奉仕型のリーダーシップであるサーバント・リーダーシップについて学んで頂き、メンバーの資質向上に寄与することができました。
公2	鳥取は完璧で究極のふるさと	人口減少の要因の一つである若年層の転出超過に着目し、大学生に対して鳥取への興味を惹起することを目的として開催しました。1部では講師3名によるトークセッション、2部では大学生同士のグループワークを行い、鳥取の魅力を感じて頂くとともに、自ら考えることで、自分が今住んでいる地域について改めて考える機会となりました。
他	鳥取ブロック合同じゃがいも	ブロック内の会員同士の交流を図る事業の第2弾としてブロック合同じゃがいもを開催しました。普段はブロック事業にはあまり参加したことのない会員も参加しており、交流を深めるとともに、ブロックに携わって頂くきっかけとなりました。
他	2023年度鳥取ブロック大会	2023年度の鳥取ブロック協議会の活動報告を行い、そして2024年度へしっかりと引き継いでいく場として鳥取ブロック大会を開催しました。式典の中でブロックに長く携わった会員によるトークセッションを行い、ブロック出向の楽しさや醍醐味など多くのことを伝えて頂きました。



ブロック協議会名	役職名	担当者名
香川ブロック協議会	会長	壺井 隆夫 (小豆島)

基本方針

夢を描き、未来を掴み取るリーダーの育成を行い、地域の魅力を発信していくことで、香川の活性化を実現します。



総括

香川ブロック協議会では、「夢を描き、世界を魅了する香川」を基本理念として、1年間活動を行ってまいりました。2022年の9月からオンラインのみの運営に危機感を感じ、事業や会議においても集会し、お互いの顔が直接見えることで得られる体験を重視いたしました。最も優先度の高い課題として、香川ブロック内のLOMには、会員研修や会員拡大が挙げられておりました。そのため、年始早々の2月に研修事業を行い、また8月に会員拡大事業を行ったことで、会員の資質向上や会員数の増加といった、LOMへの支援効果も高かったと考えております。

事業区分	事業名	事業内容
公5	香川ブロック大会記念事業	7月に香川県の地産地消の魅力を丸亀市マルタスで発信いたしました。世界に誇れる文化や歴史、特産品に注目し、体験型のブース等を設け、来場された方々には、十分な香川の魅力を体験していただきました。
公1	JCカップU-11 少年少女サッカー香川ブロック 予選大会事業	7月にトーナメント方式によるサッカー大会を実施しました。出場は4チームで、試合前には、全チームに向けてグッドルーザーの精神とフェアプレーの精神を学んでいただきました。
他	香川ブロック大会記念式典	7月に香川県内6LOM全メンバーを対象としたブロック大会記念式典を開催いたしました。本年度の経過と、次年度会長予定者やブロック大会開催予定地の発表といった情報の発信を行いました。
他	ブロックアカデミー事業	2月に香川県内6LOM合同例会の事業として、PURPOSEプログラム、理念共感、プロトコル、セレモニーの事業を開催いたしました。主にJCの基本を詰め込んだ、アカデミー会員向けでしたが、近年はアカデミー研修が不十分であったため、3年以上の会員にとって、再確認という意味でも良い内容でした。
他	会員拡大支援事業	8月に東大阪青年会議所の2022年度会員拡大委員長、担当副理事長、委員メンバーを講師として会員拡大支援事業を行いました。香川ブロックの委員メンバーとのパネルディスカッションでしたが、様々な質問や意見の対応の結果、出席していた香川ブロック内のLOMには多くの情報が共有されておりました。
他	防災ネットワーク拡大事業	年間を通して、四国地区協議会が有する災害ネットワークシステム「みんなす」を香川ブロック内で共有し、システムを用いた訓練を行いました。



ブロック協議会名	役職名	担当者名
愛媛ブロック協議会	会長	中井 貴一（八幡浜）

基本方針

私たちJAYCEEが夢を語る姿を子供たちに見せることによって、郷土愛を育み、我がまちに住み暮らし続ける夢の構築を実現します。



総括

2023年度の愛媛ブロック協議会では、「子供たちに誇れる愛媛の創造 JAYCEEよ!夢を語れ!」を基本理念に県内8LOMの理事長はじめメンバーと共に運動を展開しました。私たちメンバー一人ひとりが自分たちの運動に誇りを持ち、JCを愛する、その姿こそが夢を語るJAYCEEの姿だと信じています。本年はそんな夢を語るメンバーが愛媛ブロック内にはたくさん生まれました。また、ブロック協議会の役割であるLOM支援と、本会とLOMを繋ぐ総合連絡調整機関としての立場をこれまで以上に明確にして、すべてのLOMに必要とされるブロック協議会を目指しました。各LOMの理事長と連携に努め、ブロック協議会の一体感をつくり上げることができました。

事業区分	事業名	事業内容
公1	JCカップU-11少年少女サッカー全国大会予選大会	地域の未来を担う県内8チームの子供たちにスポーツの力を感じ、協力し合う必要性を伝え、他者との思いやりと挑戦する心を備えた夢多き人財を育成することができました。また、サッカークリニックも開催し、親子で夢について考える時間となりました。
他	中小企業へのウェルビーイング経営の推進	地域企業が自社における経営課題に合わせた社会的に健全な経営手法を理解し、実行し、地域の好循環を生み出すために、ウェルビーイング経営コンサルタントの山川泰介様よりウェルビーイング経営の基礎からその必要性をご講演いただきました。
他	愛媛ブロック版理念共感グランドデザインの推進	愛媛県内にJCの理念が浸透し、理念に基づいた運動の展開や会員の資質向上を目指して理念共感グランドデザインの推進を行いました。アカデミーメンバー向けのセミナーや多様性のある組織を目指した講演会を開催し、理念浸透率の向上に努めました。
他	第53回愛媛ブロック大会宇和島大会記念式典	県内8LOMのメンバーが一堂に会し、本年度の運動と各LOMの事業紹介、また次世代への起点となる次年度体制の発表を含めた記念式典を開催しました。参加したメンバーがブロック大会の意義を改めて感じることであった式典でした。
公5	第53回愛媛ブロック大会宇和島大会記念事業～愛媛まじわう魚フェス～	「よいしょ!!笑顔で紡ぐ、がいな絆」のスローガンの下、メンバーが地域の魅力を再発見し、発信することで未来を託す子供たちに誇れる愛媛を創造し、地域の課題と向き合い持続可能なまちづくりに繋げる事業となりました。



ブロック協議会名	役職名	担当者名
高知ブロック協議会	会長	宮脇 佑 (安芸)

基本方針

夢の実現を信じ諦めず行動を続ける事が可能なメンバーを育成することで、誰もが想望する夢の実現を強く信じる高知を創造します。



総括

本年度高知ブロック協議会では「誰もが想望する夢の実現を強く信じる高知の創造」を基本理念に掲げ、邁進して参りました。コロナ禍が明け、メンバーにその土地に足を運ぶ意義と喜びを持ってもらうため、会議は原則全てリアルで開催しました。その結果LOM同士の結束が高まり、課題も明確化され次年度への提言も例年以上に細かく行うことが出来ました。事業構築ではイレギュラーも多々発生したもののリカバリーを行い、当初に想い描いていた事業を実施することができました。私に残された時間は後7年です。課題先進ブロックではありますが、これからどんな状況になったとしても私自身決して諦めず行動を続けていきます。

事業区分	事業名	事業内容
公 1	JC カップ U-11 少年少女サッカー大会 予選大会開催事業 高知県	宿毛カップと連携を図り、サッカー大会を実施し、参加チームからトーナメントの高知県内の上位1チームを選定しました。結果、高知から引率チームが全国大会まで出場することができました。
公 5	2023 年度 ブロック大会記念事業	高知の空の窓口である高知龍馬空港で、「ホンモノの高知に出会える」をテーマにインバウンド施策や観光施策をテーマとしたトークショーや地域のグルメを楽しめるブースなどを設置し、600名近い参加動員を行うことができました。
他	2023 年度 ブロック大会記念式典	県内各地会員会議所理事長並びにメンバーが集結し、本年の活動報告や次年度会長発表などを行うことができました。各市の首長様や歴代ブロック会長など、多くのご来賓の皆様もお招きした中での開催となりました。
他	2023 年度 理念共感アカデミー事業	高知ブロック協議会の重大な課題の一つでもあるメンバーの資質向上とメンバー同士の理念の擦り合わせを各所から講師をお招きして、半日かけてPurpose、JCプロトコル、セレモニー、理念共感拡大大ランドデザインのセミナーを開催しました。



ブロック協議会名	役職名	担当者名
徳島ブロック協議会	会長	小林 伸生 (鳴門板野)

基本方針

魅力に満ちた夢を描けるリーダーの創出を図り、地域の魅力を発信していくことで、地域に活力溢れる徳島を実現します。



総括

本年度徳島ブロック協議会では「魅力に満ちた夢を描き 地域に活力溢れる徳島の確立」を基本理念として、予定していた事業をすべて終えることができました。予定者段階より会議並びに事業においても対面式、体験型の事業を行うことを徹底し、その結果LOMを超えた友情を例年以上に育むことができ、会議や事業においても多くの方にご参加いただきました。また各委員会においても、サマリーによって例年以上に事業構想や構築を早期に行うことができたため、各委員長が成長する様を間近で感じることができました。私自身来年卒業の身ですが、直前会長として最後まで徳島ブロック協議会を見届け、更なる成長の機会を次代につなげていきます。

事業区分	事業名	事業内容
公4	徳島県知事選挙 ネット演説会事業	徳島県知事選挙区における立候補者に全員ご参加いただき、また有識者による事前設問事項を候補者すべてに周知し、ネット演説会を行うことで一人でも多くの方に立候補者の声を届けることができ、投票率向上の一助とすることができました。
公1	JCカップU-11 少年少女サッカー大会 徳島県予選事業	出場16チームによるトーナメント方式によるサッカー大会を実施しました。試合前には、県内サッカーチーム徳島ヴォルティスによるサッカークリニックを行い、試合に向けてグッドルーザーの精神とフェアプレーの精神を学んでいただきました。
公5	2023年度 ブロック大会記念事業	7LOMから9店舗の出店をいただき、幅広い県産食材をPRすることができ、アンケート結果も来場者の9割近くにご満足いただきました。また今回店舗の中からグランプリも決定し、今後別団体の開催する事業や県外へのアプローチなどを目指していく予定です。
他	2023年度 ブロック大会記念式典	県内7LOMが一堂に会し、活動内容と次年度の体制を公表し、新たな一歩を踏み出す起点となる記念式典を開催しました。「GOGO徳島~whole~」をスローガンに組織の方向性を示し、持続的な徳島ブロック大会の開催につながる式典となりました。
他	2023年度 4月、8月 アカデミー研修事業「Purpose」 「Purpose 地域限定トレーナー トレトレ」「JCゲーム」	4月にはPurposeを行い、自分には何ができるのか、JCで何をすべきなのかを学んでいただき、8月には各LOM参加者からトレトレを実施し、トレーナー活動に対する意欲を高め、JCゲームにおいては改めてJC役職のそれぞれの意義や担いを学ぶことができました。
公5	2023年度 防災運動会事業	徳島県内から約50名の親子にご参加いただき、防災についてクイズやリレーなど運動会形式にて防災に対する知識を得ていただきました。また同時にメンバー向けにも防災士による座学講座も行い、防災意識の向上につなげることができました。



ブロック協議会名 福岡ブロック協議会	役職名 会長	担当者名 野田 康友(久留米)
------------------------------	------------------	---------------------------

基本方針

夢を掴みにいく背中に溢れた 世界に誇れる福岡をつくる



総括

「夢を掴みにいく背中に溢れた 世界に誇れる福岡をつくる」をスローガンに掲げ運動を展開しました。福岡というまちのあるべき姿を熱く唱え、本気でその姿を目指す我々JCの「奉仕」が、会員の「修練」を最大化させ、そのプロセスを仲間とともに全うした結果、福岡中のかけがえのない「友情」をもたらし、まちをより良くする多くのリーダーを輩出することができました。そのリーダーたちが地域に張り巡らされた福岡県が、県民自らが世界に向けて誇ることができる持続可能なまちとして更なる発展を遂げることができたことを確信しています。

事業区分	事業名	事業内容
他	第41期福岡ブロックアカデミー 第1回全体事業・開校式	アカデミーグループのスタートにあたり「今を超えていく第一歩」をテーマに今後のJC活動・運動に積極的に取り組む意欲を向上させることを目的に事業を実施しました。2021年度JCI会頭小嶋隆文先輩をお招きした講演と全体の機運を高めるために式典を開催しました。
他	第41期福岡ブロックアカデミー 第2回全体事業	第2回全体事業では「JAYCEEとしての成長」をテーマにメンバー一人ひとりがいち早くJAYCEEとして成長し、意欲的に活動できる人財の育成事業を行いました。
他	第41期福岡ブロックアカデミー 第3回全体事業	第3回全体事業では「魅力あふれる人財への成長」をテーマに誰かのことを想って懸命に行動する心が、人の心を動かし、多くの人から信頼され、自分自身を魅力あふれる人財へと成長させていく事業を開催しました。
他	第41期福岡ブロックアカデミー 第4回全体事業	第4回全体事業では「リーダーとしての成長」をテーマにこの先も身近な仲間と共に、様々な課題に対して行動できるリーダーとなるために今後の自身の行動を考える事業を実施しました。
他	第41期福岡ブロックアカデミー 第5回全体事業・閉校式	第5回全体事業閉校式では「愛・仲間・未来」をテーマにLOMの絆を超えた出会いの中で事業を通して、たくさんの気づきと学びを得て成長したアカデミーメンバー達が卒業後のJC活動において思いやりの気持ちを持ち周囲への感謝の気持ちをもつ事業を行いました。
他	第51回福岡ブロック大会柳川大会 大会調印式	第2回委員会協議会議終了後に調印式を開催しました。厳粛な雰囲気のもと、主催である福岡ブロック協議会と主管であるJCI柳川をはじめとする22LOMのブロック大会開催に向けた意識昂揚を図りました。
他	第51回福岡ブロック大会柳川大会 成功祈願祭	福岡ブロック協議会と主管LOM、副主管LOMが想い一つにし、大会が安全に成功することを願い、連帯感を醸成したことで、大会を成功に導きました。
他	第51回福岡ブロック大会柳川大会 大会式典	2023年度の大会式典は完全リアル開催を行い、運動の発信を行うことができました。また、服部福岡県知事をはじめ多くの方々からご祝辞をいただき、2024年度開催地のJCI田川に友情の鍵の伝達式も執り行いました。
公5	第51回福岡ブロック大会柳川大会 広報渉外	地域の広報誌や各種メディア、SNSやポスター等を用いて広報を行いました。また、開催地周辺にはのぼり旗や横断幕を大会前から多数掲げることで、地域への周知と気運の向上を図りました。
公5	第51回福岡ブロック大会柳川大会 エクスカーション	柳川地区の歴史や文化に触れてもらうことで柳川地区を福岡県民の皆様へアピールし、柳川地区の交流人口の増加につなげることを目的とした事業を実施しました。
公5	第51回福岡ブロック大会柳川大会 地域経済の活性化フォーラム	JCで得られるリソースを活用し、事業所の発展が地域経済の活性化へつながる意識を向上する事を目的とした講演を行いました。
公6	第51回福岡ブロック大会柳川大会 防災減災ウルトラフェス	体験型の災害シミュレーションやゲームを通して、県民の方に防災減災の重要性や知識を改めて認識してもらい、防災、減災に関する意識を高めてもらう事業を行いました。
公1	第9回JCカップU-11少年少女サッカー 大会 福岡県予選大会	サッカーを通して人に対するの向き合い方やグッドルーザー精神を学び、相手を想いやる気持ち、夢をもつことの大切さや勝負に負けても相手を称えることができることを目的とした事業を行いました。
公5	FUKUOKAコンファレンス2023	福岡の真の魅力やポテンシャルを理解し、誇りをもった県民で溢れ持続可能なまちとして発展し続ける社会の実現と、現代のZ世代・α世代が福岡の魅力を理解し、世界へと伝え、発展し続ける未来の実現を目指し「FUKUOKAコンファレンス2023」を開催しました。
公4	FUKUOKAコンファレンス2023に おける投票率向上を目指した事業	「夢のフクオカ」というテーマで、小学4年生の子供たちに絵を描いてもらい、ゲームを通じて選挙や投票に触れる授業を実施しました。若年層の投票率の低さに対応するために行い、将来的に政治参画の意識を芽生えさせるきっかけとなる事業となりました。
公2	FUKUOKAコンファレンス2023 ビジ ネス交流会	JCにおけるビジネスのプラスαの概念を発信し、実益へとつながるビジネスチャンスの機会を創出し、事業を通して参加者の声をもとにブロック協議会が提供するべきJCならではのビジネスマッチングの糸口を見つけ世界に誇れる福岡の実現に近づく事業を行いました。
他	2023年福岡ブロックアワード事業	福岡ブロックアワードを実施し、福岡県内22LOMの運動を共有することで、今後各LOMのより良い事業構築に寄与することができました。
他	2023年度会員拡大褒賞	会員拡大で大きな功績をあげられたLOMの荣誉を称え、各LOMの会員拡大へのさらなる意識昂揚を図るとともに、福岡ブロック内の会員拡大に対する勢いを次年度へつなぐことができました。



ブロック協議会名	役職名	担当者名
大分ブロック協議会	会長	利根 慎之輔 (大分)

基本方針

1.LOMが躍動するための新たな支援モデルの構築 2.ブロックアカデミーの支援・推進 3.メンバー同士のコミュニケーションを深める手法の確立・発信・検証 4.JCカップU-11 少年少女サッカー予選大会の実施 5.地域の魅力ある観光資源・文化・伝統等のコンテンツの発掘・発信 6.LOMの会員拡大の支援 7.大分ブロック大会 in 中津の開催



総括

対内向けのキャンパ事業は九州北部豪雨の影響で中止となりましたが、ブロック大会やJCカップU-11少年少女サッカー大会を通じて地域の方とコミュニケーションを図り、地域の魅力発掘事業では別府北浜ナイトツアーを開催することで国内外に大分の魅力を発信しました。また、アカデミー事業ではサバイバルゲームを通じて会員相互の交流を図りチームビルディングを学びました。そして小規模LOMと位置付けられている佐伯JC杵築JCではそれぞれ9名と4名の拡大に成功しました。1年間を通してブロックの魅力を伝えながら組織力を強化することに成功し対内、対外共に協議会の必要性を理解して頂けたと考えます。

事業区分	事業名	事業内容
他	2023年度 ブロック・ファースト 「~Fight for your dreams 夢実現の行動にこそ価値がある~」	今年のブロック・ファーストは3年ぶりに対面で開催され、大分市内にて実施されました。参加者総数は122名で、式典時間も計画通り進み、会長の挨拶や各委員長、議長のプレゼンにおいても、各LOMメンバーにお伝えすることができました。内容におきましても、夢を掲げ、その夢に向かって計画実行していくことが、自分自身の成長へとつながり、成功を追い求めるのではなく、自身が成長することを考え行動することが、成功へつながる糸口になると感じていただけた式典となりました。
他	2023年度 アカデミー支援事業 「~童心に返ろう!!仲間と交流して共感を作り出せ~」	地域社会の次世代を担うリーダーとして必要な能力の中でも組織力強化、そしてチームビルディング力を養っていくことを目的にアカデミーメンバー向けに参加しやすい事業として「サバイバルゲーム」にて事業を実施しました。初めて顔を合わせるメンバーも多くいる中で、作戦会議を行い、戦略を立てながら同じ目標に向かうことでチームビルディングや交流につながりました。
他	大分ブロック協議会 ~一生青春の旅~ →事業中止(九州豪雨災害の為)	本事業を通して、LOM同士の交流のきっかけを作る事で、メンバー同士の多様な人脈形成に寄与し、活発的にメンバー同士が情報交換を行うことでLOMの組織力強化、ひいては大分ブロック全体の組織力を強化していく事を目指しメンバー100名で交流を計画しておりました。結果として、九州豪雨災害の為、ボランティア活動を優先し、場所や日程の関係でやむなく中止となりました。
公-1	JCカップU-11 少年少女サッカー全国大会大分県予選	11歳以下の男女児童を対象として、サッカー大会を開催しました。これまで大分ブロックでは大分県予選大会が開催されておらず、初の試みとなりました。サッカーというスポーツを通して、相手へのリスペクトの心である「グッドルーザーの精神」を学び、感謝や思いやりの心を持った地域の未来を担う人材を育成するため、試合が終わるたびにアフターマッチミーティングを行い、更には設営の準備や試合運営を児童養護施設の子供たちと一緒に青少年育成に取り組みしました。
公-5	別府北浜ナイトツアー	地域の隠れた魅力を発信し、新しい観光コンテンツを発掘し、地域住民が協調し、観光コンテンツを発信することを目的に構築しました。そのテーマとして「ナイトタイムエコノミー」という概念を軸に大分県別府市のインバウンド需要を巻き込み、路地裏観光を実施しています。地域の方が案内ガイド人となり、普段では回避している魅力も発掘し、発信する事業となりました。全5日間となり、約1ヶ月間様々な方を巻き込み、実施した事業となります。
他	各LOMに寄り添った会員拡大支援	本年度の特色として、拡大について設けたことが挙げられます。少人数LOMを中心に例会や理事会などLOMの会員拡大について、話をする機会や拡大セミナーの実施などを行いました。またLOMに寄り添いながら、他のLOMの成功事例を踏まえた話や拡大に向けての機運を醸成していくことを行いました。結果として、約13名の人数だったLOMに9名の拡大につながるなど結果が出ました。
他	第56回大分ブロック大会in中津 大会趣旨・スローガン・シンボルマーク	第56回大分ブロック大会in中津の多種多様な地域特性を活かしたシンボルマークを今回作成しました。会員や県民の方に覚えてもらえるものとして周知に欠かせないマークとして「イロトリドリ」をテーマとしました。
他	第56回大分ブロック大会in中津 記念式典	ブロック大会の式典事業となります。来賓48名をお呼びし、オープニングアクトには中津市の観光地でもある「青の洞門」の開閉時に備前海によって伝えられた和太鼓であり、現在も伝統を受け継ぎ中津市の伝統芸能としてZENKAI太鼓「和」の皆様にご披露いただきました。来賓祝辞として大分県知事、中津市長、中津商工会議所会頭、中津JCシニアクラブ会長の皆様にご挨拶を頂きました。
公-5	第56回大分ブロック大会in中津 記念事業	大分県中津市内の商店街の各店舗に出展してもらい、地域の小学生に店頭販売や梱包等の職場体験をしていただきます。地域の子供たちに参加していただくことで、地域の商店街の魅力を知っていただき、地域に根ざした商業の大切さを学んでいただくことができるほか、親子連れの動員も数多く見込めることから地域と青年会議所が一体となる事業をブロック大会にて実施しました。当日は普段の昼は閑散とした商店街に多くの人が溢れて、子供たちの明るい笑顔や声が飛び交う風景を創り出す事業となりました。
公-5	第56回ブロック大会in 中津 地域の魅力フォーラム	旅行者の更なる誘致と観光消費単価を増加させるための手法として「ナイトタイムエコノミー」が有効であると考え、フォーラムを開催しました。「ナイトタイムエコノミー」とは、地域の状況に応じた夜間の楽しみ方を拡充し、夜ならではの消費活動や魅力創出をすることです。大分県の魅力ある資源も夜に焦点を当てることで新たな魅力が発現し、国内外へ広く発信することで新たな観光需要を獲得することが可能です。今回は第一部をフォーラム、第二部にパネルディスカッションを行い、大分県内各地の観光協会さんもお呼びしながら開催しました。
公-5	第56回大分ブロック大会 PR・インフォメーション	第56回大分ブロック大会in中津の大会趣旨・事業概要等について、ポスター、チラシ、リーフレットを作成し広く周知・発信した事業となりました。当日の参加者も青年会議所メンバーも含めて2000名以上来たということで、ブロック大会を開催し、地域に活力を生んだ要因といえます。
他	2023年度 ブロック・ファイナル 「~Connect your dreams 発展へのミチシルベ~」	ブロック・ファイナル事業となります。第1部では、活動報告に映像・動画を使用し、事業の雰囲気や臨場感を表やグラフなどで示すプレゼン方式よりも、具体的にイメージしやすく興味を持っていただけるように構築し、ショート動画化することで、集中してご覧いただけると考えており、大分ブロック協議会の魅力を伝え、活動報告を行うことで、参加者が来やすい設えを行いました。今年度の事業を振り返り、次年度への機運醸成を図ることで、成長発展へのミチシルベとしております。



ブロック協議会名	役職名	担当者名
佐賀ブロック協議会	会長	坂口 聡孝 (鹿島)

基本方針

未来力で夢を描き、世界に誇れる佐賀の実現



総括

本年は本会の運動の推進はもとより、コロナ禍でこれまで希薄になってきたLOMとLOMとの垣根を超えた交流を中心に考え活動してきました。2025年に佐賀青年会議所が主管する第74回全国大会佐賀大会へ向けて、県内LOMとブロックが丸となって行うための準備の年として、各LOMへの支援を積極的に行い、事業への人員支援やLOM間での人員の支援を推進することで、LOM同士の絆もさらに深まったと感じました。今後もブロック協議会がLOMの支援を続けていくことで、持続可能な組織づくりの一助になると確信しております。一年間素晴らしい機会をいただき、ありがとうございました。

事業区分	事業名	事業内容
他	第48回佐賀ブロック大会inからつ 大会式典	多くのご来賓、来訪JCメンバー、県内LOMのメンバーが一室に会し、佐賀ブロック協議会の運動の発信を行いました。また、全国大会佐賀大会への意識向上のため、佐賀青年会議所主導でブロック、県内LOMとの連携協定締結式を行い、来場者への周知を図りました。
公5	第48回佐賀ブロック大会inからつ ロケット発射体験イベント	未来を担う地域の子どもたちや一般市民を対象に宇宙に興味や関心を持っていただく取り組みとして、実用ロケットと飛行原理が同様の安全性の高いモデルロケットの制作、発射体験を行いました。
公5	第48回佐賀ブロック大会inからつ 宇宙ビジネス推進プロジェクト	夢を描こう!SAGAから宇宙へと題して、衛星データが社会に生み出す価値についての講演や、衛星データを利活用した教育の可能性についてパネルディスカッション。また、致遠館高校生による衛星データを利活用した探究授業の内容を発表してもらいました。
他	佐賀ブロックアカデミー2023 開校式	アカデミー生を対象に今年度から必須項目となったセレモニー、JCプロトコル、理念共感拡大グランドデザインのセミナーを行いました。また、2025年の全国大会佐賀大会について、JCI佐賀の園田理事長に講話頂き、事業構築に向けたグループワークを行いました。
他	第2回佐賀ブロックアカデミー2023	第1部では川端ヘッドトレーナーを講師に必須項目であるPurposeのセミナーを開催し、第2部では全国大会に向けた事業として、「魅力ある佐賀」をテーマに開校式からグループで作成した卒業課題のプレゼンをコンテスト形式で行いました。



ブロック協議会名	役職名	担当者名
長崎ブロック協議会	会長	下津浦 朱門(佐世保)

基本方針

「信頼と友情が創造する魅力ある長崎の実現」を基本理念とし、スローガンに「万里一空 JAYCEEが創る確かな未来」を掲げました。



総括

「信頼と友情が創造する魅力ある長崎の実現」を基本理念とし、スローガンに「万里一空 JAYCEEが創る確かな未来」を掲げ活動を展開いたしました。県内メンバーの活動に対する意識を向上させ、JCの本質を理解し、価値観を共有したうえで事業に臨んでいただくことを方向性として定め、各種事業に臨みました。主事業である長崎コンファレンスは九州北部豪雨により已むを得ず中止の判断となりましたが、これに至るまで多くの県内メンバーが活動を共にし、広く地域の方に長崎の魅力を発信していただいたことはまさに信頼と友情の現れであると確信します。今年度様々ご協力を頂いたすべての皆さま方に最大限の感謝を申し上げます。ありがとうございました。

事業区分	事業名	事業内容
他	JCを学び組織力アップ～魅力溢れる長崎の未来へ～	アカデミー会員にJCの価値観や理念を理解し、積極的に活動に参加していただくために第1部では理念共感グランドデザイン講義を実施し、第2部では会員同士の絆を深めるべくアカデミー生を対象にドミノ倒しを協働して行い友情を深める機会となりました。
公5	カーボンニュートラル普及セミナー～長崎から始めるエコ戦略～事業中止(九州豪雨災害のため)	カーボンニュートラルの実現に向け環境問題について理解し考えるためにらんま先生をお招きし地域の青少年向けに環境啓蒙セミナーを企画しました。残念ながらコンファレンス中止に伴い本事業も中止となりましたが会員に多くの気づきと学びの機会となりました。
公5	激論!ライブサミットin北松浦～あなたが守る未来の家族～事業中止(九州豪雨災害のため)	長崎県では過去様々な自然災害が発生しています。加えて近年国際情勢の変化により、あらゆる有事が起こりうる可能性が以前よりも高まっています。国境の県である長崎の現状や課題を学び地域に住む学生や多くの会員に学びを共有できました。
他	長崎コンファレンス2023 in 北松浦「大会理念・スローガン」	長崎コンファレンス2023in北松浦の開催にあたり大会理念を明確とすべくスローガンの選定をしました。スローガン「キタマツろう～宝島から未来をつなぐ～」は大会に関わる方々の意識を統一することと本年度の夢として捉えることのできる機会となりました。
他	長崎コンファレンス2023in北松浦「大会運営並びに告知活動」一部事業中止(九州豪雨災害のため)	本年はこれまでにない大会とすべく壮大な規模感を実現するために数多くの手法を取り入れた告知を行いました。大会は中止となりましたが、県内外をはじめとする市民の方に長崎ブロック協議会が行う活動や運動について広く周知できたものと考えます。
他	長崎コンファレンス2023in北松浦「大会式典」事業中止(九州豪雨災害のため)	本年は九州豪雨災害のため残念ながら中止となりました。しかしながら日頃より我々の活動や運動へのご理解とご協力をいただいている多くの方々に長崎ブロック協議会の運動や方針を理解していただくべく新たな形を模索する貴重な機会となりました。
他	長崎ブロック協議会2023「友情の鍵伝達式」	長崎コンファレンスが九州北部豪雨により中止した事を受け、改めて各LOMが一丸となって次代へと友情の鍵を繋ぐべく式典を開催致しました。改めて式典を開催する意味を多くの方と確認できたことは大変意義深いものとなりました。
他	Purpose～存在意義～	会員一人ひとりが自身の価値観とJCの目的を見つめなおし、新たな可能性を見出すために事業を実施しました。自身の存在意義や目的を達成することがJCで叶えることができることに気づいていただいた機会となりました。



ブロック協議会名	役職名	担当者名
熊本ブロック協議会	会長	和田 光平 (玉名)

基本方針

組織改革 ～未来の夢を語り続けられる熊本の実現～

誰もが真に個性を活かして夢を語り、挑戦できる環境を創出し、後に続くメンバーの希望となる協議会を実現します。



総括

過去5年間で最大の出向者数167名(約40%)で事業を開催し、すべての事業を終えることができました。私たちが目指す基本理念は、多くの出向者で事業を行ったことで実現できたと考えます。また、本年実施した事業が県内各LOMだけでなく、地域にもインパクトを与え、新たな連携が芽生えました。また、その内容の一部は次年度にも引き継がれ、その動きは今後加速するものと考えます。このような新たな運動を起こすことは、地域のニーズに答え、インパクトと共に、メンバーの参加意欲にもつながるものと考えられ、組織改革につながります。ただし、組織改革は継続して掲げるものではなく、毎年活動方針を多くの意見を取り入れて決める必要があります。

事業区分	事業名	事業内容
他	ブロックアカデミー事業	3回に分けて開催し、合わせて160名の方に参加いただいた。グループワーク等を行い参加者間の交流も促し、第3回はブロック大会に合わせて開催することで、多くの参加を誘致した。事業後には多くのポジティブな意見をいただいた。
公5	第56回熊本ブロック大会in玉名 なんそれ?～カーボンニュートラル時代突入～	「脱炭素まちづくりPLAY!(シミュレーションゲーム)」体験を通して楽しく「カーボンニュートラル」について学び、このゲーム体験を通して今後自分たちが色々な立場でどう行動できるかを考え宣言していただく未来につながる事業内容とした。
公5	第56回熊本ブロック大会in玉名 地域の实情に即したレジリエンス向上の推進	楽しく学ぶ防災体験として、体験型ブース出展を行った。各ブースで災害に対する意識の向上を目指した。また、ハザードマップなどから正確な情報を知ることの大切さを学び、ドローンやVRなどを活用し、よりリアルな体験ができる体験会となった。
公5	第56回熊本ブロック大会in玉名 ENJOYメタバース ～近未来のスタンダード～	2025年以降は生活に当たり前に活用されるといわれているメタバースやVRの必要性と今後の展開について、自社オフィスにメタバース空間に構える企業の創業者から講演いただいた。講演後にメタバース空間を体験できるブースを出展した。
公5	第56回熊本ブロック大会in玉名 メイン事業	「発信」をテーマに事業構築を行い、講師とのクロストークを行い、発信力を高めるためにはどのような手法で行うのかを学ぶ機会とした。また、地域の魅力を発信するブース設営を行い、来場者へ地域の魅力を発信することができた。
他	第56回熊本ブロック大会in玉名 成功祈願祭・結団式・解団式	神社での大会成功への祈願を行い、ブロック会長、開催地LOM理事長の挨拶などを通じて、大会成功への機運を高め、会員の団結力、意識の向上につなげることができた。また、解団式を通じて、メンバーの労をねぎらうことができた。
公5	第56回熊本ブロック大会in玉名 総務広報計画	事前告知は、ポスター及びチラシを作成し配布した。また、デジタルチラシを作成し各SNSにて発信を行った。さらに、各メディアへも出演し告知を行った。大会当日も、会場内にアドバルーンや簡易足湯を作成、設置することで、集客につとめた。
他	第56回熊本ブロック大会in玉名 大会式典	協議会の方針及び理念を最大限発信できるような内容とした。麻生会頭が目指す「夢」と和田ブロック会長が目指す「組織改革」を表現することで、出席者及び視聴者が、組織改革を通して夢を持ち、叶えていく未来を描けるような事業内容とした。
公1	第8回JCカップU-11 少年少女サッカー大会熊本県 予選大会	熊本県予選大会を6月25日(日)に開催した。県内LOMより選出した6チームにて実施し、九州地区大会の代表チームとして選出した。各試合後にアフターマッチミーティングを行い、グッドルーザーの精神とソーシャルインクルージョンを学んでいた。



ブロック協議会名	役職名	担当者名
宮崎ブロック協議会	会長	桑原 一太 (延岡)

基本方針

地域の魅力を発信できるJAYCEEとなり地域愛に溢れた宮崎を実現する



総括

本年はLOMに寄り添った支援体制の構築を役員に共有し運動を展開しました。ブロック内LOMにおける例会や事業に積極的に出席し、LOMでの課題や問題点を気軽に共有できる関係性の構築に努めました。JCフェスタでは行政と連携を図りベビーファースト運動の共同宣言式を実施し、MOTTAINAI運動のフォーラムでは一般参加者とともに地域課題への取り組みを考えてもらう機会としました。また、メンバー一人ひとりの質の向上を目的としたブロックアカデミーを開催し、理念共感拡大グランドデザインの推進と人財育成に努めました。各LOMが地域とのつながりを深め、個人個人が地域を愛しJCのよさを発信することで、地域に必要なとされる組織につながったと確信しています。

事業区分	事業名	事業内容
公5	身近なところから始められるMOTTAINAI運動事業	持続可能な社会をつくるために、国民一人ひとりが環境に対する意識を向上させ、環境への負荷を軽減した循環型社会を形成していき参加者が身近にあるモノに改めて目を向け、利活用等の行動を起こすきっかけを創出することを目的としました。
公6	宮崎ブロック防災ネットワーク構築	災害発生時に迅速かつ適切に行動できるような仕組みをつくることを目的に社会福祉法人宮崎県社会福祉協議会との防災協定締結式を執り行いました。
公5	JCフェスタ2023in西都「ベビーファースト運動」共同宣言式及び関連ファンクション事業	JCフェスタ会場で西都市とJCI西都とのベビーファースト運動共同宣言式を開催しました。子育てしやすいまちの実現を目的としそれぞれに地域に向けてベビーファースト運動宣言とアクションプランの発表を行いました。
公5	JCフェスタ2023in西都「ベビーファースト運動」共同宣言式及び関連ファンクション事業	子育て中の方が前向きに子育てに取り組めるようなきっかけを創出することや宮崎県が赤ちゃんや子育て世代にとって住みやすい街となることを目的としJCフェスタ内で赤ちゃんとその親向けにベビーマッサージ教室と子育て講話を開催しました。
他	宮崎ブロック協議会アカデミーセミナー事業	宮崎ブロック協議会内アカデミー会員を対象にJCの理念に共感してもらい、リーダーを育成することを目的とし、アカデミーセミナーを開催し理念共感拡大型新プログラムPurposeとセレモニー、理念共感拡大グランドデザインについてのセミナーを実施しました。
他	JCフェスタ2023in西都大会式典事業	宮崎ブロック協議会の方向性や事業内容を共有し、参加者の士気向上やJC運動の価値、社会貢献の重要性を伝え、JCへの参加意識を高める場となりました。宮崎ブロック協議会内の結束を強化し、地域への貢献を重視するJC活動の基盤を築く重要な事業となりました。
他	JCフェスタ2023in西都広報渉外事業	JCフェスタ2023in西都の開催にあたり、ポスターやチラシを使用した広報活動を通じてJCメンバーと市民の皆様への広範な参加を促進しました。施設や役所への配布で事業内容を拡散し、SNSを活用してフォローに情報を発信し、参加意欲向上につなげました。
公5	JCフェスタ2023in西都 事業	本年度は西都市で現地開催となり、大会式典やベビーファースト運動も事業やMOTTAINAI運動フォーラムなどの活動が行われました。LOMへのキャラバン活動や広報資料を使用した広報活動により、多くのメンバーや市民が参加し、地域愛あふれる宮崎の創造に貢献しました。



ブロック協議会名	役職名	担当者名
鹿児島ブロック協議会	会長	中村 壯 (阿久根)

基本方針

輝く個が和を紡ぐ 夢と希望が溢れる鹿児島の実現



総括

本年は輝く個が和を紡ぐ 夢と希望が溢れる鹿児島の実現に向け、「郷土に愛を とともに歩もう」とスローガンを掲げ運動を展開してまいりました。ブロックはあくまでLOMのために存在すると役員全体に周知したことで、所属LOM以外の事業や例会へ積極的に出席し相互の距離を縮められました。ブロック大会では地域の魅力発掘や次世代と言われる高校生と未来を語るフォーラム、多様性社会の実現に向けたフォーラムを実施しました。また、人吉市長に講演いただく防災力向上事業を通じ、地域のレジリエンス向上を図り、本年度だけではなく次年度以降のLOMや地域の変革につながったと確信します。ブロック役員の皆様のおかげです。本当にありがとうございました。

事業区分	事業名	事業内容
公5	未来の大人TOつくる未来 ~レクチャーではなくプロジェクト~	高校生や県民を対象に地域の社会課題と向き合い、アイデアコンテストを行いました。社会課題の解決に向けて多種多様な方々とパートナーシップを持つことや課題解決への挑戦の土壌づくりが行えました。
公5	KAGOSHIMA Activity動画コンテスト ~かごしまの未知の世界を発掘・体感しよう~	各地の地域おこし協力隊と連携し、県内の魅力を体験できる場所を発掘し動画コンテストを行いました。交流人口や関係人口の増加や各地域のトライセクター人材とのつながりが深まり地域の好循環が生まれました。
公5	第49回鹿児島ブロック大会inかごしま 誰もが活躍しやすくなる社会の実現~安心して暮らせる持続可能な地域を目指し	1部は波多野麻実様をお招きしてのダイバーシティについての必要性のご講演をいただきました。2部ではりゅうちえる様、ファムティトゥチャン様、上村英俊様、花音のの様をお招きしてのパネルディスカッションを行いました。事業を通じ、年齢や性別、障害の有無にかかわらず、様々な意見を柔軟に取り入れられる社会を示すことで、多様な価値観についての理解が深まりました。
他	第49回鹿児島ブロック大会inかごしま 大会式典	主管地域の特色や魅力を発信し、ブロック大会のテーマと本年度ブロック協議会の運動の成果を効果的に伝えるために式典を開催しました。
他	第49回鹿児島ブロック大会inかごしま	「銀鱗躍動~誰もが夢を描ける希望に満ちた鹿児島の実現へ~」をテーマに多くの皆様に楽しみながら大会の意義や目的に触れてもらい、理解を深め当事者意識を高めるとともに、誰もが様々な課題解決に積極的に取り組むことのできる起点となる大会を開催しました。
公5	青年会議所presents餃子フェス	県内各地の特産品を使い餃子フェスを行い青年会議所のPRブースを設けました。青年会議所の各会員がLOMのブランド力を高めることの必要性に気づき、会員がより能動的になり、地域をより良くする意識を高まりました。
他	アカデミーDAY ~ギアモンGO!~	ブロック内のアカデミー事業を行いました。1部はJCI日本公認プログラムPurposestレーナーを招き、青年会議所の基礎的な活動やそれに伴うメンバー自身の夢を明確にしました。2部では、議案の背景・目的・手法まで議案を作成しました。



ブロック協議会名	役職名	担当者名
沖縄ブロック協議会	会長	濱元 一憲 (名護)

基本方針

連絡調整機関としてLOMが何を考えブロック協議会に何を求めているのかを共有できる環境を持続可能な形で構築する必要があります。



総括

LOM益に拘り、ブロック協議会の存在意義を全委員会で統一意識として事業を展開しました。LOMが必要としている項目のセミナーやLOM間の連携、交流など、ヒヤリングを通して取り組む事でこれまで以上にLOMとブロック協議会の垣根を取り除く事ができたと感じています。また、沖縄ブロック協議会独自の引継書を作成し、各委員会並びに担当専務・副会長が本年度かけた思いと申し送り事項を次年度に共有する事で単年度制でありながらも組織を更に強化する体制を構築することができました。

事業区分	事業名	事業内容
公5	モスクの日イベント事業	重点支援LOMであるうるまJCと共同でうるまJCの活動エリアである勝連漁港のイベントにブロック協議会が支援として事業を展開しました。
他	スピーチセミナー事業	各LOMから出向で成り立つ協議会出向者を対象者とし、ブロック協議会と地区協議会の資質向上を目的とした即効性の強いJCプログラムを開催しました。
他	事業構築セミナー	全会員を対象とした事業構築セミナーを開催しました。初の試みとしてビーチで会場を設え、ドレスコードもラフな格好ではありますが多くの参加者と学び、強い懇親をはかる事が出来ました。
他	ロバート議事法セミナー	各LOMからの要望を受け、現年次年度の役職者を対象としたロバート議事法のセミナーを開催しました。同役職という事もあり活発な意見交換と懇親も同時に深める事が出来ました。
他	推進事業計画	沖縄ブロック協議会ではこれまで推進議案に取り組んだ事が無く、本年度3つの推進事業を行いました。毎月の会員会議所にて事業報告を行い、スピードと継続性を以って取り組む事が出来たと考えています。



付 録

諸大会開催・褒賞記録
事務局組織図

1) 国内諸大会記録

大会名	日程	開催地	参加者数	参加者数 内訳
京都会議	1/19-1/22	京都	14,482	現役 14,469 一般 13
サマーコンファレンス	7/22-7/23	横浜	50,203	現役 10,539 一般 39,664
全国大会	10/6-10/8	東京	12,391	現役 12,391

2) 国際会議参加記録

国際会議名	日程	開催地	首席代表	日本JC 参加者数	総参加者数
アフリカ・中東地域会議	5/17 - 5/20	ハラレ (ジンバブエ)	—	9	302
アジア・太平洋地域会議 (ASPAC)	5/10 - 5/13	ジャカルタ (インドネシア)	麻生 将豊	1,985	4,612
アメリカ地域会議	5/3 - 5/6	サンタ・マルタ (コロンビア)	—	9	457
ヨーロッパ地域会議	5/24 - 5/27	ブカレスト (ルーマニア)	麻生 将豊	19	883
JCI世界会議	11/14-11/18	チューリッヒ (スイス)	麻生 将豊	995	3,417

3) 褒賞等

■国際青年会議所 (JCI) 褒賞受賞一覧

【JCI-ASPACジャカルタ大会】

グループB (LOM賞)	呉 JC	最優秀LOM個人開発プログラム
	金沢 JC	最優秀会員会議所

【JCI世界会議チューリッヒ大会】

グループB (LOM賞)	東京 JC	最優秀LOM個人開発プログラム
	金沢 JC	最優秀会員会議所
グループC (個人賞)	会頭 麻生 将豊	最優秀NOM会頭賞
	故 眞弓 祐太 (大牟田 JC)	ホアキン・ゴンザレス賞
	故 安本 和樹 (堺高石 JC)	
	故 濱田 嵯那香 (堺高石 JC)	
	故 内山 彰弘 (北アルプス JC)	
	故 関谷 一真 (武蔵野 JC)	
	故 水野 貴一郎 (あきる野 JC)	
	故 松田 祐介 (久喜 JC)	
故 柴山 純 (笠間 JC)		
故 田岡 太志 (日立 JC)		
JCI会頭賞	JCI副会頭 北村 麻里衣	アジア・太平洋地域担当最優秀副会頭

2022年度 褒賞受賞団体一覧

2023年1月21日 京都会議「AWARDS JAPAN」

【最優秀賞】「グランプリ」

地区名	ブロック名	LOM名	事業名
北陸信越	石川	七尾	みんなで地域の未来ビジョンを作ろう!「NANA O GIFT 2040」

「準グランプリ」

地区名	ブロック名	LOM名	事業名
北陸信越	石川	金沢	アプリゲームで経済回復事業

「会頭特別賞」

地区名	ブロック名	LOM名	事業名
中国	広島	呉	高齢者チャレンジプロジェクト

【優秀賞】

部門名	地区名	ブロック名	LOM名	事業名
LOM地域社会向上プログラム	中国	島根	出雲	未来をデザイン～わたしたちが創る出雲の未来～
LOM個人能力開発プログラム	近畿	兵庫	神戸	青少年育成事業
LOM拡大開発プログラム	関東	東京	町田	「今こそ必要な若者たちのリーダーシップ」並びに2022年度「会員拡大戦略の立案及び実施」
LOM持続可能な開発目標プロジェクト	中国	広島	呉	高齢者チャレンジプロジェクト
組織間協働プロジェクト	東海	静岡	袋井	アドベンチャースクール2022 ～夢への第一歩!持続可能な防災に強いまちづくりのために～
LOM国際協力プログラム	九州	宮崎	宮崎	みやざきインターナショナルフェスタ～ワールドテラス～
LOM起業家精神プログラム	関東	神奈川	横浜	YOKOHAMA after College 2022 Startup!! Fundamental Training Practical Course
JCI RISEプロジェクト	北陸信越	石川	金沢	アプリゲームで経済回復事業
会員会議所賞	北陸信越	石川	金沢	公益社団法人金沢青年会議所
理事長賞	東北	山形	新庄	公益社団法人新庄青年会議所 2022年度理事長 橋本一馬
会員賞	関東	東京	町田	一般社団法人町田青年会議所 拡大室室長 小山正樹
外部資金活用プロジェクト	関東	神奈川	横浜	第41回横浜開港祭
中期ビジョン策定プロジェクト	北陸信越	石川	七尾	みんなで地域の未来ビジョンを作ろう!「NANA O GIFT 2040」

公益社団法人 日本青年会議所
2022年度会員拡大褒賞受賞団体一覧

2023年1月21日 京都会議「AWARDS JAPAN」

グランプリ【最優秀拡大LOM賞】

地区	ブロック	LOM名
関東	東京	一般社団法人町田青年会議所

■純増部門

【優秀拡大LOM賞 20名以下の部】

地区	ブロック	LOM名
中国	鳥取	一般社団法人東伯青年会議所

【優秀拡大LOM賞 50名以下の部】

地区	ブロック	LOM名
東北	宮城	一般社団法人おおさき青年会議所

【優秀拡大LOM賞 110名以下の部】

地区	ブロック	LOM名
北陸信越	福井	公益社団法人福井青年会議所

■単年度部門

【優秀拡大LOM賞 20名以下の部】

地区	ブロック	LOM名
関東	茨城	一般社団法人鉾田青年会議所

【優秀拡大LOM賞 50名以下の部】

地区	ブロック	LOM名
関東	群馬	一般社団法人桐生青年会議所

【優秀拡大LOM賞 110名以下の部】

地区	ブロック	LOM名
近畿	大阪	一般社団法人高槻青年会議所

【理念共感拡大賞】

地区	ブロック	LOM名
東北	宮城	一般社団法人泉青年会議所

【LOM支援賞】

地区	ブロック	LOM名
四国	愛媛	一般社団法人西条青年会議所

【優秀拡大LOM賞 30名以下の部】

地区	ブロック	LOM名
関東	埼玉	一般社団法人羽生青年会議所

【優秀拡大LOM賞 75名以下の部】

地区	ブロック	LOM名
関東	東京	一般社団法人町田青年会議所

【優秀拡大LOM賞 111名以上の部】

地区	ブロック	LOM名
九州	鹿児島	公益社団法人鹿児島青年会議所

【優秀拡大LOM賞 30名以下の部】

地区	ブロック	LOM名
関東	埼玉	一般社団法人羽生青年会議所

【優秀拡大LOM賞 75名以下の部】

地区	ブロック	LOM名
関東	東京	一般社団法人町田青年会議所

【優秀拡大LOM賞 111名以上の部】

地区	ブロック	LOM名
近畿	大阪	一般社団法人枚方青年会議所

【多様性拡大賞】

地区	ブロック	LOM名
東北	宮城	一般社団法人おおさき青年会議所

4) 「JCI JAPAN TOYP2023」受賞者一覧 ※TOYP大賞（旧人間力大賞）

	受賞者	活動内容	推薦
グランプリ 内閣総理大臣奨励賞 総務大臣賞 協賛企業特別賞	秋元 里奈 氏	生産者から直接食材やお花などを購入できる日本最大の産直通販サイト「食べチョク」を運営。従来の物流構造では、生産者に価格決定権がない・手取りの割合が低いという課題があったことから、生産者自身で価格を設定し消費者に直接販売できる仕組みを構築することで、新たな販路を生産者に提供している。現在ユーザー数は約80万人、生産者数は8,300軒を突破し、国内の産直通販サイトの中で認知度や利用率など9つのNo.1を獲得しています。	一般社団法人 横浜青年会議所
準グランプリ 参議院議長奨励賞 環境大臣奨励賞	小島 不二夫 氏	2011年に創業した株式会社ピリカを通じて、世界100ヶ国以上から累計約3億個のごみを回収したごみ拾い促進プラットフォーム「ピリカ」、地球6周分のごみ分布を調査したAIごみ調査サービス「タカノメ」、国連に採用されたマイクロプラスチック流出調査サービス「アルマトロス」等を提供。ごみの自然界流出問題の根本解決に取り組んでいます。日本を中心に世界116ヶ国でサービスを展開しています。	一般社団法人 大阪青年会議所
準グランプリ 衆議院議長奨励賞 厚生労働大臣賞	高島 雄太 氏	インドネシアのハンセン病快復者が暮らす集落で、日本人とインドネシア人のボランティアとワークキャンプという活動を行っています。ワークキャンプ中は2週間集落に住み込み、道路舗装や水道整備などのインフラ整備を行います。ハンセン病への差別が根深いインドネシアで、学生自身が差別について学ぶとともに、啓発活動として近隣社会や学校で交流した快復者について話し、ハンセン病についての正しい知識を持ってもらいます。	自薦
文部科学大臣賞	海音 氏	義足などハンディキャップを持つ人に対して日本ではまだまだ差別や偏見、否定的な意見が多いと感じています。しかし、私は右足が義足であることを受け入れており、個性として捉えています。だからこそ、金子みすゞ氏の詩にある「みんなちがって、みんないい」という詞に感銘を受けています。 私たちは個々に異なる存在であり、他人とは違う部分に対して嫌な気持ちを抱くこともあるでしょう。しかし、それが私たちの独自の個性であり、より多くの人に受け入れてほしいと思っています。自身の姿を通じて、ポジティブな意見や勇気、希望を与えられる存在でありたいと考えています。 そして、すべての人がチャレンジできる世界になってほしいと願っています。	自薦
外務大臣賞	中田 渉 氏	西アフリカにあるベナン、セネガルの両国にてインターネットが接続されていないアフリカ農村部でイントラネットワークを構築しています。そのネットワーク上で村人の誰もがアクセスできる動画配信サービスの提供を行っており、今後さらに多様な価値提供を行えるデジタルプラットフォームの開発を進めています。	一般社団法人 大阪青年会議所
農林水産大臣奨励賞	野毛 慶弘 氏	現在の活動エリアは日本有数の野菜産地の埼玉県深谷市周辺のみですが、中期的には埼玉県全域や関東地区、長期的には全国での展開を予定しています。活動としては自社で独自開発した自律走行型農業散布ロボットを用いて農業散布代行サービスを展開しています。このロボットはGPS(GNSS)とLIDARによる制御技術により高精度(誤差を1~2cm程度)の自律走行を実現しています(特許第6700500号取得済)。	一般社団法人 深谷青年会議所
経済産業大臣奨励賞	宇田 悦子 氏	沖縄にて世界初の繊維抽出技術を研究開発し、本社を置く大宜味村の村有地に国の支援も受け、世界から注目される天然繊維産業の拠点づくりを進めています。拠点は2ヶ所で、一ヶ所目は2,900平米の敷地に2023年末竣工予定、二ヶ所目は14ヘクタールの敷地に2024年工事開始予定です。海外では、台湾、中国、インドネシア、フィリピン、タイ、などバイナブルの生産国へ技術とビジネスモデルを広げるべく活動しています。	一般社団法人 大阪青年会議所
NHK会長奨励賞	下里 夢美 氏	9年間に渡り「誰もが夢に向かって努力できる社会の実現」をビジョンに、世界最貧困国シエラレオネにおいて。経済的理由により教育機会を得ることが困難な児童労働に従事する子ども1,554名への復学支援を行ってきました。19年より、若年妊娠することにより勉学の機会から断絶されてしまう女の子の教育を受ける機会を守るため、問題の根本解決を目指した独自の性教育プログラムを20,936名の男子中高生に実施しました。	ファンドレイジング・ ラボ
全国知事会会長奨励賞	加藤 絃章 氏	飲食店を中心とした新しい子ども食堂の形として、フードリボンプロジェクトを全国展開しています。「全ての子ども達が当たり前で夢を描きチャレンジできる世の中をつくる」をミッションに掲げて、子ども達がいつでも安心して駆け込める食事の拠り所を全国に増やしていく取り組みです。「フードリボン」という子ども達に食事を提供するためのスキームを導入する飲食店が全国2万ヶ所になることを目指しています。	一般社団法人 ロングスプーン協会
日本商工会議所会頭奨励賞	熊木 淳雄 氏	国の医療費削減に向け、予防治療を推進する歯科医院を国内15拠点到展開。11年間で110万人以上に診察・治療を行うと共に、予防治療の大切さを指導。また、アジア諸国における医療格差をなくす為「アジア諸国の貧富による健康寿命低下と医療技術の普及の重要性」について講演会を開催。歯科関係者が500名以上参加。さらに、国内外大学にて教授、学生に向けた技術指導や、貧困地域における保健指導を実施しています。	一般社団法人 横浜青年会議所

会頭特別賞

受賞者	推薦
中谷 衣里 氏	一般社団法人砂川青年会議所
山本 昌子 氏	一般社団法人久喜青年会議所
信田 雄一郎 氏	一般社団法人豊田青年会議所

ファイナリスト

受賞者	推薦
広瀬 絵里加 氏	一般社団人大阪青年会議所
蓮尾 智紗子 氏	一般社団法人豊田青年会議所
C-Style (八剣咲羅・潮干狩綱) 氏	一般社団法人朝霞青年会議所
田中 れいか 氏	公益社団法人埼玉中央青年会議所
段られ屋KENJI 氏	一般社団人大阪青年会議所
イルマニア 氏	一般社団法人入間青年会議所
平野 愛 氏	一般社団法人箕面青年会議所

5) 会員会議所新設、名称変更及び退会一覧

1. 会員会議所名称変更一覧 ※認証番号の変更あり

No.	新認証番号	新名称	旧認証番号	旧名称	ブロック	承認年月日	適用
1	788	奥州	229	水沢	岩手	2023.12.16	2024.1.1

2. 会員会議所退会一覧

No.	認証番号	名称	ブロック	承認年月日	適用
1	402	栃尾	新潟	2023.7.21	2023.7.31
2	453	江刺※	岩手	2023.12.16	2023.12.31
3	324	美祢	山口	2023.12.16	2023.12.31
4	407	鴨川	千葉	2023.12.16	2023.12.31
5	669	尾花沢	山形	2023.12.16	2023.12.31
6	741	蓮田	埼玉	2023.12.16	2023.12.31
7	633	浜北	静岡	2023.12.16	2023.12.31
8	279	赤穂	兵庫	2023.12.16	2023.12.31

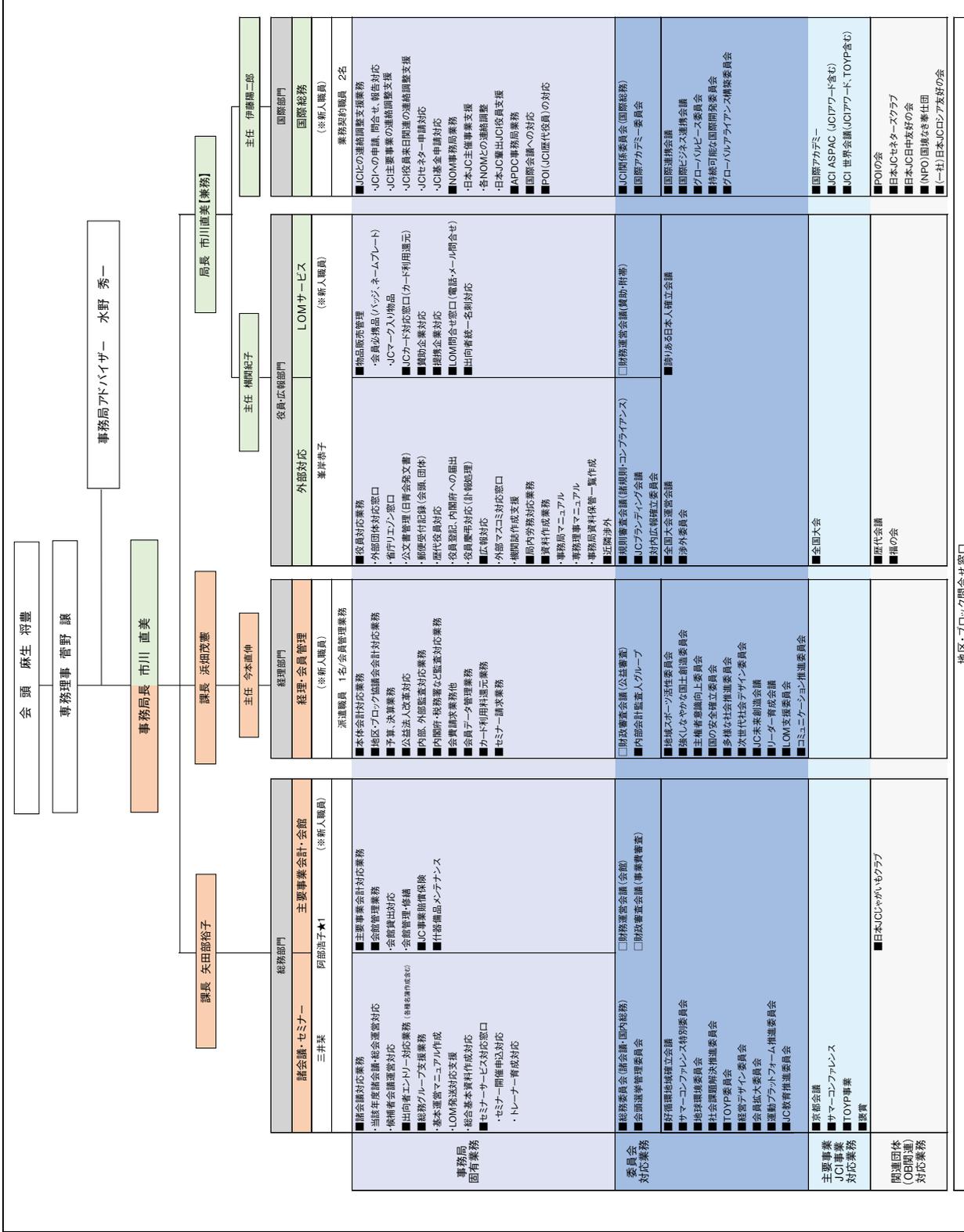
※会員は水沢JCに合流

3. JCの数及び会員数

2023年 1月1日現在 679JC 24,796名
2023年 12月1日現在 678JC 28,397名

【2023/12/31 版】

2023 公益社団法人日本青年会議所 事務局組織図



2023年度 諸会議報告

総会
理事会

総会

第172回総会

日時：2023年1月21日(土)11:00～12:30
場所：国立京都国際会館 Main Hall

審議事項

- (1) 青年会議所会館建替に関する基本計画(案)承認の件
- (2) 青年会議所会館建替に関する総会審議事項の理事会付託(案)承認の件
- (3) 公益社団法人日本青年会議所青年会議所会館解体及び建設管理・運営事業規則新設(案)承認の件

報告依頼事項

- (1) 2023年度予算について
- (2) JCI Mission 並びに JCI Vision の新意識について
- (3) サマーコンファレンス2023について
- (4) 第72回全国大会東京大会について
- (5) JCI ASPAC ジャカルタ大会について
- (6) JCI 世界会議 チューリッヒ大会について
- (7) 第36回国際アカデミーについて
- (8) 会議・委員会出向者について
- (9) 内部会計監査人について
- (10) JCI 及び JCI APDC 出向役員について
- (11) JCI 基金について

第173回総会

日時：2023年3月25日(土)13:00～14:30
場所：東京ビッグサイト(東京国際展示場)7階 国際会議場

審議事項

- (1) 2022年度事業報告(案)承認の件
- (2) 2022年度決算(案)承認の件

報告依頼事項

- (1) 2023年度予算について
- (2) 2023年度会議・委員会出向者追加変更について
- (3) 2020年代地区協議会・ブロック協議会モデル答申書アップデート宣言について
- (4) JCI APDC(アジア太平洋開発協議会)中間報告について
- (5) JCI ASPACジャカルタ大会について
- (6) 第36回国際アカデミー in静岡について
- (7) サマーコンファレンス2023について
- (8) 第72回全国大会東京大会について
- (9) JCI世界会議チューリッヒ大会について

第174回総会

日時：2023年10月6日(金)13:00~15:00

場所：東京ビッグサイト(東京国際展示場)7階 国際会議場

審議事項

- (1) 公益社団法人日本青年会議所 2024年度 理事 小西 毅 君 選任の件
- (2) 公益社団法人日本青年会議所 2024年度 理事 山田 章夫 君 選任の件
- (3) 公益社団法人日本青年会議所 2024年度 理事 山岸 将幸 君 選任の件
- (4) 公益社団法人日本青年会議所 2024年度 理事 谷口 雄紀 君 選任の件
- (5) 公益社団法人日本青年会議所 2024年度 理事 佐々木隆浩 君 選任の件
- (6) 公益社団法人日本青年会議所 2024年度 理事 外口 真大 君 選任の件
- (7) 公益社団法人日本青年会議所 2024年度 理事 土橋 広侖 君 選任の件
- (8) 公益社団法人日本青年会議所 2024年度 理事 菅原 啓太 君 選任の件
- (9) 公益社団法人日本青年会議所 2024年度 理事 山本 健太 君 選任の件
- (10) 公益社団法人日本青年会議所 2024年度 理事 八代宗太郎 君 選任の件
- (11) 公益社団法人日本青年会議所 2024年度 理事 新田洋太郎 君 選任の件
- (12) 公益社団法人日本青年会議所 2024年度 理事 東野 篤史 君 選任の件
- (13) 公益社団法人日本青年会議所 2024年度 理事 椎木 謙太 君 選任の件
- (14) 公益社団法人日本青年会議所 2024年度 理事 中井 貴一 君 選任の件
- (15) 公益社団法人日本青年会議所 2024年度 理事 仲 浩太郎 君 選任の件
- (16) 公益社団法人日本青年会議所 2024年度 理事 具志堅貴昭 君 選任の件
- (17) 公益社団法人日本青年会議所 2024年度 理事 大久保真惟 君 選任の件
- (18) 公益社団法人日本青年会議所 2024年度 理事 田辺 直也 君 選任の件
- (19) 公益社団法人日本青年会議所 2024年度 理事 佐藤 弘大 君 選任の件
- (20) 公益社団法人日本青年会議所 2024年度 理事 吉田 謙佑 君 選任の件
- (21) 公益社団法人日本青年会議所 2024年度 理事 内山 瑛 君 選任の件
- (22) 公益社団法人日本青年会議所 2024年度 監事 栗田 泰吉 君 選任の件
- (23) 公益社団法人日本青年会議所 2024年度 監事 小林 秀気 君 選任の件
- (24) 公益社団法人日本青年会議所 2024年度 監事 豊田 啓勤 君 選任の件
- (25) 公益社団法人日本青年会議所 2024年度 顧問 選任の件
- (26) 公益社団法人日本青年会議所 2024年度 代表理事 小西 毅 君 選任の件
- (27) 公益社団法人日本青年会議所 2024年度 業務執行理事選定の件
- (28) 青年会議所会館建替に関する基本計画修正(案)承認の件
- (29) 青年会議所会館建替に関する総会審議事項の理事会付託修正(案)承認の件
- (30) 青年会議所会館解体及び建設管理・運営事業規則修正(案)承認の件

報告依頼事項

- (1) 公益社団法人日本青年会議所 2024年度 直前会頭就任について
- (2) 公益社団法人日本青年会議所 2024年度 基本理念・基本方針並びに事業計画 について
- (3) 公益社団法人日本青年会議所 2024年度 組織並びに委員数について
- (4) 公益社団法人日本青年会議所 2024年度 ブロック会長選任について
- (5) 公益社団法人日本青年会議所 2024年度 議長・委員長選任について
- (6) 公益社団法人日本青年会議所 2024年度 内部会計監査人グループ代表選任について
- (7) 公益社団法人日本青年会議所 2024年度 年間公式スケジュールについて
- (8) 公益社団法人日本青年会議所 2024年度 スローガンについて
- (9) 公益社団法人日本青年会議所 2024年度 予算について
- (10) 青年会議所会館建替に関する進捗報告について

理事会

第1回理事会

日時：2023年1月20日(金)
場所：国立京都国際会館 ROOM A

確認事項

- (1) 第5回理事予定者会議議事録

審議事項

<推進計画議案>

- (1) 国際ビジネス連携推進修正計画(案)承認の件
(2) 日本へ避難しているウクライナ避難民への支援推進計画(案)承認の件
(3) 環境改善と経済発展の好循環をもたらす環境配慮経営セミナーの開催推進計画(案)承認の件
(4) すべての人が個性と多様性を尊重され活躍しやすくなる社会づくりの推進計画並びに修正予算(案)承認の件
(5) 子育てを応援する仕組みの構築推進計画並びに修正予算(案)承認の件
(6) 2020年代時代に合わせた協議会モデル答申書の活用検証並びに組織の仕組みづくり推進計画(案)承認の件

<通常協議議案>

- (7) JCI JAPANグローバルユース国連大使育成事業計画並びに予算(案)承認の件
(8) 日本財団との連携協定(案)承認の件
(9) 三三会青年企業家委員会との連携協定(案)承認の件
(10) 2023年度JAPAN PRIDE PROJECT事業計画並びに予算(案)承認の件
(11) 第36回国際アカデミーに伴う国際アカデミー事業計画並びに予算(案)承認の件
(12) 一般社団法人日本カーボンニュートラル協会との連携協定(案)承認の件
(13) JCカップ U-11 少年少女サッカー全国大会予選大会実施修正計画並びに予算(案)承認の件
(14) 互譲互助の国家観を確立させるプログラムの事業計画(案)承認の件
(15) 国民の政治参画を図る事業計画並びに予算(案)承認の件
(16) 理念共感プロモーター育成プログラム事業計画並びに予算(案)承認の件
(17) 株式会社CAMPFIREとのパートナー契約(案)承認の件
(18) コンストラクションマネジメント契約に係る2023年度個別契約締結計画並びに予算(案)承認の件
(19) 公益社団法人日本青年会議所国際大会誘致における推薦委員会選定に関する細則(案)承認の件
(20) 会議・委員会出向者(案)承認の件
(21) 2023年度内部会計監査人グループ副代表・幹事・地区代表委員選任(案)承認の件
(22) 会頭職務代行者指名(案)承認の件
(23) 候補者並びに予定者会議審議事項承認(案)承認の件

<3月総会関連議案>

- (24) 2023年度3月総会 組織フォーラム「夢に向かい躍動する組織へ」事業計画並びに予算(案)承認の件

<サマーコンファレンス関連議案>

- (25) サマーコンファレンス2023開催テーマ(案)承認の件

推進報告事項

【国際グループ推進計画進捗報告】

- (1) 世界共通課題の解決に向けたハブ機能の構築推進計画の進捗報告について
(2) 人材交流によるコンテンツの発掘及び発信推進計画の進捗報告について
(3) 国際ビジネス連携推進計画の進捗報告について
(4) FLY to the world with JCI GO推進計画の進捗報告について
(5) The world connected by global peace～グローバルピースでつながる世界～推進計画の進捗報告について

【地域グループ推進計画進捗報告】

- (6) 地域コンテンツ発掘推進計画の進捗報告について
(7) 魅力ある経営推進計画の進捗報告について
(8) 部活を地域で支えるシステムの構築推進計画の進捗報告について

【国家グループ推進計画進捗報告】

- (9) 強くしなやかな国土創造の推進計画の進捗報告について
(10) 災害ネットワークの強化推進計画の進捗報告について
(11) すべての人が個性と多様性を尊重され活躍しやすくなる社会づくりの推進計画の進捗報告について
(12) 子育てを応援する仕組みの構築推進計画の進捗報告について

【組織グループ推進計画進捗報告】

- (13) 全国連絡調整会議LOM支援推進計画の進捗報告について
(14) 全ての組織が躍動するDoタンク推進計画の進捗報告について
(15) ブロック連携によるリーダー育成アカデミー推進計画並びに組織を牽引できるリーダーの育成推進計画の進捗報告について
(16) LOMに寄り添った支援体制推進計画の進捗報告について
(17) 会員拡大支援の推進計画の進捗報告について
(18) より良い未来の運動を生み出す運動プラットフォーム推進計画の進捗報告について
(19) JCI AWARDS獲得推進計画の進捗報告について
(20) JCIコース及びJCI日本公認プログラムの導入推進計画の進捗報告について
(21) JCI公式コース及びJCI日本公式プログラムトレーナー育成推進計画の進捗報告について
(22) 多様な考え方を促進し組織改善推進計画の進捗報告について

【総務グループ推進計画進捗報告】

- (23) 魅力あるJCブランディング推進計画の進捗報告について
(24) 組織への関心と連携を強化する対内広報年間推進計画の進捗報告について

報告・依頼事項

- (1) 47ブロック会頭訪問について
(2) 三井不動産リアルティ株式会社との賃貸借契約一部変更について
(3) 日本たばこ産業株式会社 契約内容変更について

- (4) 2023年度賛助企業(年初確定)について
- (5) 地区協議会及びブロック協議会 名称使用等に関する報告について
- (6) 2023年度服装規定ドレスコードについて
- (7) 第172回総会における審議事項の資料修正について
- (8) 2023年度会議・委員会 指名委員・兼務委員について
- (9) 2023年度年間公式スケジュールについて
- (10) 次回開催日について 2023年2月18日(土) 9:00~ JC会館にて

<参考>(23)候補者並びに予定者会議審議事項承認(案)承認の件 内訳

第 1 回理事候補者会議 審議事項

審-11 全国連絡調整会議設置計画(案)承認の件 組織 G

第 3 回理事候補者会議 審議事項

- 審-16 全国連絡調整会議LOM支援推進計画(案)承認の件 近畿地区担当
- 審-17 世界共通の課題解決に向けたハブ機能構築推進計画(案)承認の件 国際G
- 審-18 国際ビジネス連携推進計画(案)承認の件 国際G
- 審-19 地域コンテンツ発掘推進計画(案)承認の件 地域G
- 審-20 魅力ある経営推進計画(案)承認の件 地域G
- 審-21 子育てを応援する仕組みの構築推進計画(案)承認の件 国家G
- 審-22 ブロック連携によるリーダー育成アカデミー推進計画並びに組織を牽引できるリーダーの育成推進計画(案)承認の件 組織G
- 審-23 魅力あるJCブランディング推進計画(案)承認の件 総務G
- 審-24 青年会議所会館建替準備会議設置計画(案)承認の件 総務G

第 4 回理事候補者会議 審議事項

- 審-01 人財交流によるコンテンツ発掘及び発信推進計画(案)承認の件 国際G
- 審-02 The world connected by global peace?グローバルピースでつながる世界?推進計画(案)承認の件 国際G
- 審-03 地域スポーツのシステム構築に向けた推進計画(案)承認の件 地域G
- 審-04 強くしなやかな国土創造の推進計画(案)承認の件 国家G
- 審-05 災害ネットワークの強化推進計画(案)承認の件 国家G
- 審-06 すべての人が個性と多様性を尊重され活躍しやすくなる社会づくりの推進計画(案)承認の件 国家G
- 審-07 全ての組織が躍動するDoタンク推進計画(案)承認の件 組織G
- 審-08 LOMに寄り添った支援体制推進計画(案)承認の件 組織G
- 審-09 JCIコース及びJCI日本公認プログラムの導入推進・実施計画(案)承認の件 組織G
- 審-10 多様な考え方を促進し組織改善推進計画(案)承認の件 組織G
- 審-11 組織への関心と連携を強化する対内広報年間推進計画(案)承認の件 総務G
- 審-13 2023年度京都会議事業計画並びに予算(案)承認の件 総務G
- 審-14 2023年度京都会議広報計画(案)承認の件 総務G
- 審-15 2023年度京都会議メインフォーラム「あなたに託す、日本の未来と矜持」事業計画並びに予算(案)承認の件 国家G
- 審-16 2023年度京都会議「青年会議所会館建替についての説明会」事業計画(案)承認の件 総務G
- 審-17 2026年度第75回全国大会「主管立候補受付並びに審査日程」(案)承認の件 国家G

第 5 回理事候補者会議 審議事項

- 審-01 全国連絡調整会議LOM支援推進修正計画(案)承認の件 組織G
- 審-02 FLY to the world with JCI GO推進計画(案)承認の件 国際G
- 審-03 会員拡大支援の推進計画(案)承認の件 組織G
- 審-04 より良い未来の運動を生み出す運動プラットフォーム推進計画並びに予算(案)承認の件 組織G
- 審-05 JCI AWARDS獲得推進計画(案)承認の件 組織G
- 審-06 JCIコース及びJCI日本公認プログラムの導入推進・実施計画並びに修正予算(案)承認の件 組織G
- 審-07 JCI公式コース・JCI日本公認プログラムトレーナー育成推進計画(案)承認の件 組織G
- 審-08 第36回国際アカデミーテーマ並びに募集計画(案)承認の件 国際G
- 審-09 価値デザインコンテスト2023募集計画並びに予算(案)承認の件 地域G
- 審-10 企業交流支援プラットフォームへの進化事業計画並びに予算(案)承認の件 地域G
- 審-11 JCI JAPAN TOYP2023事業の募集計画並びに予算(案)承認の件 地域G
- 審-13 地域社会全体での道徳的文化的構築事業計画並びに予算(案)承認の件 国家G
- 審-14 組織への関心が高まる機関紙 We Believeの作成・発刊(案)承認の件 総務G
- 審-15 外部アドバイザーパートナーシップ契約の締結計画並びに予算(案)承認の件 総務G
- 審-17 2023年度京都会議事業修正計画並びに修正予算(案)承認の件 総務G
- 審-18 2023年度京都会議メインフォーラム「Stay Hungry, Stay Foolish ?世界への挑戦?」事業計画並びに予算(案)承認の件 国際G
- 審-19 2023年度京都会議メインフォーラム「夢を語り、実践するリーダーの必要性」事業計画並びに予算(案)承認の件 組織G
- 審-20 2023年度京都会議「会員拡大連携協定締結式」事業計画並びに予算(案)承認の件 組織G
- 審-21 2023年度京都会議「AWARDS JAPAN 2022」開催計画並びに予算(案)承認の件 組織G
- 審-22 2023年度京都会議LOM支援案内ブースならびに相談ルーム設置事業計画並びに予算(案)承認の件 組織G
- 審-23 サマーコンファレンス2023「登録料」(案)承認の件 地域G
- 審-24 第72回全国大会東京大会「テーマ」(案)承認の件 国家G
- 審-25 全国大会運営会議に付託する事項(案)承認の件 国家G
- 審-26 第72回全国大会東京大会「PR計画」(案)承認の件 国家G
- 審-27 第72回全国大会東京大会「主管契約締結式」事業計画(案)承認の件 国家G

第2回理事会

日時：2023年2月18日(土)

場所：青年会議所会館

前回議事録の承認

- (1) 第1回理事会議事録

審議事項

<推進計画議案>

- (1) 身近な資源が循環するMOTTAINAI運動の推進計画(案)承認の件
- (2) JCI公式コース及びJCI日本公式プログラムトレーナー育成推進修正計画並びに修正予算(案)承認の件

<通常協議議案>

- (3) Smile by Action豊かな水と自然を守る国際開発運動(案)承認の件
- (4) 日本×ウクライナ友好イベント事業計画並びに予算(案)承認の件
- (5) 第36回国際アカデミーに伴うプレ国際アカデミー事業修正計画(案)承認の件
- (6) デジタル庁とのタイアップ宣言計画(案)承認の件
- (7) JCI JAPAN TOYP2023各種選考会開催計画並びに予算(案)承認の件
- (8) 国民が国防の在り方に関して議論する事業計画並びに予算(案)承認の件
- (9) 青年経済人アカデミー事業計画並びに予算(案)承認の件
- (10) AWARDS JAPAN 2023募集審査基準並びに審査実施計画(案)承認の件
- (11) 青年会議所会館建替準備会議設置計画修正(案)承認の件
- (12) トルコ・シリア大地震によるJCIトルコへの支援(案)承認の件

<3月総会関連議案>

- (13) 第173回総会開催並びに次第(案)承認の件

<ASPAC関連議案>

- (14) JCI ASPACジャカルタ大会における日本青年会議所大会対応計画並びに予算(案)承認の件

<サマーコンファレンス関連議案>

- (15) サマーコンファレンス2023「ホームページ作成」計画並びに予算(案)承認の件
- (16) サマーコンファレンス2023外部アドバイザーパートナーシップ契約の締結並びに予算(案)承認の件

<全国大会関連議案>

- (17) 第72回全国大会東京大会「登録料」(案)承認の件

推進報告事項

【国際グループ推進計画進捗報告】

- (1) 世界共通課題の解決に向けたハブ機能の構築推進計画の進捗報告について
- (2) 人材交流によるコンテンツの発掘及び発信推進計画の進捗報告について
- (3) 国際ビジネス連携推進計画の進捗報告について
- (4) FLY to the world with JCI GO推進計画の進捗報告について
- (5) The world connected by global peace～グローバルピースでつながる世界～推進計画の進捗報告について
- (6) JCI JAPANグローバルユース国連大体育成事業計画の進捗報告について
- (7) 日本へ避難しているウクライナ避難民への支援推進計画の進捗報告について
- (8) 第36回国際アカデミーオンライン説明会および、プレ国際アカデミーの募集経過の進捗報告について

【地域グループ推進計画進捗報告】

- (9) 地域コンテンツ発掘推進計画の進捗報告について
- (10) 環境改善と経済発展の好循環をもたらす環境配慮経営セミナーの開催推進計画の進捗報告について
- (11) 価値デザインコンテスト2023募集計画の進捗報告について
- (12) 企業交流支援プラットフォームへの進化事業計画の進捗報告について
- (13) JCI JAPAN TOYP2023事業の募集計画の進捗報告について
- (14) 魅力ある経営推進計画の進捗報告について
- (15) 部活を地域で支えるシステムの構築推進計画報告について
- (16) JCカップ U-11 少年少女サッカー全国大会予選大会実施報告について

【国家グループ推進計画進捗報告】

- (17) 互譲互助の国家観を確立させるプログラムの進捗報告について
- (18) 強くしなやかな国土創造の推進計画の進捗報告について
- (19) 災害ネットワークの強化推進計画の進捗報告について
- (20) 国民の政治参画を図る事業計画の進捗報告について
- (21) 地域社会全体での道徳的文化的構築事業計画の進捗報告について
- (22) すべての人が個性と多様性を尊重され活躍しやすくなる社会づくりの推進計画の進捗報告について
- (23) 子育てを応援する仕組みの構築推進計画の進捗報告について

【組織グループ推進計画進捗報告】

- (24) 全国連絡調整会議LOM支援推進計画の進捗報告について
- (25) 全ての組織が躍動するDoタンク推進計画の進捗報告について
- (26) 2020年代時代に合わせた協議会モデル答申書の活用検証並びに組織の仕組みづくり推進計画の進捗報告について
- (27) ブロック連携によるリーダー育成アカデミー推進計画並びに組織を牽引できるリーダーの育成推進計画の進捗報告について
- (28) LOMに寄り添った支援体制推進計画の進捗報告について
- (29) 会員拡大支援の推進計画の進捗報告について
- (30) より良い未来の運動を生み出す運動プラットフォーム推進計画の進捗報告について
- (31) JCI AWARDS獲得推進計画の進捗報告について
- (32) JCIコース及びJCI日本公認プログラムの導入推進計画の進捗報告について
- (33) JCI公式コース及びJCI日本公式プログラムトレーナー育成推進計画の進捗報告について
- (34) 多様な考え方を促進し組織改善推進計画の進捗報告について

【総務グループ推進計画進捗報告】

- (35) 魅力あるJCブランディング推進計画の進捗報告について
- (36) 組織への関心と連携を強化する対内広報年間推進計画の進捗報告について

報告・依頼事項

- (1) 東海地区協議会内の魅力について
- (2) 47ブロック会頭公式訪問について
- (3) ブロック会長公式訪問報告書について
- (4) セレモニーブック修正について
- (5) JCI AWARDS申請日程及びカテゴリーについて
- (6) 三井不動産リアルティ株式会社との賃貸借契約一部修正について
- (7) BIBLE OF JAYCEE・NEW JAYCEE書籍販売について
- (8) 賛助企業によるLOMへの支援・連携について
- (9) 一般財団法人日本寄付財団 新規賛助契約について
- (10) 株式会社和光との覚書締結について
- (11) 青年会議所会館 アスベスト調査・地盤調査について
- (12) 第1回地区・ブロック協議会監査説明会及び中間監査について
- (13) 第172回総会開催報告について
- (14) 外部団体事業への後援・協賛名義使用及び役員就任について
- (15) 2023年度年間公式スケジュールについて
- (16) 次回開催日について 2023年 3月 10日 (金) 9:00～ 青年会議所会館にて

第3回理事会

日時：2023年3月10日(金)

場所：青年会議所会館

前回議事録の承認

- (1) 第2回理事会議事録

審議事項

<第173回総会審議案件>

- (1) 2022年度事業報告(案)承認の件
(2) 2022年度決算(案)承認の件

<第173回総会報告案件>

- (3) 2023年度予算(案)承認の件

<推進計画議案>

- (4) 2020年代時代に合わせた協議会モデル答申書の活用検証並びに組織の仕組みづくり推進修正計画(案)承認の件
(5) JCI公式コース及びJCI日本公式プログラムトレーナー育成推進計画の修正予算(案)承認の件
(6) 組織への関心と連携を強化する対内広報年間推進計画並びに修正予算(案)承認の件

<通常協議議案>

- (7) Expanding Dreams & World "SMILE by WATER" in Philippines事業計画並びに予算(案)承認の件
(8) Expanding Dreams & World "SMILE by WATER" in Indonesia事業計画並びに予算(案)承認の件
(9) 2026年度ASPAC主管青年会議所選考委員会委員指名(案)承認の件
(10) 互譲互助の国家観を確立させるプログラムの修正事業計画並びに修正予算(案)承認の件
(11) 組織への関心が高まる機関紙We Believeの作成・発刊修正(案)承認の件
(12) 第173回総会開催並びに次第修正(案)承認の件
(13) 会議・委員会出向者追加・変更(案)承認の件
(14) 会頭選挙管理委員会委員指名(案)承認の件

<ASPAC 関連議案>

- (15) JCI ASPACジャカルタ大会における日本青年会議所会頭招待ランチョン開催事業計画並びに予算(案)承認の件
(16) JCI ASPAC日本主催「JCI JAPANグローバルピースサミット」事業計画(案)承認の件

<全国大会関連議案>

- (17) 第72回全国大会東京大会「スケジュール」(案)承認の件

推進報告事項

【国際グループ推進計画進捗報告】

- (1) 世界共通課題の解決に向けたハブ機能の構築推進計画の進捗報告について
(2) 人材交流によるコンテンツの発掘及び発信推進計画の進捗報告について
(3) 国際ビジネス連携推進計画の進捗報告について
(4) FLY to the world with JCI GO推進計画の進捗報告について
(5) The world connected by global peace～グローバルピースでつながる世界～推進計画の進捗報告について
(6) JCI JAPANグローバルユース国連大体育成事業計画の進捗報告について
(7) 日本へ避難しているウクライナ避難民への支援推進計画の進捗報告について
(8) 第36回国際アカデミーオンライン説明会および、プレ国際アカデミーの進捗報告について

【地域グループ推進計画進捗報告】

- (9) 地域コンテンツ発掘推進計画の進捗報告について
(10) 身近な資源が循環するMOTTAINAI運動推進計画の進捗報告について
(11) 環境改善と経済発展の好循環をもたらす環境配慮経営セミナーの開催推進計画の進捗報告について
(12) 価値デザインコンテスト2023募集計画の報告について
(13) 企業交流支援プラットフォームへの進化事業計画の報告について
(14) JCI JAPAN TOYP2023事業の募集における推進計画の進捗報告について
(15) 魅力ある経営推進計画報告について
(16) 企業交流支援プラットフォームへの進化事業計画の報告について
(17) JCカップ U-11 少年少女サッカー全国大会予選大会実施報告について

【国家グループ推進計画進捗報告】

- (18) 互譲互助の国家観を確立させるプログラム推進計画の進捗報告について
(19) 強くしなやかな国土創造の推進計画の進捗報告について
(20) 災害ネットワークの強化推進計画の進捗報告について
(21) 国民の政治参画を図る事業推進計画の進捗報告について
(22) 地域社会全体での道徳的文化の構築事業推進計画の進捗報告について
(23) 国民が国防の在り方に関して議論する推進計画の進捗報告について
(24) すべての人が個性と多様性を尊重され活躍しやすい社会づくりの推進計画の進捗報告について
(25) 子育てを応援する仕組みの構築推進計画の進捗報告について

【組織グループ推進計画進捗報告】

- (26) 全国連絡調整会議LOM支援推進計画の進捗報告について
(27) 全ての組織が躍動するDoタンク推進計画の進捗報告について
(28) 2020年代時代に合わせた協議会モデル答申書の活用検証並びに組織の仕組みづくり推進計画の進捗報告について
(29) ブロック連携によるリーダー育成アカデミー推進計画並びに組織を牽引できるリーダーの育成推進計画の進捗報告について
(30) LOMに寄り添った支援体制推進計画の進捗報告について
(31) 会員拡大支援の推進計画の進捗報告について
(32) より良い未来の運動を生み出す運動プラットフォーム推進計画の進捗報告について
(33) JCI AWARDS獲得推進計画の進捗報告について
(34) JCIコース及びJCI日本公認プログラムの導入推進計画の進捗報告について
(35) JCI公式コース及びJCI日本公式プログラムトレーナー育成推進計画の進捗報告について
(36) 多様な考え方を促進し組織改善推進計画の進捗報告について

【総務グループ推進計画進捗報告】

- (37) 魅力あるJCブランディング推進計画の進捗報告について
(38) 組織への関心と連携を強化する対内広報年間推進計画の進捗報告について

報告・依頼事項

- (1) 47ブロック会頭訪問について
- (2) ブロック会長公式訪問報告書について
- (3) インドネシアとの合同常任理事会開催報告について
- (4) 第72回全国大会東京大会「事前アンケート」について
- (5) 2026年度第75回全国大会主管予定立候補LOMについて
- (6) JCI ASPACジャカルタ大会「JCI AWARDSジャッジ」の日本青年会議所からの選出推薦について
- (7) 2022年度附帯収益報告について
- (8) 2023年度年間公式スケジュール変更について
- (9) 2023年度年間スケジュールについて
- (10) 次回開催日について 2023年 4月 22日 (土) 9:00～ 青年会議所会館にて

第4回理事会

日時：2023年4月22日(土)

場所：青年会議所会館

前回議事録の承認

- (1) 第3回理事会議事録

確認事項

- (1) 第4回財政審査会議・公益審査会議及びコンプライアンス審査会議の結果について

審議事項

<推進計画議案>

- (1) 地域資源国際発信推進計画並びに予算(案)承認の件
 (2) 地域コンテンツ発掘推進修正計画(案)承認の件
 (3) LOMに寄り添った支援体制推進修正計画並びに修正予算(案)承認の件
 (4) JCI公式コース及びJCI日本公式プログラムトレーナー育成推進計画の修正予算(案)承認の件
 (5) 多様な考え方を促進し組織改善推進修正計画(案)承認の件

<通常協議議案>

- (6) JCカップ U-11 少年少女サッカー全国大会予選大会実施修正計画並びに予算(案)承認の件
 (7) 互譲互助の国家観を確立させるプログラムの事業修正計画並びに修正予算(案)承認の件
 (8) 各事業における統一HP業者との契約書(案)承認の件
 (9) 第73回JCIアジア太平洋エリア会議(ASPAC)ジャカルタにおける議決権の会頭一任(案)承認の件
 (10) 会頭選挙に関する指定事項(案)承認の件
 (11) 会議・委員会出向者追加・変更(案)承認の件

<京都会議関連議案>

- (12) 2023年度京都会議事業修正計画並びに補正予算(案)承認の件
 (13) 2023年度京都会議広報計画事業報告(案)承認の件
 (14) 2023年度京都会議メインフォーラム「Stay Hungry, Stay Foolish ～世界への挑戦～」事業報告ならびに決算(案)承認の件
 (15) 2023年度京都会議メインフォーラム「あなたに託す、日本の未来と矜持」事業報告並びに決算(案)承認の件
 (16) 2023年度京都会議メインフォーラム「夢を語り、実践するリーダーの必要性」事業報告並びに決算(案)承認の件
 (17) 第72回全国大会東京大会「主管契約締結式」事業報告(案)承認の件
 (18) 2023年度京都会議LOM支援案内ブース並びに相談ルーム設置事業報告並びに決算(案)承認の件
 (19) 2023年度京都会議「会員拡大連携協定締結式」事業報告並びに決算(案)承認の件
 (20) 2023年度京都会議「AWARDS JAPAN 2022」事業報告並びに決算(案)承認の件
 (21) 2023年度京都会議「青年会議所会館建替についての説明会」事業報告(案)承認の件

<ASPAC 関連議案>

- (22) JCI ASPACジャカルタ大会における日本青年会議所主催事業「ジャパンナイト」開催の事業計画並びに予算(案)承認の件
 (23) JCI ASPAC日本主催フォーラム「第3回グローバルソリューションサミット」事業計画(案)承認の件
 (24) JCI ASPAC日本主催フォーラム「AMAZING JAPAN」事業計画(案)承認の件

<サマーコンファレンス関連議案>

[本体・広報]

- (25) サマーコンファレンス2023「広報」計画並びに予算(案)承認の件
 (26) サマーコンファレンス2023「ホームページ作成」修正計画並びに補正予算(案)承認の件

[セミナー関連議案]

- (27) サマーコンファレンス2023セミナー「This is me～すべての色が輝く未来～」事業計画並びに予算(案)承認の件
 (28) サマーコンファレンス2023「JCプログラムセミナー」事業計画並びに予算(案)承認の件

[その他]

- (29) サマーコンファレンス2023「第7回価値デザインコンテスト～社会課題解決をビジネスに実装せよ～」実施事業計画並びに予算(案)承認の件
 (30) サマーコンファレンス2023登録システム改修計画並びに予算(案)承認の件

<全国大会関連議案>

- (31) 第72回全国大会東京大会「PR修正計画」並びに予算(案)承認の件
 (32) 第72回全国大会東京大会「大会事務局開設」計画並びに予算(案)承認の件

推進報告事項

【国際グループ推進計画進捗報告】

- (1) 世界共通課題の解決に向けたハブ機能の構築推進計画の進捗報告について
 (2) 人材交流によるコンテンツの発掘及び発信推進計画の進捗報告について
 (3) 国際ビジネス連携推進計画の進捗報告について
 (4) FLY to the world with JCI GO推進計画の進捗報告について
 (5) The world connected by global peace～グローバルピースでつながる世界～推進計画の進捗について
 (6) JCI JAPANグローバルユース国連大使育成事業計画の進捗報告について
 (7) 日本へ避難しているウクライナ避難民への支援推進計画の進捗報告について

【地域グループ推進計画進捗報告】

- (8) 地域コンテンツ発掘推進計画の進捗報告について
 (9) 身近な資源が循環するMOTTAINAI運動推進計画の進捗報告について
 (10) 環境改善と経済発展の好循環をもたらす環境配慮経営セミナーの開催推進計画の進捗報告について
 (11) 価値デザインコンテスト2023募集計画の報告について
 (12) 企業交流支援プラットフォームへの進出事業計画の報告について
 (13) JCI JAPAN TOYP2023事業の募集計画の進捗報告について
 (14) 魅力ある経営推進計画報告について
 (15) 部活を地域で支えるシステムの構築推進計画報告について
 (16) JCカップ U-11 少年少女サッカー全国大会予選大会実施報告について

【国家グループ推進計画進捗報告】

- (17) 互譲互助の国家観を確立させるプログラムの進捗報告について
 (18) 強くしなやかな国土創造の推進計画の進捗報告について
 (19) 災害ネットワークの強化推進計画の進捗報告について
 (20) 国民の政治参画を図る事業計画の進捗報告について

- (21) 地域社会全体での道徳的文化的の構築事業計画の進捗報告について
- (22) 国民が国防の在り方に関して議論する推進計画の進捗報告について
- (23) すべての人が個性と多様性を尊重され活躍しやすくなる社会づくりの推進計画の進捗報告について
- (24) 子育てを応援する仕組みの構築推進計画の進捗報告について

【組織グループ推進計画進捗報告】

- (25) 全国連絡調整会議LOM支援推進計画の進捗報告について
- (26) 全ての組織が躍動するDoタンク推進計画の進捗報告について
- (27) 2020年代時代に合わせた協議会モデル答申書の活用検証並びに組織の仕組みづくり推進計画の進捗報告について
- (28) ブロック連携によるリーダー育成アカデミー推進計画並びに組織を牽引できるリーダーの育成推進計画の進捗報告について
- (29) LOMに寄り添った支援体制推進計画の進捗報告について
- (30) 会員拡大支援の推進計画の進捗報告について
- (31) より良い未来の運動を生み出す運動プラットフォーム推進計画の進捗報告について
- (32) JCI AWARDS獲得推進計画の進捗報告について
- (33) AWARDS JAPAN 2023募集審査基準並びに審査実施計画の進捗報告について
- (34) JCIコース及びJCI日本公認プログラムの導入推進計画の進捗報告について
- (35) JCI公式コース及びJCI日本公式プログラムトレーナー育成推進計画の進捗報告について
- (36) 多様な考え方を促進し組織改善推進計画の進捗報告について

【総務グループ推進計画進捗報告】

- (37) 魅力あるJCブランディング推進計画の進捗報告について
- (38) 組織への関心と連携を強化する対内広報年間推進計画の進捗報告について

報告・依頼事項

- (1) 47ブロック会頭訪問について
- (2) ブロック会長公式訪問報告書について
- (3) セネターズゴルフJCIインドネシア合同常任理事会の報告について
- (4) 青年会議所会館 アスベスト調査・地盤調査について
- (5) 青年会議所会館建替準備会議開催報告について
- (6) 新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う青年会議所会館会議室貸出について
- (7) 株式会社Sai-WORKS 新規賛助契約について
- (8) ゆきぐに新電力株式会社 新規賛助契約について
- (9) インボイス制度の対応について
- (10) 新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインの廃止について
- (11) 2023年度年間公式スケジュール変更について
- (12) 第173回総会開催報告について
- (13) 2024年度3月総会会場選定について
- (14) 外部団体事業への後援・協賛名義使用及び役員選任について
- (15) 2023年度会頭選挙管理委員会について
- (16) 2023年度服装規定ドレスコード改定について
- (17) 2023年度年間スケジュールについて
- (18) 次回開催日について 2023年 5月20日 (土) 9:00～ 青年会議所会館にて

第5回理事会

日時：2023年5月20日(土)

場所：青年会議所会館

前回議事録の承認

- (1) 第4回理事会議事録

確認事項

- (1) 第5回財政審査会議・公益審査会議及びコンプライアンス審査会議の結果について

審議事項

<推進計画議案>

- (1) Smile by Action豊かな水と自然を守る国際開発運動修正予算並びに計画(案)承認の件
(2) JCI公式コース及びJCI日本公式プログラムトレーナー育成推進計画の修正予算(案)承認の件

<通常協議議案>

- (3) ウクライナ×日本友好イベント事業修正計画並びに補正予算(案)承認の件
(4) ウクライナ×日本友好イベント事業報告並びに決算(案)承認の件
(5) 第2回日本×ウクライナ友好イベント事業計画並びに予算(案)承認の件
(6) 2023年度JAPAN PRIDE PROJECT事業修正計画並びに予算(案)承認の件
(7) 第36回国際アカデミーに伴う国際アカデミー事業補正計画(案)承認の件
(8) 第36回国際アカデミー事業計画並びに予算(案)承認の件
(9) 公益社団法人日本青年会議所 全国大会に関する細則一部改正(案)承認の件

<サマーコンファレンス関連議案>

[本体]

- (10) サマーコンファレンス2023事業計画並びに予算(案)承認の件

[フォーラム関連議案]

- (11) サマーコンファレンス2023国家フォーラム「呼び覚ませ!!世界に誇るべき国民性」事業計画並びに予算(案)承認の件
(12) サマーコンファレンス2023組織フォーラム「Action for Growth!!～変化する時代に生きる輝くリーダーの覚悟～」事業計画並びに予算(案)承認の件
(13) サマーコンファレンス2023組織フォーラム「会頭緊急会見～協議会って本当に必要!?～」事業計画並びに予算(案)承認の件
(14) サマーコンファレンス2023近畿地区フォーラム「新たなテクノロジーが紡ぐ未来へ。大阪・関西万博2025!!」事業計画並びに予算(案)承認の件
[セミナー関連議案]
(15) サマーコンファレンス2023「グローバル志向欠乏症を改善せよ!」事業計画並びに予算(案)承認の件
(16) サマーコンファレンス2023「社内炎上→業績好調。これ、ウェルビーイング案件です。」事業計画並びに予算(案)承認の件
(17) サマーコンファレンス2023「esports ∞ possibility」事業計画並びに予算(案)承認の件
(18) サマーコンファレンス2023「新・選挙DX進化論!!」事業計画並びに予算(案)承認の件
(19) サマーコンファレンス2023全力サポート!! LOM支援なんでも相談会設置事業計画並びに予算(案)承認の件
(20) サマーコンファレンス2023セミナー「あのLOMはもう始めてる組織変革～夢を描けるLOM運営へ～」事業計画並びに予算(案)承認の件
(21) サマーコンファレンス2023セミナー「そのコミュニケーション古くない?いつ変えるの?今でしょ!組織力を高めるワザ教えます!」事業計画並びに予算(案)承認の件

[その他]

- (22) サマーコンファレンス2023「第37回JCI JAPAN TOYP2023授賞式典」～平成の怪物×野獣 ひとりの夢中が世界を変える～事業計画並びに予算(案)承認の件

[PARK関連議案]

- (23) サマーコンファレンス2023「GROWTH PARK」事業計画並びに予算(案)承認の件

<全国大会関連議案>

- (24) 第72回全国大会東京大会「スケジュール」修正(案)承認の件

推進報告事項

【国際グループ推進計画進捗報告】

- (1) 世界共通課題の解決に向けたハブ機能の構築推進計画の進捗報告について
(2) 人材交流によるコンテンツの発掘及び発信推進計画の進捗報告について
(3) 国際ビジネス連携推進計画の進捗報告について
(4) FLY to the world with JCI GO推進計画の進捗報告について
(5) 地域資源国際発信推進計画の進捗報告について
(6) The world connected by global peace～グローバルピースでつながる世界～推進計画の進捗について
(7) JCI JAPANグローバルユース国連大使育成事業計画の進捗報告について
(8) Smile by Actionパートナー推進計画の進捗報告について
(9) 日本へ避難しているウクライナ避難民への支援推進計画の進捗報告について

【地域グループ推進計画進捗報告】

- (10) 地域コンテンツ発掘推進計画進捗報告について
(11) 身近な資源が循環するMOTTAINAI運動推進計画の進捗報告について
(12) 環境改善と経済発展の好循環をもたらす環境配慮経営セミナーの開催推進計画の進捗報告について
(13) 価値デザインコンテスト2023募集計画の報告について
(14) 企業交流支援プラットフォームへの進出事業計画の報告について
(15) JCI JAPAN TOYP2023事業の募集計画の進捗報告について
(16) 魅力ある経営推進計画報告について
(17) 部活を地域で支えるシステムの構築推進計画報告について
(18) JCカップ U-11 少年少女サッカー全国大会予選大会実施報告について

【国家グループ推進計画進捗報告】

- (19) 互譲互助の国家観を確立させるプログラムの進捗報告について
(20) 強くしなやかな国土創造の推進計画の進捗報告について
(21) 災害ネットワークの強化推進計画の進捗報告について
(22) 国民の政治参画を図る事業計画の進捗報告について
(23) 地域社会全体での道徳的文化の構築事業計画の進捗報告について
(24) 国民が国防の在り方に関して議論する推進計画の進捗報告について
(25) すべての人が個性と多様性を尊重され活躍しやすくなる社会づくりの推進計画の進捗報告について
(26) 子育てを応援する仕組みの構築推進計画の進捗報告について

【組織グループ推進計画進捗報告】

- (27) 全国連絡調整会議LOM支援推進計画の進捗報告について
- (28) 全ての組織が躍動するDoタンク推進計画の進捗報告について
- (29) 2020年代時代に合わせた協議会モデル答申書の活用検証並びに組織の仕組みづくり推進計画の進捗報告について
- (30) ブロック連携によるリーダー育成アカデミー推進計画並びに組織を牽引できるリーダーの育成推進計画の進捗報告について
- (31) LOMに寄り添った支援体制推進計画の進捗報告について
- (32) 会員拡大支援の推進計画の進捗報告について
- (33) より良い未来の運動を生み出す運動プラットフォーム推進計画の進捗報告について
- (34) JCI AWARDS獲得推進計画の進捗報告について
- (35) AWARDS JAPAN 2023募集審査基準並びに審査実施計画の進捗報告について
- (36) JCIコース及びJCI日本公認プログラムの導入推進・実施計画の進捗報告について
- (37) JCI公式コース及びJCI日本公式プログラムトレーナー育成推進計画の進捗報告について
- (38) 多様な考え方を促進し組織改善推進計画の進捗報告について

【総務グループ推進計画進捗報告】

- (39) 魅力あるJCブランディング推進計画の進捗報告について
- (40) 組織への関心と連携を強化する対内広報年間推進計画の進捗報告について

報告・依頼事項

- (1) 47ブロック会頭訪問について
- (2) ブロック会長公式訪問報告書について
- (3) 第72回全国大会東京大会「大会成功祈願」について
- (4) 第72回全国大会東京大会「登録ガイド」について
- (5) 第72回全国大会東京大会「都知事・23区長会会長表敬訪問」計画について
- (6) 株式会社和光との覚書締結について
- (7) JCカード2022年度分LOM還元について
- (8) 2023-2024 JCI APDC出向役員について
- (9) 会議・委員会出向者追加・変更について
- (10) 2023年度年間公式スケジュール変更について
- (11) 2023年度年間公式スケジュールについて
- (12) 次回開催日について 2023年6月24日(土)9:00~ JC会館にて

第6回理事会

日時：2023年6月24日(土)
場所：青年会議所会館

前回議事録の承認

- (1) 第5回理事会議事録

確認事項

- (1) 第6回財政審査会議・公益審査会議及びコンプライアンス審査会議の結果について

審議事項

<推進計画議案>

- (1) JCI公式コース及びJCI日本公式プログラムトレーナー育成推進計画の修正予算(案)承認の件

<通常協議議案>

- (2) 第36回国際アカデミーに伴うプレ国際アカデミー事業報告並びに決算(案)承認の件
(3) 第36回国際アカデミー事業修正計画並びに修正予算(案)承認の件
(4) 国民の政治参画を図る事業修正計画並びに修正予算(案)承認の件
(5) コンストラクションマネジメント契約に係る2023年度個別契約締結(基本設計段階)計画並びに予算(案)承認の件
(6) 公益社団法人日本青年会議所 新会館建設に向けた規則改正(案)承認の件

<京都会議関連議案>

- (7) 2023年度京都会議事業報告並びに決算(案)承認の件

<2023年度3月総会関連議案>

- (8) 2023年度3月総会 組織フォーラム「夢に向かい躍動する組織へ」事業報告並びに決算(案)承認の件

<サマーコンファレンス関連議案>

- (9) サマーコンファレンス2023修正事業計画並びに修正予算(案)承認の件

[フォーラム関連議案]

- (10) サマーコンファレンス2023オープニングフォーラム「Lead the World～世界を魅せよう～」事業計画並びに予算(案)承認の件
(11) サマーコンファレンス2023クロージングフォーラム「僕の国は平和だから」と振り返りもしなかった事業計画並びに予算(案)承認の件

[その他]

- (12) サマーコンファレンス2023「第37回JCI JAPAN TOYP2023授賞式典」～平成の怪物×野獣 ひとりの夢が世界を変える～

修正事業計画並びに修正予算(案)承認の件

<全国大会関連議案>

- (13) 全国大会運営会議に付託する事項修正(案)承認の件

推進報告事項

【国際グループ推進計画進捗報告】

- (1) 世界共通課題の解決に向けたハブ機能の構築推進計画の進捗報告について
(2) 人材交流によるコンテンツの発掘及び発信推進計画の進捗報告について
(3) 国際ビジネス連携推進計画の進捗報告について
(4) FLY to the world with JCI GO推進計画の進捗報告について
(5) 地域資源国際発信推進計画の進捗報告について
(6) The world connected by global peace～グローバルピースでつながる世界～推進計画の進捗について
(7) JCI JAPANグローバルユース国連大使育成事業計画の進捗報告について
(8) Smile by Actionパートナー推進計画の進捗報告について
(9) Expanding Dreams & World "SMILE by WATER" in Philippines事業計画の進捗報告について
(10) 日本へ避難しているウクライナ避難民への支援推進計画の進捗報告について

【地域グループ推進計画進捗報告】

- (11) 地域コンテンツ発掘推進計画進捗報告について
(12) 身近な資源が循環するMOTTAINAI運動推進計画の進捗報告について
(13) 環境改善と経済発展の好循環をもたらす環境配慮経営セミナーの開催推進計画の進捗報告について
(14) 価値デザインコンテスト2023募集計画の報告について
(15) 企業交流支援プラットフォームへの進化学業計画の報告について
(16) JCI JAPAN TOYP2023事業の募集における推進計画の進捗報告について
(17) 魅力ある経営推進計画報告について
(18) 部活を地域で支えるシステムの構築推進計画報告について
(19) JCカップ U-11 少年少女サッカー全国大会予選大会実施報告について

【国家グループ推進計画進捗報告】

- (20) 互譲互助の国家観を確立させるプログラムの進捗報告について
(21) 強くしなやかな国土創造の推進計画の進捗報告について
(22) 災害ネットワークの強化推進計画の進捗報告について
(23) 国民の政治参画を図る事業計画の進捗報告について
(24) 地域社会全体での道徳的文化の構築事業計画の進捗報告について
(25) 国民が国防の在り方に関して議論する推進計画の進捗報告について
(26) すべての人が個性と多様性を尊重され活躍しやすくなる社会づくりの推進計画の進捗報告について
(27) 子育てを応援する仕組みの構築推進計画の進捗報告について

【組織グループ推進計画進捗報告】

- (28) 全国連絡調整会議LOM支援推進計画の進捗報告について
(29) 全ての組織が躍動するDoタンク推進計画の進捗報告について
(30) 2020年代時代に合わせた協議会モデル答申書の活用検証並びに組織の仕組みづくり推進計画の進捗報告について
(31) ブロック連携によるリーダー育成アカデミー推進計画並びに組織を牽引できるリーダーの育成推進計画の進捗報告について
(32) LOMに寄り添った支援体制推進計画の進捗報告について
(33) 会員拡大支援の推進計画の進捗報告について
(34) より良い未来の運動を生み出す運動プラットフォーム推進計画の進捗報告について
(35) JCI AWARDS獲得推進計画の進捗報告について
(36) AWARDS JAPAN 2023募集審査基準並びに審査実施計画の進捗報告について
(37) JCIコース及びJCI日本公認プログラムの導入推進・実施計画の進捗報告について
(38) JCI公式コース及びJCI日本公式プログラムトレーナー育成推進計画の進捗報告について
(39) 多様な考え方を促進し組織改善推進計画の進捗報告について

【総務グループ推進計画進捗報告】

(40) 魅力あるJCブランディング推進計画の進捗報告について

(41) 組織への関心と連携を強化する対内広報年間推進計画の進捗報告について

報告・依頼事項

(1) 47ブロック会頭訪問について

(2) ブロック会長公式訪問報告書について

(3) 第72回全国大会東京大会「運輸」計画について

(4) 第72回全国大会東京大会「宿泊」について

(5) 第72回全国大会東京大会「インフォメーション」計画について

(6) 第72回全国大会東京大会「エクスカーション」について

(7) 第72回全国大会東京大会「事前調査アンケート」集計結果について

(8) 2026年度第75回全国大会主管立候補LOMについて

(9) アチーブメント株式会社の出版物承諾について

(10) 株式会社ZUU 新規賛助契約について

(11) 会頭立候補者推薦書(選管書式NO.3)の取り扱いについて

(12) 外部団体事業への後援・協賛名義使用及び役員就任について

(13) 業務執行理事による業務執行状況報告について

(14) 2023年度京都会議外部監査について

(15) 2023年度年間スケジュールについて

(16) 次回開催日について 2023年 7月21日(金)13:00~ パシフィコ横浜にて

第7回理事会

日時：2023年7月21日(金)
場所：パシフィック横浜 301-304

前回議事録の承認

- (1) 第6回理事会議事録

確認事項

- (1) 第7回財政審査会議・公益審査会議及びコンプライアンス審査会議の結果について

審議事項

【第7回理事会審議予定議案】

<推進計画議案>

- (1) The world connected by global peace～グローバルピースでつながる世界～推進修正計画(案)承認の件
(2) 身近な資源が循環するMOTTAINAI運動の推進修正計画(案)承認の件
(3) 地域スポーツのシステム構築に向けた推進修正計画(案)承認の件
(4) esportsを活用した経済効果による地域活性化の推進計画(案)承認の件
(5) 2020年代時代に合わせた協議会モデル答申書の活用検証並びに組織の仕組みづくり推進修正計画(案)承認の件
(6) JCI公式コース及びJCI日本公式プログラムトレーナー育成推進計画の修正予算(案)承認の件
(7) 魅力あるJCブランディング推進計画修正(案)承認の件

<通常協議議案>

- (8) JCI JAPAN TOYP2023事業の募集計画並びに決算(案)承認の件
(9) 第9回MJS presents JCカップU-11少年少女サッカー全国大会事業計画並びに予算(案)承認の件
(10) JCカップU-11少年少女アジア・パシフィック大会事業計画並びに予算(案)承認の件
(11) 2026年度第75回全国大会「主管LOM決定方法」(案)承認の件
(12) 国民が国防の在り方に関して議論する事業修正計画並びに修正予算(案)承認の件
(13) 理念共感プロモーター育成プログラムガイドライン事業計画(案)承認の件
(14) 青年会議所会館建替事業に係る優先交渉権者の決定(案)承認の件
(15) 公益社団法人日本青年会議所 文書のデータ化に関する新設細則策定及び事務局記録保存管理細則一部改正(案)承認の件
(16) 第174回総会開催並びに次第(案)承認の件

<ASPAC 関連議案>

- (17) JCI ASPACジャカルタ大会における日本JC大会対応事業報告並びに決算(案)承認の件
(18) JCI ASPACジャカルタ大会における日本JC会頭招待ランチョン開催事業報告並びに決算(案)承認の件
(19) JCI ASPAC 日本主催「JCI JAPANグローバルピースサミット」事業報告(案)承認の件
(20) JCI ASPAC日本主催フォーラム「第3回グローバルソリューションサミット」事業報告(案)承認の件
(21) JCI ASPAC日本主催フォーラム「AMAZING JAPAN」事業報告(案)承認の件
(22) JCI ASPACジャカルタ大会における日本JC主催事業「ジャパンナイト」開催の事業修正計画並びに補正予算(案)承認の件

<サマーコンファレンス関連議案>

[本体議案]

- (23) サマーコンファレンス2023修正事業計画並びに修正予算(案)承認の件

[セミナー関連議案]

- (24) サマーコンファレンス2023地域セミナー「魅せていこう!唯一無二が取り戻す冠たる地域の底力」事業計画並びに予算(案)承認の件
(25) サマーコンファレンス2023セミナー「This is me～すべての色が輝く未来～」事業修正計画並びに修正予算(案)承認の件

[その他]

- (26) サマーコンファレンス2023「GROWTH PARK」事業修正計画並びに修正予算(案)承認の件
(27) サマーコンファレンス2023「第37回JCI JAPAN TOYP2023授賞式典」～平成の怪物×野獣 ひとりの夢中が世界を変える～修正事業計画並びに修正予算(案)承認の件
(28) サマーコンファレンス2023「esports ∞ possibility」事業修正計画並びに予算(案)承認の件

<全国大会関連議案>

[本体議案]

- (29) 第72回全国大会東京大会事業(開催)計画並びに予算(案)承認の件
(30) 第72回全国大会東京大会「スケジュール」修正(案)承認の件
(31) 第72回全国大会東京大会「PR修正計画」並びに修正予算(案)承認の件
(32) 第72回全国大会東京大会「大会ガイド構成」(案)承認の件

[フォーラム関連議案]

- (33) 第72回全国大会東京大会国家フォーラム「日本人の底力」事業計画並びに予算(案)承認の件

[その他]

- (34) 第72回全国大会東京大会「2024年度スタートアップセッション」事業計画並びに予算(案)承認の件

推進報告事項

【国際グループ推進計画進捗報告】

- (1) 世界共通課題の解決に向けたハブ機能の構築推進計画の進捗報告について
(2) 人材交流によるコンテンツの発掘及び発信推進計画の進捗報告について
(3) 国際ビジネス連携推進計画の進捗報告について
(4) FLY to the world with JCI GO推進計画の進捗報告について
(5) 地域資源国際発信推進計画の進捗報告について
(6) The world connected by global peace ～グローバルピースでつながる世界～推進計画の進捗について
(7) JCI JAPANグローバルユース国連大使育成事業計画の進捗報告について
(8) Smile by Action/パートナー推進計画の進捗報告について
(9) 日本へ避難しているウクライナ避難民への支援推進計画の進捗報告について

【地域グループ推進計画進捗報告】

- (10) 地域コンテンツ発掘推進計画報告について
(11) 身近な資源が循環するMOTTAINAI運動推進計画の進捗報告について
(12) 環境改善と経済発展の好循環をもたらす環境配慮経営セミナーの開催推進計画の進捗報告について
(13) 価値デザインコンテスト2023募集計画の報告について
(14) 企業交流支援プラットフォームへの進出事業計画の報告について
(15) JCI JAPAN TOYP2023事業の募集における推進計画の進捗報告について
(16) 魅力ある経営推進計画報告について

- (17) 部活を地域で支えるシステムの構築推進計画報告について
- (18) JCカップ U-11 少年少女サッカー全国大会予選大会実施報告について
- 【国家グループ推進計画進捗報告】
- (19) 互譲互助の国家観を確立させるプログラムの進捗報告について
- (20) 強くしなやかな国土創造の推進計画の進捗報告について
- (21) 災害ネットワークの強化推進計画の進捗報告について
- (22) 国民の政治参画を図る事業計画の進捗報告について
- (23) 地域社会全体での道徳的文化の構築事業計画の進捗報告について
- (24) 国民が国防の在り方に関して議論する推進計画の進捗報告について
- (25) すべての人が個性と多様性を尊重され活躍しやすくなる社会づくりの推進計画の進捗報告について
- (26) 子育てを応援する仕組みの構築推進計画の進捗報告について
- 【組織グループ推進計画進捗報告】
- (27) 全国連絡調整会議LOM支援推進計画の進捗報告について
- (28) 全ての組織が躍動するDoタンク推進計画の進捗報告について
- (29) 2020年代時代に合わせた協議会モデル答申書の活用検証並びに組織の仕組みづくり推進計画の進捗報告について
- (30) ブロック連携によるリーダー育成アカデミー推進計画並びに組織を牽引できるリーダーの育成推進計画の進捗報告について
- (31) LOMに寄り添った支援体制推進計画の進捗報告について
- (32) 会員拡大支援の推進計画の進捗報告について
- (33) より良い未来の運動を生み出す運動プラットフォーム推進計画の進捗報告について
- (34) JCI AWARDS獲得推進計画の進捗報告について
- (35) AWARDS JAPAN 2023募集審査基準並びに審査実施計画の進捗報告について
- (36) JCIコース及びJCI日本公認プログラムの導入推進・実施計画の進捗報告について
- (37) JCI公式コース及びJCI日本公式プログラムトレーナー育成推進計画の進捗報告について
- (38) 多様な考え方を促進し組織改善推進計画の進捗報告について
- 【総務グループ推進計画進捗報告】
- (39) 魅力あるJCブランディング推進計画の進捗報告について
- (40) 組織への関心と連携を強化する対内広報年間推進計画の進捗報告について

報告・依頼事項

- (1) 47ブロック会頭訪問について
- (2) ブロック会長公式訪問報告書について
- (3) 第72回全国大会東京大会「大会式典」構成・演出について
- (4) 第72回全国大会東京大会「オープニングセレモニー」について
- (5) 第72回全国大会東京大会「クロージングセレモニー」について
- (6) 第72回全国大会東京大会「記念事業」について
- (7) 各会議・委員会中間監査及び協議会第2回中間監査について
- (8) 日本JCマークブランドガイドライン改訂について
- (9) 本会と地区ブロック協議会名称使用等に関する報告について
- (10) 2023年度 支援団体認定状況について
- (11) LOMの退会について
- (12) 2023年度年間スケジュールについて
- (13) 2024年度会頭立候補者の資格認定並びに会頭当選者決定について
- (14) 次回開催日について 2023年 9月16日(土)9:00~ JC会館にて

第8回理事会

日時：2023年9月16日(土)

場所：青年会議所会館

前回議事録の承認

- (1) 第7回理事会議事録

確認事項

- (1) 第8回財政審査会議・公益審査会議及びコンプライアンス審査会議の結果について

審議事項

<推進計画議案>

- (1) 世界共通の課題解決に向けたハブ機能構築推進修正計画(案)承認の件
- (2) 人材交流によるコンテンツの発掘及び発信推進修正計画(案)承認の件
- (3) 子育てを応援する仕組みの構築推進計画並びに修正予算(案)承認の件
- (4) JCIコース及びJCI日本公認プログラムの導入推進・実施事業修正計画並びに修正予算(案)承認の件
- (5) JCI公式コース及びJCI日本公式プログラムトレーナー育成推進計画並びに修正予算(案)承認の件

<通常協議議案>

- (6) JCI JAPANグローバルユース国連大使育成事業修正計画並びに修正予算(案)承認の件
- (7) Smile by Action豊かな水と自然を守る国際開発運動修正計画並びに修正予算(案)承認の件
- (8) Expanding Dreams & World "SMILE by WATER" in Indonesia修正計画並びに修正予算(案)承認の件
- (9) 第36回国際アカデミーテーマ並びに募集計画事業報告(案)承認の件
- (10) 第7回価値デザインコンテスト募集報告並びに決算(案)承認の件
- (11) JCI JAPAN TOYP2023各種選考会開催報告並びに決算(案)承認の件
- (12) JCカップU-11少年少女サッカーアジアパシフィック大会事業修正計画並びに修正予算(案)承認の件
- (13) 互譲互助の国家観を確立させるプログラムの事業修正計画並びに修正予算(案)承認の件
- (14) 発災時に被災地支援における災害対策本部設置事業計画(案)承認の件
- (15) コンストラクションマネジメント契約に係る2023年度個別契約締結報告並びに決算(案)承認の件
- (16) トルコ・シリア大地震によるJCIトルコへの支援報告(案)承認の件
- (17) 青年会議所会館建替に関する基本計画修正(案)承認の件
- (18) 青年会議所会館建替に関する総会審議事項の理事会付託修正(案)承認の件
- (19) 日本青年会議所会館建替をはじめとする未来の日本青年会議所を創る活動資金(案)承認の件
- (20) 基本・実施設計・管理業務委任及び解体・新築工事請負契約に向けて基本合意書の締結計画(案)承認の件
- (21) 基本合意書契約に係る建築設計業務委託契約締結計画並びに予算(案)承認の件
- (22) 青年会議所会館に関する新設規則策定並びに会館管理運営規則等一部改正(案)承認の件
- (23) 公益社団法人日本青年会議所 特定費用準備資金及び資産取得資金の取扱規程作成(案)承認の件
- (24) 2024年度理事選任(案)承認の件
- (25) 2024年度監事選任(案)承認の件
- (26) 2024年度顧問選任(案)承認の件
- (27) 2024年度代表理事選定(案)承認の件
- (28) 2024年度業務執行理事選定(案)承認の件
- (29) 2024年度基本理念・基本方針並びに計画(案)承認の件
- (30) 2024年度組織並びに委員数(案)承認の件
- (31) 2024年度ブロック会長選任(案)承認の件
- (32) 2024年度議長・委員長選任(案)承認の件
- (33) 2024年度内部会計監査人グループ代表選任(案)承認の件
- (34) 2024年度年間公式スケジュール(案)承認の件
- (35) 2024年度スローガン(案)承認の件
- (36) 2024年度予算(案)承認の件
- (37) JCI世界会議における議決権の会頭一任(案)承認の件

<ASPAC関連議案>

- (38) JCI ASPACジャカルタ大会における日本JC主催事業ジャパンナイト開催の事業報告並びに決算(案)承認の件

<サマーコンファレンス関連議案>

[本体・広報議案]

- (39) サマーコンファレンス2023事業修正計画並びに修正予算(案)承認の件
- (40) サマーコンファレンス2023「広報」修正計画並びに修正予算(案)承認の件
- (41) サマーコンファレンス2023「広報」事業報告並びに決算(案)承認の件
- (42) サマーコンファレンス2023「ホームページ作成」事業報告並びに決算(案)承認の件

[フォーラム関連議案]

- (43) サマーコンファレンス2023近畿地区フォーラム「新たなテクノロジーが紡ぐ未来へ。大阪・関西万博2025!!」事業報告並びに決算(案)承認の件
- (44) サマーコンファレンス2023国家フォーラム「呼び覚ませ!!世界に誇るべき国民性」事業報告並びに決算(案)承認の件
- (45) サマーコンファレンス2023組織フォーラム「Action for Growth!!～変化する時代に生きる輝くリーダーの覚悟～」事業報告並びに決算(案)承認の件

[セミナー関連議案]

- (46) サマーコンファレンス2023セミナー「グローバル志向欠乏症を改善せよ!」事業報告並びに決算(案)承認の件
- (47) サマーコンファレンス2023セミナー「魅せていこう!唯一無二が取り戻す冠たる地域の底力」事業報告並びに決算(案)承認の件
- (48) サマーコンファレンス2023セミナー「社内炎上→業績好調。これ、ウェルビーイング案件です。」事業報告並びに決算(案)承認の件
- (49) サマーコンファレンス2023セミナー「esports ∞ possibility」事業報告並びに決算(案)承認の件
- (50) サマーコンファレンス2023セミナー「新・選挙DX進化論!!」事業報告並びに決算(案)承認の件
- (51) サマーコンファレンス2023セミナー「This is me～すべての色が輝く未来～」事業報告並びに決算(案)承認の件
- (52) サマーコンファレンス2023セミナー「全力サポート!! LOM支援なんでも相談会」事業報告並びに決算(案)承認の件
- (53) サマーコンファレンス2023セミナー「あのLOMはもう始めてる組織変革～夢を描けるLOM運営～」事業報告並びに決算(案)承認の件
- (54) サマーコンファレンス2023セミナー「JCプログラムセミナー」事業報告並びに決算(案)承認の件
- (55) サマーコンファレンス2023セミナー「そのコミュニケーション古くない?いつ変えるの?今でしょ!組織力を高めるワザ教えます!」事業報告並びに決算(案)承認の件

[その他]

- (56) サマーコンファレンス2023外部アドバイザーパートナーシップ契約の締結事業報告並びに決算(案)承認の件
- (57) サマーコンファレンス2023登録システム改修事業報告並びに決算(案)承認の件
- (58) サマーコンファレンス2023「第7回価値デザインコンテスト～社会課題解決をビジネスに実装せよ～」実施事業修正計画並びに修正予算(案)承認の件
- (59) サマーコンファレンス2023「第7回価値デザインコンテスト～社会課題解決をビジネスに実装せよ～」実施事業計画並びに修正予算(案)承認の件
- (60) サマーコンファレンス2023「第37回JCI JAPAN TOYP2023授賞式典～平成の怪物×野獣 ひとりの夢が世界を変える～」修正事業計画並びに修正予算(案)承認の件
- (61) サマーコンファレンス2023「第37回JCI JAPAN TOYP2023授賞式典～平成の怪物×野獣 ひとりの夢が世界を変える～」事業報告並びに決算(案)承認の件

[PARK関連議案]

(62) サマーコンファレンス2023「GROWTH PARK」修正計画並びに修正予算(案)承認の件

(63) サマーコンファレンス2023「GROWTH PARK」事業報告並びに決算(案)承認の件

<全国大会関連議案>

[本体議案]

(64) 第72回全国大会東京大会 事業(開催)修正計画並びに修正予算(案)承認の件

[フォーラム関連議案]

(65) 第72回全国大会東京大会フォーラム「Impact The Future～次世代への継承～」事業計画並びに予算(案)承認の件

[その他]

(66) 第72回全国大会東京大会「スケジュール」修正(案)承認の件

(67) 第72回全国大会東京大会「2024年度スタートアップセッション」事業修正計画並びに修正予算(案)承認の件

<2023年度10月総会関連議案>

(68) 第174回総会開催並びに修正次第(案)承認の件

<世界会議関連議案>

(69) JCI世界会議チューリッヒ大会における日本JC大会対応計画並びに予算(案)承認の件

(70) JCI世界会議チューリッヒ大会「Global Peace Summit in Partnership with JCI Japan」事業計画(案)承認の件

推進報告事項

【国際グループ推進計画進捗報告】

(1) 世界共通課題の解決に向けたハブ機能の構築推進計画の進捗報告について

(2) 人材交流によるコンテンツの発掘及び発信推進計画の進捗報告について

(3) 国際ビジネス連携推進計画の進捗報告について

(4) FLY to the world with JCI GO推進計画の進捗報告について

(5) 地域資源国際発信推進計画の進捗報告について

(6) The world connected by global peace～グローバルピースでつながる世界～推進計画の進捗について

(7) JCI JAPANグローバルユース国連大体育成事業計画の進捗報告について

(8) 日本へ避難しているウクライナ避難民への支援推進計画の進捗報告について

【地域グループ推進計画進捗報告】

(9) 地域コンテンツ発掘推進計画報告について

(10) 身近な資源が循環するMOTTAINAI運動推進計画の進捗報告について

(11) 環境改善と経済発展の好循環をもたらす環境配慮経営セミナーの開催推進計画の進捗報告について

(12) 企業交流支援プラットフォームへの進化する事業計画の報告について

(13) 魅力ある経営推進計画報告について

(14) 部活を地域で支えるシステムの構築推進計画報告について

(15) JCカップ U-11 少年少女サッカー全国大会予選大会実施報告について

(16) esportsを活用した経済効果による地域活性化の推進計画報告について

【国家グループ推進計画進捗報告】

(17) 互譲互助の国家観を確立させるプログラムの進捗報告について

(18) 強くしなやかな国土創造の推進計画の進捗報告について

(19) 災害ネットワークの強化推進計画の進捗報告について

(20) 国民の政治参画を図る事業計画の進捗報告について

(21) 地域社会全体での道徳的文化的構築事業計画の進捗報告について

(22) 国民が国防の在り方に関して議論する推進計画の進捗報告について

(23) すべての人が個性と多様性を尊重され活躍しやすくなる社会づくりの推進計画の進捗報告について

(24) 子育てを応援する仕組みの構築推進計画の進捗報告について

【組織グループ推進計画進捗報告】

(25) 全国連絡調整会議LOM支援推進計画の進捗報告について

(26) 全ての組織が躍動するDoタンク推進計画の進捗報告について

(27) ブロック連携によるリーダー育成アカデミー推進計画並びに組織を牽引できるリーダーの育成推進計画の進捗報告について

(28) LOMに寄り添った支援体制推進計画の進捗報告について

(29) 会員拡大支援の推進計画の進捗報告について

(30) より良い未来の運動を生み出す運動プラットフォーム推進計画の進捗報告について

(31) JCI AWARDS獲得推進計画の進捗報告について

(32) AWARDS JAPAN 2023募集審査基準並びに審査実施計画の進捗報告について

(33) JCIコース及びJCI日本公認プログラムの導入推進・実施計画の進捗報告について

(34) JCI公式コース及びJCI日本公式プログラムトレーナー育成推進計画の進捗報告について

(35) 多様な考え方を促進し組織改善推進計画の進捗報告について

【総務グループ推進計画進捗報告】

(36) 魅力あるJCブランディング推進計画の進捗報告について

(37) 組織への関心と連携を強化する対内広報年間推進計画の進捗報告について

報告・依頼事項

(1) 47ブロック会頭訪問について

(2) ブロック会長公式訪問報告書について

(3) JCIアカデミーユニオン in 世界会議チューリッヒ大会について

(4) 経済カードゲーム使用に関する合意書の作成について

(5) 2026年度第75回全国大会「主管立候補LOM現地調査報告会開催」について

(6) 第72回全国大会東京大会「登録状況」について

(7) 第72回全国大会東京大会「大会ガイド詳細」について

(8) 第73回全国大会福岡大会「進捗状況」について

(9) 第74回全国大会佐賀大会「進捗状況」について

(10) JCI 世界会議チューリッヒ大会「JCI AWARDSジャッジ」の日本青年会議所からの選出推薦について

(11) 株式会社和光の販売するJCグッズの価格改定について

(12) 2024年役員・出向者統一名刺について

(13) 青年会議所会館 土地境界確認について

(14) 公益社団法人日本青年会議所 アニュアルレポートの取り纏め及び作成について

(15) 危機管理マニュアルの作成について

(16) 2024年度直前会頭就任について

(17) 外部団体事業への後援・協賛名義使用及び役員就任について

(18) 2023年度年間スケジュールについて

(19) 次回開催日について 2023年 10月5日(木)14:00～ JC会館にて

第9回理事会

日時：2023年10月5日(木)
場所：青年会議所会館

前回議事録の承認

- (1) 第8回理事会議事録

確認事項

- (1) 第9回財政審査会議・公益審査会議及びコンプライアンス審査会議の結果について

審議事項

<推進計画議案>

- (1) Smile by Action豊かな水と自然を守る国際開発運動事業報告並びに決算(案)承認の件
- (2) 企業交流支援プラットフォームへの進出事業報告並びに決算(案)承認の件

<通常計画議案>

- (3) Expanding Dreams & World "SMILE by WATER" in Philippines事業計画並びに修正予算(案)承認の件
- (4) 第2回日本×ウクライナ友好イベント事業修正計画並びに修正予算(案)承認の件
- (5) 2023年度JAPAN PRIDE PROJECT事業修正計画並びに修正予算(案)承認の件
- (6) JCカップU-11少年少女サッカーアジアパシフィック大会事業修正計画並びに修正予算(案)承認の件
- (7) 青年経済人アカデミー事業報告並びに決算(案)承認の件
- (8) 新LOM版アジェンダシステムの入替及び普及計画(案)承認の件

<2024年度案件>

- (9) 2024年度議長・委員長選任修正(案)承認の件

<サマーコンファレンス関連議案>

[本体関連議案]

- (10) サマーコンファレンス2023修正事業計画並びに修正予算(案)承認の件
- (11) サマーコンファレンス2023事業報告並びに決算(案)承認の件

[フォーラム関連議案]

- (12) サマーコンファレンス2023オープニングフォーラム「Lead the World～世界を魅せよう～」事業報告並びに決算(案)承認の件
- (13) サマーコンファレンス2023組織フォーラム「会頭緊急会見～協議会って本当に必要!?～」事業報告並びに決算(案)承認の件
- (14) サマーコンファレンス2023クロージングフォーラム「僕の国は平和だから」と振り返りもしなかった事業報告並びに決算(案)承認の件

<世界会議関連議案>

- (15) JCI 世界会議チューリッヒ大会における日本JC主催「ジャパンナイト」開催の事業計画並びに予算(案)承認の件

<全国大会関連議案>

- (16) 第72回全国大会東京大会 事業(開催)修正計画並びに修正予算(案)承認の件
- (17) 第74回全国大会佐賀大会「開催日程」(案)承認の件
- (18) 2026年度第75回全国大会「主管LOM決定」(案)承認の件

推進報告事項

【国際グループ推進計画進捗報告】

- (1) 世界共通課題の解決に向けたハブ機能の構築推進計画の進捗報告について
- (2) 人材交流によるコンテンツの発掘及び発信推進計画の進捗報告について
- (3) 国際ビジネス連携推進計画の進捗報告について
- (4) FLY to the world with JCI GO推進計画の進捗報告について
- (5) 地域資源国際発信推進計画の進捗報告について
- (6) The world connected by global peace～グローバルピースでつながる世界～推進計画の進捗について
- (7) JCI JAPANグローバルユース国連大使育成事業計画の進捗報告について
- (8) 日本へ避難しているウクライナ避難民への支援推進計画の進捗報告について

【地域グループ推進計画進捗報告】

- (9) 地域コンテンツ発掘推進計画報告について
- (10) 身近な資源が循環するMOTTAINAI運動推進計画の進捗報告について
- (11) 環境改善と経済発展の好循環をもたらす環境配慮経営セミナーの開催推進計画の進捗報告について
- (12) 魅力ある経営推進計画の進捗報告について
- (13) 部活を地域で支えるシステムの構築推進計画報告について
- (14) JCカップ U-11少年少女サッカー全国大会予選大会実施報告について
- (15) esportsを活用した経済効果による地域活性化の推進計画報告について

【国家グループ推進計画進捗報告】

- (16) 互譲互助の国家観を確立させるプログラムの進捗報告について
- (17) 強くしなやかな国土創造の推進計画の進捗報告について
- (18) 災害ネットワークの強化推進計画の進捗報告について
- (19) 国民の政治参画を図る事業計画の進捗報告について
- (20) 地域社会全体での道徳的文化の構築事業計画の進捗報告について
- (21) 国民が国防の在り方に関して議論する推進計画の進捗報告について
- (22) すべての人が個性と多様性を尊重され活躍しやすくなる社会づくりの推進計画の進捗報告について
- (23) 子育てを応援する仕組みの構築推進計画の進捗報告について

【組織グループ推進計画進捗報告】

- (24) 全国連絡調整会議LOM支援推進計画の進捗報告について
- (25) 全ての組織が躍動するDoタンク推進計画の進捗報告について
- (26) 2020年代時代に合わせた協議会モデル答申書の活用検証並びに組織の仕組みづくり推進計画の進捗報告について
- (27) ブロック連携によるリーダー育成アカデミー推進計画並びに組織を牽引できるリーダーの育成推進計画の進捗報告について
- (28) LOMに寄り添った支援体制推進計画の進捗報告について
- (29) 会員拡大支援の推進計画の進捗報告について
- (30) より良い未来の運動を生み出す運動プラットフォーム推進計画の進捗報告について
- (31) JCI AWARDS獲得推進計画の進捗報告について
- (32) AWARDS JAPAN 2023募集審査基準並びに審査実施計画の進捗報告について
- (33) JCIコース及びJCI日本公認プログラムの導入推進・実施計画の進捗報告について
- (34) JCI公式コース及びJCI日本公式プログラムトレーナー育成推進計画の進捗報告について
- (35) 多様な考え方を促進し組織改善推進計画の進捗報告について

【総務グループ推進計画進捗報告】

- (36) 魅力あるJCブランディング推進計画の進捗報告について
- (37) 組織への関心と連携を強化する対内広報年間推進計画の進捗報告について

報告・依頼事項

- (1) 2026年度ASPAC主管推薦会議所選考結果の報告について
- (2) 第37回国際アカデミー開催地決定の報告について
- (3) サマーコンファレンス2023GROWTH EXPO外部監査について
- (4) モロッコ大地震によるJCIモロッコへの支援について
- (5) 2023年度年間スケジュールについて
- (6) 次回開催日について 2023年11月25日(土)9:00～ JC会館にて

第1回臨時理事会

日時：2023年11月10日(金)
場所：WEB

審議事項

- (1) 会館建替に伴う日本青年会議所機能の一時移転先決定(案)承認の件

第10回理事会

日時：2023年11月25日(土)
場所：青年会議所会館

前回議事録の承認

- (1) 第9回理事会議事録
- (2) 第1回臨時理事会議事録

確認事項

- (1) 第10回財政審査会議・公益審査会議及びコンプライアンス審査会議の結果について

審議事項

<推進計画議案>

- (1) 国際ビジネス連携推進報告(案)承認の件
- (2) 地域資源国際発信推進修正計画並びに補正予算(案)承認の件
- (3) 身近な資源が循環するMOTTAINAI運動推進報告(案)承認の件
- (4) 環境改善と経済発展の好循環をもたらす環境配慮経営セミナー事業報告(案)承認の件
- (5) 強くしなやかな国土創造の推進計画の推進報告並びに決算(案)承認の件
- (6) 災害ネットワークの強化推進計画の推進報告並びに決算(案)承認の件
- (7) 国民の政治参画を図る事業報告並びに決算(案)承認の件
- (8) 地域社会全体での道徳的文化的構築事業報告並びに決算(案)承認の件
- (9) すべての人が個性と多様性を尊重され活躍しやすくなる社会づくりの推進修正計画並びに補正予算(案)承認の件
- (10) すべての人が個性と多様性を尊重され活躍しやすくなる社会づくりの推進報告並びに決算(案)承認の件
- (11) 子育てを応援する仕組みの構築推進報告並びに決算(案)承認の件
- (12) 全国連絡調整会議LOM支援推進報告(案)承認の件
- (13) 全ての組織が躍動するDoタンク推進報告(案)承認の件
- (14) 2020年代時代に合わせた協議会モデル答申書の活用検証並びに組織の仕組みづくり推進報告(案)承認の件
- (15) ブロック連携によるリーダー育成アカデミー推進報告並びに組織を牽引できるリーダーの育成推進報告(案)承認の件
- (16) LOMに寄り添った支援体制推進報告並びに決算(案)承認の件
- (17) 多様な考え方を促進し組織改善推進報告(案)承認の件

<通常計画議案>

- (18) Expanding Dreams & World "SMILE by WATER" in Philippines事業報告並びに決算(案)承認の件
- (19) 2023年度JAPAN PRIDE PROJECT事業修正計画並びに補正予算(案)承認の件
- (20) 2023年度JAPAN PRIDE PROJECT事業報告並びに決算(案)承認の件
- (21) 2026年度ASPAC「主管推薦青年会議所決定」(案)承認の件
- (22) JCカップ U-11 少年少女サッカー全国大会予選大会実施報告並びに決算(案)承認の件
- (23) 第9回MJS presents JCカップU-11少年少女サッカー全国大会事業計画並びに補正予算(案)承認の件
- (24) 第9回MJS presents JCカップU-11少年少女サッカー全国大会事業報告並びに決算(案)承認の件
- (25) JCカップU-11少年少女サッカーアジアパシフィック大会事業修正計画並びに補正予算(案)承認の件
- (26) 理念共感プロモーター育成プログラム事業修正計画並びに補正予算(案)承認の件
- (27) 理念共感プロモーター育成プログラム事業報告並びに決算(案)承認の件
- (28) 理念共感プロモーター育成プログラムガイドライン事業報告(案)承認の件
- (29) 青年会議所会館建替準備会議設置報告(案)承認の件
- (30) 特定費用準備金の設定(案)承認の件
- (31) 公益社団法人日本青年会議所 会員資格規則一部変更(案)承認の件

<全国大会関連議案>

- (32) 第72回全国大会東京大会フォーラム「Impact The Future～次世代の継承～」事業報告並びに決算(案)承認の件
- (33) 第72回全国大会東京大会国家フォーラム「日本人の底力」事業報告並びに決算(案)承認の件
- (34) 第72回全国大会東京大会「大会事務局開設」報告並びに決算(案)承認の件
- (35) 第72回全国大会東京大会「2024年度スタートアップセッション」事業報告並びに決算(案)承認の件

推進報告事項

- (1) JCI JAPANグローバルユース国連大使育成事業計画の進捗報告について

報告・依頼事項

- (1) SMILE by WATER 運動支援に関する支援金額について
- (2) クラウドファンディング推進報告について
- (3) プレジデンシャルリース交換について
- (4) インボイス制度に関する協議会対応の報告について
- (5) 大会登録システム年間費用の報告について
- (6) 第174回総会開催報告について
- (7) 外部団体事業への後援・協賛名義使用及び役員選任について
- (8) 2023年度年間スケジュールについて
- (9) 次回開催日について 2023年12月16日(土)9:00～ JC会館にて

第11回理事会

日時：2023年12月16日(土)
場所：青年会議所会館

前回議事録の承認

- (1) 第1回臨時理事会議事録
- (2) 第10回理事会議事録

確認事項

- (1) 第11回財政審査会議・公益審査会議及びコンプライアンス審査会議の結果について

審議事項

<推進計画議案>

- (1) 世界共通課題の解決に向けたハブ機能の構築推進報告(案)承認の件
- (2) 人財交流によるコンテンツの発掘及び発信推進報告(案)承認の件
- (3) FLY to the world with JCI GO推進報告(案)承認の件
- (4) 地域資源国際発信推進報告並びに決算(案)承認の件
- (5) The world connected by global peace～グローバルピースでつながる世界～事業報告並びに決算(案)承認の件
- (6) 日本へ避難しているウクライナ避難民への支援推進報告(案)承認の件
- (7) 魅力ある経営推進計画報告(案)承認の件
- (8) 地域スポーツのシステム構築に向けた推進報告並びに決算(案)承認の件
- (9) esportsを活用した経済効果による地域活性化の推進報告並びに決算(案)承認の件
- (10) 会員拡大支援の推進報告(案)承認の件
- (11) より良い未来の運動を生み出す運動プラットフォーム推進報告並びに決算(案)承認の件
- (12) JCI AWARDS獲得推進報告(案)承認の件
- (13) JCIコース及び日本JC公認プログラムの導入推進・実施報告並びに決算(案)承認の件
- (14) JCI公式コース及び日本JC公式プログラムトレーナー育成推進計画並びに補正予算(案)承認の件
- (15) JCI公式コース及び日本JC公式プログラムトレーナー育成推進報告並びに決算(案)承認の件
- (16) 魅力あるJCブランディング推進報告(案)承認の件
- (17) 組織への関心と連携を強化する対内広報年間推進報告並びに決算(案)承認の件

<通常計画議案>

- (18) JCI JAPANグローバルユース国連大使育成事業修正計画並びに補正予算(案)承認の件
- (19) JCI JAPANグローバルユース国連大使育成事業報告並びに決算(案)承認の件
- (20) Expanding Dreams & World "SMILE by WATER" in Indonesia事業報告並びに決算(案)承認の件
- (21) 第2回日本×ウクライナ友好イベント事業報告並びに決算(案)承認の件
- (22) 第36回国際アカデミー事業報告並びに決算(案)承認の件
- (23) JCカップU-11少年少女サッカーアジアパシフィック大会事業開催報告並びに決算(案)承認の件
- (24) 互譲互助の国家観を確立させるプログラムの事業修正計画並びに補正予算(案)承認の件
- (25) 互譲互助の国家観を確立させるプログラムの事業報告並びに決算(案)承認の件
- (26) 発災時に被災地支援における災害対策本部設置事業報告(案)承認の件
- (27) 国民が国防の在り方に関して議論する事業報告並びに決算(案)承認の件
- (28) AWARDS JAPAN 2023募集審査基準並びに審査実施報告(案)承認の件
- (29) 組織への関心が高まる機関紙 We Believeの作成・発刊事業報告(案)承認の件
- (30) 公益社団法人日本青年会議所 2023年度年度各種積立預金の積立額および取崩額(案)承認の件
- (31) 公益社団法人日本青年会議所 2024年度資金調達および設備投資の見込み(案)承認の件
- (32) 資産取得資金設定(案)承認の件
- (33) 一般社団法人水沢青年会議所名称及び認証番号変更(案)承認の件
- (34) 外部アドバイザーパートナーシップ契約の締結報告並びに決算(案)承認の件
- (35) 第175回総会開催並びに次第(案)承認の件
- (36) 2024年度予算書(案)承認の件

<全国大会関連議案>

- (37) 第72回全国大会東京大会 事業(開催)修正計画並びに補正予算(案)承認の件
- (38) 第72回全国大会東京大会 事業(開催)報告並びに決算(案)承認の件
- (39) 第72回全国大会東京大会「PR」報告並びに決算(案)承認の件

<世界会議関連議案>

- (40) JCI世界会議チュリッヒ大会「Global Peace Summit in Partnership with JCI Japan」事業報告(案)承認の件
- (41) JCI世界会議チュリッヒ大会における日本JC大会対応事業報告並びに決算(案)承認の件
- (42) JCI世界会議チュリッヒ大会における日本JC主催「ジャパンナイト」開催の事業報告並びに決算(案)承認の件

推進報告事項

- (1) 全国連絡調整会議LOM支援推進計画の進捗報告について
- (2) 全ての組織が躍動するDoタンク推進計画の進捗報告について
- (3) 2020年代時代に合わせた協議会モデル答申書の活用検証並びに組織の仕組みづくり推進計画の進捗報告について
- (4) ブロック連携によるリーダー育成アカデミー推進計画並びに組織を牽引できるリーダーの育成推進計画の進捗報告について
- (5) LOMに寄り添った支援体制推進計画の進捗報告について
- (6) 多様な考え方を促進し組織改善推進計画の進捗報告について

報告・依頼事項

- (1) ブロック会長公式訪問報告書について
- (2) 2023年度姉妹JC締結について
- (3) 第36回国際アカデミー外部監査報告について
- (4) 第72回全国大会東京大会 外部監査について
- (5) モロッコ大地震によるJCIモロッコへの支援について
- (6) 賛助企業・提携企業の拡大・連携報告について
- (7) 固定資産(ソフトウェア・兵庫シェアリングネットワーク)の処分について
- (8) 日本青年会議所会館建替をはじめとする未来の日本青年会議所を創る活動資金の進捗について
- (9) 「いななき会」からの寄付金の活用報告について
- (10) 2024年度協議会口座の運用ルールについて
- (11) 財審支払申請及び規則押印申請におけるgaroonの使用料について
- (12) LOMの退会について
- (13) 各地会員会議所の法人格の移行状況について
- (14) 2024年度JCI役員並びにJCI出向者について
- (15) 業務執行理事による業務執行状況報告について
- (16) 外部団体事業への後援・協賛名義使用及び役員就任について
- (17) 2023年度年間スケジュールについて

私たちは JC 運動を応援しています。

【賛助企業名】



益々高まる青年会議所運動。 未来を担う子どもたちの育成から、より良い国づくり、まちづくりのための提言、地球市民としての国際交流まで明るく豊かな社会の実現を理想とする青年会議所運動を賛助企業として支援しています。

2023年12月現在



Junior Chamber International Japan
公益社団法人 日本青年会議所